

Panasonic®

■本機は P2 HD5 年間無償修理特約の対象商品です。詳しくは205ページをご覧ください。

取扱説明書

メモリーカードカメラレコーダー

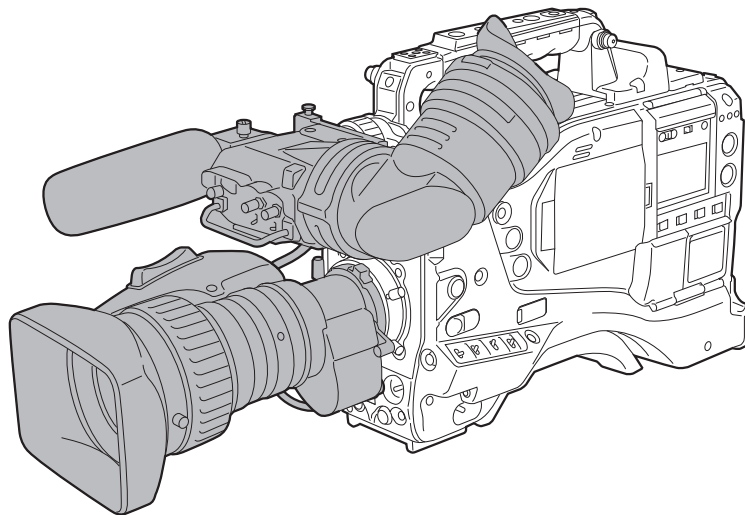
品番 **AJ-HPX3700G**

P2HD

AVC InTRA

DVC PRO HD

VARICAM



このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」(5～7ページ)を必ずお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

安全上のご注意	5
危険	5
警告	5
注意	7
ご使用の前に	8
<hr/>	
はじめに	
カメラ部の特長	10
再生・記録部の特長	11
入出力部の特長	13
その他の特長	13
寸法図	14
ご使用地域への設定（フレーム周波数等の設定）	15
システム構成	16
<hr/>	
各部の名称と機能	
電源部およびアクセサリ取り付け部	17
音声機能部（入力系）	18
音声機能部（出力系）	19
撮影・記録/再生機能部	20
メニュー操作部	25
タイムコード関連部	26
警告/状態表示部	27
表示窓内表示	28
液晶モニター部	29
ビューファインダー部	30
<hr/>	
記録と再生	
P2カードについて	32
P2カード記録データの取り扱いについて	34
基本手順	35
通常の記録	37
PRE RECORDING 機能	38
バリアブルフレームレート（VFR）記録機能	39
LOOP REC 機能	44
INTERVAL REC 機能	45
REC REVIEW 機能	47
通常再生および変速再生	48
テキストメモ機能	48
ショットマーク機能	49
記録設定と動作モード	49

記録のための調整と設定

マルチフォーマット	50
ホワイトバランス/ブラックバランスの調整	53
電子シャッターの設定	57
USER ボタンへの機能割り付け	60
音声入力の選択と録音レベルの調整	62
タイムデータの設定	64
ビューファインダーの状態表示	77
液晶モニターの調整と設定	88
映像出力信号の選択	89
データの取り扱い	91
色収差補正機能 (CAC)	105
シネマトグラファー設定	109
RGB 4:4:4 出力とP-10LOG 設定	112

準備

電源の供給	113
レンズの取り付けおよびフランジバック調整と ホワイトシェーディング調整	117
音声入力の準備	120
三脚への取り付け	121
ショルダーベルトの取り付け	122
レインカバーの取り付け	122
リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) の接続	123
FRONT AUDIO LEVEL ノブの取り付け	124
DC OUT 端子と外部REC スタート/ストップスイッチの接続	125

クリップのサムネール操作

サムネール操作の概要	126
サムネール画面	127
サムネールの選択	129
クリップの再生	129
サムネール表示の切り替え	130
ショットマーク	132
テキストメモ	132
クリップの削除	134
クリップの修復	135
不完全クリップの連結	135
クリップのコピー	135
クリップメタデータの設定	136
プロキシ機能の設定 (オプション)	140
P2カードのフォーマット	140




	SDメモリーカードのフォーマット.....	141
	サムネールの表示設定.....	142
	プロパティ.....	143
<hr/>		
外部機器との接続	USB2.0端子での接続機能.....	147
<hr/>		
保守・点検	撮影前の点検.....	153
	メンテナンス.....	155
	警告システム.....	160
<hr/>		
メニュー	メニュー構成.....	165
	メニュー一覧.....	169
本機搭載ファームウェアのアップデート.....		204
保証とアフターサービス（よくお読みください）.....		205
定 格.....		206

安全上のご注意





必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

  	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

危険

	<p>■ バッテリーパックの説明書をお読みのうえ、正しく使用する ⇒ 誤った使い方をされますと、液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。 (バッテリーパックは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p> <p>■ 充電するときは、必ずバッテリーパックメーカー指定の充電器を使用する ⇒ 指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。 (充電器は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)</p>
---	--

警告

	<p>■ DCコードが破損するようなことはしない (傷つける、加工する、高温部や熱機器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど) ⇒ 傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。 ⇒ DCコードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 (DCコードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)</p> <p>■ 乗り物を運転しながら使わない (事故の誘発につながります。) ⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。</p> <p>■ 電源を入れたまま長時間直接触れて使用しない (本機の温度の高い部分に、長時間直接触れていると低温やけど*の原因になります。) 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。 * 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人など(高齢者)は、低温やけどになりやすい傾向があります。</p> <p>■ 可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない (火災の原因になります。) ⇒ 粉じんの発生する場所でも使わないでください。</p> <p>■ ハンドルのアクセサリ取り付け穴を使い本機を吊り下げない (ハンドルが破損し、本機が落下してけがの原因になります。)</p> <p>■ メモリーカード(別売品)や付属品(FRONT AUDIO LEVELノブ、ノブ用ネジ)は、乳幼児の手の届く所に置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
---	--

(次ページに続く)

警告 (続き)



■ DCコードの電源プラグは、根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。)

⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。

(DCコードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

■ 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする

(火災や感電の原因になります。)

⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。

■ 付属品・オプションは、指定の製品を使用する

(本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)

■ 外部DC電源を使用するときは、電源電圧、およびDC IN 端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する

(誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。)

⇒ 詳しくは116 ページを参照してください。

(DC電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

■ 異常があったときは、バッテリーを外す

[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使うと、火災・感電の原因になります。)

⇒ 外部DC電源で使っている場合は、DCコードを外してください。

⇒ 販売店に相談してください。



分解禁止

■ ユニスロット以外のカバーは外さない

(火災や感電の原因になります。)

⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 分解や改造をしない

⇒ 感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。





水場
使用禁止

■ 水場で使用しない

(火災や感電の原因になります。)

⚠ 注意

	■ 本機の放熱を妨げない <ul style="list-style-type: none">● 押し入れや本箱など、狭いところに入れないでください● テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください● 通風孔やファンがある場合は、ふさがないようにしてください● 横倒し、逆さまにしないでください ⇒ 内部に熱がこもり、火災の原因になります。
	■ 三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない (三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。) ⇒ 三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。
	■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない (レンズにより集光されると、内部部品が加熱・損傷し、火災、感電、故障の原因となります。)
	■ ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない (ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)
	■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない ⇒ 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。
	■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機やバッテリーなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)
	■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーやDCコードを外す (火災や感電の原因になります。)
	■ 移動するとき、接続したコードに力が加わらないよう注意する ⇒ コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。
	■ 飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う (本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす恐れがあります。) ⇒ 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。
	■ コードを引き回す場合、足など引っ掛けないよう固定したりカバーなどをする (足などを引っ掛けると、けがの原因になります。また、コードが傷つき、火災や感電の原因にもなります。)

ご使用の前に

ご不要になった充電式電池はリサイクルへ



Ni-MH
Ni-Cd
Li-ion

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルにご協力ください。

レーザー光線についてのご注意

レーザー光線がCCDに照射されると、CCDを破壊する恐れがあります。

レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分ご注意ください。

次の点にご留意ください。

- 重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機およびP2カードの使用上、万が一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の保証についてはご容赦ください。
- ファンの異常などにより、ファンが停止した状態で動作を続けると、カメラ映像出力/記録/再生が正常に行われない場合があります。

メモリーカードを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL) ならびにGNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

GPL/LGPL の内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。LDOC という名前のフォルダーを参照してください。(なお、原文(英文)で記載しております。)

また、ソースコードの入手については、下記のホームページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

2. 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。MIT の内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。LDOC という名前のフォルダーを参照してください。(なお、原文(英文)で記載しております。)

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされていません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照下さい。

- Unislotは池上通信機株式会社の登録商標です。
- その他会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

お願い

本機を初めてご使用になる時は、下記の2項目の設定をお願いします。

- 本機を初めてご使用になるときは、最初にブラックバランスの設定を行ってください。(56 ページ参照)
- 本機は使用地域が未設定の状態です。ご使用地域に合わせて15 ページに記載の手順でフレーム周波数等の設定変更を行なってください。

本機は220万画素2/3型3CCDを搭載したカメラ部と、AVC-Intra100、AVC-Intra50、DVCPRO HD各圧縮フォーマットに対応した記録・再生部を一体化したCCDカメラレコーダーです。

本機は下表に示すHD方式に対応しています。

本機は制作用途のカメラレコーダーとして、Dual Link (RGB 4:4:4) 出力、フィルム制作に適したP-10LOG出力(112 ページ参照)、演色性を高める2D-CMS、1080/59.94i / 1080/23.98PsF / 1080/24PsFでは1~30 フレームまで、1080/50iでは1~25 フレームまで可変可能なバリエーションフレームレート(以下VFR)機能などを搭載しています。

記録部は、AVC-Intra100、AVC-Intra50、DVCPRO HDの圧縮・記録方式が選択できます。特にAVC-Intra100圧縮ではカメラからの画像をほとんど損ねることなく記録することができるため、高品質の画像を得ることができます。

■ 対応フォーマット

SYSTEM MODE	撮影・記録方式	VFR	VFR可変範囲	
1080-59.94i	AVC-Intra100 AVC-Intra50	59.94i 29.97PN 23.98PN	可	1~30 フレーム
	DVCPRO HD	59.94i	可	1~30 フレーム
29.97P 23.98P 23.98PA		不可	---	
1080-23.98PsF	AVC-Intra100 AVC-Intra50	23.98PN	可	1~24、25~ 30*フレーム (メニューで 切り替え可 能)
1080-24PsF	AVC-Intra100 AVC-Intra50	24PN	可	
1080-50i	AVC-Intra100 AVC-Intra50	50i 25PN	可	1~25 フレーム
	DVCPRO HD	50i	可	1~25 フレーム
		25P	不可	---

* ただし25~30 フレームの場合、HD SDI 信号は映像の欠落があります。

詳しくは「記録信号と記録方式の選択」(50 ページ) および「記録フォーマットと出力端子の信号フォーマット」(51 ページ) を参照してください。

カメラ部の特長

■ マルチフォーマット

220万画素2/3型3CCDをインタレース駆動、プログレッシブ駆動に切り替えることにより、各映像方式を実現しています。

■ 色収差補正機能

光の波長によりレンズでの屈折率が異なることに起因する、レンズの倍率色収差（以降、色収差と記載します）を補正する機能を搭載しています。この機能を使用すれば、レンズの周辺で発生する色収差を補正することができるため、高品位な映像信号を得ることができます。ただし、色収差補正に対応したレンズを使用する必要があります。（105 ページ参照）

■ スキャンリバース機能

本機はキャノン社・アンジェニー社のHDレンズアダプター使用時の画像反転をキャンセルするスキャンリバース機能を標準装備し、メニュー設定で容易に切り替えることができます。（169 ページ参照）

■ フィルムRECガンマ機能搭載

フィルムトーンを容易に得られるよう、Varicam (AJ-HDC27 シリーズ) で培ったFILM-REC ガンマを搭載しました。（181 ページ参照）

■ 2ディスク4枚構成光学フィルター

CCフィルターは3200K・4300K・5600K・1/2NDを装備しています。屋外撮影でよく使用される5600Kや、より繊細なレンズ絞りの調整が可能な1/2NDを標準装備しています。（20 ページ参照）

■ 14ビットA/D変換デジタル信号処理

標準化周波数74MHz、14ビットA/D変換器により映像信号をデジタル化しており、より繊細で高画質な映像再現を可能にしています。

■ DRS（ダイナミックレンジストレッチャー）機能

通常の撮影では白トビする、高輝度な部分の映像信号レベルをコントラストを保ちながら圧縮することにより、ダイナミックレンジを拡大することができます。（60 ページ参照）

■ レンズファイル機能

本機には、64個のレンズファイルを備えています。SDメモリーカードにも64個のレンズファイルを記憶することが可能です。（100 ページ参照）

■ フォーカスアシスト機能

撮影映像のピント合わせを補助するマーカーを表示する機能を備えており、ピント合わせを視覚的に手助けします。（60 ページ参照）

■ データ管理機能

本機には1個のユーザーデータと16個のシーンファイルデータを登録することが可能です。また、セットアップカードとしてSDメモリーカードを使用することで、最大8個のセットアップデータを保存することが可能になります。（91 ページ参照）

■ カラーバー

本機には通常のフルカラーバーのほかに、SMPTE カラーバー、SNG (Satellite News Gathering) 用スプリットカラーバーを備えています。カラーモニターの調整などに有効です。（190 ページ参照）

■ VFR

本機はVFR機能を搭載しており、オーバークラックやアンダークラックの撮影が可能です。（39 ページ参照）

■ モニターガンマ搭載

本機のガンマ設定をFILM-RECにしたとき、HD SDI A・B、モニター出力、ビューファインダー出力、リモコン出力、LCD出力画像およびP2カードへの記録は、FILM-RECガンマ特性の画像（NEGA LOOK画像）になります。この機能を動作させることにより、各出力画像のうち、モニター出力画像、ビューファインダー出力画像、リモコン出力画像、LCD出力画像を、コントラストの高い画像（POSI LOOK画像）に変換することが可能です。

■ P-10LOG

フィルム制作用DI（DIGITAL INTERMEDIATE）のワークフローに適した映像信号のデータフォーマットを選択することができます。2D-CMS（2次元カラーマネージメントシステム）により演色性を高めています。Dual Link（RGB 4:4:4）出力信号に対して有効です。ただしP2カードへの記録には反映されません。

■ シネマトグラファー設定

フィルム制作によく使用するメニュー項目のみを限定してまとめ、USER MENUに登録してあります。また、各メニュー項目をフィルム制作に適した値に設定しています。

再生・記録部の特長

■ マルチスロット記録機能

P2カードスロットを5つ装備しています。P2カードを5枚まで装填して連続記録できるほか、メモリーカードならではの新しい記録機能を実現しています。

● ホットスワップREC機能

記録中でも他のカードが交換できるホットスワップ機能を装備しています。カードを順次交換し続けることで連続記録が可能になります。

● LOOP REC機能

指定した記録領域内で順次ループ記録することにより常に過去一定時間の収録を保持することができます。

● INTERVAL REC/ONE SHOT REC機能

最短1フレーム間隔で間欠記録を行う機能を搭載しています。

特に科学・自然番組の撮影に効果を発揮します。また、ワンショット記録を使用すれば、ひとコマ撮りが簡単にできます。

● PRE RECORDING機能

スタンバイ状態でカメラに入る映像・音声を8秒まで常時メモリーしていますので、PRE RECORDING機能をONにすれば、記録をスタートした時点から、設定した秒数をさかのぼって記録されます。決定的な瞬間の撮り逃しをリカバリーできます。

● プロキシ記録機能 (AJ-YAX800G装着時)

別売のビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G) を装着することによって、本機で撮影した本素材の映像音声とは別に、MPEG4形式の映像記録と、タイムコードデータなどのリアルタイムメタデータをP2カードおよびSDメモリーカードに同時記録できます。クリップ確認や編集作業に効果的です。

なお、SDメモリーカードへのプロキシ記録時間の目安については「SDメモリーカードのプロキシ (オプション) 記録時間のめやす」(12ページ)を参照してください。また<SDメモリーカード使用上の注意>(24ページ)も参照してください。

● データの保護

P2カードのデータはファイル消去やカードの初期化を行わない限り上書きによって消去することはありません。収録はカードの空き領域のみに行われます。

■ AVC-Intra100/AVC-Intra50/DVCPRO HD

スイッチャブル

映像は、最新の圧縮技術を採用したコンポーネントデジタル記録方式で圧縮し、音声は、S/N・周波数帯域・波形特性・微細部分の再現特性などに優れた非圧縮のPCM記録を採用。一層の高画質化、高音質化を実現しています。

また、AVC-Intra100/AVC-Intra50のほかにDVCPRO HDを選択することが可能です。本機はフレーム内圧縮を行っています。

◆ NOTE:

メニューで選択したものと異なるフォーマットのクリップを再生するとき、フォーマットの切替のため映像が乱れる場合がありますが、故障ではありません。

■ 全フォーマット4chデジタルオーディオ収録

全フォーマットで、4チャンネルデジタルオーディオ収録が可能です。ただし、Native記録のVFR時は除きます。

■ クリップサムネール機能

● サムネールの自動生成

記録カット (クリップ) ごとのサムネール画像を自動生成します。これはノンリニア編集やサーバーへのアップ後だけでなく、本機でも利用できます。

● LCDモニターへのサムネール表示

本機側面に装備された3.5型カラー液晶モニターに、クリップサムネールを12画マルチスクリーン表示が可能です。また拡大6画面も選択可能です。選択したクリップへ瞬時にアクセスして再生できます。

● 選択クリップのシームレス再生

複数のクリップをサムネール画面から指定して、シームレスな映像として連続再生・送付が可能です。

◆ NOTE:

記録フォーマットが異なるクリップ間を連続再生する場合、シームレス再生ができません。

● クリップ情報の表示

クリップを選択して、録画した時間やテキストメモ、ショットマーク、メタデータなどのクリップに付加された情報を確認することができます。

■ テキストメモ&ショットマーク

各クリップには、サムネールをタイムコードに関連づけて付けられるテキストメモや、OKカット/NGカットなどの区別を容易にするショットマークを付加することができます。

どちらも収録中はもちろん、収録後にクリップを選択して行うこともでき、収録後の作業をサポートします。また、テキストメモ区間単位でのコピー機能を利用すると、1つのクリップから必要な部分だけを抜き出すことができます。

FRONT 音声レベル調整ボリューム機構搭載

本機の前面部に、音声記録レベルの微調整用ボリュームを装備しています。特に、一人での撮影時における音声レベルの調整に有効です。なお、このボリュームを無効にする事も可能です。(18 ページ参照)

Unislot ワイヤレス内蔵機構対応

本機は、別売りのスロットインワイヤレスレシーバーに対応した構造になっております。(120、196 ページ参照) 2チャンネル方式のワイヤレスレシーバーにも対応可能です。

REC REVIEW 機能

記録した最後の約2～10秒間を、自動的に戻って再生しますので、記録内容の確認を速やかに行うことができます。

タイムコードジェネレーター/リーダー内蔵

専用のサブコード領域にタイムコード情報を記録し、再生することができます。

メタデータ対応

本機は、メタデータのUMID情報として、GPSユニットAJ-GPS910G(別売品)からの位置情報(緯度・経度・標高)を記録する事が可能です。また、SDメモリーカードにあらかじめ登録した撮影者名やリポーター名、プログラム名などの情報を記録することが可能です。クリップの情報管理としても有効です。なおSDメモリーカードについては<SDメモリーカード使用上の注意>(24ページ)も参照してください。

記録時間

本機で動作検証済みP2カードは以下の通りです。

- ・AJ-P2C004HG (4 GB)
- ・AJ-P2C008HG (8 GB)
- ・AJ-P2C016RG (16 GB)
- ・AJ-P2C032RG (32 GB)
- ・AJ-P2C064AG (64 GB)

(カードの品番および容量は2008年11月時点でのものです。大容量化などにより変更する場合があります) また、AJ-P2C002SG(2 GB)は使用できません。

P2カードの記録時間：32GBカード1枚使用時

映像方式	記録方式と記録時間		
	DVCPRO HD	AVC-Intra100	AVC-Intra50
1080/59.94i / 50i	約32分	約32分	約64分
1080/30PN / 25PN (Native)	—	約32分	約64分
1080/24PN (Native)	—	約40分	約80分

◆ NOTE:

- 16 GBのP2カードは上記の各値を1/2に、8 GBのP2カードは1/4に換算してください。

- 本機で8 GB以上のP2カードを使用した場合、1回の連続記録時間が一定量(下表に示す時間)を越えると、自動的に別のクリップとして記録を継続します。このようなクリップはP2機器でサムネール操作(表示、削除、修復、コピーなど)を行う場合、1つのクリップとして操作可能です。ただしノンリニア編集ソフトやパーソナルコンピュータなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

記録方式 (Nativeを除く)	連続記録時間
DVCPRO HD	約5分
AVC-Intra100	
AVC-Intra50	約10分

SDメモリーカードのプロキシ(オプション)記録時間のめやす(24P Nativeモードを除きます)

カード品番 (容量)	MPEG4記録レート		
	192 kbps	768 kbps	1500 kbps
RP-SDH256 (256 MB)	約2時間 17分	約35分	約19分
RP-SDH512 RP-SDK512 (512 MB)	約4時間 27分	約69分	約38分
RP-SDQ01G RP-SDK01G (1 GB)	約8時間 56分	約2時間 19分	約77分
RP-SDQ02G RP-SDK02G (2 GB)	約18時間 11分	約4時間 44分	約2時間 37分
RP-SDV024G (SDHC 4 GB)	約35時間 42分	約9時間 18分	約5時間 12分

(連続して記録した場合の当社製品での参考値です。記録時間はシーンやクリップ数によって異なります)

8 GB、16 GBのSDHCカードの場合は上記4 GBの各値をそれぞれ2倍、4倍に換算してください。

P2カード、およびSDメモリーカードについて、取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

入出力部の特長

■独立3系統HD SDI出力標準装備

HD SDI A・B端子とMON OUT端子から出力されるHD SDI信号はそれぞれ独立しています。
HD SDI出力にはエンベディッドオーディオなどが重畳されています。

■Dual Link対応

本機はHD SDI A端子とHD SDI B端子を用いてDual Link対応が可能です。HD SDI A端子からLink A、HD SDI B端子からLink Bが出力されます。
P2カードへの記録はYPbPr 4:2:2信号となり、Dual Linkの信号形式はRGB 4:4:4となります。

■USB2.0端子 (HOST/DEVICE) 搭載

外部パーソナルコンピューターなどとUSB2.0で接続し、本機に挿入したP2カードをマスタストレージとして扱うことが可能です。
また、USBホスト機能を搭載し、USB2.0で接続された外部ハードディスクにP2カードのデータを保存したり、ハードディスクに保存されているクリップの閲覧やP2カードへの書き戻しが可能です。

■ダウンコンバーター出力標準装備

MON OUT端子はダウンコンバーター信号（アナログコンポジット信号）が出力されます。
また、MON OUT端子の出力信号はHD SDIまたはVBS信号に切り替えることができます。

■リモートコントロール端子

別売のリモートコントロールユニット（AJ-RC10G）を接続すると、本機をリモート制御することが可能になります。（123ページ参照）

■リターンビデオ信号の確認

本機のGENLOCK IN端子に供給されたリターンビデオ信号（アナログHD-Y信号）をビューファインダーで確認することが可能です。プログラムの確認に使用することが可能です。
同じ記録フォーマットの映像信号だけが確認できます。ただし、23.98PsF、24PsF信号の確認はできません。（190ページ参照）

■DC OUT端子

本機のDC OUT端子からは、1.5 Aの電流を取り出すことが可能です。
この端子に外部スイッチを接続すると、RECスタート/ストップの制御が可能になります。
また、LEDを接続すると、タリーランプとして使用することが可能になりますので、クレーン上にカメラを配置しての撮影時などに便利です。（125ページ参照）

その他の特長

■ビューファインダー接続

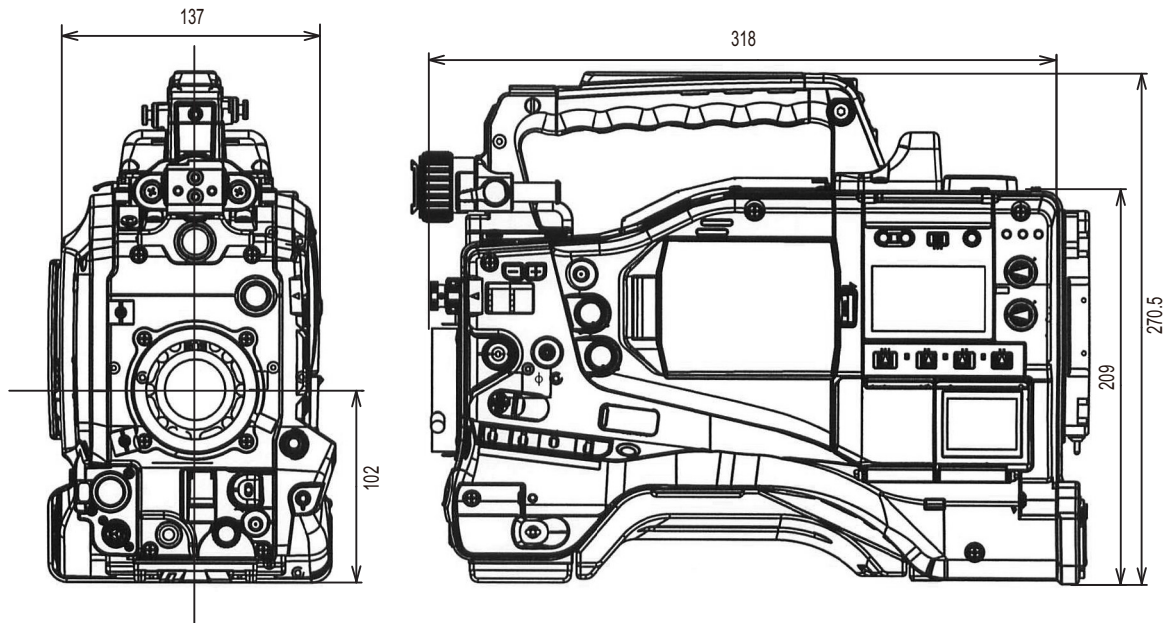
本機のビューファインダー接続コネクタからは、1080/59.94i または 1080/50i の信号が出力されています。
別売のビューファインダー（AJ-HVF21G）を接続することで、マルチフォーマットに対応した映像を確認することが可能になります。（30ページ参照）

■ユーザーボタン

本機の側面には、5個のユーザーボタン（USER MAIN/USER 1/USER 2/MARKER SELECT/TEXT MEMO）が配置されています。
各ユーザーボタンには、スロットセレクトやYゲットなど本機の多くの機能の中から、使用頻度の高い機能のON/OFFを簡単に割り付けることができます。（60ページ参照）

寸法図

単位：mm

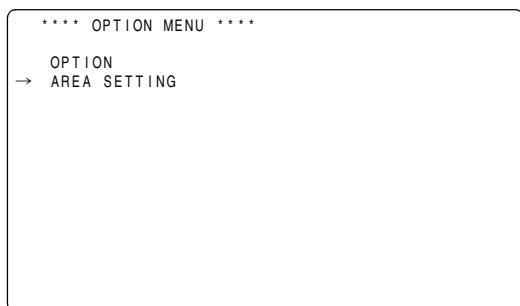


ご使用地域への設定 (フレーム周波数等の設定)

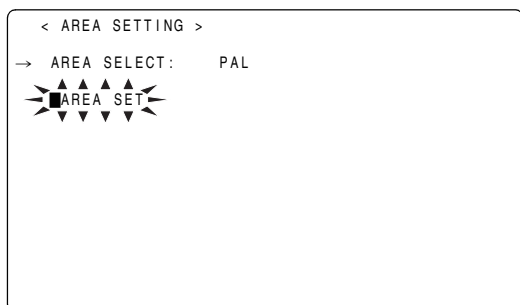
本機は使用地域が未設定の状態出荷されています。本機をご使用になる際には、下記手順でご使用地域のフレーム周波数に設定を変更してください。

1 本機に電源を接続して電源をONにした後、LIGHTボタンを押しながら、MENUボタンを押してください。OPTION MENU画面が現れます。

2 JOGダイヤルボタンを回し、OPTION MENUページの<AREA SETTING>画面でAREA SELECT項目にカーソル(矢印)を移動させ、JOGダイヤルボタンを押してください。



3 JOGダイヤルボタンを回し、NTSC/NTSC(J)/PALの中から使用する地域を選択してください。地域を選択した後、JOGダイヤルボタンを押します。



4 JOGダイヤルボタンを回し、カーソル(矢印)を■ AREA SETに移動させ、JOGダイヤルボタンを押します。下記画面が現れます。



5 YESに→を移動させ、JOGダイヤルボタンを押します。**3**で選択した設定がFACTORYおよびCURRENTデータに反映されます。

6 本機の電源をいったんOFFして、再度、電源を投入してください。

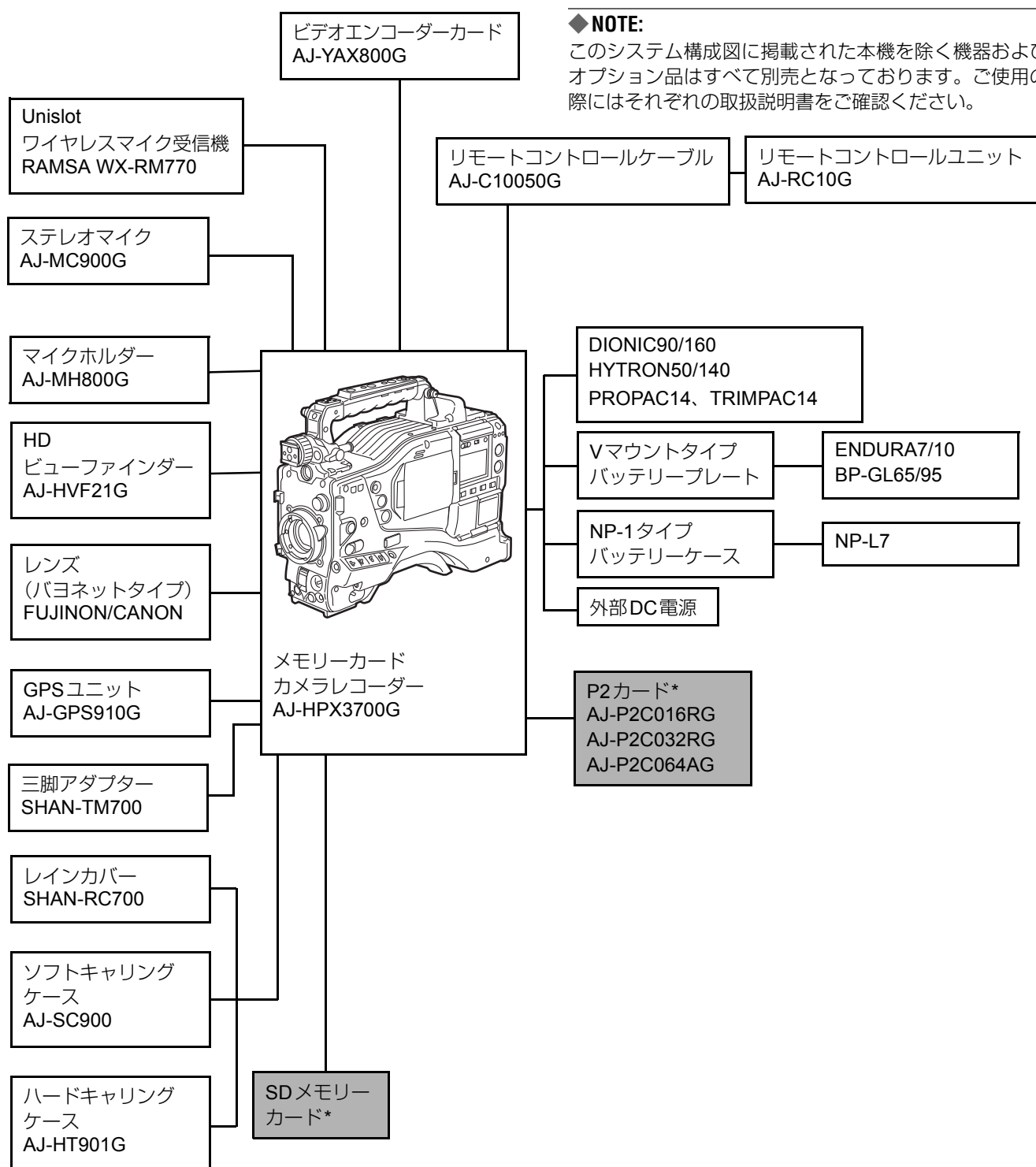
◆ NOTE:

- AREA SELECTでNTSC/NTSC(J)/PALを設定しても、AREA SETを実行しないと、設定は確定されません。
- AREA SELECTを変更すると「■ AREA SET」が点滅します。
- 本機を初めてご使用の状態での設定を行なうと、本機は下記の8項目のみ変更されます。MAIN MENUで本機の各種設定を行なっている場合、下記8項目以外のMENU設定値は工場出荷状態となります。

	工場出荷状態	NTSC	NTSC(J)	PAL
SYSTEM MODE	1080-59.94i	1080-59.94i	1080-59.94i	1080-50i
REC FORMAT	AVC-I 100 /24PN	AVC-I 100 /24PN	AVC-I 100 /24PN	AVC-I 100 /25PN
FRAME RATE	24FRAME	24FRAME	24FRAME	25FRAME
USR SW F.RATE	24FRAME	24FRAME	24FRAME	25FRAME
REAR LINE IN LVL	+4dB	+4dB	+4dB	0dB
AUDIO OUT LVL	+4dB	+4dB	+4dB	0dB
HEADROOM	20dB	20dB	20dB	18dB
GUIメタデータ言語表示	アメリカ英語	アメリカ英語	日本語/日本向け	アメリカ英語
LANGUAGE*1	非表示	非表示	ENGLISH JAPANESE	非表示
DATE FORMAT*2	M-D-Y	M-D-Y	Y-M-D	D-M-Y

*1 サムネールメニューから META DATA → LANGUAGE と選択してください。詳しくは「メタデータの表示言語設定」(139ページ)を参照してください。
*2 サムネールメニューから THUMBNAIL → SETUP → DATA FORMATと選択してください。詳しくは「サムネールの表示設定」(142ページ)を参照してください。

システム構成

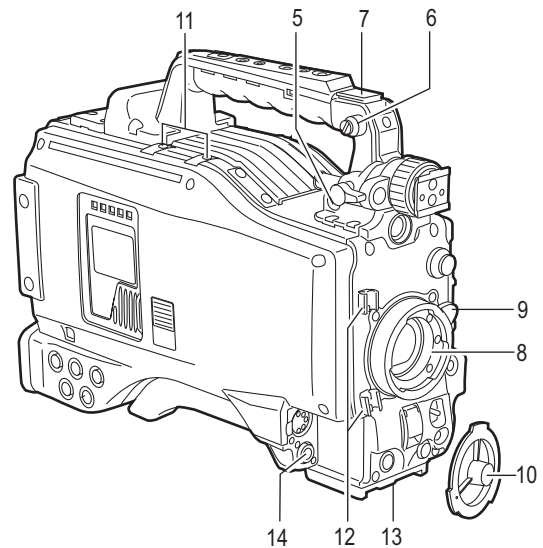
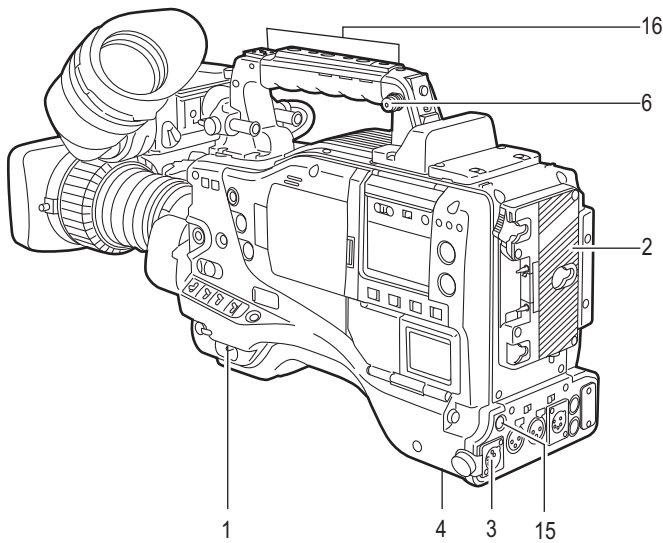


* P2カード、およびSDメモリーカードについて、取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

各部の名称と機能

電源部およびアクセサリ取り付け部



1. POWERスイッチ

電源をON/OFFするスイッチです。

2. バッテリマウント

アントン・パワアー製のバッテリーパックを取り付けます。

3. DC IN (外部電源入力) 端子 (XLR、4P)

外部DC電源と接続します。

4. BREAKERスイッチ

何らかの異常で、本機内部に過大な電流が流れると、ブレーカーが動作して電源が自動的に切れ、機器を保護します。本機内部の点検および修理を行った後、このボタンを押し込んでください。異常がなければ、再び電源が入ります。

5. GPS端子

別売のGPSユニットAJ-GPS910Gからのコネクタを接続します。

6. ショルダーベルト取付金具

ショルダーベルトを取り付けます。

7. ライトシュー

ビデオライトなどを取り付けます。

8. レンズマウント (バヨネット2/3型)

レンズを取り付けます。

9. レンズ固定レバー

レンズをレンズマウントに取り付けたあと、レバーを締めてレンズを固定します。

10. レンズマウントキャップ

9. レンズ固定レバーを押し上げて、キャップを取り外します。レンズを取り付けていないときは、キャップをはめ込んでおきます。

11. ライトケーブルクランプ

ライトケーブルを固定するためのクランプです。

12. レンズケーブル/マイクロホンケーブルクランプ

レンズケーブルやマイクロホンケーブルを固定するためのクランプです。

13. 三脚マウント

本機を三脚に固定するとき、別売品の三脚アダプター (SHAN-TM700) を取り付けます。

14. LENS端子 (12ピン)

レンズの接続コードをつなぎます。ご使用になるレンズについての詳しい説明は、レンズの取扱説明書をお読みください。

15. DC OUT (DC電源) 出力端子

DC 12 Vの出力端子です。最大1.5 Aの電流を取り出すことができます。

この端子に外部スイッチを接続すると、RECスタート/ストップの制御が可能になります。またLEDを接続すると、タリーランプとして使用することが可能です。詳しくは「DC OUT 端子と外部 REC スタート/ストップスイッチの接続」(125ページ)を参照してください。

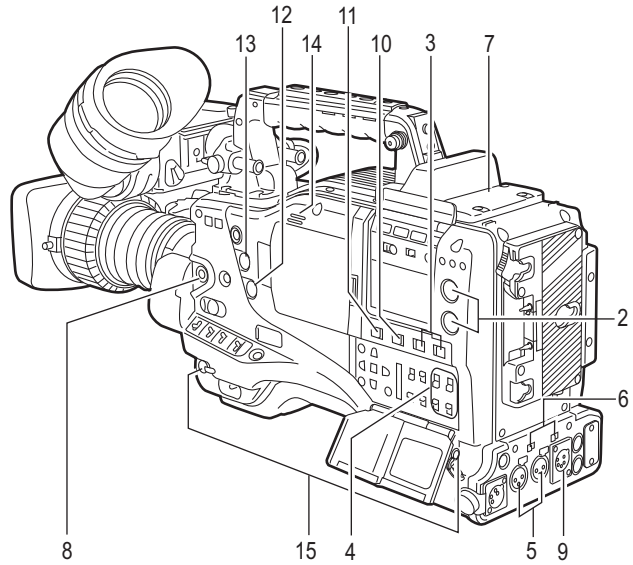
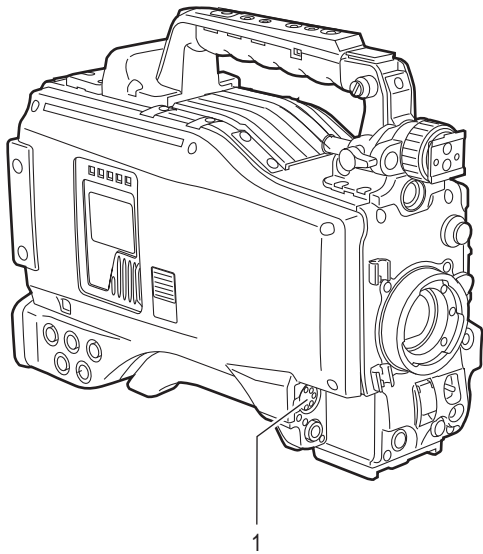
◆ NOTE:

DC OUT、REMOTE、VF、LENSの各端子から取り出す電流の合計が、2.5 Aを超えないようにしてください。

16. アクセサリ取り付け穴 (ハンドル)

アクセサリを取り付けます。アクセサリ取り付けの用途以外には使用しないでください。

音声機能部 (入力系)



1. MIC IN (マイク入力) 端子 (XLR、5ピン)

マイクロホン (別売品) を接続します。マイク用の電源はこの端子から供給され、ファントムマイクが使用可能です。ただし使用する際には、FRONT MIC POWER項目で、電源をONに設定してください。各項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO2>画面から選択します。

2. AUDIO LEVEL CH1/CH2 (音声チャンネル1/2録音レベル調整) つまみ

3.AUDIO SELECT CH1/CH2 スイッチを「MAN」にすると、これらのつまみで音声チャンネル1/2の録音レベルが調整できます。

なお、つまみのロック機構を設けていますので、調整する時はつまみを押し込みながら回して調整してください。

3. AUDIO SELECT CH1/CH2 (音声チャンネル1/2自動/手動レベル調整切り替え) スイッチ

音声チャンネル1/2の録音レベルを調整する方法を選びます。

AUTO : 自動調整をします。

MAN : 手動調整をします。

4. AUDIO IN (音声入力切り替え) スイッチ

音声チャンネル1/2/3/4に録音する入力信号を選びます。

FRONT : 1.MIC IN端子に接続したマイク入力信号を録音します。

W.L. (WIRELESS) :

スロットインワイヤレスからの入力信号を録音します。

REAR : 5.AUDIO IN CH1/CH2端子に接続したオーディオ機器からの音声入力信号を録音しません。

◆ NOTE:

ステレオマイク (AJ-MC900G・別売品) を使用する場合、CH1、CH2の両方を「FRONT」にしてください。L CHはCH1に、R CHはCH2にそれぞれ記録されます。

5. AUDIO IN CH1/CH2 (音声入力チャンネル1/2) 端子 (XLR、3ピン)

オーディオ機器または、マイクロホンを接続します。

6. LINE/MIC/+48V (ライン入力/マイク入力/マイク入力+48V) 切り替えスイッチ

5.AUDIO IN CH1/CH2端子に接続した音声入力信号を切り替えます。

LINE : ライン入力するオーディオ機器からの音声入力信号

MIC : 内部電源供給方式のマイクからの音声入力信号 (本体からファントムマイク用の電源を供給しません)

+48V : 外部電源供給方式のマイクからの音声入力信号 (本体からファントムマイク用の電源を供給します)

7. ワイヤレススロット

Unislot ワイヤレスレシーバー (別売品) を取り付けることができます。

8. FRONT AUDIO LEVEL (音声録音レベル調整) つまみ

音声チャンネル1および2の録音レベルが調整できます。ただし3.AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチの位置が「AUTO」のときは自動調整になり、このつまみと2.AUDIO LEVEL CH1/CH2つまみは動作しません。

なお、FRONT VR CH1項目とFRONT VR CH2項目で、このつまみの操作を、有効にするか無効にするかを設定できます。各項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO1>画面から選択します。

音声機能部（出力系）

9. AUDIO OUT端子（XLR、5ピン）

音声チャンネル1/2、または音声チャンネル3/4に記録された音声信号を出力します。

出力される信号は、10.MONITOR SELECT（音声チャンネル選択）CH1/2／CH3/4切り替えスイッチで選択します。

10. MONITOR SELECT（音声チャンネル選択）

CH1/2／CH3/4切り替えスイッチ

スピーカー、イヤホンおよびAUDIO OUT端子に出力される音声チャンネルを切り替えます。

CH1/2： 音声チャンネル1および2の信号を出力します。

CH3/4： 音声チャンネル3および4の信号を出力します。

また、このスイッチに連動して、表示窓とビューファインダー内のオーディオレベルメーターのチャンネル表示が切り替わります。

11. MONITOR（音声選択）CH1/3／ST／CH2/4

切り替えスイッチ

MONITOR SELECTスイッチに連動して、スピーカー、イヤホンおよびAUDIO OUT端子からの音声出力を選択します。

CH1/3： 音声チャンネル1か、音声チャンネル3の信号を出力します。

ST： 音声チャンネル1と2のステレオ音声信号か音声チャンネル3と4のステレオ音声信号が出力されます。なおメニュー設定で、ステレオ音声をMIX信号に変更が可能です。

CH2/4： 音声チャンネル2か、音声チャンネル4の信号を出力します。

MONITOR スイッチ	MONITOR SELECTスイッチ	
	CH1/2	CH3/4
CH1/3	音声チャンネル1	音声チャンネル3
ST	音声チャンネル1と2のステレオ*	音声チャンネル3と4のステレオ*
CH2/4	音声チャンネル2	音声チャンネル4

* MONITOR SELECT項目でSTEREOかMIXの切り替えが可能です。MONITOR SELECT項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO2>画面から選択します。

12. MONITOR（音量調整）つまみ

モニタースピーカーやイヤホンの音量を調節します。

13. ALARM（警告アラーム音量調節）つまみ

14.スピーカー、または15.PHONES端子に接続したイヤホンからの警告アラーム音量を調節します。

最小の位置にすると、警告アラームは聞こえません。

14. スピーカー

記録中はEE 音声を、再生中は再生音をモニターできます。

警告ランプや警告表示の点滅・点灯にあわせて警告アラームを出します。

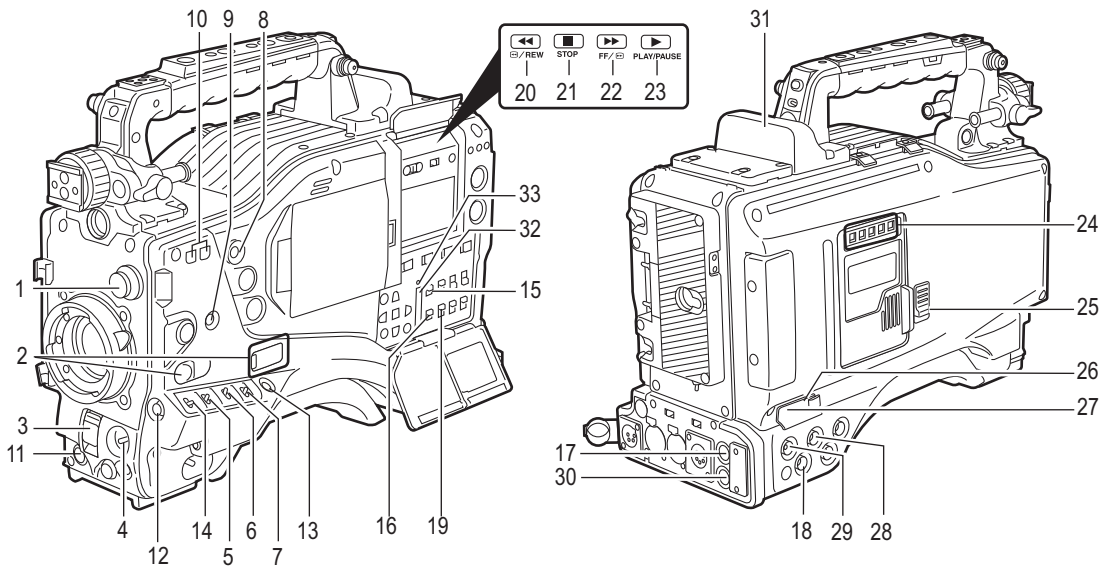
15.PHONES端子にイヤホンを接続すると、スピーカーからの音は自動的に切れます。

15. PHONES（イヤホン）端子（ミニジャック）

オーディオモニター用イヤホン（ステレオ）端子です。イヤホンを接続すると、スピーカーからの音声は自動的に切れます。

出力する音声は両端子（フロント側、リア側）とも同じです。

撮影・記録/再生機能部



1. CC/ND FILTER (フィルター切り換え) つまみ

被写体の照度や色温度に合わせてフィルターを選択します。

CC FILTER つまみ (外形、大径)

A : 3200 K B : 4300 K
C : 5600 K D : 1/2 ND

ND FILTER つまみ (内形、小径)

1 : CLEAR (素通し) 2 : 1/4 ND
3 : 1/16 ND 4 : 1/64 ND

CC FILTERでD (1/2 ND) を選択すると、ND FILTERとの組み合わせで1/2 ND~1/128 NDを選択することができます。

撮影条件	CCフィルター	NDフィルター
日の出、日没、スタジオ内	A (3200 K)	1 (CLEAR)
晴天の屋外	B (4300 K) または C (5600 K)	2 (1/4 ND) または 3 (1/16 ND)
曇天・雨天の屋外	C (5600 K)	1 (CLEAR) または 2 (1/4 ND)
雪景色、高い山、海辺など、澄み切っていて明るい景色	B (4300 K) または C (5600 K)	3 (1/16 ND) または 4 (1/64 ND)

2. USER MAIN、USER 1/USER 2ボタン

メニュー操作で、ユーザーが選択した機能をそれぞれのボタンに割り付けることができます。ボタンを押すことで、割り付けられた機能が動作します。詳しくは「USERボタンへの機能割り付け」(60ページ)を参照してください。

3. SHUTTERスイッチ

電子シャッターのON/OFF切り替えスイッチです。

OFF : 電子シャッターは動作しません。

ON : 電子シャッターが動作します。

SEL : 電子シャッターの速度を変更するときに、使用します。

このスイッチは、跳ね返りスイッチになっています。操作することにより、シャッタースピードが変化します。詳しくは、「電子シャッターの設定」(57ページ)の内容を参照してください。

4. AUTO W/B (WHITE/BLACK) BALスイッチ

AWB : ホワイトバランスを自動調整します。

側面のWHITE BALスイッチを「A」または「B」の位置にして、このスイッチを操作すると、調整された値がメモリーに記録されます。ただし、「PRST」の位置のときは動作しませんのでご注意ください。

ABB : ブラックバランスを自動調整します。

◆ NOTE:

ホワイトバランスやブラックバランスの自動調整を行っているときに、再度「AWB」側や「ABB」側に切り替えると、それぞれの自動調整を中止します。このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

5. GAIN (ゲイン切り替え) スイッチ

撮影時の照明の状態に合わせて、映像アンプのゲインを切り替えます。

L、M、Hの設定に対するゲイン値は、あらかじめ設定メニューで指定します。

出荷時の設定はL = 0 dB、M = 3 dB、H = 6 dBです。

6. OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチ

カメラ部からメモリー記録部、ビューファインダー、ビデオモニターへ出力する映像信号の選択スイッチです。

CAM/AUTO KNEE ON :

カメラで撮影している映像が出力されます。AUTO KNEE回路が動作します。

また、AUTO KNEE 機能の代わりにDRS (ダイナミックレンジストレッチャー) 機能を割り付けることも可能です。

CAM/AUTO KNEE OFF :

カメラで撮影している映像が出力されます。MANUAL KNEEになります。

BARS :

カラーバー信号が出力されます。AUTO KNEE回路は動作しません。

カラーバー信号は、3種類の中から選択することができます。詳しくは「SW MODE」(190ページ)を参照してください。

AUTO KNEE 機能

高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやけてしまいます。このようなときにAUTO KNEE 機能を動作させると、背景がくっきりと再現できます。AUTO KNEE 機能は次のような場面の撮影に効果を発揮します。

- ・晴天時に日陰の人物を撮るとき
- ・車内または屋内の人物と窓越しの屋外の風景を同時に撮影したいとき
- ・コントラストの強い場面を撮るとき

7. WHITE BAL (ホワイトバランスメモリー切り替え) スイッチ

ホワイトバランスの調整方法を切り替えます。

PRST : ホワイトバランスを調整する時間がないときなどは、この位置に設定します。工場出荷時は、3200Kに設定しています。また、メニュー設定で任意の色温度に変更が可能です。詳しくは「マニュアルでの色温度の設定」(55ページ)を参照してください。

AまたはB :4.AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押しすとホワイトバランスが自動的に調整され、調整値がメモリー A、またはメモリー Bに記憶されます。詳しくは「ホワイトバランスの調整」(53ページ)を参照してください。

8. MODE CHECK ボタン

このボタンを押すごとに、カメラの設定状態として6つの画面表示 (STATUS画面表示、!LED画面表示、FUNCTION画面表示、AUDIO画面表示、CAC画面表示、USER SW画面表示) がビューファインダー上で順番に切り替わります。

カメラの出力信号には影響ありません。

表示は約5秒で消えます。

選択された画面が表示されている際、このボタンを押し続けるとその間表示が継続されます。

9. MARKER SELECT ボタン

ビューファインダー画面のマーカ情報表示を切り替えます。メニューで設定されたA、Bの2種類のマーカ情報表示画面を、このボタンを押すごとにA(Aマーカ表示) → B(Bマーカ表示) → OFF(マーカ表示なし)と切り替えます。なお、電源ON時は電源OFFする直前の状態が表示します。

詳しくは「マーカ確認画面の表示(MARKER SELECT ボタン機能)」(87ページ)を参照してください。

また、メニュー設定でUSER3ボタンとして使用することができます。USERボタンについて、詳しくは「USERボタンへの機能割り付け」(60ページ)を参照してください。

10. SYNCHRO SCAN調整スイッチ

3.SHUTTER スイッチを「ON」にし、シンクロスキャンが選択されているときに有効です。

シンクロスキャンのスピードを調整するスイッチです。-のスイッチを押すとシャッタースピードが遅くなり、+のスイッチを押すとシャッタースピードが速くなります。

パソコンモニターを撮影する場合などでは、ビューファインダー内の横バーノイズが少なくなる位置に調整してください。

このボタンは、VFR時にフレームレートを変更する際にも使用できます。

11. REC START ボタン

押すと記録が始まり、再度押すと記録が停止します。

このボタンは、レンズ側のVTRボタンと同じ働きをします。

12. SHOT MARKER/MENU CANCEL ボタン

記録中に押すと、そのクリップのサムネイルにショットマークをつけることができます。また液晶モニターでサムネイルを選択し、このボタンを押してショットマークをつけることもできます。

ショットマークについて、詳しくは「ショットマーク機能」(49ページ)を参照してください。

またメニュー表示中は、変更した設定値をキャンセルするボタンとして動作します。

13. TEXT MEMO ボタン

記録/再生中、または再生の一時停止中に押すと、テキストメモを記録できます。

また、メニュー設定でUSER4ボタンとして使用することができます。USERボタンについて、詳しくは「USERボタンへの機能割り付け」(60ページ)を参照してください。

14. SAVE ON/OFF スイッチ

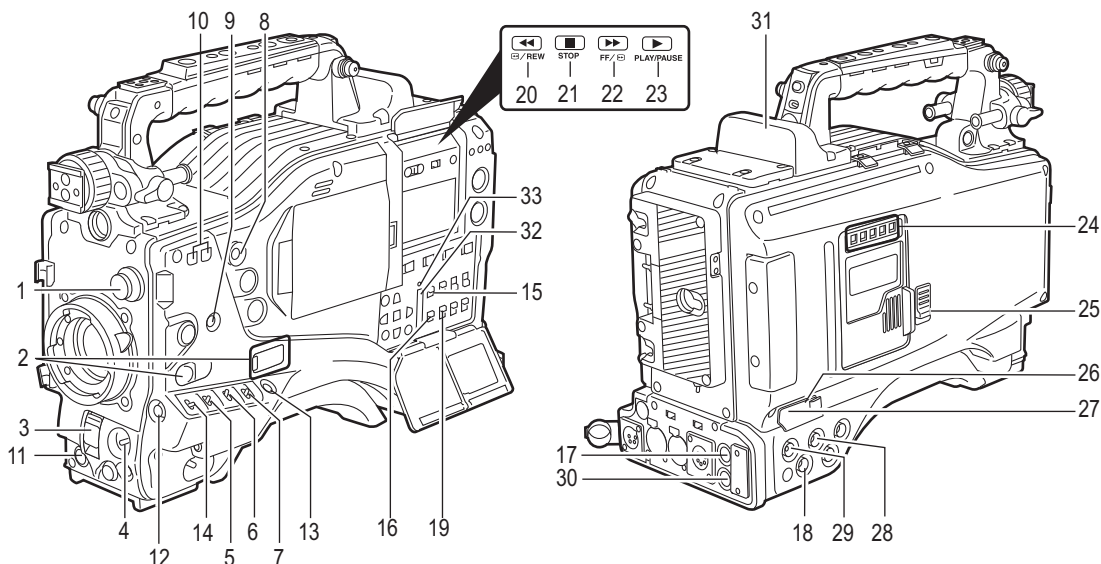
出力各部の電源供給状態を切り替えます。

ON : SAVE SW項目で選択した出力をパワーセーブします。SAVE SW項目はSYSTEM SETTINGページの<OPTION MODE>画面から選択できます。

OFF : パワーセーブを解除します。

◆ NOTE:

記録中は、このスイッチを切り替えても動作しません。記録終了後に状態が切り替わります。



15. HD SDI A・B (出力信号切り替え) スイッチ

HD SDI A・B 端子から出力する信号のモードを切り替えます。

- MEM**：記録時や記録一時停止中はカメラ映像を出力し、再生時はP2カードの再生信号を出力します。
- CAM**：常にカメラ映像を出力します。
- OFF**：映像出力を停止します。電力削減モードとなります。

なお、音声出力も映像に同期します。映像出力の種類は、「HD SDI A・B 端子から出力する信号の設定」(89 ページ) および「MON OUT 端子から出力する信号の設定」(90 ページ) を参照してください。

16. MON OUT CHARACTER スイッチ

MON OUT 端子から出力される映像へのキャラクターの重畳を制御します。

- ON**：キャラクターを重畳します。
- OFF**：キャラクターを重畳しません。

なおキャラクターの種類は、「MON OUT 端子から出力する信号の設定」(90 ページ) を参照してください。

17. HD SDI A 端子

映像の出力端子です。15.HD SDI A・B (出力信号切り替え) スイッチに連動した映像が出力されます。Dual Link 出力時は Link A 信号を出力します。

◆NOTE:

Dual Link (RGB 4:4:4) 出力時、HD SDI A 端子からは再生時もカメラ映像が出力されます。

18. MON OUT (モニター出力) 端子

モニター用映像の出力端子です。ダウンコンバート (アナログコンポジット信号) と HD SDI 信号を切り替えて出力できます。19.MON OUT SEL (出力信号切り替え) スイッチに連動した映像が出力されます。ただし、キャラクターの重畳は、HD SDI A・B 端子とは独立に内部の MENU で設定が可能です。詳しくは、「MON OUT 端子から出力する信号の設定」(90 ページ) を参照してください。

19. MON OUT SEL (出力信号切り替え) スイッチ

MON OUT 端子の出力信号を切り替えます。

- MEM**：記録時や記録一時停止中はカメラ映像を出力し、再生時はP2カードの再生信号を出力します。
- CAM**：常にカメラ映像を出力します。
- OFF**：映像出力を停止します。電力削減モードとなります。

なお、音声出力も映像に同期します。映像出力の種類は、「HD SDI A・B 端子から出力する信号の設定」(89 ページ) および「MON OUT 端子から出力する信号の設定」(90 ページ) を参照してください。

◆NOTE:

- 記録中にこのスイッチを切り替えても、記録動作を停止するまで、出力信号が切り替わりません。
- MONITOR OUT 項目を“VBS”に設定した場合、1080/24PsF では輝度信号のみが出力されます。MONITOR OUT 項目は SYSTEM SETTING ページの <OUTPUT SEL> 画面から選択できます。

20. REW (早戻し) ボタン/ランプ

停止中に押すと高速逆再生になります。このときランプが点灯します。再生中に押すと約4倍速の高速逆再生になります。PLAY ランプと REW ランプが点灯します。また、再生の一時停止状態のときに押すと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態 (頭出し状態) になります。

21. STOP (停止) ボタン

再生を停止するときに押します。

22. FF (早送り) ボタン/ランプ

停止中に押すと高速再生になります。このときランプが点灯します。再生中に押すと約4倍速の高速再生になります。PLAY ランプと FF ランプが点灯します。また、再生の一時停止状態のときに押すと、次クリップの先頭で一時停止した状態 (頭出し状態) になります。

23. PLAY/PAUSE (再生/一時停止) ボタン

ビューファインダー画面上やカラービデオモニターを使って、再生画像を見るときに押します。再生中はランプが点灯します。

再生中に押すと、再生モードでの一時停止 (PLAY/PAUSE) となりランプが点滅します。

24. P2カードアクセスLED

各カードの記録、再生のアクセス状況を表示します。

25. スライドロックボタン

P2 カード挿入部のスライドとびらを開くボタンです。このボタンを押し下げながら、スライドとびらを左に引いて開けます。

26. USB 2.0端子 (DEVICE)**27. USB 2.0端子 (HOST)**

USB 2.0ケーブルを接続します。

PC MODE 項目を "ON" に設定していると、USB 2.0を使ったデータ転送が可能になります。また、このとき本機での記録・再生や、クリップの操作は制限されます。PC MODE 項目は、SYSTEM SETTING ページの <SYSTEM MODE> 画面から選択できます。詳しくは「USB2.0端子での接続機能」(147ページ) を参照してください。

28. GENLOCK IN 端子

カメラ部に GENLOCK をかける時、またはタイムコードを外部ロックする時に、HDのY信号を入力します。なお、基準信号としてコンポジット信号を入力することも可能です。また、本機のダウンコンバーター出力 (コンポジット信号) のサブキャリアを外部ロックさせることはできません。

◆ NOTE:

HD-Y信号を入力し、かつRET SW項目で "CAM RET" を選択しているとき、ビューファインダー画面でリターンビデオ映像が確認できます。RET SW 項目は、CAM OPERATION ページの <SW MODE> 画面から選択できます。

29. HD SDI B 端子

映像の出力端子です。15.HD SDI A・B (出力信号切り替え) スイッチに連動した映像が出力されます。17.HD SDI A端子と同一の信号が出力されます。Dual Link出力時はLink B信号を出力します。

◆ NOTE:

Dual Link (RGB4:4:4) 出力時、HD SDI B 端子からは再生時もカメラ映像が出力されます。

30. REMOTE (リモートコントロール) 端子

リモートコントロールユニットAJ-RC10G (別売品) を接続します。

31. オプションスロット

ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) を装着します。装着方法、およびプロキシ記録機能については、AJ-YAX800Gの取扱説明書をご覧ください。

32. SDメモリーカード挿入部

SDメモリーカード（別売品）の挿入口です。SDメモリーカードは、カメラの設定メニューやレンズファイルの記録/呼び出し、メタデータのアップロードや、プロキシ記録（オプション）などで使用します。

<SDメモリーカード使用上の注意>

本機には、SD規格またはSDHC規格に準拠したSDメモリーカードを入れてご使用ください。

マルチメディアカードは、使用できません。（撮影することができなくなることがありますのでご注意ください）

また、mini SDを本機で使用する場合は、必ず、mini SD専用のアダプターを装着してご使用ください。（mini SDアダプターのみを本機に挿入すると正常に動作しません。アダプターには、必ずメモリーカードを入れてご使用ください）

当社製のSDメモリーカードおよびmini SDカードをご使用いただくことをおすすめします。またフォーマットは、必ず本機で行ってください。

本機では、以下の容量のSDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードが使用できます。

SDメモリーカード	8 MB、16 MB、32 MB、64 MB 128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、 2 GB
SDHCメモリーカード	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB

なお、プロキシ（オプション）を記録する場合は、「High Speed」などの表示がある256 MB、512 MB、1 GB、2 GBのSDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードをご使用ください。

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

- SDHCカードは、2006年にSDアソシエーションにより策定された、2 GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。
- SDカードロゴは、登録商標です。
- MMC（MultiMediaCard）は、Infineon Technologies AG社の登録商標です。

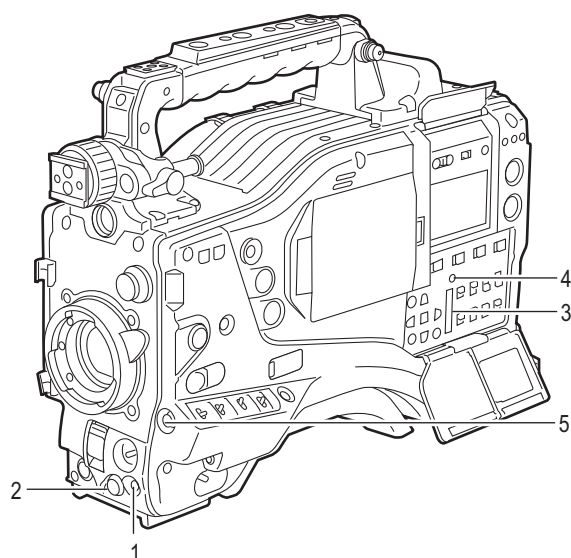
33. BUSY（動作状態表示）ランプ

SDメモリーカードの動作状態を表示するランプです。動作時に点灯します。

◆ NOTE:

ランプ点灯時にはカードを出し入れしないでください。

メニュー操作部



1. MENU ボタン

メニューのON/OFF切り替えボタンです。

2. SELECT (JOGダイヤル) ボタン

メニューを開いている状態で、メニューのページ移動、項目の選択や設定を行います。
メニューの操作方法については、「メニュー構成」(165ページ)を参照してください。

3. SDメモリーカード挿入部

SDメモリーカード(別売品)の挿入口です。メニューデータやレンズファイルの書き込み/保存をするとき使します。

4. BUSY (動作状態表示) ランプ

SDメモリーカードの動作状態を表示するランプです。動作時に点灯します。

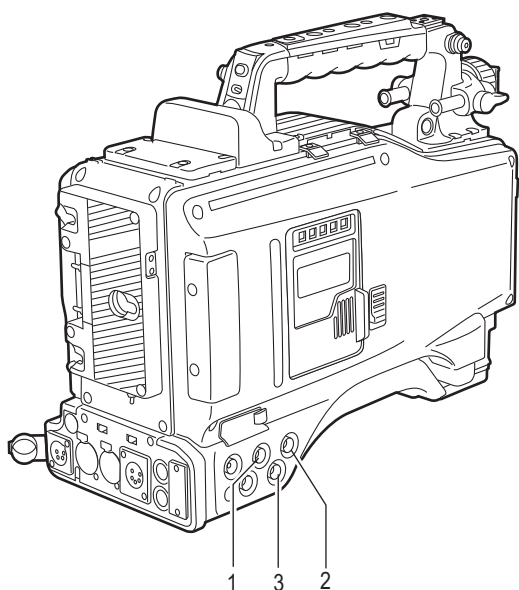
◆ NOTE:

ランプ点灯時にはカードを出し入れしないでください。

5. SHOT MARKER/MENU CANCEL ボタン

メニュー項目設定を変更している途中で押すと、変更前の値に戻すことができます。

タイムコード関連部



1. GENLOCK IN 端子 (BNC)

カメラ部に GENLOCK をかける時、またはタイムコードを外部ロックする時に基準信号を入力します。

2. TC IN 端子 (BNC)

タイムコードを外部ロックするときに、基準となるタイムコードをこの端子に入力します。

3. TC OUT 端子 (BNC)

外部機器のタイムコードを、本機のタイムコードにロックさせるときに、外部機器のタイムコード入力 (TC IN) 端子と接続します。

◆NOTE:

入力するタイムコードは、必ず本機のシステムモードと同じフォーマットにしてください。

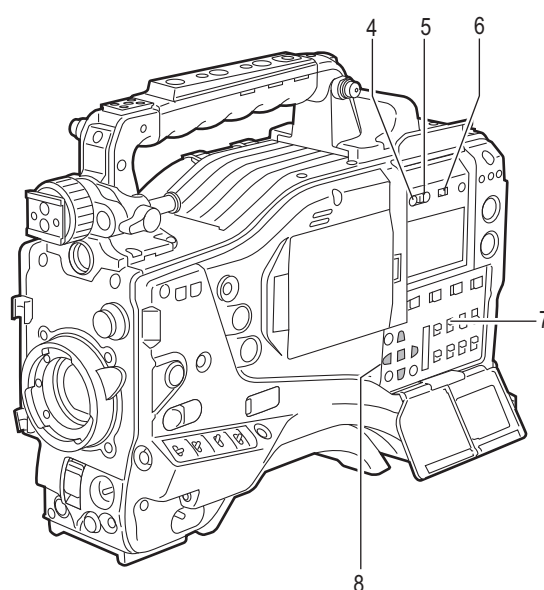
4. HOLD ボタン

押した瞬間に、カウンタ表示部のタイムデータ表示が保持されます。ただし、タイムコードジェネレーターは歩進し続けます。再度押すと、保持状態が解除されます。あるシーンを撮影したタイムコード、またはCTLを知りたいときなどに使用します。

5. RESET ボタン

カウンタ表示部のタイムデータ (CTL) を "00:00:00:00" にリセットします。

また、7.TCGスイッチを「SET」の位置にして、このボタンを押すと、タイムコードデータ、ユーザーズビットデータをそれぞれ0にリセットし、リアルタイムデータを初期値に戻します。



6. DISPLAY (カウンタ表示切り替え) スイッチ

このスイッチと7.TCG スイッチ設定位置に応じて、CTL、タイムコード、ユーザーズビットを表示窓のカウンタ表示部に表示させます。また、4.HOLD ボタンを押すと、DATE/TIME/タイムゾーンを表示することもできます。

UB : ユーザーズビット/DATE/TIME/タイムゾーンを表示します。

TC : タイムコードを表示します。

CTL : CTLを表示します。

7. TCG (タイムコード切り替え) スイッチ

内蔵タイムコードジェネレーターの歩進モードを設定します。

F-RUN : P2カード記録の操作に関係なく、連続してタイムコードを歩進させるときに使用します。

タイムコードを時刻に合わせたり、タイムコードを外部ロックさせるときなどに、この位置にします。

SET : タイムコードやユーザーズビットを設定するときに使用します。

R-RUN : 記録中のみにタイムコードを歩進させるときに使用します。
つなぎ撮りをしたP2カード上のタイムコードは、連続して記録されます。

◆NOTE:

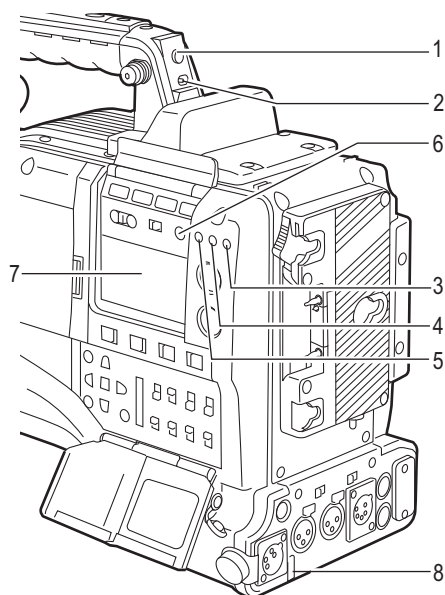
ネイティブ記録時にVFRを行った場合、F-RUNに設定していてもR-RUN固定で動作します。

8. カーソル・SET ボタン

タイムコードやユーザーズビットの設定に使用します。4つの三角形のボタンがカーソルボタンで、中心の四角形のボタンがSETボタンです。

タイムコード、ユーザーズビットの設定方法については「タイムデータの設定」(64 ページ)を参照してください。

警告/状態表示部



7. 表示窓

メモリー記録部に関する、警告・バッテリー残量・音声レベル・タイムデータなどを表示します。

◆ NOTE:

バッテリーを装着したままにしていると、電源をOFFにしても、各データを表示します。表示を消し、バッテリーの消耗を抑えるときは MAIN OPERATION ページの<TC/UB>画面にあるP.OFF LCD DISPLAY項目を“OFF”に設定してください。

8. リアタリーランプ

2. バックタリースイッチを「ON」に設定すると、バックタリーランプと同様に動作します。

1. バックタリーランプ

2. バックタリースイッチを「ON」に設定すると、ビューファインダーのフロントタリーランプと同じ動作をします。

2. バックタリースイッチ

1. バックタリーランプと8. リアタリーランプの働きをコントロールします。

ON: バックタリーランプとリアタリーランプが動作します。

OFF: バックタリーランプとリアタリーランプが動作しません。

3. WARNING ランプ

メモリー記録部に何らかの異常が発生すると、点滅または点灯します。

4. USB ランプ

本機がUSBモードのときに点灯します。

5. ACCESS ランプ

記録/再生時、P2カードにアクセスしているときに点滅します。また、記録可能なカードが挿入されているときは点灯します。

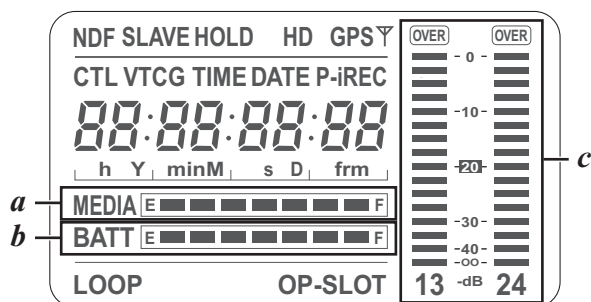
6. LIGHT ボタン

表示窓の照明をコントロールします。

押すごとに7. 表示窓の照明の点灯/消灯を切り替えます。

表示窓内表示

P2カード・バッテリー残量、音声レベルの表示



a: MEDIA 残量表示バー

P2カード残量を7個のセグメントで表示します。1個のセグメントが示すP2カード残量時間は、CARD REMAIN/■項目で3分または5分に設定します。設定された時間ごとに、セグメントが1個ずつ消えていきます。CARD REMAIN/■項目は、MAIN OPERATIONページの<BATTERY/P2CARD>画面から選択できます。

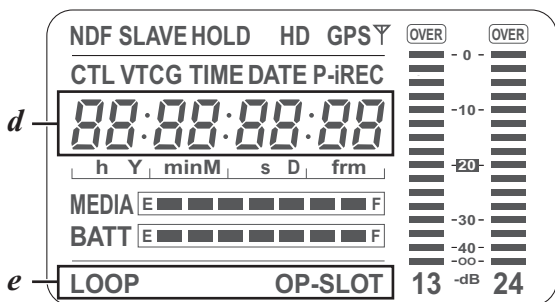
b: BATT (バッテリー) 残量表示バー

デジタル表示(%表示)のバッテリーを使用した場合、バッテリー残量が70%以上のときにFの位置までセグメントが7個点灯します。バッテリー残量が70%未満より10%減るごとに、セグメントが1個ずつ消えます。MAIN OPERATIONの<BATTERY/P2CARD>画面のBATT REMAIN FULL項目で“100%”を選択すると100%でセグメントを7個点灯する設定にすることも可能です。

c: 音声チャンネルレベルメーター

MONITOR SELECT CH1/2/CH3/4スイッチを「CH1/2」に設定すると、音声チャンネル表示数字1と2を表示し、CH1とCH2の音声レベルを表示します。「CH3/4」に設定すると、音声チャンネル表示数3と4を表示し、CH3とCH4の音声レベルを表示します。

メモリー記録部の動作/状態に関する表示

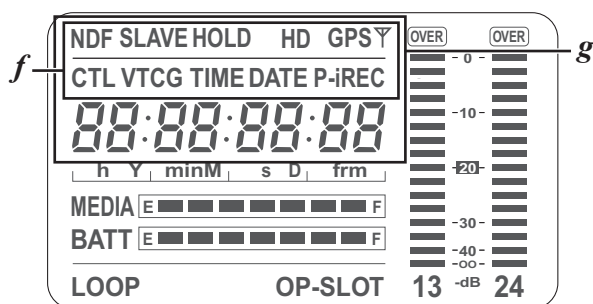


d: エラーコード表示 (詳しくは「警告システム」(160ページ)をご覧ください)

e: 情報表示

LOOP: LOOP RECモード時に点灯します。LOOP RECモードについては「LOOP REC 機能」(44ページ)を参照してください。

OP-SLOT: オプションスロットでビデオエンコーダーカードなどが動作しているときに点灯します。



f: モード表示

HD: HDモードで動作中に点灯

GPS: GPS動作中、GPSの電波を受信できていないときに点灯

GPS Y: GPS動作中、GPSの電波を受信しているときに点灯

P-REC: PRE REC MODE項目の設定がONのときに点灯し、記録のタリランプ消灯後、記録継続中は点滅

iREC: INTERVAL RECモードで記録中は点灯し、記録待機中は点滅します。

i: INTERVAL RECモードを選択中に点滅します。

g: タイムコードに関する表示

NDF: タイムコードがノンドロップフレーム時に点灯

DF: タイムコードがドロップフレーム時に点灯

SLAVE: タイムコードが外部ロック時に点灯

HOLD: タイムコードジェネレーター/リーダー値をホールドした時に点灯

CTL: DISPLAYスイッチで「CTL」を選択し、CTLカウント値を表示しているときに点灯

TCG: DISPLAYスイッチで「TC (もしくはUB)」を選択し、TC (もしくはUB) ジェネレーター値を表示時に点灯

TC: DISPLAYスイッチで「TC (もしくはUB)」を選択し、TC (もしくはUB) リーダー値を表示時に点灯

VTCG: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、VIUB ジェネレーター値を表示時に点灯

VTC: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、VIUB リーダー値を表示時に点灯

TIME: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、リアルタイムの時分秒値を表示時に点灯

DATE: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、リアルタイムの年月日値を表示時に点灯

無表示: DISPLAYスイッチで「UB」を選択し、リアルタイムのタイムゾーン時分値を表示時は、VTCG、TIME、DATEは消灯します。

タイムカウンター表示:

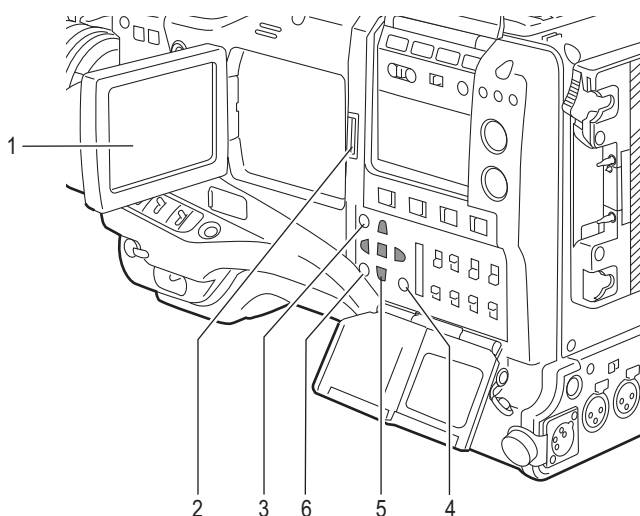
タイムコード、ユーザーズビット、CTL、リアルタイムを表示

◆ NOTE:

DISPLAYスイッチでUBを選択時、HOLDボタンを押すごとに、VTCG (VTC) → DATE → TIME → 無表示 (タイムゾーン) → TCG (TC) を繰り返します。

DISPLAYスイッチの位置	TCGスイッチの位置	表示項目
CTL	SET	タイムコード
	F-RUN または R-RUN	CTL
TC	F-RUN/SET/ R-RUN	タイムコード
UB		ユーザズビット またはリアルタイム、 タイムゾーン

液晶モニター部



1. 液晶モニター

ビューファインダー内の映像を表示します。
また、P2カードのクリップを、サムネイル表示することもできます。
サムネイル表示時は、4.MENU（サムネイルメニュー）ボタンや5.カーソル・SETボタンを使って、クリップの操作や削除、またP2カードのフォーマットなどができます。

2. OPENボタン

液晶モニターを開くときに使用します。

3. THUMBNAILボタン

1.液晶モニターの映像を、ビューファインダー内の映像からクリップのサムネイル表示に切り替えます。もう一度押しと元のビューファインダー内の映像に戻ります。ただし、記録・再生中には切り替わりません。

4. MENU（サムネイルメニュー）ボタン

サムネイル表示中に押しとサムネイルメニューを表示し、クリップの削除などが可能になります。

5. カーソル・SETボタン

4つの三角形のボタンがカーソルボタンで、中心の四角形のボタンがSETボタンです。
サムネイルの選択やサムネイルメニューの操作に使用します。詳しくは「クリップのサムネイル操作」（126ページ）を参照してください。

6. EXITボタン

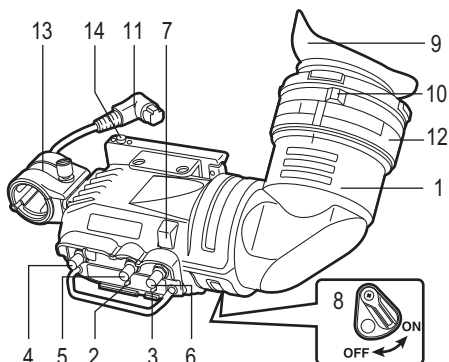
サムネイルメニューやプロパティ画面を表示中、表示を前の状態に戻すときに使用します。

ビューファインダー部

本機には下記のビューファインダー（別売品）が使用できません。

HDビューファインダー：

AJ-HVF21G（59.94/50 Hz切り替え）



1. ビューファインダー（別売品）

記録・再生中に、白黒の映像を見ることができます。本機の動作状態や設定に関する警告表示・メッセージ・ゼブラパターン・マーカ（セーフティゾーンマーカ、センターマーカ）なども見ることができます。

2. ZEBRA（ゼブラパターン）スイッチ

ビューファインダー内にゼブラパターンを表示させます。

ON： ゼブラパターンを表示します。

OFF： ゼブラパターンは表示しません。

3. タリースイッチ

7. フロントタリーランプをコントロールします。

HIGH： フロントタリーランプが明るくなります。

OFF： フロントタリーランプが消灯します。

LOW： フロントタリーランプが暗くなります。

4. PEAKING（ピーキング）つまみ

ピントを合わせやすくするために、ビューファインダー内の映像の輪郭を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

5. CONTRAST（濃淡）つまみ

ビューファインダー内の画面の濃淡を調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

6. BRIGHT（明るさ）つまみ

ビューファインダー内の画面の明るさを調整します。カメラの出力信号には影響ありません。

7. フロントタリーランプ

3. タリースイッチが「HIGH」または「LOW」の位置のときに動作し、撮影中に点灯します。また、ビューファインダー内の REC ランプと同様に点滅し、警告表示も行います。

点灯時の明るさは、TALLY スイッチ（「HIGH」または「LOW」）で切り替えることができます。

8. バックタリーランプ

撮影中に点灯します。また、ビューファインダー内の REC ランプと同様に点滅し、警告表示も行います。レバーを「OFF」側にすると、バックタリーランプが隠れます。

9. アイピース

◆ NOTE:

アイピースを太陽に向けたままにしないでください。内部の機器が損傷する恐れがあります。

10. 視度調整リング

カメラマンの視度に合わせて、ビューファインダー画面の映像が最もはっきり見えるように調整します。ビューファインダーの視度調整範囲は以下の通りです。

品番	視度調整範囲
AJ-HVF21G	-0.9 D～4.4 D

遠視用の接眼レンズについては、販売店にご相談ください。

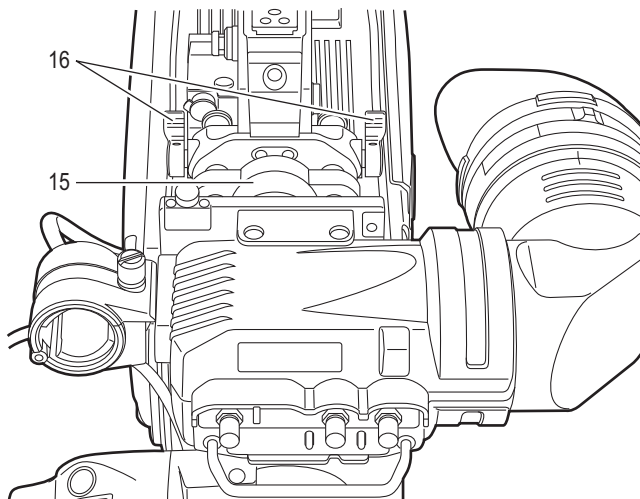
11. 接続プラグ

12. ロックリング

13. マイクホルダー

14. ビューファインダーストッパー

ビューファインダーの取り付け、取り外しに使用します。



15. ビューファインダー左右位置固定リング

ビューファインダーの左右の位置を調整するとき使用します。

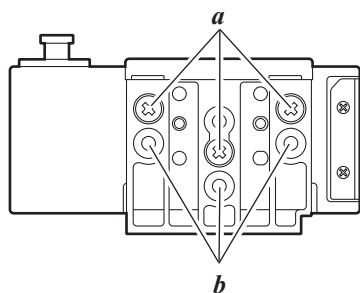
16. ビューファインダー前後位置固定レバー

ビューファインダーの前後の位置を調整するとき使用します。

◆ NOTE:

詳しくは、ビューファインダーの取扱説明書を参照してください。

大型レンズ取り付け時に、レンズ上面とビューファインダー底面との間に余裕がない場合、ビスを付け替えることによって、スライドレールの位置をやや上寄りにすることができます。



a: 通常のビス止め位置

b: ビス3個を付け替えて、こちらに固定することでスライドレールの位置が約8 mm上側になります。

記録と再生

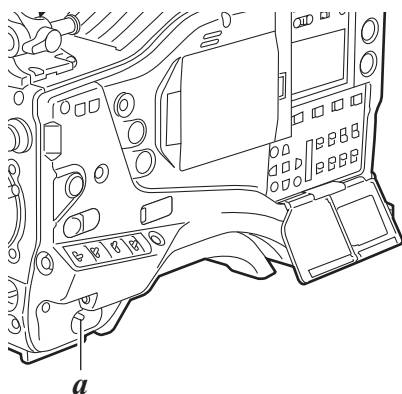
P2カードについて

P2カードを入れる

◆NOTE:

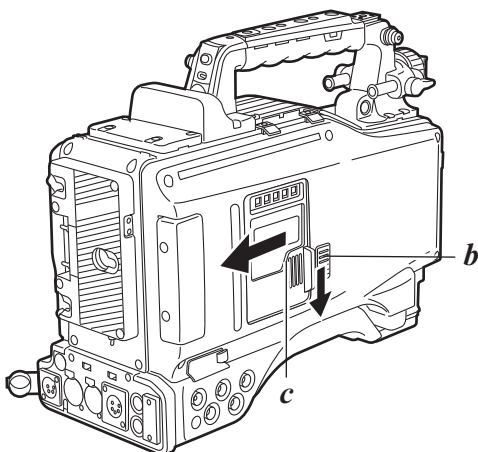
本機を最初に使用する時には、必ずタイムデータの設定を先に行ってください。タイムデータの設定方法については「タイムデータの設定」(64 ページ)を参照してください。

- 1 POWERスイッチをONにします。



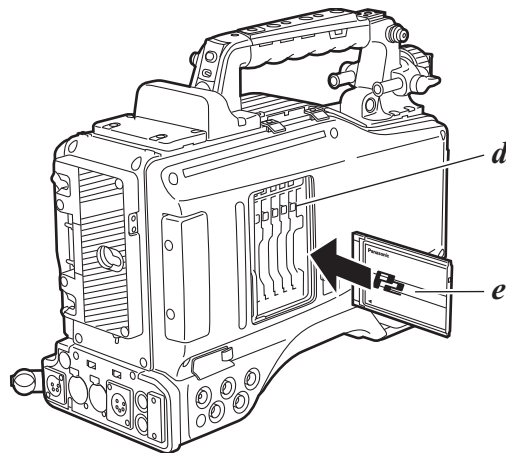
a. POWER: ON

- 2 スライドロックボタンを押し下げながら、スライドとびらを左に引きます。スライドとびらが開きます。



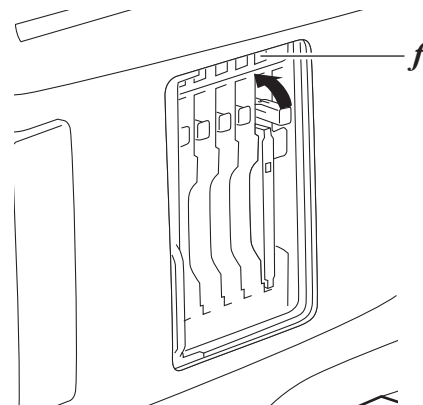
b. スライドロックボタン
c. スライドとびら

- 3 P2カードスロットにP2カードを挿入し、イジェクトボタンが飛び出てくるまで押し入れます。



d. イジェクトボタン
e. カードのロゴが正しく見える方向に挿入します。

- 4 飛び出たイジェクトボタンを上にも倒します。



f. P2カードアクセスLED

- 5 本機にP2カードを挿入すると、スロットのP2カードアクセスLEDにP2カードの状態を表示します。P2カードの状態表示については、「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(33 ページ)を参照してください。

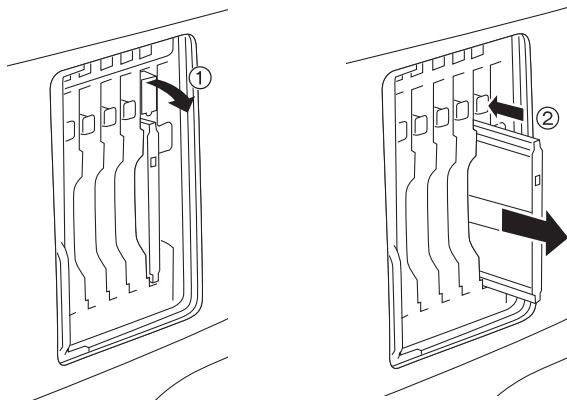
- 6 スライドとびらを閉めます。

◆NOTE:

スライドとびらを開いた状態のまま、本機を移動しないでください。

P2カードを取り出す

- 1 スライドロックボタンを押し下げながら、スライドとびらを左に引きます。
スライドとびらが開きます。
- 2 イジェクトボタンを下に倒します。
- 3 押しこむとP2カードが出てきますので、取り外してください。



- ①イジェクトボタンを下に倒します。
- ②倒したイジェクトボタンを押し込むと、P2カードが出てきます。

◆ NOTE:

- P2カードの故障の原因になりますので、アクセス中や、認識中（P2カードアクセスLEDがオレンジ色に点滅）に、P2カードは取り出さないでください。
ただし、P2カードアクセスLEDを点灯しない設定でご使用の場合は、記録/再生を停止したあと、PRE RECORDINGが終了していることを確認の上、取り出しを行ってください。
- 万が一、アクセス中のP2カードを取り出した場合、ビューファインダーに“TURN POWER OFF”と表示され、アラーム、WARNING LEDなどで警告表示を行います。また、P2カードアクセスLEDは、すべてオレンジ色の早い点滅となります。一度、電源を切ってください。警告表示について、詳しくは「警告システム」（160ページ）を参照してください。
- アクセス中に取り出されたP2カードは、クリップが不正確の状態になることがあります。クリップをご確認のうえ、修復を行ってください。クリップの修復について、詳しくは「クリップの修復」（135ページ）を参照してください。
- フォーマット中のP2カードを抜いた場合、抜いたP2カードのフォーマットは保証されません。また、このときビューファインダーに“TURN POWER OFF”と表示されます。一度電源を切り、再度ONしてから、P2カードのフォーマットをやり直してください。
- 再生中は、他のスロットにP2カードを挿入しても認識されず、P2カードアクセスLEDは点灯しません。再生が終了してから、P2カードの認識を始めます。
- 記録中、空きスロットにP2カードを挿入しても、下記の期間中はすぐに認識されません。
 - ◆ PRE RECORDINGの直後
 - ◆ 2つ以上のカードに連続記録（ホットスワップ記録）を行う場合の、記録するP2カードが切り替わる前後

<参考>

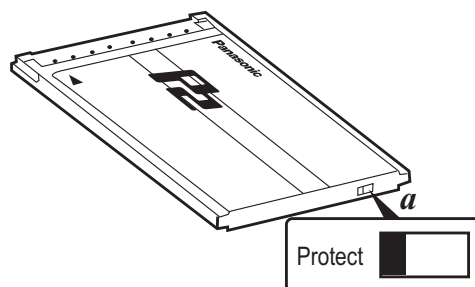
P2カードアクセスLEDは、SYSTEM SETTING ページの<OPTION MODE>画面のACCESS LED項目で、常に消灯する設定にできます。

誤消去を防ぐには

P2カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2カードのライトプロテクトスイッチを「Protect」側にします。

◆ NOTE:

ライトプロテクトスイッチは、記録中や再生中など、アクセス中に切り替えても、再生や記録を終了してアクセス状態が終わるまで機能しません。



a. ライトプロテクトスイッチ

P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について

P2カードアクセスLED	MODE CHECK表示*	P2カードの状態
緑色に点灯	ACTIVE	書き込み/読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	ACTIVE	書き込み/読み出しとも可能で、現在記録（LOOP RECを含む）の対象になっています。
オレンジ色の点滅	ACCESSING	現在、書き込み/読み出し中です。
オレンジ色の早い点滅	INFO READING	P2カードを認識中です。
緑色の遅い点滅	FULL	P2カードのメモリー残量がありません。読み出しのみ可能です。
	PROTECTED	P2カードのライトプロテクトスイッチが「Protect」側になっています。読み出しのみ可能です。
消灯	NOT SUPPORTED	本機では使用できないカードです。カードを交換してください。
	FORMAT ERROR	P2カードが正規のフォーマットをされていません。フォーマットをやり直してください。
	NO CARD	P2カードが挿入されていません。

* MODE CHECKはビューファインダー内に表示します。詳しくは「ビューファインダー画面の状態表示の構成」（78ページ）を参照してください。

なお、表示窓側にあるアクセスLEDは、スロット1～5のP2カードのいずれかが書き込み/読み出し中は点滅し、記録可能な場合は点灯します。どのP2カードも記録できない場合は消灯します。

P2カード記録データの取り扱いについて

P2カードはプロフェッショナル映像制作・放送用機器「DVCPRO P2シリーズ」の記録メディアに採用した、半導体メモリーカードです。

- DVCPRO P2フォーマットおよびAVC-Intraの記録データはファイル形式のため、PCとの親和性に優れていますが、そのファイル構造は独自フォーマットであり、MXFファイル化される映像、音声データだけではなく、様々な重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成で関連付けられています。

これらの情報が一部分でも変更、もしくは削除されると、P2データとして認識できない、もしくはP2カードがP2機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。

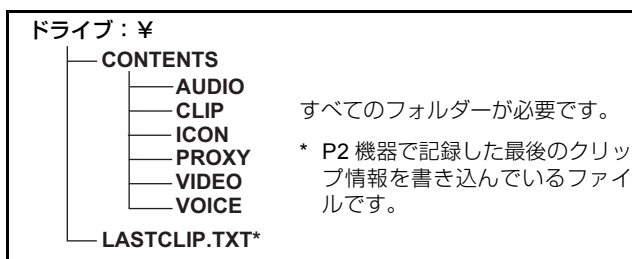
- P2カード内のデータをPCなどに転送したり、PCに格納したデータをP2カードに書き戻す際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用ソフトウェア「P2ビューアー」を下記ウェブサイトよりダウンロードし、お使いください。
(対応OS：Windows Vista/Windows XP)

<http://panasonic.biz/sav/>

- Microsoft Windows ExplorerやApple Finderなど、一般のITツールを使用してPCに転送する場合は、下記のように行ってください。
なお、P2カードへ戻す場合は、必ずP2ビューアーを使用してください。

- ◆ CONTENTSフォルダーとLASTCLIP.TXTファイルごとに行ってください。
CONTENTSフォルダー以下は操作しないでください。
コピーする際はCONTENTSフォルダーと同時に、LASTCLIP.TXTファイルも行ってください。
- ◆ 複数のP2カードをPCに転送する場合、同一クリップ名の上書きを防ぐため、P2カードごとにフォルダーを作成してください。
- ◆ P2カード内のデータ消去は行わないでください。
- ◆ フォーマットする場合は、必ずお使いのP2機器、もしくはP2ビューアーで行ってください。

- ◆ MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ◆ AppleおよびMacは、米国Apple, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。



基本手順

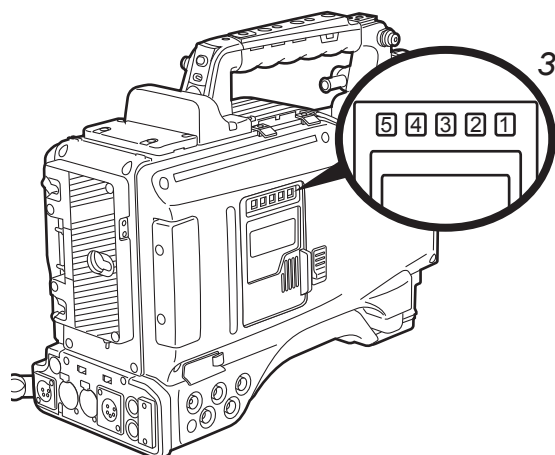
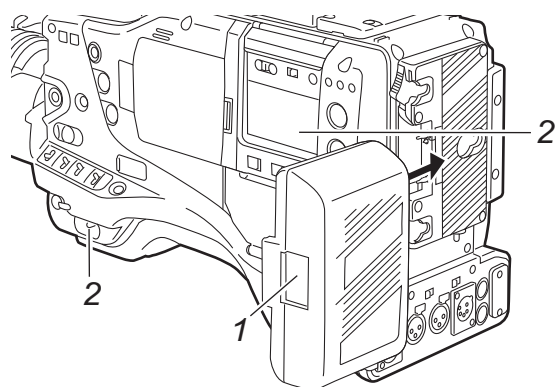
ここでは、撮影・記録に関する基本操作手順を説明します。実際に撮影に出発する際は、事前に点検を行って、システムが正常に機能することを確認してください。

* 点検のしかたについては、「撮影前の点検」(153 ページ)をお読みください。

電源の準備からP2カードを入れるまで

- 1 充電済みのバッテリーパックを入れます。
- 2 POWERスイッチをONにし、BATT (バッテリー) 残量表示バーが5個以上点灯していることを確認します。
 - BATT 残量表示バーが 5 個以上点灯していないときは、まずバッテリー設定を確認し、設定が正しければ完全に充電したバッテリーと交換します。
- 3 P2カードを挿入し、P2カードアクセスLEDがオレンジ色、または緑色に点灯しているのを確認して、スライドとびらを閉めます。
P2カードスロットに複数のP2カードが挿入されている場合、スロット番号の小さいP2カードから順番に記録されます。ただしP2カードを後から挿入すると、そのP2カードが記録対象になるのは、スロット番号にかかわらず、それまでに挿入されたP2カードより後になります。

例：5つのスロットすべてにP2カードを挿入すると、スロット番号1→2→3→4→5の順で記録対象のP2カードになります。しかし、一度スロット番号1のP2カードを取り出して再び挿入した場合、スロット番号2→3→4→5→1の順で記録対象のP2カードになります。



なお、電源をOFFした後も記録対象のP2カード番号は保持され、次に電源をONにしたときは、電源をOFFする前と同じP2カードに続けて記録できます。

◆ NOTE:

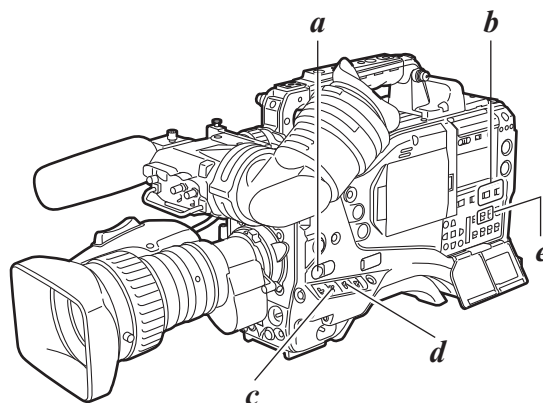
P.ON REC SLOT SEL 項目で“SLOT1”を選択すると、電源をONにするたびにスロット番号の小さいP2カードから順に記録します。

P.ON REC SLOT SEL 項目は、SYSTEM SETTING ページの<REC FUNCTION>画面で選択できます。

各スイッチ設定まで

電源を準備し、P2カードを入れた後、各スイッチを次のように設定してから操作を始めてください。

撮影・記録のためのスイッチの設定



- a. USER MAIN : VFR機能のON/OFF
- b. AUDIO SELECT CH 1/CH 2 : AUTO
- c. GAIN : 通常は0 dB。暗すぎるときには適切なゲインに設定します。
- d. OUTPUT : CAM/AUTO KNEE ONまたはOFF
- e. TCG : F-RUNまたはR-RUN

◆ NOTE:

- USER MAINボタンなどにSLOT SEL機能を割り当てると、複数挿入されたP2カードから、記録対象のP2カードを切り替えることができます。また、記録対象のP2カードが切り替わると、記録対象になったP2カードが挿入されたP2カードスロットの番号を、ビューファインダー内のP2カード残量表示部に表示します。ビューファインダー内の表示について、詳しくは、「ビューファインダー画面の状態表示の構成」(78 ページ)を参照してください。
- 記録中もSLOT SEL機能は有効です。記録対象のP2カード切り替えが完了するまでの間、ビューファインダーに“SLOT SEL”の表示が点滅します。なお、記録開始直後や記録対象のP2カード切り替えを行った直後などでSLOT SELが行えなかった場合は“SLOT SEL INVALID”と表示します。

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整から記録停止まで

撮影するには、以下の手順で操作します。

- 1 照明条件に合わせてフィルターを選びます。
- 2 ホワイトバランスがすでにメモリーされているとき
WHITE BALスイッチを「A」または「B」にします。

ホワイトバランスやブラックバランスがメモリーされておらず、ホワイトバランスを調整する時間のないとき
WHITE BALスイッチを「PRST」にします。
FILTERつまみの設定位置に応じて、フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

その場でホワイトバランスを調整するとき
WHITE BALスイッチを「A」または「B」にして画面中央で白い被写体を撮影し、次の手順でホワイトバランスを調整します。

1. AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押して、
ホワイトバランスを調整します。
2. AUTO W/B BALスイッチを「ABB」側に押して、
ブラックバランスを調整します。
3. AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押して、
再度ホワイトバランスを調整します。

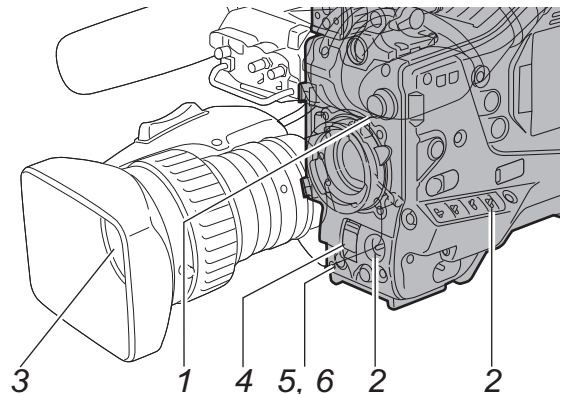
調整の仕方については、「ホワイトバランスの調整」
(53 ページ) および「ブラックバランスの調整」(56
ページ) を参照してください。

- 3 カメラを被写体に向け、フォーカスとズームを調整します。
- 4 電子シャッターを使用する場合は、シャッタースピード/動作モードを設定します。
詳しくは、「電子シャッターの設定」(57 ページ) をお読みください。
- 5 REC START ボタン、またはレンズのVTR ボタンを押して記録を開始します。
記録中は、ビューファインダー内のREC ランプが点灯します。
- 6 停止するときは、再度REC START ボタン、またはレンズのVTR ボタンを押します。
ビューファインダー内のREC ランプが消えます。

操作ボタンについて

記録中は、操作ボタン (REW、FF、PLAY/PAUSE、STOP) は動作しません。

ホワイトバランス/ブラックバランスの調整から記録停止まで



通常の記録

REC START ボタン、またはレンズのVTR ボタンを押すと、P2カードに映像・音声の記録を始めます。一回の撮影で生成される画像・音声、およびメタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータをクリップといいます。

通常記録と Native 記録

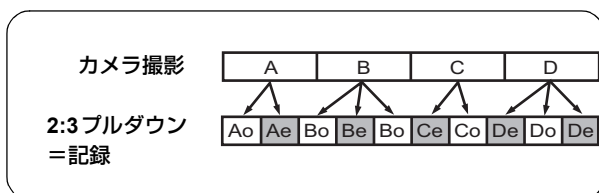
本機はカメラの撮影フレームレートのまま記録する Native 記録方式と、59.94 または 50 フレームにプルダウンして記録する通常記録方式が選択可能です。

通常記録（プルダウン記録）

24P（23.98P：以下24Pと表記）は2:3プルダウンし、30P（29.97P：以下30Pと表記）は2:2プルダウンしたまま59.94iとして記録します。また、25Pは2:2プルダウンしたまま50iとして記録します。1080iでは24PA（2:3:3:2アドバンスドプルダウン）にも対応しています。

なお、AVC-Intraでは、プルダウン記録に対応していません。

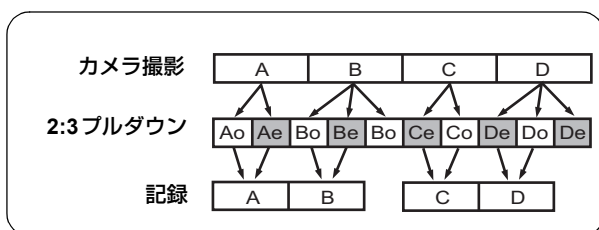
24P Over 60iの例



Native 記録

1080iのAVC-Intra記録で撮影のフレームレートに応じて、有効フレームのみを抜き出して記録する方式です。なお、Native 記録のときでも、カメラ映像の出力や再生映像の出力はプルダウンされた59.94 または 50 フレームになります。

1080/24PN（Native）の例



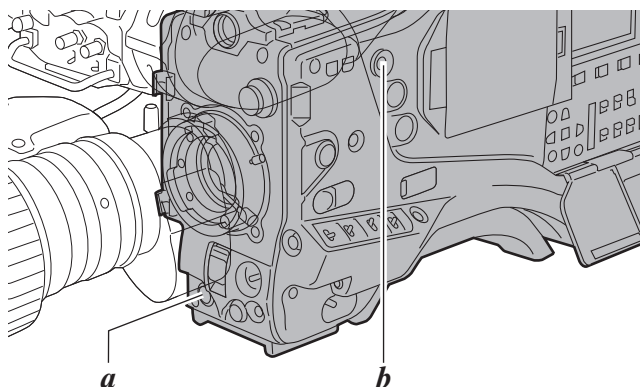
◆ NOTE:

● 24P/24PAのときは5フレーム周期、24PNative記録では4フレーム周期、25PのNative記録では2フレーム周期の先頭から記録が開始されます。そのため、記録周期の異なるモードのクリップに続けて記録すると、タイムコードが不連続になることがあります。

● P2カードを挿入後、あるいは電源をONした直後に記録を開始した場合でも、本機の内部メモリーを使用して記録が開始されます。この場合、P2カードの認識が終わるまで、記録を停止できません。

ただし挿入されたカードを、記録可能なP2カードではないと認識した場合は、その時点で内部メモリーの記録を破棄し、ビューファインダーに“CANNOT REC”と表示します。

P2カードの状態は、MODE CHECK ボタンを押し、ビューファインダーに表示されるP2CARD STATUSでご確認ください。



a. REC START ボタン
b. MODE CHECK ボタン

PRE RECORDING機能

本機の内部メモリーを利用して、カメラで撮影する映像、音声データを常に数秒間分蓄えておくことにより、REC START ボタン、またはレンズのVTR ボタンを押して記録を開始した時、その数秒前からの映像、音声を記録することができます。

本機能を使用するためには、メニュー操作で PRE REC MODE 項目を“ON”にする必要があります。内部メモリーへの蓄積時間は、同じくメニュー操作で PRE REC TIME 項目より設定が可能です。

PRE REC MODE 項目、および PRE REC TIME 項目は SYSTEM SETTING ページの <REC FUNCTION> 画面から選択できます。

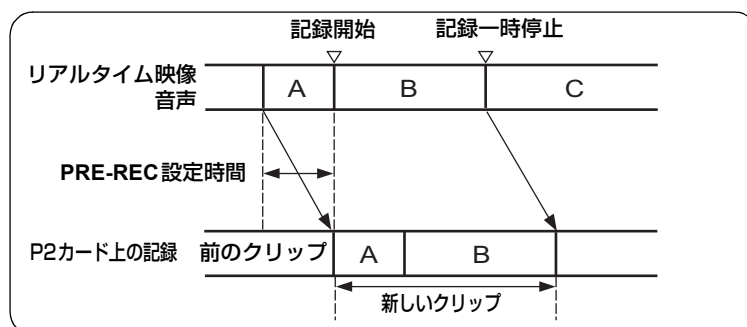
また、USER MAIN SW、USER1 SW、USER2 SW、MARKER SEL、TEXT MEMO SW 項目で PRE REC MODE 項目をそれぞれの USER ボタンに割り付けることができます。

各項目は、CAM OPERATION ページの <USER SW> 画面から選択できます。

以下が PRE REC TIME 項目の設定内容です。

1～8SEC (AVC-Intra100/50 または DVCPRO HD で記録時)

REC START ボタン、またはレンズのVTR ボタンを押してから、さかのぼって記録できる時間を設定します。



◆ NOTE:

● PRE REC MODE 項目を“OFF”に設定時の「P-REC」表示について

本機は PRE REC MODE 項目を“OFF”に設定していても、記録を停止した後、P2カードに完全に映像・音声を記録し終えるまでの間、「P-REC」表示を行います。

「P-REC」表示について、詳しくは「ビューファインダー画面の状態表示の構成」の「28.INTERVAL REC/PRE RECORDING 表示/SDメモリーカード残量」(83ページ)を参照してください。

- 電源 ON 直後や、メニュー操作で PRE REC TIME 項目を選択したり、設定時間を変えたりした直後は、内部メモリーの内容が不定になっていますので、操作後すぐに REC START ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押して記録を開始しても、設定時間どおりの映像・音声を記録はできません。
- P2カードをスロットに挿入した直後は、カードの認識に時間がかかりますので、挿入後すぐに REC START ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押して記録を開始しても、設定時間どおりの映像・音声を記録はできない場合があります。
- 再生やレックレビューを行っている間は、内部メモリーに映像・音声を蓄えないため、再生やレックレビューを行った間の映像・音声をさかのぼって記録することはできません。
- 記録を開始したとき、P2カードの認識が終了するまでの間、タイムコード (TCG) 表示がホールド表示になることがあります。
- Native VFR 記録時および INTERVAL REC 機能が動作中は、PRE RECORDING 機能は働きません。

バリエブルフレームレート (VFR) 記録機能

本機はコマ落とし（アンダークランク）や高速度（オーバークランク）撮影を行うことができます。

Native VFR記録

(1080/23.98PsF (24PsF)) の場合

- 1 メニュー操作を行い、SYSTEM SETTINGページから<SYSTEM MODE>画面を開きます。SYSTEM MODE項目を“1080-23.98PsF (24PsF)”に、REC FORMAT項目を“AVC-I 100 (50)/24PN”に、VFR項目を“ON”にそれぞれ設定します。FRAME RATE項目を撮影意図に合わせて設定します。24P VFR RANGE項目で、“24FRAME”を選択していると1～24フレームまで、“30FRAME”を選択していると1～30フレームまでフレームレートを選択することができます。

- 2 REC STARTボタンを押します。VFRモードで記録されます。

◆NOTE:

- 24P VFR RANGE項目を“30FRAME”に設定し、FRAME RATE項目を“25～30FRAME”に設定するとHD SDI A・Bの映像信号は24PsFのシーケンスが正しく保たれなくなるので出力映像が不自然になります。
- 音声記録はフレームレートを24フレームに設定しているときのみ可能です。

Native VFR記録

(1080/59.94i (50i)) の場合

- 1 メニュー操作を行い、SYSTEM SETTINGページから<SYSTEM MODE>画面を開きます。SYSTEM MODE項目を“1080-59.94i (50i)”に、REC FORMAT項目を“AVC-I 100 (50)/24PN (25P)”もしくは“AVC-I 100 (50)/30PN”に、VFR項目を“ON”にそれぞれ設定します。FRAME RATE項目を撮影意図に合わせて設定します。1～30 (25) フレームまでフレームレートを選択することができます。
- 2 REC STARTボタンを押します。VFRモードで記録されます。

◆NOTE:

REC FORMAT項目で選択したフレームレートと同じフレームレートに設定している（24PN：24フレーム、30PN：30フレーム、25P：25フレーム）ときのみ、音声記録が可能です。その他のフレームレートに設定している場合、HD SDI信号にはエンベディッドオーディオが重畳されるため、本機の表示窓やビューファインダーのオーディオメーターは振れますが、P2カードには記録されません。

Native VFR記録中の注意事項

- 記録中は、記録対象のP2カードの切り替えはできません。
- 記録中はVFR項目の“ON” / “OFF”切り替えはできません。
- タイムコードはレックランに固定されます。
- PRE RECORDING、LOOP REC、INTERVAL REC、PROXY記録はできません。
- P2カードに記録されている映像より、サムネイル画面が1フレーム遅れて作成されることがありますが、故障ではありません。
- 本機のメニュー設定でVFR項目を“ON”に設定していてもHD SDI信号にはエンベディッドオーディオは重畳されるため、本機の表示窓やビューファインダーのオーディオレベルメーターは振れていても、その他のメニュー設定によってはP2カードに記録されない場合があります。
- 電源をONにしてからVFR記録を開始できるようになるまで、約10秒かかります。

VFR記録中にフレームレートを変更するには

VFR記録中にフレームレートを変更することができます。

- 1 OPTIONページから<OPTION MENU>画面を開きます。OPTIONページはLIGHTボタンを押しながらMENUボタンを押して開きます。RATE SET AT REC項目を“ON”に設定します。MENUボタンを押してメニュー画面を閉じます。
- 2 JOGダイヤルボタンを押してVF画面のコマ数表示（白抜きになった数字）が点滅している間にSYNCHRO SCAN調整スイッチ（+/-）を押し、撮影意図に合わせてフレームレートを変更できます。またUSERスイッチのFRAME RATE機能を用いれば、すぐに任意のフレームレートに変更可能です。

◆NOTE:

RATE SET AT REC項目を“ON”に設定すると、P2カードへの音声記録はできません。フレームレートを変更したときに、映像遅延にオーディオの遅延量をほぼ合わせています。オーディオの遅延量が変わるとき、HD SDI出力に重畳したオーディオがミュート状態になります。

◆NOTE:

SYSTEM MODE 項目を“1080-59.94i”に設定した場合、REC FORMAT 項目を“AVC-I 100/30PN”または“AVC-I 50/30PN”に設定すると、それぞれAVC-I 100/29.97PN、AVC-I 50/29.97PNで動作します。“AVC-I 50/24PN”に設定すると、AVC-I 50/23.98PNで動作します。同様にSYSTEM MODE 項目を“1080-24PsF”に設定した場合、“AVC-I 100/24PN”または“AVC-I 50/24PN”に設定すると、それぞれAVC-I 100/24PN、AVC-I 50/24PNで動作します。

流れる映像効果撮影

自動車が通行する車道の向かい側にいる人の撮影時、高速で動く自動車を流れる映像にし、静止している人を浮かび上がらせて撮影するときなど、流れる映像効果を得ることができます。

- 1 メニュー操作を行い、SYSTEM SETTING ページから <SYSTEM MODE> 画面を開きます。
SYSTEM MODE 項目を “1080-59.94i (50i)” に、
REC FORMAT 項目を “AVC-I 100 (50)/60i (50i)” もしくは “DVCPRO HD/60i (50i)” に、VFR 項目を “ON” にそれぞれ設定します。
FRAME RATE 項目を撮影意図に合わせて設定します。
SYSTEM MODE 項目で “1080-59.94i” を選択している
と1～30フレームまで、“1080-50i” を選択している
と1～25フレームまでフレームレートを選択することができます。

- 2 REC START ボタンを押します。
VFR モードで記録されます。

流れる映像効果記録中の注意事項

- P2カードに記録される映像信号およびHD SDI出力信号はすべて59.94iか50iになり、すべて有効なフレームになります。
- 音声記録はすべてのフレームレートにおいてP2カードに記録されます。
- 固定シャッターおよびシンクロスキャンは有効です。
- 記録中は、記録対象のP2カードの切り替えはできません。
- 記録中はVFR項目の“ON” / “OFF” 切り替えはできません。

流れる映像効果撮影のための標準設定

SYSTEM周波数	SYSTEM MODE 設定			記録フレームレート
	SYSTEM MODE	そのほかの項目の設定		
59.94Hz	1080-59.94i	REC FORMAT	AVC-I 100/60i (AVC-I 50/60i) (DVCPROHD/60i)	1～23フレーム
		VFR	ON	
		FRAME RATE	23FRAME 以下に設定	
50 Hz	1080-50i	REC FORMAT	AVC-I 100/50i (AVC-I 50/50i) (DVCPROHD/50i)	1～24フレーム
		VFR	ON	
		FRAME RATE	24FRAME 以下に設定	

その他の VFR 記録機能の活用

映画製作のための標準速撮影

スクリーン上映を目的とした制作の場合、フィルム上映時と同じ24fps（毎秒24コマ）のフレームレートが通常（1倍速）となります。下記の設定にすれば上映時と同じ再生をすることができます。FILMLIKE1～3、FILM-RECガンマによりフィルムライクな映像が得られます。FILMLIKE1～3、FILM-RECについて、詳しくは181ページを参照してください。

映画製作のための標準設定

SYSTEM MODE 設定			記録フレームレート
SYSTEM MODE	そのほかの項目の設定		
1080-24PsF	REC FORMAT	AVC-I 100/24PN (AVC-I 50/24PN)	24フレーム
	CAMERA MODE	24P	

CM/ドラマ制作のための標準速撮影

HDTV/SDTV放送などテレビ画面上映を目的とした制作の場合、30fps（毎秒30コマ）、50 Hzでは25fps（毎秒25コマ）のフレームレートが通常（1倍速）となります。下記の設定にすれば放送時と同じ再生をすることができます。CM、ミュージッククリップがフィルムライクな映像で、しかもテレビ放送に適したコマ数で収録できます。

CM/ドラマ制作のための標準設定

SYSTEM 周波数	SYSTEM MODE 設定			記録フレームレート
	SYSTEM MODE	そのほかの項目の設定		
59.94Hz	1080-59.94i	REC FORMAT	AVC-I 100/30PN (AVC-I 50/30PN) (AVC-I 100/60i) (AVC-I 50/60i) (DVCPROHD/60i)	29.97フレーム
		CAMERA MODE	30P	
50 Hz	1080-50i	REC FORMAT	AVC-I 100/25PN (AVC-I 50/25PN) (AVC-I 100/50i) (AVC-I 50/50i) (DVCPROHD/50i)	25フレーム
		CAMERA MODE	25P	

アンダークランク撮影

雲の流れ、雑踏の中に立つ人物、カンフーなどの演出に用いられるクイックモーション効果です。例えば再生フレーム指定するための記録フォーマット24Pで撮影した場合、VFR記録フレームレートを12fpsにすれば2倍速のクイックモーション効果が得られます。

アンダークランク撮影のための標準設定

SYSTEM周波数	SYSTEM MODE設定			記録フレームレート
	SYSTEM MODE	その他の項目の設定		
59.94Hz	1080-59.94i	REC FORMAT	AVC-I 100/24PN (AVC-I 50/24PN)	1～23フレーム
		VFR	ON	
		FRAME RATE	23FRAME以下に設定	
50 Hz	1080-50i	REC FORMAT	AVC-I 100/25PN (AVC-I 50/25PN)	1～24フレーム
		VFR	ON	
		FRAME RATE	24FRAME以下に設定	
60Hz	1080-24PsF	REC FORMAT	AVC-I 100/24PN (AVC-I 50/24PN)	1～23フレーム
		VFR	ON	
		FRAME RATE	23FRAME以下に設定	

オーバークランク撮影

カーチェイスやアクション、クライマックスシーンなどのドラマチックな演出に用いられるスローモーション効果です。例えば再生フレーム指定するための記録フォーマット24Pで撮影した場合、記録フレームレートを30fpsにすれば1.25倍速のスローモーション効果が得られます。

オーバークランク撮影のための標準設定

SYSTEM周波数	SYSTEM MODE設定			記録フレームレート
	SYSTEM MODE	その他の項目の設定		
59.94Hz	1080-59.94i	REC FORMAT	AVC-I 100/24PN (AVC-I 50/24PN)	25～30フレーム*
		VFR	ON	
		FRAME RATE	24FRAME以上に設定	
60Hz	1080-24PsF	REC FORMAT	AVC-I 100/24PN (AVC-I 50/24PN)	25～30フレーム*
		VFR	ON	
		FRAME RATE	25FRAME以上に設定	

* 24P VFR RANGE項目を“30FRAME”に設定する必要があります。このとき、P2カードには30フレームまでの映像が記録されますがHD SDI出力信号のシーケンスは正しく出力されません。

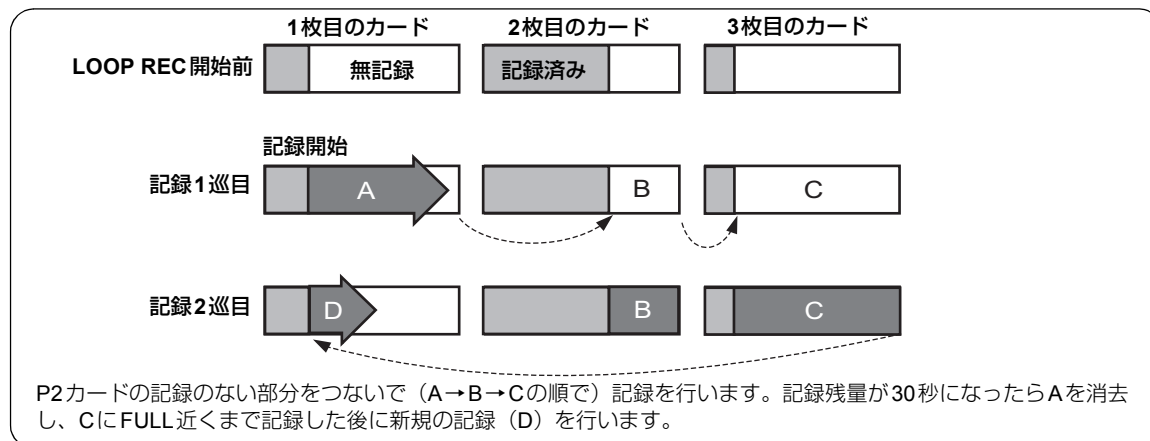
24P VFR RANGE項目はSYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択します。

- SYSTEM MODE項目が“1080-50i”、REC FORMAT項目が“AVC-I ***/25PN”の場合、スローモーションの効果が得られません。

LOOP REC 機能

P2カードスロットに2枚以上のP2カードが挿入されているとき、順次カードを切り替えながら記録する機能です。P2カードの記録残量がなくなった時点で最初に戻って、古い記録を消去しながら新規に記録を行いますので、継続的な記録が可能です。

本機能を使用するには、LOOP REC MODE項目を“ON”にする必要があります。LOOP REC MODE項目は、メニュー操作でSYSTEM SETTINGページの<REC FUNCTION>画面から選択できます。



◆ NOTE:

- LOOP RECには、1分以上の記録残量があるP2カードをご使用ください。
- LOOP REC中は、記録に使用するP2カードのP2カードアクセスLEDが、すべてオレンジ色に点灯します。これらのP2カードを抜くと、LOOP RECは停止しますのでご注意ください。
- LOOP REC MODE項目がONのときは、ビューファインダー内、および表示窓に“LOOP”と表示します。ただしLOOP REC MODE項目が“ON”のときでも、カードが一枚しか挿入されていなかったり、カードの記録残量が1分未満だとLOOP RECができません。この場合、ビューファインダー内、および表示窓の“LOOP”表示が点滅します。
- LOOP REC MODE項目が“ON”のとき、P2カード残量は記録フォーマットに応じた標準的な記録時間を表示します。古い記録を消去した直後にLOOP RECを停止した場合、実際の残量は表示された時間より少なくなることがあります。
- LOOP REC MODE項目を“ON”に設定すると、VFR項目は“OFF”に設定されます。
- Native VFR記録時およびINTERVAL REC機能が動作中は、LOOP REC機能は働きません。

LOOP RECモードを終了するには

以下の2通りの方法があります。

- 本機のPOWERスイッチをOFFにする。
- メニュー操作で、LOOP REC MODE項目を“OFF”に設定する。

INTERVAL REC 機能

本機の内部メモリーを利用して、最短で1フレーム単位の間欠記録をすることができます。

本機能を使用するためには、メニュー操作で、SYSTEM SETTING ページから <REC FUNCTION> 画面を開き、INTERVAL REC MODE 項目でインターバル記録モードの選択、記録時間 (REC TIME)、間欠の待機時間 (PAUSE TIME)、撮影に要する時間 (TAKE TOTAL TIME) を設定する必要があります。設定が完了すると、収録に必要なP2カードのトータル記録時間 (TOTAL REC TIME) が自動的に計算され、表示されます。

以下がINTERVAL REC MODE 項目の設定内容です。

OFF:

インターバル記録をしません。

ON:

インターバル記録を行います。

ONE SHOT:

REC START ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押すたびにREC TIMEで設定された時間を1回だけ記録します。

◆ **NOTE:**

● INTERVAL REC MODE項目を“ON”または“ONE SHOT”に設定すると、VFR項目は“OFF”に設定されます。

(REC FORMAT項目で24PN/25PN/30PNのいずれかを含むものを選択したとき)

● インターバル記録における最短の記録時間と待機時間、および設定値の切捨て単位フレーム数*は、記録方式により以下ようになります。

記録方式		単位フレーム数
1080i	60i、50i 30P、25P (プルダウン) 30PN、25PN (Native)	1フレーム
	24P、24PA (プルダウン)	5フレーム
	24PN (Native)	4フレーム

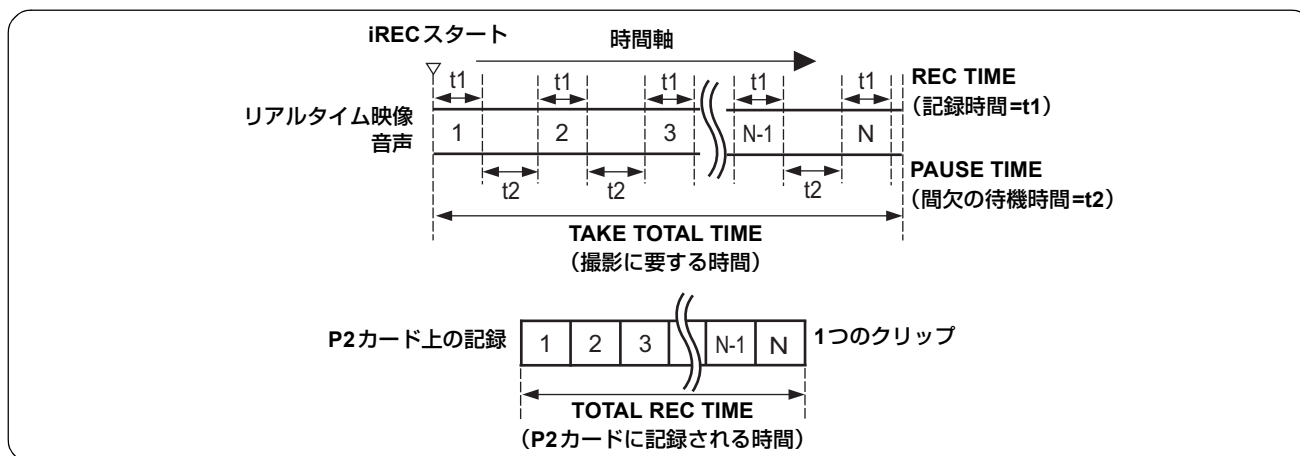
INTERVAL REC の ON モードでの撮影手順

- 1 「基本手順」に従って、撮影・記録の基本操作を行ったあと、本機が動かないようにしっかり固定します。
- 2 表示枠内に「i」が点滅し、インターバル記録モードが選択されていることを確認します。
- 3 本機のREC START ボタン、またはレンズのVTR ボタンを押します。
インターバル記録を開始します。設定された TAKE TOTAL TIME が終了すると自動的に記録を終了し、全体を1つのクリップとして生成します。

インターバル記録モードが選択されると、表示枠内に「i」が点滅します。記録に入ると「iREC」が点灯します。記録待機中は「iREC」が点滅します。

なお、ビューファインダー内の表示も表示窓と同様です。

記録中はタリールランプが点灯します。また待機時間が2分以上の設定の場合、5秒おきにタリールランプが点滅し、待機中であることを知らせます。このとき記録に入る3秒前にも、タリールランプは点滅します。



続けて記録する場合は

再度 REC START ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押します。再び、インターバル記録が開始されます。

途中で記録を中止するには

STOP ボタンを押します。記録は中止されます。このとき、その瞬間までメモリーに蓄えられた映像を記録するため、P2 カードにアクセスし、インターバル記録開始から STOP ボタンを押すまでの記録を、1つのクリップとして生成します。

インターバル記録の ONE SHOT モードでの撮影手順

インターバル記録モードの設定が終了したのち、以下の手順で撮影を行います。

- 1 「基本手順」に従って、撮影・記録の基本操作を行ったあと、本機が動かないようにしっかり固定します。
- 2 本機の REC START ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押します。
設定された REC TIME が終了すると自動的に ONE SHOT モードの待機状態になります。

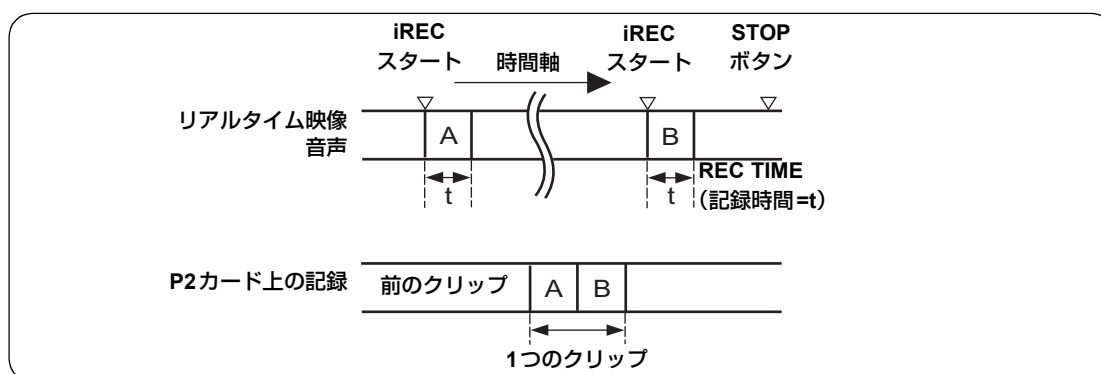
インターバル記録モードを終了するには

- メニュー操作で、INTERVAL REC MODE 項目を“OFF”に設定する。

なお、INTERVAL REC HOLD 項目を“OFF”に設定している場合、本機の POWER スイッチを OFF にすると、通常の記録モードに戻ります。

INTERVAL REC HOLD 項目を“ON”に設定していると、POWER スイッチを OFF にしてもインターバル記録モードのまま保たれます。

- 3 REC START ボタン、またはレンズの VTR ボタンを押すたびに、設定された REC TIME だけ記録を行い、ONE SHOT モードの待機状態に戻ります。
- 4 STOP ボタンを押します。
それまでに記録された映像・音声は1つのクリップとして生成されます。



待機中に今までの記録を確認するには

レンズの RET ボタンを押すと、REC REVIEW を行うことができます。REC REVIEW 後も ONE SHOT 動作は継続します。

途中でクリップを分ける、または記録する P2 カードを交換するには

ONE SHOT モードでも、STOP ボタンを押すまでは P2 カードにクリップが生成されていません。STOP ボタンを押し、ONE SHOT モードの動作を停止させてください。

インターバル記録の ONE SHOT モードを終了するには

- メニュー操作で、INTERVAL REC MODE を“OFF”に設定する。

なお、INTERVAL REC HOLD 項目を“OFF”に設定している場合、本機の POWER スイッチを OFF にすると、通常の記録モードに戻ります。

INTERVAL REC HOLD 項目を“ON”に設定していると、POWER スイッチを OFF にしてもインターバル記録の ONE SHOT モードのまま保たれます。

インターバル記録モードでの共通の注意事項

● 音声について

インターバル記録中に音声を記録するか、しないかは <REC FUNCTION> 画面のAUDIO REC 項目の“ON”あるいは“OFF”で設定します。

● 記録/再生操作ボタンについて

インターバル記録モードで動作中は、STOP 以外の操作ボタン (REW、FF、PLAY/PAUSE) は動きません。ただしONE SHOTの待機中は、レンズのRET ボタンで REC REVIEW を行うことができます。

● 記録中に本機のPOWERスイッチをOFFにした場合

インターバル記録モードで動作中に本機の電源をOFFにした場合、その瞬間までメモリーに蓄えられた映像をP2カードに記録してから、自動的に電源が切れます。

● 待機中に緊急で記録をするには

事前にUSER MAIN、USER 1/USER 2、MARKER SELECT、TEXT MEMO ボタンのいずれかにREC スイッチを選択しておく、待機中にそのボタンを押している間、緊急記録ができます。緊急記録を行った後も待機時間計測は正常に続きます。ただしREC FORMAT 項目で“24P”、“24PA”、“24PN”に設定しているときは、これらのUSER ボタンを押しても動作しません。

◆ NOTE:

Native 記録のVFR時は動作しません。

● タイムコード表示について

記録を開始したときは、P2カードの認識が終了するまでの間、タイムコード (TCG) 表示がホールド表示になることがあります。

● カードの引き抜きについて

インターバル記録モードで動作中は、記録対象となっているスロットのP2カードアクセスLEDは、オレンジ色に点滅します。このP2カードは抜かないでください。万一抜いてしまったときは、クリップの修復を行ってください。ただし修復を行った場合でも、記録した最後の3～4秒間、P2カードをまたいだ記録中に引き抜いた場合は最大10秒間ほどの映像が失われることがあります。クリップの修復について、詳しくは「クリップの修復」(135 ページ) を参照してください。

● サムネール動作とメニュー操作

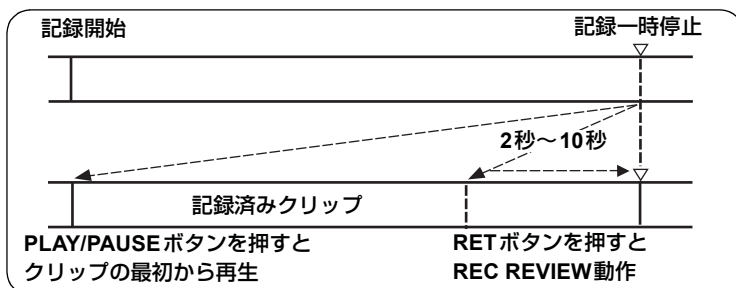
インターバル記録モードで動作中はサムネールの操作はできません。サムネールの操作はSTOP ボタンを押して動作を停止させてから行ってください。また待機時間を1分以上に設定しているか、あるいはONE SHOTモードの場合、待機中にメニュー操作を行うことはできませんが、以下の制限があります。

- ◆ SYSTEM MODE、REC FORMAT、CAMERA MODE、VFR、PC MODE項目は変更できません。
- ◆ SD CARD READ/WRITE、LENS FILE CARD R/W、READ USER DATA、READ FACTORY DATAの各項目を実行することはできません。

REC REVIEW機能

記録を一時停止し、レンズのRET ボタンを押すと、記録したばかりのクリップの最後の2秒間が自動的に頭出しされ、その部分の再生画像をビューファインダーに表示します。これにより記録が正しく行われたかどうかを確認できます。再生後は、再び記録開始待ちの状態になります。RET ボタンを押し続けると、最大10秒前までの再生が可能です。ただしクリップが短い場合、クリップの先頭まで戻ると、それ以上RET ボタンを押し続けても、それ以前のクリップは再生されません。

USER MAIN SW、USER1 SW、USER2 SW、MARKER SEL、TEXT MEMO SW 項目で、RET ボタン機能をそれぞれUSER ボタンに割り付けることができます。各項目は、CAM OPERATIONページの<USER SW>画面から選択します。また、記録を一時停止した状態からPLAY/PAUSE ボタンを押すと、最後に記録したクリップをはじめから再生します。再生終了後、本機は停止状態となります。



◆ NOTE:

- メニュー RET SW 項目 (CAM OPERATIONページの<SW MODE>画面) を“R.REVIEW”に設定してください。
- サイドパネルのHD SDI A・Bスイッチが「MEM」になっている場合、REC REVIEW動作の間、ビューファインダーだけでなく、映像出力端子 (HD SDI A・B端子、

MON OUT端子) にもREC REVIEWの画像が出力されます。バックアップ機器を接続して、バックアップ画像を記録中の場合、このREC REVIEWの画像が記録されてしまいますので、ご注意ください。

通常再生および変速再生

PLAY/PAUSE ボタンを押すと、ビューファインダーで白黒の再生画を、液晶モニターでカラーの再生画を見ることができます。同時に本機の HD SDI A・B 端子、MON OUT 端子にカラービデオモニターを接続するとカラーの再生画を見ることができます。

HD SDI A・B 端子からは SDI での再生画を見することもできます。(再生画を見る場合は、サイドパネルの HD SDI A・B スイッチを「MEM」にする必要があります)

変速再生

FF、REW ボタンを使うと、32 倍速や 4 倍速の高速再生/高速逆再生が可能です。

再生一時停止状態から FF ボタンを押すと、次クリップの先頭で一時停止した状態(頭出し状態)になります。

再生一時停止状態から REW ボタンを押すと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態(頭出し状態)になります。

◆ NOTE:

- SYSTEM MODE が異なるクリップが再生できない場合は、本機の SYSTEM MODE をクリップのフォーマットに合わせてから再生してください。なお、SYSTEM MODE については「記録フォーマットと出力端子の信号フォーマット」(51 ページ)を参照してください。
- P2 カードを抜き差しした直後や、電源を ON した直後に再生を行うと、クリップ情報を読み出すために時間がかかることがあります。その間、ビューファインダーには“UPDATING”と表示します。また、P2 カードの認識中に PLAY/PAUSE ボタンを押した場合は、“CANNOT PLAY”と表示します。
- 再生中に別のカードスロットに P2 カードを挿入しても、そのカードのクリップは再生できません。再生中に挿入した P2 カードの認識は、再生を停止したのちに行われません。
- 複数の P2 カードにまたがったクリップを変速再生する場合、音声が一瞬途切れることがあります。故障ではありません。

テキストメモ機能

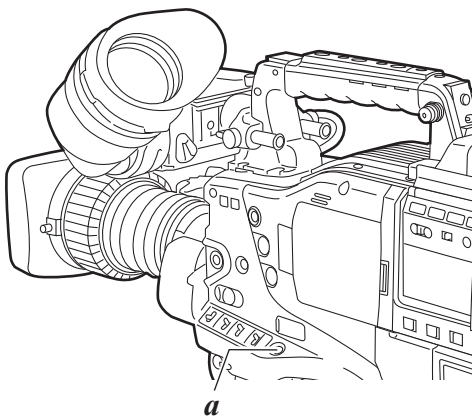
テキストメモとは、クリップを記録/再生中に、任意の映像ポイントにタイムコードの付いたサムネールを付加する機能です。

TEXT MEMO ボタンを押すと、そのポイントにテキストメモ情報が記録されます。また P2 ビューアーを使用して、付加したテキストメモの編集を行うこともできます。

サムネール画面で、テキストメモのポイントを選んで再生したり、必要な部分だけを選んでコピーすることができます。詳しくは「テキストメモ」(132 ページ)を参照してください。

◆ NOTE:

- テキストメモはひとつのクリップにつき 100 個まで記録できます。
- テキストメモの記録は、液晶モニターでサムネール表示しながらでも可能です。この場合テキストメモはカーソルが合わせられたクリップの位置(通常は先頭)にのみ、付加されます。
- カラーバー出力中と LOOP REC モードおよび INTERVAL REC モード時は、テキストメモは記録できません。



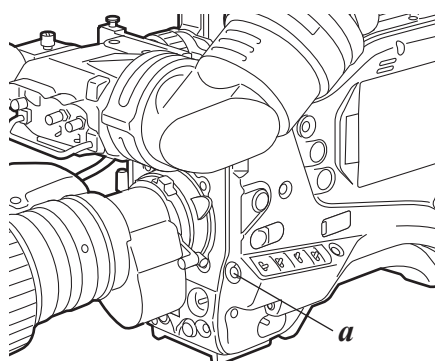
a. TEXT MEMO ボタン

ショットマーク機能

ショットマークとは、他のクリップと区別するためにクリップのサムネールにつける目印です。液晶モニターでショットマークをつけたクリップのみを表示したり、再生することも可能です。

ショットマークをつけるには

映像を記録中、ショットマークボタンを押してください。ビューファインダーに“MARK ON”と表示され、記録中のクリップのサムネールにショットマークがつきます。もう一度押すとショットマークを消すことができます。また、記録の一時停止（REC PAUSE）中にショットマークボタンを押すと、直前に記録したクリップにショットマークがつきます。もう一度押すとショットマークを消すことができます。



a. ショットマークボタン

また、クリップのサムネール操作でもショットマークの付加/消去が可能です。詳しくは「ショットマーク」（132 ページ）を参照してください。

◆ NOTE:

- カラーバー出力中と LOOP REC 記録中、および INTERVAL REC モード時は、ショットマークの付加/削除はできません。
- 不完全クリップ（128 ページ参照）にはショットマークを付加できません。
- 複数の P2 カードにまたがって記録されたクリップや、P2 カード内で分割されたクリップ（12 ページの NOTE 参照）の場合、先頭のクリップにのみショットマークが付加されます。

記録設定と動作モード

本機の記録モードは、メニューおよびスイッチの設定によって、下表の優先順で動作します。

機能動作モード	システム/記録関連メニュー					ボタン		プロキシ記録 (オプション)
	PC MODE	INTERVAL REC MODE	LOOP REC MODE	PRE REC MODE	VFR	テキストメモの記録	ショットマーク	
USBデバイス	USB DEV.	無効	無効	無効	無効	無効	無効	無効
USBホスト	USB HOST	無効	無効	無効	無効	有効	有効	無効
INTERVAL REC	OFF	ONまたはONE SHOT	無効	無効	有効*1	無効	無効	無効
LOOP REC		OFF	ON	有効 1s~8s	有効*1	無効	無効	無効
通常の記録		OFF	OFF	有効*2 1s~8s	有効	有効*3	有効*3	有効*2

*1 Native 記録のときは無効

*2 Native VFR 記録のときは無効

*3 カラーバーのときは無効

記録のための調整と設定

マルチフォーマット

映像方式と記録フォーマット

本機は各HD方式の映像信号を得るため、CCDをインタレーススキャンとプログレッシブスキャン（全画素読み出し）に切り替えています。

メニュー SYSTEM SETTING ページの <SYSTEM MODE> 画面、SYSTEM MODE 項目と CAMERA MODE 項目の組み合わせで 13 種類の映像方式を選択することができます。

記録信号と記録方式の選択

SYSTEM MODE 項目

システム周波数（59.94 Hz、50 Hz、23.98 Hz、24 Hz）と、信号方式（1080i）を組み合わせで選択できます。SYSTEM MODE 項目を変更すると、ビューファインダーに「TURN POWER OFF」と表示します。本機の POWER スイッチを OFF にして一度電源を切り、5 秒以上経過してから、再度 ON にしてください。

REC FORMAT 項目

記録フォーマットを選択します。

AVC-I 100

AVC-Intra100 フォーマットで記録を行います。30PN、24PN、25PN は Native 記録になります。

AVC-I 50

AVC-Intra50 フォーマットで記録を行います。30PN、24PN、25PN は Native 記録になります。

DVCPRO HD

DVCPRO HD フォーマットで記録を行います。

CAMERA MODE 項目

撮影モードを選択します。

各設定の動作は、「記録フォーマットと出力端子の信号フォーマット」（51 ページ）を参照してください。

◆ NOTE:

- 60i、30P から 24P、24PA に切り替えたとき、プルダウンの 5 フレーム周期を合わせるため、映像の乱れが一瞬生じますが、異常ではありません。
- “AVC-I 100”、“AVC-I 50” を選択しているときは 24PA は選択できません。

VFR 項目

VFR 記録を行うかどうかを選択します。

- ON** バリアブルフレームレート撮影が可能になり、FRAME RATE 項目で設定したフレームレートで撮影できます。
- OFF** REC FORMAT 項目の設定に従ったフレームレートで撮影します。

24P VFR RANGE 項目

SYSTEM MODE 項目が “1080-23.98PsF” および “1080-24PsF” のとき、VFR 時のフレームレートを 30 フレームまで拡大することができます。

24FRAME

VFR 時に 1～24 フレームまで設定できます。

30FRAME

VFR 時に 1～30 フレームまで設定できます。ただし HD SDI 出力信号のシーケンスが正しく保たれなくなるため、出力映像が不自然になります。

FRAME RATE 項目

VFR 項目が “ON” のとき、この項目で設定したフレームレートで撮影できます。

また、VFR 項目が “ON” のときは、JOG ダイヤルボタンを押してビューファインダー画面左上のフレームレート表示を点滅させてから、SYNCHRO SCAN 調整スイッチ (+/-) を押すことで、FRAME RATE 項目を開かずに設定内容を変更できます。ただし、USER ボタンで FRATE 機能を ON にしているときは、この操作はできません。

記録フォーマットと出力端子の信号フォーマット

CCDからの信号および外部入力信号をP2カードに記録するときのフォーマットと、各端子から出力される信号のフォーマットを下記に示します。

メニュー設定					動作状態							
SYSTEM MODE 項目	REC FORMAT 項目	CAMERA MODE 項目	VFR 項目	FRAME RATE 項目	記録方式/ フレームレート	記録TC フレーム数・ モード	オーディオ 記録	VIDEO 出力方式	入出力TC フレーム数・ モード			
1080-59.94i	DVCPROHD/60i	60i	OFF	無効	59.94i	30フレーム	○	1080-59.94i	30フレーム			
			ON	1FRAME～ 30FRAME	59.94i (全フレーム有効)			1080-59.94i (全フレーム有効)				
		30P	OFF固定	無効	29.97P Over 59.94i			1080-29.97PsF Over 59.94i 2:2				
		24P	OFF固定	無効	23.98P Over 59.94i 2:3			1080-23.98PsF Over 59.94i 2:3				
		24PA	OFF固定	無効	23.98P Over 59.94i 2:3:3:2			1080-23.98PsF Over 59.94i 2:3:3:2				
	AVC-I 100/60i AVC-I 50/60i	60i	OFF	無効	59.94i			1080-59.94i				
			ON	1FRAME～ 30FRAME	59.94i (全フレーム有効)			1080-59.94i (全フレーム有効)				
	AVC-I 100/30PN AVC-I 50/30PN	30P	OFF	無効	29.97P-29.97PN (Native)			30フレーム		○	1080-29.97PsF Over 59.94i 2:2	30フレーム
			ON	1FRAME～ 30FRAME	1～29.97P -29.97PN (Native)			30フレーム R-RUNのみ		× *2	EE時: 1080-**PsF Over 59.94i 再生時: 1080-29.97PsF Over 59.94i 2:2	30フレーム R-RUNのみ
	AVC-I 100/24PN AVC-I 50/24PN	24P	OFF	無効	23.98P-23.98PN (Native)			24フレーム		○	1080-23.98PsF Over 59.94i 2:3	30フレーム
			ON	1FRAME～ 30FRAME	1～29.97P -23.98PN (Native)			24フレーム R-RUNのみ		× *2	EE時: 1080-**PsF Over 59.94i 再生時: 1080-23.98PsF Over 59.94i 2:3	30フレーム R-RUNのみ
	1080-23.98PsF	AVC-I 100/24PN AVC-I 50/24PN	24P	OFF	無効			23.98P-23.98PN (Native)		24フレーム	○	1080-23.98PsF Over 47.96i 2:2
ON				1FRAME～ 24FRAME or 30FRAME*1	1～23.98P or 29.97P - 23.98PN (Native)	24フレーム R-RUNのみ	× *2	EE時: 1080-**PsF Over 47.96i 再生時: 1080-23.98PsF Over 47.96i 2:2	24フレーム R-RUNのみ			
1080-24PsF	AVC-I 100/24PN AVC-I 50/24PN	24P	OFF	無効	24P-24PN (Native)	24フレーム	○	1080-24PsF Over 48i 2:2	24フレーム			
			ON	1FRAME～ 24FRAME or 30FRAME*1	1～24P or 30P -24PN (Native)	24フレーム R-RUNのみ	× *2	EE時: 1080-**PsF Over 48i 再生時: 1080-24PsF Over 48i 2:2	24フレーム R-RUNのみ			
1080-50i	DVCPROHD/50i	50i	OFF	無効	50i	25フレーム	○	1080-50i	25フレーム			
			ON	1FRAME～ 25FRAME	50i (全フレーム有効)			1080-50i				
		25P	OFF固定	無効	25P Over 50i 2:2			1080-25PsF Over 50i 2:2				
	AVC-I 100/50i AVC-I 50/50i	50i	OFF	無効	50i			25フレーム		○	1080-50i	25フレーム
			ON	1FRAME～ 25FRAME	50i (全フレーム有効)			1080-50i (全フレーム有効)				
	AVC-I 100/25PN AVC-I 50/25PN	25P	OFF	無効	25P-25PN (Native)			25フレーム		○	1080-25PsF Over 50i 2:2	25フレーム
ON			1FRAME～ 25FRAME	1～25P -25PN (Native)	25フレーム R-RUNのみ	× *2	EE時: 1080-**PsF Over 50i 再生時: 1080-25PsF Over 50i 2:2	25フレーム R-RUNのみ				

*1 1080/23.98PsFおよび1080/24PsFのとき、24P VFR RANGE項目を“30FRAME”に設定すると、P2カードには30フレームまでの信号を記録することができます。ただし、VFR記録時に25フレーム以上に設定しても、HD SDI出力信号は23.98PsFあるいは24PsFであるため、信号のシーケンスが正しく保たれなくなります。出力映像が不自然になりますが、故障ではありません。

24P VFR RANGE項目はSYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択します。

*2 REC FORMAT項目で選択したフレームレートと同じフレームレートに設定している(24PN:24フレーム、30PN:30フレーム、25PN:25フレーム)ときのみ、音声記録が可能です。ただしRATE SET AT REC項目が“ON”のときは、VFR記録時は音声記録されません。

メニュー設定					記録機能対応表			
SYSTEM MODE 項目	REC FORMAT 項目	CAMERA MODE 項目	VFR 項目	FRAME RATE 項目	PRE REC	PROXY	LOOP REC	INTERVAL/ ONE SHOT
1080-59.94i	DVCPROHD/60i	60i	OFF	無効	○	○	○	○
			ON	1FRAME~30FRAME				
		30P	OFF 固定	無効				
		24P	OFF 固定	無効				
	AVC-I 100/60i AVC-I 50/60i	60i	OFF	無効	○	○	○	○
			ON	1FRAME~30FRAME*1				
	AVC-I 100/30PN AVC-I 50/30PN	30P	OFF	無効	○	○	○	○
			ON	1FRAME~30FRAME	×	×*2	×	×
	AVC-I 100/24PN AVC-I 50/24PN	24P	OFF	無効	○	○	○	○
			ON	1FRAME~30FRAME	×	×*2	×	×
1080-23.98PsF	AVC-I 100/24PN AVC-I 50/24PN	24P	OFF	無効	○	○	○	○
			ON	1FRAME~30FRAME*1 or 24FRAME	×	×*2	×	×
1080-24PsF	AVC-I 100/24PN AVC-I 50/24PN	24P	OFF	無効	○	○	○	○
			ON	1FRAME~30FRAME*1 or 24FRAME	×	×*2	×	×
1080-50i	DVCPROHD/50i	50i	OFF	無効	○	○	○	○
			ON	1FRAME~25FRAME				
		25P	OFF 固定	無効				
	AVC-I 100/50i AVC-I 50/50i	50i	OFF	無効	○	○	○	○
			ON	1FRAME~25FRAME				
	AVC-I 100/25PN AVC-I 50/25PN	25P	OFF	無効	○	○	○	○
ON			1FRAME~25FRAME	×				

*1 1080/23.98PsFおよび1080/24PsFのとき、24P VFR RANGE項目を“30FRAME”に設定すると、P2カードには30フレームまでの信号を記録することができます。ただし、VFR記録時に25フレーム以上に設定しても、HD SDI出力信号は23.98PsFあるいは24PsFであるため、信号のシーケンスが正しく保たれなくなります。出力映像が不自然になりますが、故障ではありません。

24P VFR RANGE項目はSYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面から選択します。

*2 REC FORMAT項目で選択したフレームレートと同じフレームレートに設定している(24PN:24フレーム、30PN:30フレーム、25PN:25フレーム)ときのみ、PROXY記録が可能です。

◆NOTE:

再生時、同じSYSTEM MODE内のクリップは、自動的にフォーマットを切り替えて再生されます。

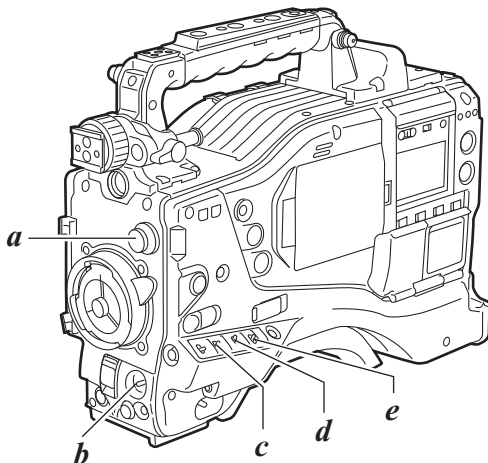
ホワイトバランス/ブラックバランスの調整

本機を使用し、常に高画質の映像を得るためには、状況に応じたブラックバランスとホワイトバランスの調整が必要です。なお、より高画質を得るためには、AWB（ホワイトバランスの調整）→ABB（ブラックバランスの調整）→AWB（ホワイトバランスの調整）の順に行うことを推奨します。

ホワイトバランスの調整

照明条件が変わったときには、必ず調整し直してください。以下の手順でホワイトバランスを自動調整します。

- 1 図のようにスイッチを設定します。



a. CC/ND FILTER つまみ

b. AUTO W/B BAL スイッチ :

AWB 実行時使用

c. GAIN : 通常は 0dB。暗すぎるときには適切なゲインに設定します。

d. OUTPUT : CAM

e. WHITE BAL : A または B

- 2 照明条件に合わせて、CC/ND FILTER つまみの設定を切り替えます。

◆NOTE:

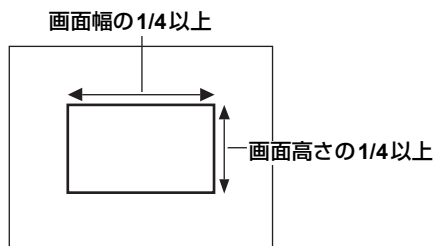
CC/ND FILTER つまみの設定例については「撮影・記録/再生機能部」(20 ページ) を参照してください。

- 3 被写体の照明光源と同じ条件のところにホワイトパターンを置き、ズームアップして画面に白を映します。被写体近くの白い物(白布、白壁)で代用することもできます。

必要な白の大きさは、図の通りです。

◆NOTE:

- 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。
- 白い物は、画面の中心に写してください。



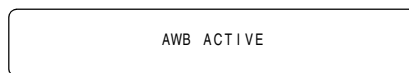
- 4 レンズの絞りを調整します。

- 5 AUTO W/B BAL スイッチを「AWB」側に押し上げて、スイッチを離します。スイッチが中央に戻り、ホワイトバランスの自動調整が実行されます。

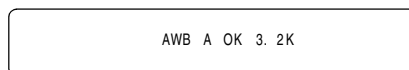
◆NOTE:

ホワイトバランスの自動調整を行っているとき(「AWB ACTIVE」とビューファインダーに表示されます)に、再度 AUTO W/B BAL スイッチを「AWB」側に切り替えると、調整を中止します。このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

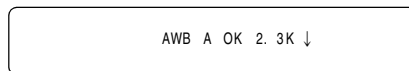
- 6 調整中、ビューファインダー画面には、次のようなメッセージが表示されます。



- 7 数秒で調整が完了し、下図のようなメッセージが表示されます。調整値は、ステップ1で設定したメモリー(「A」または「B」)に自動的に記憶されます。



- 8 CC/ND フィルターが3200Kの場合、被写体の色温度が、2300Kよりも低い場合や9900Kよりも高い場合は、図のようなメッセージが表示されます。矢印のうち、下向きの矢印(↓)は表示温度よりも低い状態を示し、上向きの矢印(↑)は表示色温度よりも高い状態を示します。



◆NOTE:

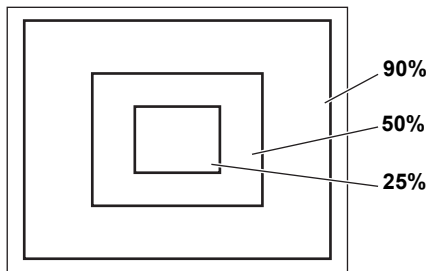
CC/ND フィルターが途中の位置になっている状態で電源をONにすると、ビューファインダー、液晶モニター画面に「CHECK FILTER」の警告が表示されます。CC/ND フィルターを正しい位置(クリック感のある位置)にしてください。

ホワイトバランスの検出領域について

AWB AREA 項目でホワイトバランス検出領域を“90%”、“50%”、“25%”から選択できます。

AWB AREA 項目は、CAM OPERATION ページの<WHITE BALANCE MODE>画面から選択できます。

工場出荷設定は、“25%”です。



ホワイトバランスを調整する時間がないとき

WHITE BAL スイッチを「PRST」にします。

CC/ND FILTER つまみの設定位置に応じて、フィルターに対するホワイトバランスがとれます。

ホワイトバランスの自動調整ができないとき

ホワイトバランスの調整が正常に終了しなかったときは、ビューファインダー画面にエラーメッセージを表示します。下記のエラーメッセージを表示した場合、処置を行ってから再度ホワイトバランスの調整を試みてください。

繰り返し試みてもエラーメッセージを表示する場合は内部点検が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

エラーメッセージ	意味	処置
COLOR TEMP HIGH	色温度が高すぎる。	適切なフィルターを選択する。
COLOR TEMP LOW	色温度が低すぎる。	適切なフィルターを選択する。
LOW LIGHT	光量が不足している。	光量を多くする。または、ゲインを上げる。
LEVEL OVER	光量が多すぎる。	光量を少なくする。または、ゲインを下げる。
CHECK FILTER	フィルター切り替えつまみの設定位置がずれている。	フィルター切り替えつまみを確認する。
TIME OVER	時間内でAWBが終了しなかった。	撮影条件が不安定な可能性があります。フリッカーであればシャッターを入れ、安定した条件下で再度実行する。

ホワイトバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも再度ホワイトバランスをとるまで保存されます。ホワイトバランスのメモリーはA、Bの2系統があります。

FILTER INH 項目の設定が“ON”の場合（初期設定）、A、B各系統のメモリー数はそれぞれ1個に限定されています。この場合、メモリーの内容はフィルターには連動しません。

FILTER INH 項目はCAM OPERATION ページの<WHITE BALANCE MODE>画面から選択します。

FILTER INH 項目を“OFF”にした場合、WHITE BAL スイッチの設定（AまたはB）に対応するメモリーに、各フィルターごとの調整値を自動的に記憶させることもできます。本機は4つのフィルターを内蔵していますので、合計8個（4×2）の調整値を記憶します。

マニュアルでの色温度の設定

ホワイトバランスを、色温度設定により手動で調整することができます。マニュアルの色温度設定は、WHITE BAL スイッチの PRST、A、B それぞれの位置に対して設定可能です。

色温度の設定は、COLOR TEMP PRE 項目、COLOR TEMP A 項目と、COLOR TEMP B 項目で設定します。

各項目は、CAM OPERATION ページの <WHITE BALANCE MODE> 画面から選択します。

◆ NOTE:

手動で色温度を設定していても、ホワイトバランスの自動調整 (AWB) を行うと、行ったときの色温度が AWB を行ったときの WHITE BAL スイッチの位置に記録されます。また CC フィルターの位置を切り替えると、色温度の値が変わります。

```
→ < WHITE BALANCE MODE >
FILTER INH      :ON
SHOCKLESS AWB  :NORMAL
AWB AREA       :25%
TEMP PRE SEL SW :VAR

COLOR TEMP PRE  :3200K
AWB A TEMP     :3200K
AWB B TEMP     :3200K
```

ホワイトバランス関連の ビューファインダー表示について

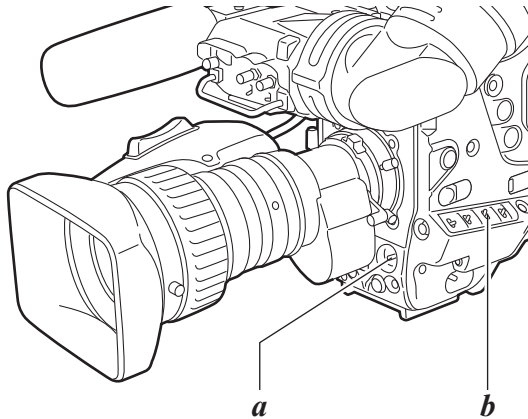
「ビューファインダーの状態表示」(77 ページ) を参照してください。

ブラックバランスの調整

ブラックバランスは、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用するとき
- 長時間使用しなかった後に使用する時
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用する時
- ゲイン切り替え値を変更したとき
- SYSTEM MODE項目を変更したとき

1 図のようにスイッチを設定します。



a. AUTO W/B BALスイッチ：
ABB実行時使用

b. OUTPUT： CAM

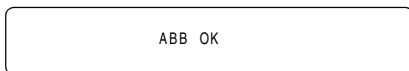
2 AUTO W/B BALスイッチを「ABB」側に倒し、スイッチを離します。
スイッチは中央に戻り、調整が実施されます。

3 調整中、ビューファインダー画面には次のようなメッセージが表示されます。



◆ NOTE:
調整中はレンズ絞りが自動的にCLOSEになります。

4 数秒で調整が完了し、図のようなメッセージが表示されます。



調整値は自動的にメモリーに記憶されます。

◆ NOTE:

- レンズコネクタが接続されていること、レンズ絞りがCLOSEになっていることを確認してください。
- ブラックバランス調整中、絞りは自動的に遮光状態になります。
- ブラックバランス調整中、ゲイン切り替え回路が自動的に切り替わります。
また、ビューファインダー画面上にフリッカーやノイズが現れることがありますが、故障ではありません。
- オートブラックバランス動作が終了した後も、ブラックシェーディングが気になる場合は、DETECTION (DIG) 項目でカーソル(→)を移動し、JOGダイヤルボタンを押して、ブラックシェーディング調整を実行してください。
DETECTION (DIG) 項目は、MAINTENANCE ページの<BLACK SHADING>画面から選択します。
またABBスイッチを8秒以上長押しすると、オートブラックバランス動作に続いてブラックシェーディングの自動調整を行うことができます。(「SW MODE」(190ページ)のSHD. ABB SW CTL項目を参照してください)
ただしリモートコントロールユニット(AJ-RC10G・別売品)を接続しているときは、ABBスイッチの長押しを行っても、ブラックシェーディングの自動調整を行うことはできません。
- ブラックバランスの自動調整を行っているとき(“ABB ACTIVE”とビューファインダーに表示します)に、再度AUTO W/B BALスイッチを「ABB」側に押し下げると、調整を中止します。
このときの調整値は、自動調整を行う前の値になります。

ブラックバランスのメモリーについて

メモリーに記憶された値は、本機の電源を切った状態でも保存されます。

電子シャッターの設定

ここでは、本機の電子シャッターに関する説明、設定および操作方法について示します。

シャッターモードについて

本機の電子シャッターで使用できるシャッターモードと、選択できるシャッタースピードは次の通りです。

固定したシャッタースピードを使用する

- 照明などによるフリッカーを除去したい場合
- 動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合

SYNCHRO SCANのシャッタースピードを使用する

- モニター画面の撮影時に、水平方向の縞模様が少なくなるように撮影したい場合
- 被写体の動きに効果をつけて撮影したい場合

SYNCHRO SCAN: フレームレートにかかわらず角度 (deg) で設定するシャッターです。

SYNCHRO SCAN2: フレームレートにかかわらず時間 (秒) で設定するシャッターです。

ハーフシャッタースピード (HALF) を使用する

- フィルム撮影を行ったような効果をつけて撮影したい場合

◆ NOTE:

- 電子シャッターをどのモードで使用しても、シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動のときには、シャッタースピードが速くなるにつれ絞りが開き、焦点深度も浅くなります。
- シャッタースピードを時間軸 (1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000) に設定することにより、フレームレートを変えても露出量が一定の可変速を実現することができます。
フィルムカメラの Ramping (撮影コマ数に合わせて、シャッター開角度を補正) と同等の機能を実現することができます。

映像方式		固定シャッタースピード	ハーフシャッタースピード	SYNCHRO SCANの可変範囲		SYNCHRO SCAN2の可変範囲			
SYSTEM MODE	CAMERA MODE	時間/角度表示	時間表示	時間表示	角度表示	時間表示	角度表示		
1080-59.94i	60i	1/60、1/100、 1/120、1/250、 1/500、1/1000、 1/2000、HALF	1/120	1/61.7 ~ 1/7200 1/F* ~ 1/7200	3.0 ~ 350.0deg (0.5deg ステップ)	1/60.0 ~ 1/250 1/F* ~ 1/250	deg表示 はありません。		
	30P		1/60					1/30.9 ~ 1/3600 1/F* ~ 1/3600	1/30.0 ~ 1/250 1/F* ~ 1/250
	24P		1/48					1/24.7 ~ 1/2880 1/F* ~ 1/2880	1/24.0 ~ 1/250 1/F* ~ 1/250
	24PA		1/48					1/24.7 ~ 1/2880 1/F* ~ 1/2880	1/24.0 ~ 1/250 1/F* ~ 1/250
1080-23.98PsF	24P	上記14種類から選択	1/48	1/24.7 ~ 1/2880 1/F* ~ 1/2880		1/24.0 ~ 1/250 1/F* ~ 1/250			
1080-24PsF	24P		1/48	1/24.7 ~ 1/2880 1/F* ~ 1/2880		1/24.0 ~ 1/250 1/F* ~ 1/250			
1080-50i	50i	1/50、1/60、 1/120、1/250、 1/500、1/1000、 1/2000、HALF	1/100	1/51.4 ~ 1/6000 1/F* ~ 1/6000	3.0 ~ 350.0deg (0.5deg ステップ)	1/50.2 ~ 1/250 1/F* ~ 1/250	deg表示 はありません。		
	25P		1/50					1/25.7 ~ 1/3000 1/F* ~ 1/3000	1/25.2 ~ 1/250 1/F* ~ 1/250

* FはVFR時のフレームレート周波数を示します。たとえばフレームレート周波数が15でVFR記録を行った場合、SYNCHRO SCANの範囲は1/15になります。

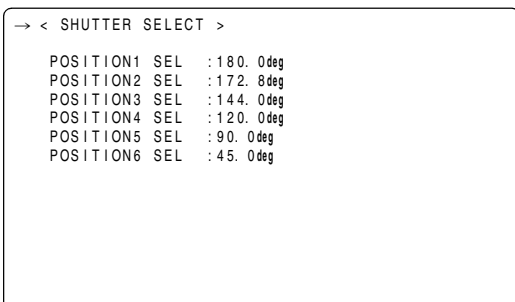
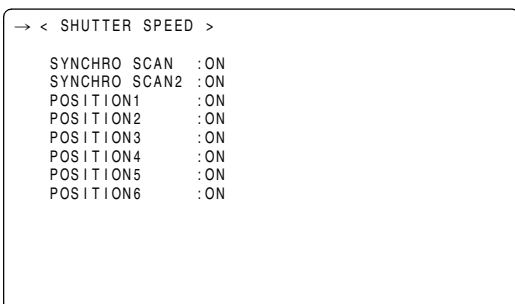
シャッターモード/スピードの設定

シャッターモードでのシャッタースピードは、SHUTTERスイッチを切り替えて設定します。

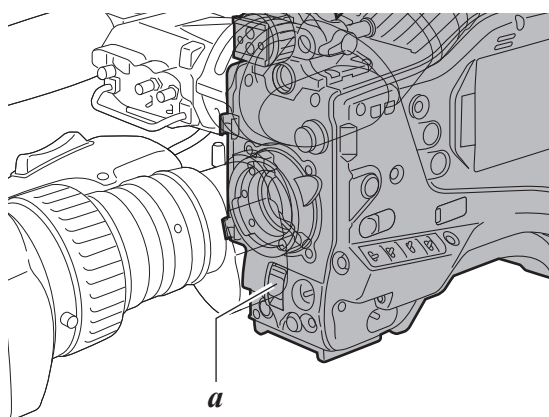
SYNCHRO SCAN/SYNCHRO SCAN2 モードでのシャッタースピードは、サイドパネルのSYNCHRO SCAN調整スイッチ (+/-) で簡単に変更できます。

なお<SHUTTER SPEED>画面と<SHUTTER SELECT>画面から、シャッタースピードの選択範囲を必要な範囲にあらかじめ制限したり、SYNCHRO SCAN モードを使用するかどうかあらかじめ選択したりすることができます。各画面は、メニュー操作でCAM OPERATIONページから開くことができます。

一度選択したシャッタースピードは、本機の電源を切った後も保持されます。

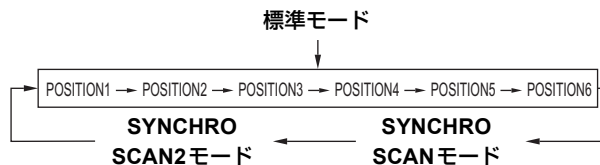


- 1 SHUTTERスイッチを、「ON」の位置から「SEL」側に押しします。



a. SHUTTERスイッチ

- 2 もう一度、SHUTTERスイッチを「SEL」側に押し、希望のモードまたはスピードをビューファインダー上に表示するまで、この操作を繰り返します。全てのモードとスピードを表示する場合は、以下の順序で表示が切り替わります。



シャッター関連のビューファインダー画面表示について

「ビューファインダーの状態表示」(77 ページ) を参照してください。

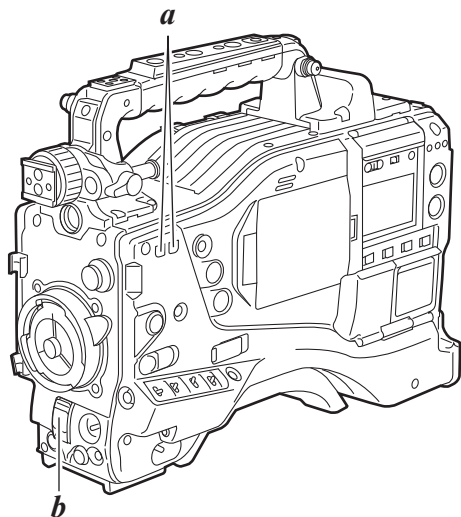
◆ NOTE:

VFR 記録時にシャッタースピードを 1/60 か 1/100 にしておくと、記録中にフレームレートを変更しても明るさが変わらず、記録を続けることができます。

シンクロスキャンモードの設定

以下の手順で操作します。

- 1 SHUTTERスイッチを「ON」から「SEL」側に押し、SYNCHRO SCANモード、もしくはSYNCHRO SCAN2モードに設定します。
- 2 SYNCHRO SCANモード時は、SYNCHRO SCAN調整スイッチ（+/-）を操作して連続的に切り替えることができます。



a. SYNCHRO SCAN調整スイッチ（+/-）
b. SHUTTERスイッチ

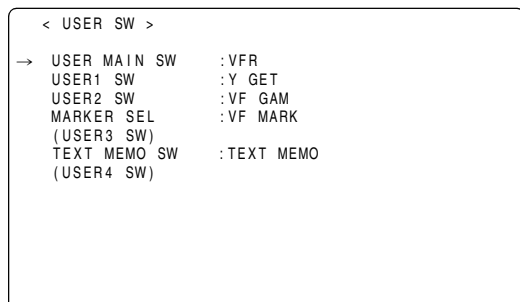
- 3 シンクロスキャンモード時のシャッタースピード表示は秒、または角度に切り替えることができます。詳しくは「SYNCHRO SCAN DISP.」（183 ページ）を参照してください。
 - SYNCHRO SCAN2 モード時のシャッタースピード表示は秒表示のみになります。
 - フレームレート値が小さい場合、SYNCHRO SCAN調整スイッチ（+/-）を押してシャッタースピードを変更しても、時間の変化が少ないため、ビューファインダー表示のシャッター値が変化しないことがあります。

◆ NOTE:

VFR機能が有効なとき、SYNCHRO SCANモードの可変範囲はVFR機能が無効なときと異なります。

USER ボタンへの機能割り付け

USER MAIN、USER 1/2、MARKER SELECT、TEXT MEMO ボタンに選択した機能を割り当てることができます。メニュー操作で、各ボタンに割り当てる機能を設定することができます。設定はCAM OPERATION ページの<USER SW>画面で行います。



選択可能な機能について

各ボタンに割付可能な機能については「USER SW」(189 ページ)を参照してください。

- INH :** 機能を割り付けません。
- I.OVR :** アイリスオーバーライド機能を割り付けます。オートアイリスモードでの目標値(基準値)を変更します。目標値を変更するには、本モードに設定してから、JOGダイヤルボタンを押すと目標値の変更が可能になります。JOGダイヤルボタンを左右に回し、目標値を変更します。ビューファインダー画面上のアイリス表示部の左側に+、++、-または--を表示します。変更したい位置でJOGダイヤルボタンの回転を止め、JOGダイヤルボタンを押すと目標値の変更が確定します。
- + : 絞りを0.5程度開きます。
 - ++ : 絞りを1程度開きます。
 - : 絞りを0.5程度閉じます。
 - : 絞りを1程度閉じます。
- 無表示: 基準値です。
- S.BLK :** スーパーブラック機能を割り付けます。黒レベルをペダスタルレベル以下にする機能です。
- B.GAMMA :** BLACK GAMMA機能を割り付けます。黒の階調を強調する機能です。メニューのBLACK GAMMA項目(PAINT ページの<LOW SETTING>画面、<MID SETTING>画面、<HIGH SETTING>画面)で設定された値に関わらず、BLACK GAMMA : +6、RANGE : 3が設定されます。
- Y GET :** センターマーカ一部の輝度レベルを表示させる機能を割り付けます。

DRS : ダイナミックレンジストレッチャーの機能を割り付けます。高輝度な部分の映像レベルを圧縮し、ダイナミックレンジを拡大する機能です。

◆ NOTE:

- DRS機能は、高輝度な部分の映像レベルを圧縮するので、DRS機能をON/OFFすることにより、発色に若干の差が生じることがあります。
- DRS機能をONにしているときは、GAMMA MODE、KNEE機能やBLACK GAMMA機能が動作しません。

ASSIST : フォーカスアシスト表示のON/OFFを切り替える機能を割り付けます。

◆ NOTE:

ASSISTをONにすると、ビューファインダー画面と液晶モニター画面の右下にグラフを表示します。グラフをより右に表示するよう、レンズのフォーカスリングを調整してください。

C.TEMP : 色温度をJOGダイヤルボタンで変更するモードに切り替える機能を割り付けます。ホワイトバランスをとった後に、色温度を意図的に変化させたいときに有効です。色温度を変更するには、本機能を割り付けたユーザーボタンを押し、さらにJOGダイヤルボタンを押します。ビューファインダー画面の色温度表示が反転・点滅し、色温度を変更可能なモードになります。点滅中にJOGダイヤルボタンを回して色温度を変更します。このときWHITE BALスイッチが設定されている位置(PRST/A/B)の設定値が合わせて変更されます。

VFR : VFR機能のON/OFFを切り替える機能を割り付けます。VFR機能について、詳しくは「リアルタイムフレームレート(VFR)記録機能」(39 ページ)を参照してください。

FRATE : メニューのVFR項目が“ON”のとき、USR SW F.RATE項目で設定したフレームレートに切り替える機能を割り付けます。例えばVFR機能について、FRAME RATE項目で“24P”を、USR SW F.RATE項目で“12P”を選択しておく、VFR機能がONのとき、このボタンで12Pと24Pを切り替えることが可能になります。FRAME RATE項目、USR SW F.RATE項目はSYSTEM SETTING ページの<SYSTEM MODE>画面から選択します。

VF GAM : GAMMA MODE SEL項目で“FILM-REC”を選択しているとき、ビューファインダー映像に対し、テレシネ変換補正を行います。GAMMA MODE SEL項目はPAINTページの<GAMMA>画面から選択します。

- AUDIO CH1** :音声チャンネル1の入力信号を切り替える機能を割り付けます。
 押すごとにFRONT→W.L.→REARの順番で切り替わります。このときAUDIO INスイッチも操作を受け付け可能で、より後に受け付けた操作を優先します。
- AUDIO CH2** :音声チャンネル2の入力信号を切り替える機能を割り付けます。
 押すごとにFRONT→W.L.→REARの順番で切り替わります。このときAUDIO INスイッチも操作を受け付け可能で、より後に受け付けた操作を優先します。
- REC SW** : REC START ボタンの機能を割り付けます。
- RET SW** : レンズのRET ボタンの機能を割り付けます。
- PRE REC** : PRE RECORDINGのON/OFFを切り替える機能を割り付けます。
- SLOT SEL** : P2カードを複数挿入しているとき、記録対象のカードを切り替える機能を割り付けます。VFR機能がONのときの記録時は無効です。
- PC MODE** : USBデバイスモード、またはUSBホストモードのON/OFFを切り替える機能を割り付けます。
 USBデバイスモードとUSBホストモードの切り替えはSYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面からPC MODE SELECT項目を選択して行います。
- TEXT MEMO** : テキストメモ機能のON/OFFを切り替える機能を割り付けます。テキストメモ機能について、詳しくは「テキストメモ機能」(48ページ)を参照してください。この機能はTEXT MEMO ボタンにのみ割り付け可能です。
- VF MARK** : ビューファインダーに記録するマーカーを、A、B、OFFの中から選択します。A、Bのマーカーの種類は、VFページの<VF MARKER>画面で設定します。この機能はMARKER SELECT ボタンにのみ割り付け可能です。

◆ **NOTE:**

- リモートコントローラー：AJ-RC10G（別売品）を接続し、AJ-RC10G側のUSER ボタンにI.OVRやC.TEMPを割り付けた場合、本機のJOGダイヤルボタンの操作は無効になります。
- 以下の機能は、本機の電源をOFFにすると機能もOFFになります。
 I.OVR/S.BLK/B GAMMA/Y GET/DRS/ASSIST/C.TEMP/FRATE/VF GAM
 ただしC.TEMPについては、可変した色温度は保持されます。

音声入力の選択と録音レベルの調整

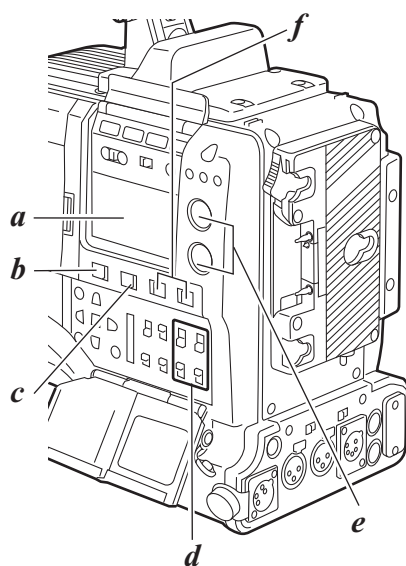
本機は、Native記録のVFR時を除くすべての記録フォーマットで音声独立4チャンネル記録が可能です。AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチを「AUTO」にすると、音声チャンネル1/2に録音されるレベルは自動的に調整されます。また「MAN」側にすると手動で調整することもできます。なお、音声チャンネル3/4に録音されるレベルはメニューにより選択できます。

◆NOTE:

P2カードに記録される音声チャンネルは4chになります。

音声入力信号の選択

AUDIO IN スイッチで音声チャンネル 1/2/3/4 に録音する入力信号を選択します。詳しくは「音声機能部 (入力系)」(18 ページ) を参照してください。



- a. 表示窓
- b. MONITOR CH1/3 / ST / CH2/4切り替えスイッチ
- c. MONITOR SELECT CH1/2 / CH3/4切り替えスイッチ
- d. AUDIO IN (CH1/CH2/CH3/CH4) スイッチ
- e. AUDIO LEVEL CH1/CH2つまみ
- f. AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチ

◆NOTE:

- 4チャンネル記録される音声信号は、そのままSDI出力されます。
- Native記録のVFRでは、音声の記録・出力ができません。

音声関連の詳細設定は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO1>画面と<MIC/AUDIO2>画面で行います。

詳しくは「MAIN OPERATION」(192 ページ) を参照してください。

```
→ < MIC/AUDIO1 >
FRONT VR CH1      :OFF
FRONT VR CH2      :OFF
MIC LOWCUT CH1    :OFF
MIC LOWCUT CH2    :OFF
MIC LOWCUT CH3    :OFF
MIC LOWCUT CH4    :OFF
LIMITER CH1      :OFF
LIMITER CH2      :OFF
AUTO LEVEL CH3    :ON
AUTO LEVEL CH4    :ON
TEST TONE         :NORMAL
```

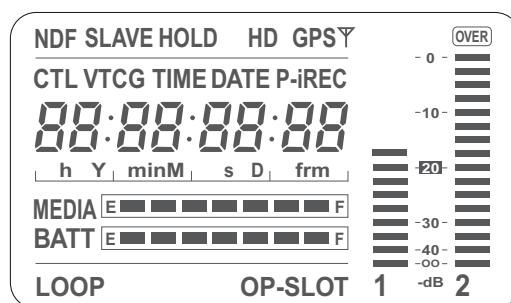
```
→ < MIC/AUDIO2 >
FRONT MIC POWER   :ON
REAR MIC POWER    :ON
MONITOR SELECT    :STEREO
FRONT MIC LEVEL   : -40dB
REAR MIC CH1 LEVEL : -60dB
REAR MIC CH2 LEVEL : -60dB
REAR LINE IN LVL  : +4dB
AUDIO OUT LVL     : +4dB
HEADROOM          : 20dB
WIRELESS WARN     :OFF
WIRELESS TYPE     :SINGLE
```

録音レベルの調整

音声チャンネル1/2に録音されるレベルを手動調整する手順は以下の通りです。

- 表示窓のオーディオレベルメーター表示がCH1、CH2を示すように、MONITOR SELECT CH1/2 / CH3/4 切り替えスイッチをCH1/2側にし、表示窓の表示が1、2であることを確認してください。
また、FRONT AUDIO LEVELつまみを有効にするかどうかは、あらかじめFRONT VR CH1項目と、FRONT VR CH2項目で設定してください。なお、工場出荷時は、動作しないモードになっています。各項目は、MAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO1>画面から選択できます。
- AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチを「MAN」にします。
- 表示窓の音声チャンネルレベルメーター、またはビューファインダー内のオーディオレベルメーター表示を見ながらAUDIO LEVEL CH1/CH2つまみを調整します。
なお、最上段のバー（0 dB）を超えるとOVER表示が点灯し入力音量が過大であることを示します。最大でも0 dBまで表示しないように調整する必要があります。

表示窓オーディオレベルメーター表示



ビューファインダー内オーディオレベルメーター表示



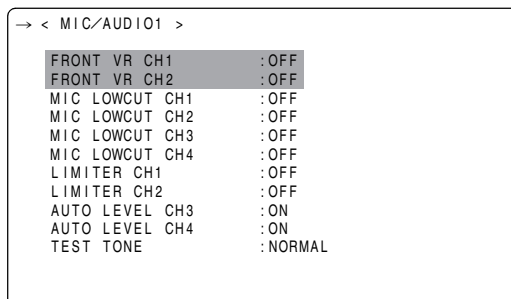
本機を一人で操作する場合、音声レベルの調整には、FRONT AUDIO LEVELつまみのご使用を推奨します。

あらかじめ調整したいオーディオチャンネルを選択し、ビューファインダー画面上でのレベルメーターを見ながら、過大入力にならないよう、FRONT AUDIO LEVELつまみで調整します。

FRONT AUDIO LEVEL つまみの機能の選択

FRONT AUDIO LEVELつまみでも録音レベルの調整をすることができます。

本機能の選択は、メニュー操作で、MAIN OPERATIONページから<MIC/AUDIO1>画面を開き、FRONT VR CH1 とFRONT VR CH2の項目で入力信号として選択された系統に対して、FRONT AUDIO LEVELつまみを有効にするかしないかを設定します。



CH3/CH4 の録音レベルについて

AUTO LEVEL CH3項目とAUTO LEVEL CH4項目の設定条件と入力レベル設定により、音声チャンネル3/4の録音レベル動作は、以下の表のように変わります。なお、手動での調整はできません。

各項目は、MAIN OPERATION ページから<MIC/AUDIO1>画面で選択が可能です。

AUTO LEVEL CH3/CH4	入力レベル	
	LINE	MIC
ON	AGC ON	AGC ON
OFF	AGC/LIMITER OFF	LIMITER ON

タイムデータの設定

本機はタイムデータとしてタイムコード、ユーザーズビット、日時（リアルタイム）データを備え、サブコード領域と VIDEO AUX 領域、およびクリップメタデータファイルのデータとして記録されます。また、CTL カウンタ、カメラ ID を内蔵しています。

タイムデータの概要

タイムコード

TCG スイッチでレックランとフリーランに切り替えることができます。

フリーラン: 常に歩進し、電源を切っても歩進が行われ、時刻と同様に扱うことができます。また、TC IN 端子に入力されたタイムコードにスレーブロックして記録することができます。

レックラン: P2 カードに記録されたクリップのタイムコードにリジエネして連続値として記録できます。

◆ NOTE:

Native 記録の VFR では、レックランのみでフリーラン動作はしません。

ユーザーズビット

サブコード領域に記録するユーザーズビット (UB) と、VIDEO AUX 領域に記録する UB (VITC UB) の 2 種類を別々に内蔵しています。

それぞれユーザー設定値、時刻、年月日、タイムコードと同じ値、カメラ撮影のフレームレート情報、外部 (TC IN 端子) 入力値、P2 カードのクリップに記録されたユーザーズビットにリジエネした値などを選択して記録することができます。

なおユーザー設定値は 1 種類のみを内蔵しており、UB と VITC UB の両方でユーザー設定値を選択した場合は、同じ値が記録されます。

UB の種類の選択は UB MODE 項目で、VITC UB の種類の選択は VITC UB MODE 項目で行うことができますが、以下の場合、編集機器 (パソコンなどの編集ソフト) が撮影時のフレームレート情報を使用する場合に備えてフレームレート情報に固定されます。

- 1080i モードの 24P/24PA 撮影時は、VITC UB がフレームレート情報に固定されます。
- Native モードでは VITC UB はフレームレート情報に固定されます。

日時 (リアルタイム)

内蔵の時計により、年、月、日、時刻を計測しています。また、GPS ユニット AJ-GPS910G を取り付けることにより、GPS からの正確な日時で内蔵時計を補正することができます。

内蔵時計はフリーランタイムコードの電源オフ中の計測や、ユーザーズビットの時刻、年月日データとして使用されるだけでなく、クリップを記録時にファイル生成時刻の基準になり、サムネールの並びや再生順序が決まります。またクリップメタデータや、VIDEO AUX 領域の UMID (Unique Material Identifier) の生成にも使用されます。

CTL カウンタ

CTL カウンタは、記録時はリセットしてからのトータルの記録時間を計測します。また、再生時は再生可能なクリップの先頭を基準としてカウントする値です。現在の再生位置を相対的に知る手段として使用できます。

カメラ ID

カメラ ID は 10 文字 × 3 行で設定でき、カラーバー映像に重畳して記録できます。

日時データと同時に重畳して記録することも可能です。

タイムコードおよびユーザズビットの記録

入力信号や、SYSTEMモードやカメラモードの設定によって以下のようになります。

システムの設定						タイムコード (TC) の動作				ユーザズビット (UB) の動作		
SYSTEM MODE	REC FORMAT	CAMERA MODE	VFR	VFR FRAME RATE	記録フレーム方式*7	サブコード・VIDEO AUX領域のTC	記録とプリセット時のTCのフレーム数	出力TCのフレーム数	表示TCのフレーム数	サブコード領域のUB	VIDEO AUX領域のUB (VITC UB)	
1080-59.94i	DVCPROHD/60i	60i	OFF	無効	59.94i	TC MODEに従う*2	30	30	30/24切替可	UB MODEに従う*4	VITC UB MODEに従う	
			ON	1~30FRAME	59.94i (Over 59.94i)							
		30P	OFF固定	無効	29.97P (Over 59.94i)							ノンドロップフレーム固定*3
		24P	OFF固定	無効	23.98P (Over 59.94i)							
	AVC-I 100/60i AVC-I 50/60i	60i	OFF	無効	59.94i	TC MODEに従う*2	30	30	30/24切替可	UB MODEに従う*4,6	フレームレート情報固定*1	
			ON	1~30FRAME	59.94i (全フレーム有効)	ノンドロップフレーム固定*5						
	AVC-I 100/30PN AVC-I 50/30PN	30P	OFF	無効	29.97P-29.97PN (Native)	TC MODEに従う*2	30	30	30/24切替可	UB MODEに従う*4,6	フレームレート情報固定*5	
			ON	1~30FRAME	0.997~29.97P-29.97PN (Native)	TC MODEに従う REC RUN固定						
AVC-I 100/24PN AVC-I 50/24PN	24P	OFF	無効	23.98P-23.98PN (Native)	ノンドロップフレーム固定*3	24	30	記録：24固定 再生：30/24切替可	UB MODEに従う*4,6	フレームレート情報固定*5		
		ON	1~30FRAME	0.997~29.97P-23.98PN (Native)	ノンドロップフレーム固定 REC RUN固定							
1080-23.98PsF	AVC-I 100/24PN AVC-I 50/24PN	24P	OFF	無効	23.98P-23.98PN (Native)	ノンドロップフレーム固定*3	24	HD SDI A・B: 24 その他: 30	記録・再生: 24	UB MODEに従う*4,6	フレームレート情報固定*5	
			ON	1~30FRAME or 24FRAME	0.997~23.98P-23.98PN (Native) or 0.997~29.97P-23.98PN (Native)	ノンドロップフレーム固定 REC RUN固定						
1080-24PsF	AVC-I 100/24PN AVC-I 50/24PN	24P	OFF	無効	24P-24PN (Native)	ノンドロップフレーム固定*3	24	HD SDI A・B: 24 その他: 30	記録・再生: 24	UB MODEに従う*4,6	フレームレート情報固定*5	
			ON	1~30FRAME or 24FRAME	1~24P-24PN (Native) or 1~30P-30PN (Native)	ノンドロップフレーム固定 REC RUN固定						
1080-50i	DVCPROHD/50i	50i	OFF	無効	50i	TC MODEに従う*2	25	25	25	UB MODEに従う*4	VITC UB MODEに従う	
			ON	1~25FRAME	50i (Over 50i)							
	AVC-I 100/50i AVC-I 50/50i	50i	OFF	無効	50i	TC MODEに従う*2	25	25	25	UB MODEに従う*4,6	フレームレート情報固定*5	
			ON	1~25FRAME	50i (Over 50i)	REC RUN固定						
	AVC-I 100/25PN AVC-I 50/25PN	25P	OFF	無効	25P-25PN (Native)	TC MODEに従う*2	25	25	25	UB MODEに従う*4,6	フレームレート情報固定*5	
			ON	1~25FRAME	1~25P-25PN (Native)	REC RUN固定						

- *1 <OPTION>画面のFRAME RATE UB項目を“MENU”にすると UB MODEまたはVITC UB MODEに従って記録することが可能ですが、この場合、編集機器（パソコンの編集ソフト）で必要な情報が記録できません。
- *2 フリーランではTC IN端子に入力されたタイムコードにスレーブします。
- *3 フリーランではTC IN端子に入力されたタイムコードがノンドロップフレームの場合にスレーブします。
- *4 UB MODE項目が“EXT”に設定されていると、TC IN端子に入力されたユーザズビットにスレーブします。
- *5 メニュー設定にかかわらず、いかなる場合もフレームレート情報が記録されます。再生ではプルダウンされたフレームレート情報に変換して出力されます。
- *6 UB MODE項目を“FRM RATE”に設定している場合、再生時にはVAUX領域のUBから読み出したプルダウンフレームレート情報が出力されます。
- *7 この項目について、詳しくは「記録フォーマットと出力端子の信号フォーマット」（51 ページ）を参照してください。

ユーザズビットの設定

サブコード領域に記録するユーザズビット (UB) を UB MODE項目で、VIDEO AUX領域に記録するユーザズビット (VITC UB) を VITC UB MODE項目で選択します。

USER (UB MODEのみ)

内蔵しているユーザー値を記録します。ユーザー値は、表示窓を利用して入力できます。入力方法について、詳しくは「ユーザー値の入力方法」を参照してください。記録されたユーザー値は、電源を切っても保持されます。

TIME

内蔵時計で計測している時刻を記録します。

DATE

内蔵時計で計測している年、月、日、時刻の「時」の桁を記録します。

EXT (UB MODEのみ)

TC IN端子に入力されているユーザズビット値を記録します。

内蔵しているユーザー値もこの入力値に変わります。

TCG

タイムコード値が記録されます。

FRM RATE

カメラ撮影のフレームレート情報が記録されます。詳しくは「ユーザズビットに記録されるフレームレート情報」(67 ページ) を参照してください。

REGEN

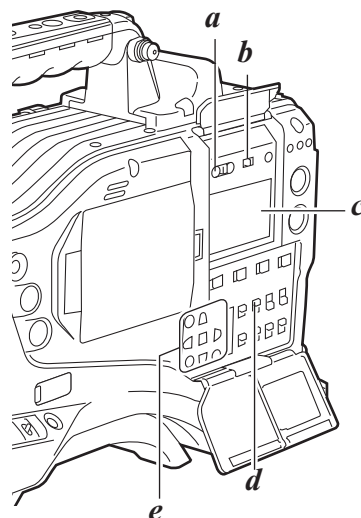
現在記録対象となっている P2 カードに最後に記録されたユーザズビットを読み出し、その値をそのまま記録します。

USER/EXT (VITC UB MODEのみ)

内蔵しているユーザー値をVIDEO AUX領域のユーザズビットとして記録します。

UB MODE項目を「USER」または「EXT」にしているときに表示するユーザズビットと同値です。

ユーザー値の入力方法



- a. HOLDスイッチ
- b. DISPLAYスイッチ
- c. 表示窓
- d. TCGスイッチ
- e. カーソル/SET ボタン

- 1 DISPLAYスイッチを「UB」にします。
- 2 TCGスイッチを「SET」にします。
左の桁が点滅し、数値が変更可能になります。
- 3 カーソルボタンでユーザズビットを設定します。
 - ▷ ボタン： 設定を行う(点滅している)桁が右に移ります。
 - ◁ ボタン： 設定を行う(点滅している)桁が左に移ります。
 - △ ボタン： 点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。
 - ▽ ボタン： 点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。
- 4 TCGスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にします。
- 5 MAIN OPERATIONページから<TC/UB>画面を開き、UB MODE項目で“USER”を選択します。

◆ NOTE:

- TCGスイッチを「SET」に切り替えている間は、サムネール操作はできません。
- VITC UBを確認するにはHOLDスイッチを押し、表示窓にVITCGを表示させます。

ユーザズビットのメモリー機能について

ユーザズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

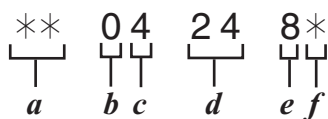
ユーザズビットに記録されるフレームレート情報

FRAME RATE項目やCAMERA MODE項目で設定されるフレームレートに従って記録される映像情報をユーザズビットに記録しておき、編集機器（パソコンの編集ソフトなど）で利用できます。

1080iではVIDEO AUX領域に記録されたユーザズビットのフレームレート情報が利用されます。

フレームレート情報

フレームレートおよび映像のプルダウンと、タイムコード・ユーザズビットの関係は以下のようになっています。



a: 右6桁の検算情報

b: 固定値

c: シーケンス No.

0~4: 24P, 24PA

F固定: 上記以外

d: フレームレート

e: カメラ撮像モード

f: メディア管理情報

- 更新フレーム/有効フレーム情報
- REC START/STOPマーク

1080iのとき

フレームレート：24P Over 60i (2:3)

更新フレームの先頭フィールド

タイムコードフレーム桁

00 01 02 03 04 05 06 ... 23 24 25 26 27 28 29

映像

AoAe BoBeBc CeCc DeDdDe AoAe BoBe ... CoCeDdDeAoAe BoBeBoCe CoCeDdDe

シーケンス No.

0 1 2 3 4 0 1 ... 3 4 0 1 2 3 4

更新フレーム情報

10 10 01 01 00 10 10 ... 01 00 10 10 01 01 00

フレームレート：24PA Over 60i (2:3:3:2)

タイムコードフレーム桁

00 01 02 03 04 05 06 ... 23 24 25 26 27 28 29

映像

AoAe BoBeBc CeCc DeDdDe AoAe BoBe ... CoCeDdDeAoAe BoBeBoCe CoCeDdDe

シーケンス No.

0 1 2 3 4 0 1 ... 3 4 0 1 2 3 4

更新フレーム情報

10 10 01 00 10 10 10 ... 00 10 10 10 01 00 10

フレームレート：30P Over 60i (2:2)

25P Over 50i (2:2)

タイムコードフレーム桁

00 01 02 ...

映像

AoAe BoBeCoCe ...

更新フレーム情報

10 10 10 ...

◆ NOTE:

Native記録されたクリップの再生では、ユーザズビットのフレームレート情報は、映像のプルダウンにあわせて変換して出力されます。

例：記録

** 0F 24 C*

再生



** 0# 24 8*

#はシーケンスNo.0~4

内蔵時計の日付 / 時刻の設定

- 1 DISPLAYスイッチを「UB」にします。
- 2 HOLDボタンを押し表示窓にDATEを表示させます。
- 3 TCGスイッチを「SET」にします。
- 4 カーソルボタンで年月日 (Y/M/D) を設定します。
なお、年の設定の上限は2030年です。
▷ ボタン：設定を行う(点滅している)桁が右に移り
ます。
◁ ボタン：設定を行う(点滅している)桁が左に移り
ます。
△ ボタン：点滅している桁の数値を1ずつ大きくしま
す。
▽ ボタン：点滅している桁の数値を1ずつ小さくしま
す。
- 5 HOLDボタンを押し、表示窓にTIMEを表示させます。
- 6 カーソルボタンで時分秒 (h/min/s) を設定します。
- 7 TCGスイッチを「F-RUN」または「R-RUN」にしま
す。スイッチを切り替えた時から内蔵時計が動作を開
始します。
- 8 HOLDボタンを押し、表示窓にTIME ZONE (世界標
準時からの時差) を表示させます。
- 9 TCGスイッチを「SET」にします。
- 10 △ボタン、▽ボタンで時分 (h/min) と世界標準時か
らの進み(無表示) / 遅れ(‘-’表示)を設定しま
す。
例) 時差5:00遅れ(New York)の場合
“05:00 -” と設定
タイムゾーンは日付/時刻とともに常にメタデータと
して記録されます。
右表を参考に現地時刻に合わせて設定してください。
- 11 TCGスイッチを、「F-RUN」または「R-RUN」にし
てタイムゾーンを確定させます。

◆NOTE:

- 本機を初めて使用する前には、必ず本設定を行ってくださ
い。また、途中で設定変更を行わないでください。
- TCGスイッチを「SET」に切り替えている間は、サムネー
ル操作はできません。

時 差	地 域	時 差	地 域
00:00	グリニッジ	- 12:00	クワジャリン
+ 00:30		- 11:30	
+ 01:00	中央ヨーロッパ	- 11:00	ミッドウェイ諸島
+ 01:30		- 10:30	
+ 02:00	東ヨーロッパ	- 10:00	ハワイ
+ 02:30		- 09:30	マルケサス諸島
+ 03:00	モスクワ	- 09:00	アラスカ
+ 03:30	テヘラン	- 08:30	
+ 04:00	アブダビ	- 08:00	ロスアンジェルス
+ 04:30	カブール	- 07:30	
+ 05:00	イスラマバード	- 07:00	デンバー
+ 05:30	ボンベイ	- 06:30	
+ 06:00	ダッカ	- 06:00	シカゴ
+ 06:30	ヤンゴン	- 05:30	
+ 07:00	バンコク	- 05:00	ニューヨーク
+ 07:30		- 04:30	
+ 08:00	北京	- 04:00	ハリファックス
+ 08:30		- 03:30	ニューファンドランド島
+ 09:00	東京	- 03:00	ブエノスアイレス
+ 09:30	ダーウィン諸島	- 02:30	
+ 10:00	グアム	- 02:00	中部大西洋
+ 10:30	ロード・ハウ諸島	- 01:30	
+ 11:00	ソロモン諸島	- 01:00	アゾレス諸島
+ 11:30	ノーフォーク島	- 00:30	
+ 12:00	ニュージーランド		
+ 12:45	チャタム諸島		
+ 13:00			

◆NOTE:

- ステップ4で年月日を設定後、TCGスイッチを「F-RUN」
または「R-RUN」にしても、スイッチを切り替えたとき
から内蔵時計が動作を開始します。
年月日、時分秒、タイムゾーンの設定中に設定をキャンセ
ルしたい場合は、SETボタンを押しながらTCGスイッチ
を「F-RUN」または「R-RUN」にします。
- 時計精度は、電源OFF状態で月差約±30秒程度です。正
確な時刻を必要とする場合は、電源ON時に、時刻確認、
再設定を行ってください。
なお、GPSユニットAJ-GPS910Gを装着して時刻を受信
できているときは、受信時刻(世界標準時)とタイムゾ
ーンから、内蔵時計の時刻(現地の日時)を正確に保ちま
す。DATE、TIME表示が現地時刻とずれているときは、タ
イムゾーンの設定がずれている可能性があります。再度タ
イムゾーンの設定を確認してください。(DATE、TIMEを
再設定する必要はありません)
- 内蔵時計は、本機に内蔵されたリチウム電池で数年間動作
します。リチウム電池の容量がなくなると、電源ON時に
「BACKUP BATT EMPTY」とビューファインダーに表示
します。詳しくは「メンテナンス」(155ページ)を参照
してください。

タイムコードの設定

- 1 DISPLAYスイッチを「TC」にします。
- 2 TCGスイッチを「SET」にします。
- 3 TC MODE項目で“DF”または“NDF”に切り替えます。ドロップフレームモードでタイムコードを進ませるときは“DF”に、ノンドロップフレームモードで進ませるときは“NDF”に設定します。ただし24P、24PA、24PN (Native) では常にNDFで動作します。TC MODE項目は、MAIN OPERATIONページの<TC UB>画面から選択します。

◆NOTE:

“DF”と“NDF”の切り替えは、本機のシステム周波数を59.94 Hzに設定しているときに有効です。

- 4 カーソルボタンでタイムコードを設定します。タイムコードの設定可能範囲は、00:00:00:00～23:59:59:29 (59.94 Hz)、23:59:59:23 (24PN) または23:59:59:24 (50 Hz) です。

▷ ボタン : 設定を行う(点滅している)桁が右に移ります。

◁ ボタン : 設定を行う(点滅している)桁が左に移ります。

△ ボタン : 点滅している桁の数値を1ずつ大きくします。

▽ ボタン : 点滅している桁の数値を1ずつ小さくします。

- 5 TCGスイッチを切り替えます。タイムコードをフリーランで進ませるときは「F-RUN」に切り替え、レックランで進ませるときは「R-RUN」に切り替えます。

◆NOTE:

- 24P または 24PA でご使用時は、タイムコードの設定は5フレーム単位に、24PN (Native) では4フレーム単位に調整されます。また24P、24PA、24PN (Native) では記録中にタイムコードの設定はできません。
- TCG スイッチを「SET」に切り替えている間は、サムネール操作はできません。

タイムコードのリジエネについて

TCGスイッチをR-RUNに設定すると、P2カードに最後に記録されたクリップ(記録日時が最も新しいクリップ)の最後のフレームに記録されているタイムコードを読み出し、その値を継続して記録することができます。

またFIRST REC TC項目で“REGEN”を選択し、P2カードを抜き差ししたり、USERボタンのSLOT SEL機能で記録対象カードを変更した場合、記録対象になったP2カードの最後に記録されたクリップに、タイムコードが継続して記録されます。記録されたクリップがない場合は、本機のTCジェネレーター値から記録されます。

FIRST REC TC項目は、MAIN OPERATIONページの<TC/UB>画面から選択します。

REC REVIEWによるリジエネ機能

FIRST REC TC項目で“PRESET”を選択しているときや、タイムコードを設定/リセットしたり、またはタイムコードをフリーランからレックランに切り替えた後に、P2カードに記録されたクリップの最後のタイムコードにリジエネすることが可能です。

なおこの動作を行うときは、<SW MODE>画面のRET SW項目を「R.REVIEW」に、<TC/UB>画面のREC REVIEW REGEN項目を「ON」に、それぞれ設定してください。

- 1 記録対象になっているP2カードを確認します。複数のP2カードを挿入している場合、最後に記録したクリップのタイムコードにリジエネさせるには、THUMBNAIL ボタンを押してサムネール画面を開きます。
- 2 画面の最後に表示するクリップを記録したP2カードを確認し、そのP2カードで記録するよう、SLOT SEL 機能を割り付けたUSERボタンでスロットを切り換えます。
- 3 レンズのRETボタンを押します。ビューファインダーに“TC REGEN”と表示されます。次に記録を行うとき、記録対象カードに最後に記録されたクリップのタイムコードにリジエネします。

◆NOTE:

- 記録対象カードを変更すると、変更したP2カードに最後に記録したクリップのタイムコードにリジエネします。
- 記録中やフリーラン時は、この機能は使えません。

バッテリー交換時のタイムコードについて

バッテリー交換時にもバックアップ機構が働いて、動作を続けます。

なおSYSTEM MODEを変更した場合、フリーランのタイムコードがずれる場合があります。電源を再投入後、タイムコードを確認し、必要に応じて設定しなおしてください。

◆NOTE:

POWERスイッチをON→OFF→ONと切り替えた場合、フリーランのタイムコードのバックアップ精度は約±2フレームです。

タイムコードを外部ロックさせる

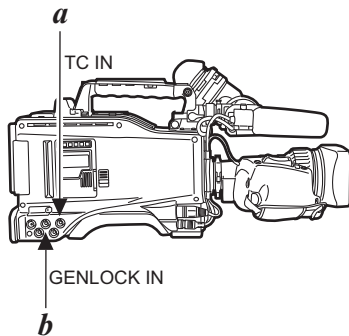
本機の内部タイムコードジェネレーターを外部ジェネレーターにロックさせることができます。また、外部のタイムコードジェネレーターを本機の内部ジェネレーターにロックさせることもできます。

外部ロックさせる為の接続例

図の様に、リファレンスビデオ信号と基準タイムコードの両方を接続します。

例 1 :

外部の信号にロックさせる場合



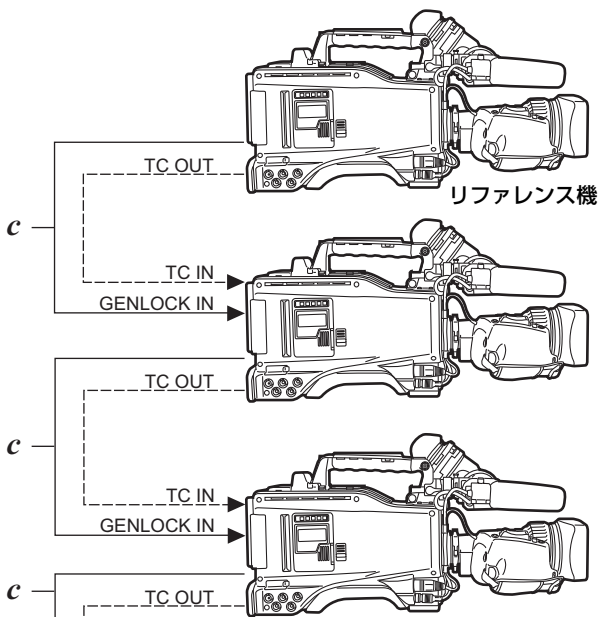
a. 基準タイムコード
b. リファレンスビデオ信号

◆ NOTE:

リファレンスビデオ信号としては、HDのY基準信号のほか、コンポジットビデオ信号も入力可能です。

例 2 :

本機を複数台つなぎ、1台をリファレンス機とする場合



c. MON OUT (VBS)

◆ NOTE:

複数台でシステムを組む場合は、メニュー操作で SYSTEM SETTING ページから <GENLOCK> 画面を開き、GL PHASE 項目を接続する端子に合わせて設定してください。

MON OUT 端子の VBS 出力信号と、タイムコードの位相を合わせる必要があります。

ただし、GL PHASE 項目は、全てのカメラを同じ設定にしてください。異なる設定が混在すると、撮像タイミングが一致しくなくなります。

なお、1080/23.98PsF、1080/24PsF のときは、例 2 のように本機 1 台をリファレンス機として VBS 接続でタイムコードをロックさせることはできません。例 4、例 6 に従って接続してください。

リファレンスビデオ信号	GL PHASE 項目の設定
MON OUT (VBS)	COMPOSIT

GL PHASE 項目の設定

項目	可変範囲	備考
GL PHASE	HD SDI COMPOSIT	<p>GENLOCK IN 端子に入力された信号に、位相をロックさせる出力信号を選択します。</p> <p>HD SDI: HD SDI 出力信号をゲンロック入力にロックさせます。ダウンコンバーター出力信号は、映像のスタート位置が約 90 ライン遅れます。</p> <p>COMPOSIT: ダウンコンバーター出力信号をゲンロック入力にロックさせます。HD SDI 出力信号は、映像のスタート位置が約 90 ライン進みます。ただし 1080/23.98PsF、1080/24PsF のときは、COMPOSIT を選択しても HD SDI の位相にロックされます。</p>

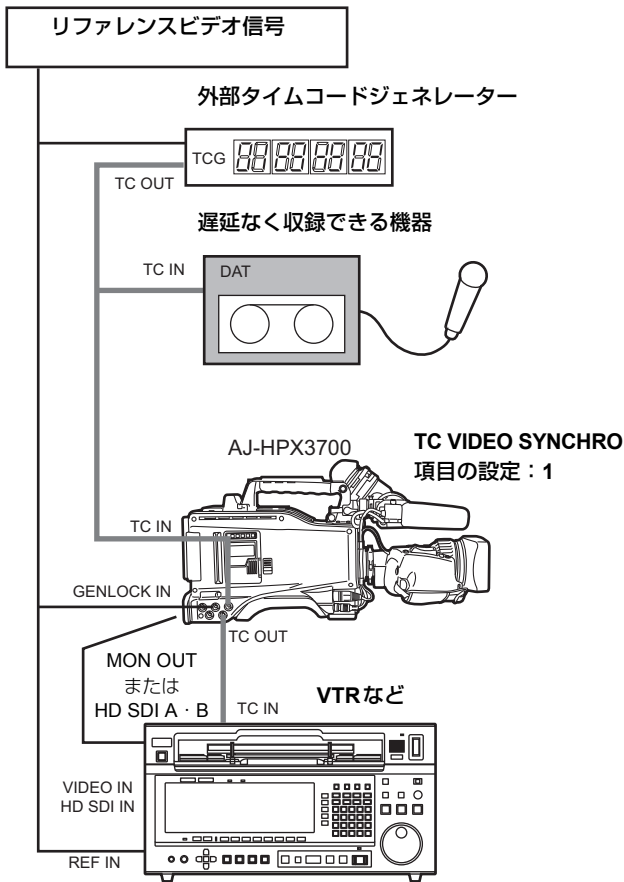
本機は、撮像素子でとらえた映像をプログレッシブ信号からインターレース信号に変換する処理が必要なため、カメラ内部で映像信号の遅延が起きます。
 また、24P フレームから 2 : 3 プルダウンする処理時間が必要なため、カメラ内部で映像信号の遅延が起きます。
 遅延なく収録できる機器と本機を並列に接続して記録する場合、タイムコードのタイミングを合わせる必要があります。このタイミングは、MAIN OPERATION ページから <TC UB> 画面を開き、TC VIDEO SYNCHRO 項目で設定します。接続例を参考に設定を行ってください。

TC VIDEO SYNCHRO 項目の設定

項目	可変範囲	備考
TC VIDEO SYNCHRO	0	映像信号の遅延に合わせてタイムコードを補正する設定を行います。 0: 補正しません。 1: 映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせます。 2: 映像のタイミングに合わせて、出力するタイムコードを進めます。 3: 映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせ、出力するタイムコードを進めます。
	1	
	2	
	3	

例 3 :

本機と外部機器を外部の外部タイムコードジェネレーターにロックさせる場合。また、本機の TC OUT 出力信号を使用して同時記録を行う場合。

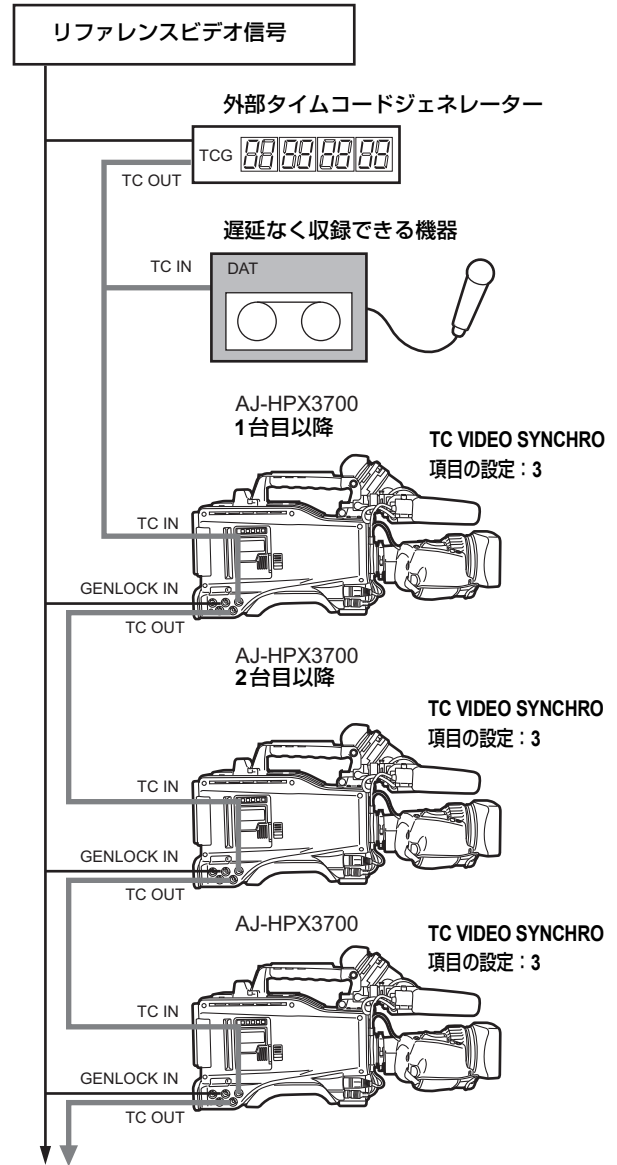


◆ NOTE:

1080/23.98PsF、1080/24PsF の場合、23.98PsF、24PsF の HD 信号をリファレンス信号とし、TC IN 端子には 24 フレームのタイムコードを入力してください。
 VTR が HD SDI のタイムコードを記録できる場合、タイムコード出力信号を VTR に供給せず、HD SDI A・B 端子から出力されるタイムコードを受信して、映像とタイムコードの同時記録を行うこともできます。

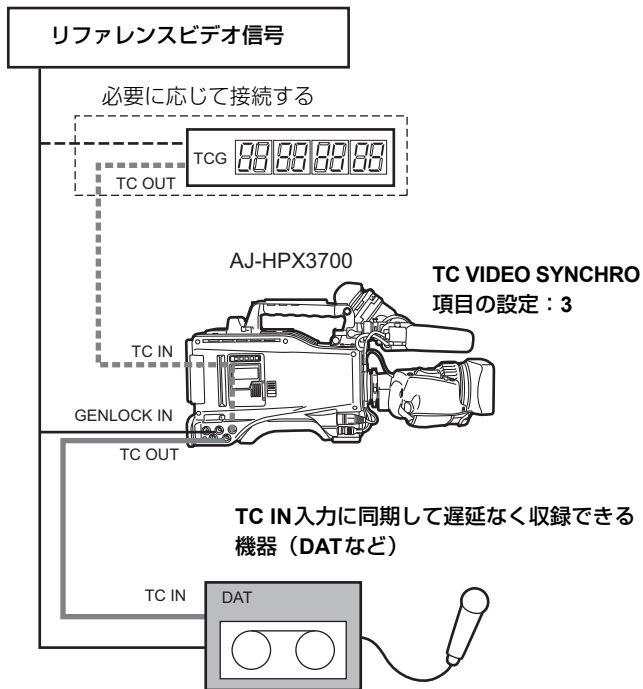
例 4 :

本機と外部機器を外部タイムコードジェネレーターにロックさせる場合。また、本機を複数台カスケード接続する場合。



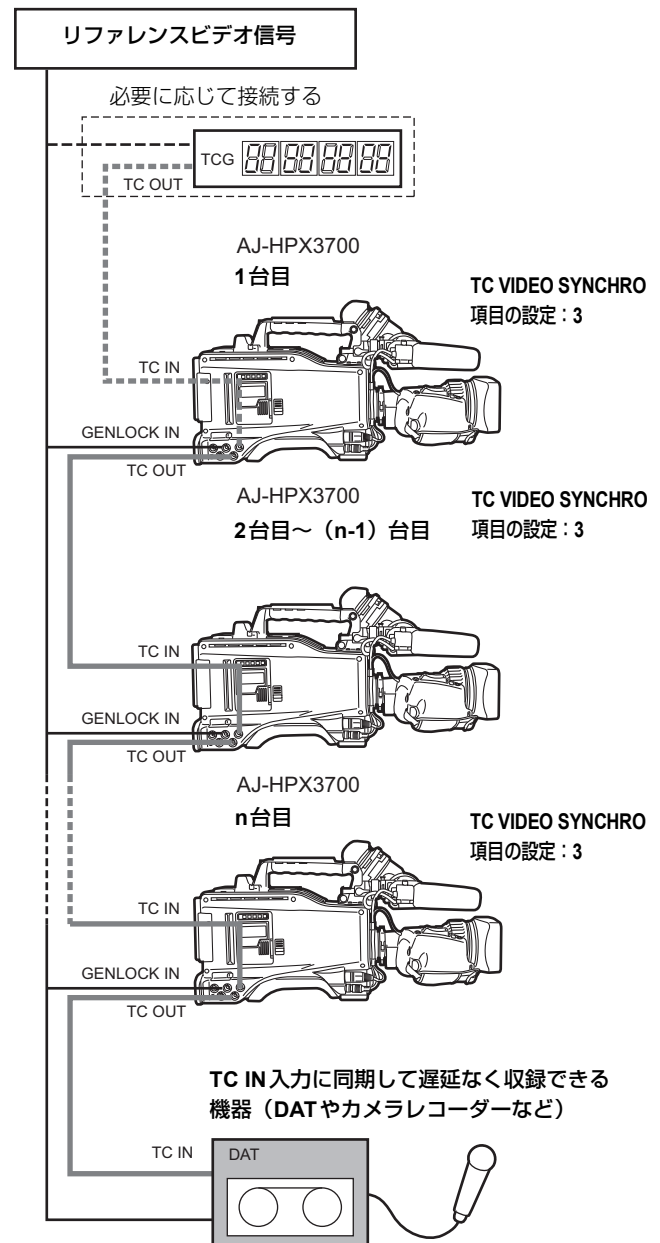
例5：

本機のタイムコードジェネレーターに外部機器をロックさせる場合。



例6：

カスケード接続した本機のタイムコードジェネレーターに外部機器をロックさせる場合。



外部ロックの操作手順

以下の手順で、外部ロックさせます。

- 1 POWERスイッチをONにします。
- 2 TCGスイッチを「F-RUN」にします。
- 3 DISPLAYスイッチを「TC」にします。
- 4 GENLOCK項目を“EXT”に設定します。
GENLOCK項目は、SYSTEM SETTINGページの<GENLOCK>画面から選択します。
- 5 タイムコードの規格を満たした位相関係にある基準タイムコードとリファレンスビデオ信号を、TC IN端子とGENLOCK IN端子へそれぞれ供給します。

これで内蔵タイムコードジェネレーターは、基準タイムコードにロックします。

ロックしてから約 10 秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

◆ NOTE:

- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がカウンター表示部に出ます。シンクジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録モードにしないでください。
- 24P、24PA、24PN (Native) で外部ロックさせるときは、必ずノンドロップフレームのタイムコードを入力してください。ドロップフレームでは外部ロックできません。また外部ロックした瞬間、画像が乱れることがありますが、5 フレーム周期を合わせるためであり、異常ではありません。
- 24P、24PA および Native モードで記録中は、タイムコードを外部ロックすることはできません。記録前にロックしてください。
また、これらのモードで、かつPRE REC MODEを「ON」でご使用の場合、記録直前にタイムコードをREC RUNからFREE RUNに切り替えたり、スレーブロックさせると乱れた映像や停止したタイムコードが記録されることがあります。
- 1080/23.98PsF には 23.94 Hz のノンドロップフレームのタイムコードを、1080/24PsF には 24 Hz のノンドロップフレームのタイムコードを入力してください。

外部ロック時のユーザーズビットの設定について

TCGスイッチをF-RUNに設定した場合、タイムコードのみが外部からのタイムコードにロックされます。ユーザーズビットを外部からの入力値にロックさせるには、UB MODE 項目で「EXT」、および VITC UB MODE 項目で「USER/EXT」を選択します。UB MODE 項目と VITC UB MODE 項目は、MAIN OPERATION ページの<TC/UB>画面から選択します。

外部ロックを解除するには

外部タイムコードの供給を止めてから、TCGスイッチを「R-RUN」に設定します。

外部ロック中に、電源をバッテリーから外部電源に切り替える時の注意

タイムコードジェネレーターの電源の連続性を保つため、DC IN端子に外部電源をつないでから、バッテリーパックを抜いてください。バッテリーパックを先に抜いたときは、タイムコードの外部ロックの連続性は保証されません。

外部ロック中のカメラ部の外部同期について

外部ロック中、GENLOCK IN 端子に入力されるリファレンスビデオ信号により、カメラ部はGENLOCKがかかります。

◆ NOTE:

- 本機をマスター機として複数台に外部ロックさせる場合は、本機のカメラモードと同一モードにする必要があります。インターレースとプログレッシブ混在等のシステムでは映像・タイムコードの連続性が保証されませんのでご注意ください。
- 本機の MON OUT 端子をリファレンスビデオ信号として使用する場合は、サイドパネルのOUTPUT SELスイッチを「CAM」側にしてお使いください。

タイムコードのスーパーインポーズについて

撮影・再生中にビューファインダーや液晶モニターにタイムコードを表示させるには、メニュー<VF INDICATOR3>画面のTC項目を“TCG”、“TCR”、または“TCG/TCR”に設定します。

これらのタイムコード表示をMON OUTやHD SDI A・B出力にも表示させるには、サイドパネルのMON OUT CHARACTER スイッチを「ON」に、またメニュー操作で<OUTPUT SEL>画面のHD SDI A・B CHAR項目を“A”、“B”、“BOTH”に設定します。

なお、カラーバー表示中にタイムコードを表示させるには、メニュー<VF INDICATOR3>画面のTC ON COLOR BAR項目を“ON”に設定します。

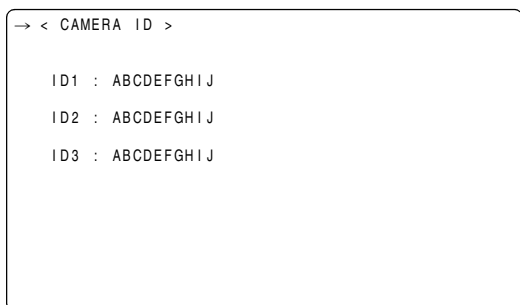
カメラ ID の設定

カメラ ID の設定は、<CAMERA ID> 画面で設定します。10 文字以内の英数字や記号、スペースが使用できます。

◆ NOTE:

設定メニューの表示中は、カラーバー信号を出力してもカメラ ID は表示しません。

- 1 CAM OPERATION ページから <CAMERA ID> 画面を開きます。



- 2 JOG ダイヤルボタンを回して、「ID 1 : ~3 :」の項目に矢印（カーソル）を移動します。
- 3 JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が ID 入力エリアに移動して入力モードになります。
- 4 設定したい文字が現れるまで、JOG ダイヤルボタンを回します。JOG ダイヤルボタンを回すと、文字表示が
スペース： □
↓
アルファベット： A~Z
↓
数字： 0~9
↓
記号： '、>、<、/、—
の順に切り替わります。
- 5 JOG ダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- 6 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、4~5 の操作を繰り返して、文字を設定します。
一度入力した文字を変更する場合は、JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を修正したい文字に移動して 4~5 の操作を行ってください。
- 7 文字の入力が終わると JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。
- 8 JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「ID 1 : ~3 :」の項目に戻ります。

- 9 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。

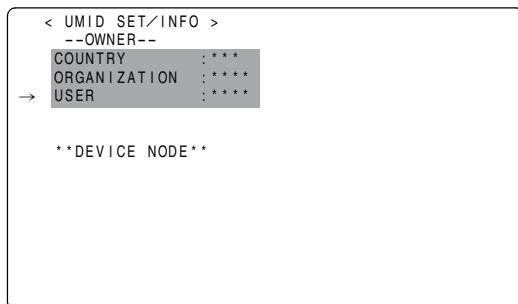
◆ NOTE:

- CAMERA ID 項目を「BAR」に設定すると、カメラ ID がカラーバー信号と同時に記録されます。CAMERA ID 項目は、VF ページの <VF INDICATOR1> 画面から開いてください。
- ID POSITION 項目でカメラ ID をカラーバーに重畳する位置が選択できます。ID POSITION 項目は、VF ページの <VF INDICATOR1> 画面から開いてください。
- TIME/DATE 項目を「ON」に設定すると、カメラ ID とともに日時情報をカラーバーに重畳して記録することが可能です。TIME/DATE 項目は、VF ページの <VF INDICATOR1> 画面から開いてください。

UMID 情報の設定

本機はメタデータのUMIDに対応しています。UMID情報として最初にユーザーの属する国名（3文字以内）と、組織名あるいは会社名（4文字以内）と、ユーザー名（4文字以内）を設定する必要があります。国名はISO3166 Country Code*を元に入力してください。
ここではユーザー名を例に説明します。

*例： 中国 **CHN**
 アメリカ **USA**
 カナダ **CAN**
 日本 **JPN**



- 1 MAIN OPERATION ページから<UMID SET/INFO>画面を開きます。
- 2 JOG ダイヤルボタンを回して、「USER」の項目に矢印（カーソル）を移動します。
- 3 JOG ダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が USER 入力エリアに移動して入力モードになります。
- 4 設定したい文字が現れるまで、JOG ダイヤルボタンを回します。JOG ダイヤルボタンを回すと、文字表示が
スペース： □
↓
アルファベット： A～Z
↓
数字： 0～9
↓
記号： '、>、<、/、-
の順に切り替わります。

◆NOTE:

COUNTRY 項目のみ、選択できるのはスペースとアルファベットのみです。

- 5 JOG ダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- 6 JOG ダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、4～5の操作を繰り返して、文字を設定します。
一度入れた文字を変更する場合は、3の操作からやり直してください。
- 7 最後の文字まで設定してJOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）が「USER」の項目に戻ります。

- 8 メニュー操作を終了するときは、MENU ボタンを押します。

CTL カウンタの設定と表示

DISPLAYスイッチをCTLにすると、LCD表示窓のタイムカウンター表示部にCTLカウンター値を表示します。

カウンター値は、ノンドロップフレームの±12時間表示です。

なお、P2カードに記録されたクリップの再生順序は、VTRのようにリニアではなく、サムネール操作やP2カードの一部入れ替えなどによってそのつど再編成され、今まで記録したクリップの位置づけが変わります。したがって記録モードと再生モードでは別々のカウンター値を表示します。

記録モードでのCTLカウンター（記録CTL）

記録モード（REC、REC/PAUSE、STOP、およびREC REVIEW）では記録CTLカウンター値を表示し、前回の記録終了点の値に連続してカウントします。電源オフ後も記録CTLカウンター値は保持され、次に電源をONにした後、前の値に連続してカウントします。

◆NOTE:

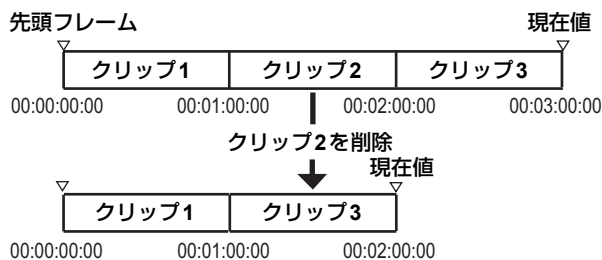
- 記録CTLカウンター値を表示中にRESETボタンを押すと、記録CTLカウンター値のみリセットされます。ただし、REC REVIEW中ではリセットできません。
- 24PN（Native）モードでは24フレームカウントします。

再生モードでのCTLカウンター（再生CTL）

再生モード（PLAY、FF、REW、PLAY/PAUSE状態）では再生CTLカウンター値を表示します。

再生CTLカウンター値は、クリップの再生順序が変更される（記録日時順にクリップを並べ替える）たびに、今までの再生CTLカウンター値を無効にして、最初のクリップの先頭フレームを基準値として再計算して表示します。

例：



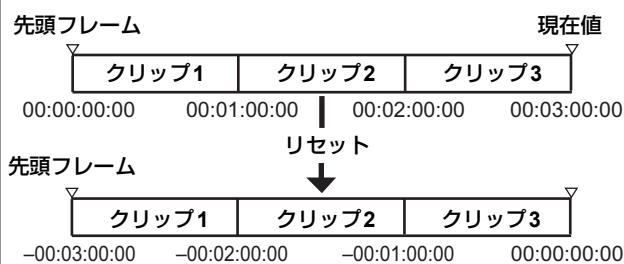
なお、クリップ再生順序の変更には、次の場合があります。

- クリップの削除、コピー、修復、P2カードのフォーマットを行った場合
- サムネール表示の切り替えを行った場合（詳しくは「サムネール表示の切り替え」（130ページ）を参照してください）
- P2カードを挿入したり、または引き抜いた場合

また、基準値（最初のクリップの先頭フレームの値）の変更には、次の場合があります。

- 電源をONした場合、先頭フレームは0になります。
- 再生CTLカウンター値をリセットした場合、現在の再生位置を0として、基準値だった箇所はマイナスの数値になります。

例：



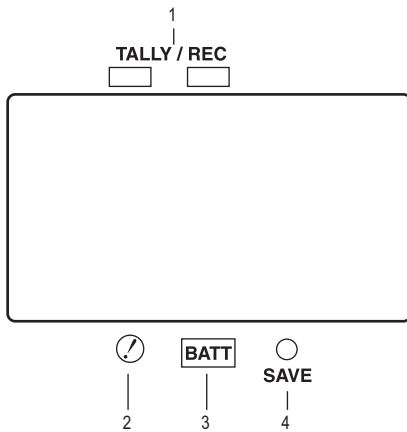
◆NOTE:

- 再生CTLカウンター値を表示中にRESETボタンを押すと、再生CTLカウンター値のみリセットされます。
- 24PN（Native）モードの再生では、プルダウン映像に合わせて30フレームカウントします。ただし1080/23.98PsF、1080/24PsFでは24フレームカウントします。

ビューファインダーの状態表示

ビューファインダー内では、映像の他に本機の設定や動作の状態を示すランプや文字、メッセージ、センターマーカ、セーフティゾーンマーカ、カメラIDなどを表示します。

ビューファインダーのランプ表示



表示例はAJ-HVF21Gの表示です。(ビューファインダーに関する内容は、別売のビューファインダーの取扱説明書をご覧ください)

1. TALLY/REC (記録) ランプ

記録時に赤く点灯します。また、異常が発生したときには点滅します。
詳しくは「警告システム」(160 ページ) を参照してください。

2. (変則動作状態警告) ランプ

<!LED> 画面で“ON” に設定した項目のうち、本機が変則動作状態になると点灯します。
ランプ表示の対象となる項目の選択については、「!LED」(186 ページ) を参照してください。

3. BATT (バッテリー) ランプ

バッテリーの電圧が下がり、使用できなくなる数分前に点滅を始め、使用できなくなると点灯します。動作の中断を防ぐため、バッテリーの消耗間近になる前に、バッテリーを交換してください。
詳しくは「警告システム」(160 ページ) を参照してください。

4. SAVE ランプ

通常時

SAVE スイッチを「ON」にし、かつ映像・音声の出力がパワーセーブされているときに点灯します。

SAVE LED 項目を“P2CARD” に設定時

SAVE LED 項目を“P2CARD” に設定していると、P2 カードの残量が少なくなったときに点滅します。
SAVE LED 項目は、メニュー操作で VF ページの <VF INDICATOR3> から選択できます。

状態確認画面の表示 (MODE CHECK ボタン機能)

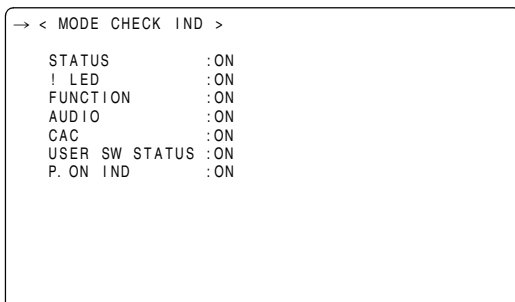
本機各設定や状態を確認できる画面を、ビューファインダー上に表示できます。

本機のMODE CHECK ボタンを押すたびに、6つの画面表示が切り替わります。

STATUS画面表示→!LED画面表示→FUNCTION画面表示→AUDIO画面表示→CAC画面表示→USER SW STATUS画面表示→無表示

なお、各々の画面の表示時間は約5秒です。表示中にMODE CHECK ボタンを押すと次の画面に移行します。

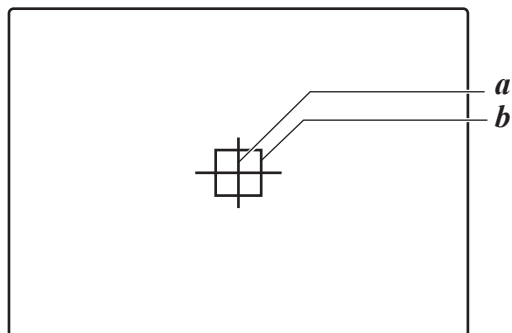
またメニュー操作で、VFページの<MODE CHECK IND>画面から、各画面表示のON/OFFを選択することができます。



Y GET の領域表示

USER ボタンに Y GET 機能を割り付け、Y GET 機能を動作させるとビューファインダー画面、液晶モニター、およびモニター出力に Y GET 検出領域を表示します。

ただし、モニター出力はセンターマーカを表示していなければ、Y GET 検出領域は表示されません。



a. センターマーカー
b. Y GET 検出領域

ビューファインダー画面の表示項目の選択

ビューファインダー画面に表示する項目の選択は、VF ページから <VF INDICATOR1> 画面、<VF INDICATOR2> 画面、<VF INDICATOR3> 画面を開き、各々の項目で表示の ON/OFF または種類を切り替えます。

操作方法は「メニューの基本操作」(167 ページ) を参照してください。

```

-> < VF INDICATOR1 >
EXTENDER      :ON
SHUTTER       :ON
FILTER        :ON
WHITE         :ON
GAIN          :ON
IRIS         :IRIS
CAMERA ID     :BAR
ID POSITION    :UPPER L
DATE/TIME     :OFF
ZOOM LVL     :ON
COLOR TEMP   :ON
SYSTEM MODE  :ON
REC FORMAT   :ON
FRAME RATE   :ON
    
```

```

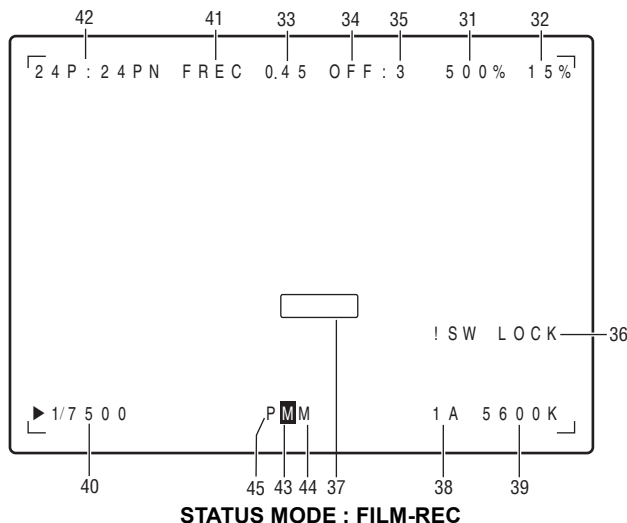
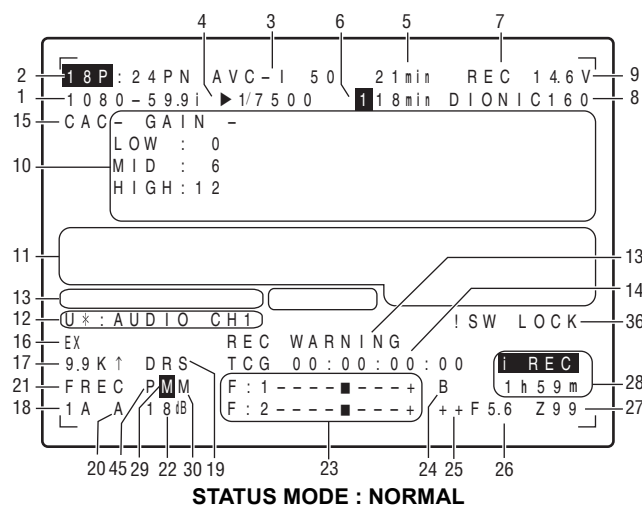
-> < VF INDICATOR2 >
CAC           :ON
GAMMA MODE   :ON
DRS          :ON
P-10LOG      :ON
VF GAMMA     :ON
MONITOR GAMMA :ON
    
```

```

-> < VF INDICATOR3 >
P2CARD REMAIN :TOTAL
BATTERY       :ON
AUDIO LVL     :ON
TC ON COLOR BAR :OFF
TC            :OFF
SYSTEM INFO   :NORMAL
SAVE LED      :SAVE
REC STATUS    :OFF
PROXY REC     :OFF
    
```

ビューファインダー画面の状態表示の構成

表示できるすべての項目は、下の図のように配置されています。



詳しくは次ページ以降をご覧ください。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
1. システムモード	1080-59.9i 1080-23.9sF 1080-24.0sF 1080-50i	本機が動作している状態を表示します。 1080-59.94 インターレースモード 1080-23.98 セグメントフレームモード 1080-24 セグメントフレームモード 1080-50 インターレースモード
2/42. 撮像と記録のコマ数	**P: **i Native 記録時 **P: **PN	撮影コマ数やプログレッシブ/インターレースと記録コマ数 (Native 記録を含む) を対比して表示します。 例: 24PN 記録の 12 フレーム撮像の場合、12P: 24PN と表示 12P Over 59.94i の場合、12P: 60i と表示 VFR 機能が ON のときは撮影コマ数は白黒反転で表示され、SYNCHRO SCAN モードで操作中は撮影コマ数が点滅表示されます。
3. REC FORMAT	DVCPROHD AVC-I 100 AVC-I 50	記録方式を表示します。 ◆NOTE: DVCPROHD は Native 記録のときも表示します。 DVCPRO HD 記録 (Native 記録を含む) AVC-Intra100 記録 AVC-Intra50 記録
4/40. シャッタースピード/モード	▶1/**.*、▶****.*d ▶▶1/**.* 1/50 (1/60) ~ 1/2000、 HALF、***.*d	シャッタースピードが SYNCHRO SCAN に設定されています。 シャッタースピードが SYNCHRO SCAN2 に設定されています。 固定のシャッタースピードが設定されています。
5. P2 カード残量	***min END WP LOOP INFO P2 */*	通常時は "***min" が点灯し、ニアエンド中は点滅します。 カードエンド時には "END" が点滅します。 P2 カードにライトプロテクトがかかけられているときに点灯します。 LOOP REC モードに設定されているときに点灯します。また、P2 カードの残量がないなどの理由で LOOP REC できない場合は点滅します。 P2 カードを認識中に表示します。 MODE CHECK 時はそのとき挿入されている P2 カードを合計した残量/容量を表示します。 ◆NOTE: P2CARD REMAIN 項目を "ONE-CARD" に設定すると、現在記録対象になっている P2 カードの P2 カードスロット番号と、記録残量を表示します。 詳しくは「P2 カード残量/容量表示」(84 ページ) を参照してください。 Native 記録で VFR 動作中、フレームレートが低いとニアエンドの表示時間が長くなる場合があります。
6. P2 カード残量 (MODE CHECK 時)	■***min	MODE CHECK 時に、記録対象になっている P2 カードの P2 カードスロット番号と、記録残量を表示します。LOOP REC モード時は標準的な記録時間 (44 ページの「LOOP REC 機能」を参照) を表示します。また、USER ボタンで記録の対象になる P2 カードを切り替えたときにも表示します。 ◆NOTE: Native 記録で VFR 動作中は、フレームレートを小さくするほど残量は多くなります。
7. 本機の REC 表示	REC	本機単体で使用時、記録中に表示することができます。 <VF INDICATOR3> 画面の REC STATUS 項目を "ON" に設定することで表示します。
8. バッテリーの種類 (MODE CHECK 時)	PRO14 ~ AC ADPT	メニューでセレクトされているバッテリー種類を表示します。また外部 DC 電源を接続している場合は、AC ADPT と表示します。
9. バッテリー残量/電圧	**.*V ***% EMP MAX	バッテリー残量を 0.1 V 単位で表示します。 残量表示機能のあるバッテリーの残量を % で表示します。 残量表示機能のあるバッテリーの残量がないときに表示します。 残量表示機能のあるバッテリーが FULL 充電時、表示します。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
10. MODE CHECK 専用表示エリア (STATUS: マスターゲイン)	LOW/MID/HIGH - 3 ~ 30	マスターゲインの設定値を表示します。 例) LOW : 0
(!LED点灯要因: 画面全体に表示します) ● !LED メニューで選択されている項目には「!」マークがつきます。 ● 現在 !LED 点灯の対象になっている項目には「!」マークがつきます。	GAIN (0 dB) SHUTTER WHITE PRE. EXTENDER B.GAMMA MATRIX COLOR COR. FILTER	GAIN状態を表示します。 シャッターの状態を表示します。 ホワイトバランスの状態を表示します。 エクステンダーの状態をEX2/OFFで表示します。 ブラックガンマの状態をON/OFFで表示します。 MATRIXの状態をA/B/OFFで表示します。 COLOR CORRECTIONの状態をON/OFFで表示します。 フィルターの状態を表示します。
(FUNCTION : HD SDI A・B)	OUTPUT: MEM/CAM/OFF TYPE: 4:2:2/4:4:4 CHAR: A/B/BOTH	OUTPUT SELスイッチの位置を表示します。 SIGNAL FORMAT項目の設定状態を表示します。 SIGNAL FORMAT項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択します。 HD SDI A・B CHAR項目の設定状態を表示します。 HD SDI A・B CHAR項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択します。
(FUNCTION : MON OUT)	OUTPUT: MEM/CAM/OFF SELECT: VBS/HD SDI CHAR: ON/OFF	OUTPUT SELスイッチの位置を表示します。 MONITOR OUT項目の設定状態を表示します。 MONITOR OUT項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択します。 MON OUT CHARACTERスイッチの状態を表示します。
(FUNCTION : P2CARD STATUS)	TOTAL SLOT1/SLOT2/SLOT3/SLOT4/ SLOT5 OP-SLOT	1~5のP2カードスロットに挿入されたP2カード全ての記録残量/総容量を表示します。 一枚ごとのカードの状態と、記録残量/容量を表示します。数字はP2カードスロットの番号に対応しています。 表示するカードの状態には下記の種類があります。 ACTIVE/ACCESSING/INFO READING/FULL/PROTECTED/ NOT SUPPORTED/FORMAT ERROR/NO CARD/PROXY 各状態の内容については、「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(33ページ)を参照してください。 オプションスロットの状態を表示します。 表示するカードの状態には下記の種類があります。 PROXY/NO CARD/NOT SUPPORTED
(AUDIO : FRONT AUDIO LEVEL つまみの許可、禁止)	CH1: ON/OFF CH2: ON/OFF	FRONT AUDIO LEVEL つまみの操作が、CH1に対して有効ならばON、無効ならばOFFを表示します。 FRONT AUDIO LEVEL つまみの操作が、CH2に対して有効ならばON、無効ならばOFFを表示します。
(AUDIO : ファントムマイク電源の状態)	FRONT: ON/OFF REAR: ON/OFF	フロントマイクのファントム電源の状態を表示します。 リアマイクのファントム電源の状態を表示します。 詳しくは「MIC/AUDIO2」(196ページ)を参照してください。
(AUDIO : 各 CH の入力信号とレベル)	FRONT/W.L./REAR CH1/2/3/4	各チャンネルの入力信号とレベルを表示します。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
11. カメラ警告、 通報表示エリア (AWB、ABB、および スイッチ操作関連)	AWB A ACTIVE AWB B ACTIVE AWB A OK *.*K AWB B OK *.*K AWB BREAK *.*K AWB NG COLOR TEMP LOW COLOR TEMP HIGH LEVEL OVER LOW LIGHT TIME OVER AWB PRESET *.*K CHECK FILTER ABB ACTIVE ABB OK ABB BREAK ABB NG B-SHD READY B-SHD ACTIVE B-SHD OK B-SHD BREAK B-SHD NG	AchでAWB動作時に表示します。 BchでAWB動作時に表示します。 AchでAWB動作が正常に終了したときに表示します。 BchでAWB動作が正常に終了したときに表示します。 AWB動作を強制的に終了したときに表示します。 AWB動作が正常に終了しなかったときに表示します。2行目にその状態を表示します。 色温度が低すぎることを警告しています。 色温度が高すぎることを警告しています。 輝度が高すぎることを警告しています。 輝度が低すぎることを警告しています。 動作時間内に処理が実行できなかったことを警告しています。 AWBスイッチがPRSTに設定されているか、スーパーゲインが設定されており、AWBが実行できない場合に表示します。 AWB動作時、および電源投入時フィルター切り替えつまみの位置の再確認を警告しています。 ABB動作時に表示します。 ABB動作が正常に終了したときに表示します。 ABB動作を強制的に終了したときに表示します。 ABB動作が正常に終了しなかったときに表示します。 ABB動作中、ABBスイッチの長押しでブラックシェーディング動作を受け付けたときに表示します。 ブラックシェーディング動作時に表示します。 ブラックシェーディング動作が終了したときに表示します。 ブラックシェーディング動作を強制終了したときに表示します。 ブラックシェーディング動作が正常に終了しなかったときに表示します。
(スイッチ切り替え 表示)	WHITE: # *.*K AUTO KNEE: ON/OFF GAIN: **dB SS: 1/****、***.d、 ▶***.d SS: ▶ 1/****、▶▶1/**** ND: */CC: *.*K EXTENDER: ON/OFF/**K IRIS: ** F *.* DRS ON/OFF	WHITE BALスイッチを切り替えたとき、表示します。#にはA/B/ PREのいずれかを表示します。 AUTO KNEEスイッチをON/OFFしたときに表示します。 GAIN切り換えスイッチやUSERボタンでGAINを切り替えたときに表示します。 シャッタースピードを切り替えたとき、その値を表示します。 シャッタースピードがシンクロスキャンを選択したときに表示します。 フィルターを切り替えたときに表示します。 レンズエクステンダがON/OFFされたときに表示します。 アイリスオーバーライドの補正值を変化させるときに表示します。 ダイナミックレンジストレッチャーを切り替えたときに表示します。
(LOW LIGHT警告表 示)	LOW LIGHT	輝度が低下したとき、表示します。
(Y GETの値)	***.***%	Y.GET ON時、センターマーカー付近の出力輝度レベルを%表示します。
12. USER ボタンの 割り当て情報 UM: USER MAIN ボタン U1: USER 1ボタン U2: USER 2ボタン U3: MARKER SELECTボタン U4: TEXT MEMO ボタン	INH I.OVR ON/OFF S.BLK - **/OFF B.GAMMA ON/OFF Y GET ON/OFF DRS ON/OFF ASSIST ON/OFF C.TEMP ON/OFF VFR ON/OFF FRATE ON/OFF VF GAM ON/OFF AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW RET SW PRE REC SLOT SEL USB HOST/DEVICE/OFF VF MARK A/B/OFF TEXT MEMO	USERボタンを動作させないとき、INHを表示します。 IRIS OVERRIDE設定が可能(ON)なとき、表示します。 SUPER BLACKのON/OFFを、またON時は設定値も表示します。 BLACK GAMMA(黒レベルの階調補正)のON/OFFを表示します。 Y GET機能のON/OFFを表示します。 ダイナミックレンジストレッチャー機能のON/OFFを表示します。 フォーカスアシスト機能のON/OFFを表示します。 色温度をJOGダイヤルボタンで変更するモードのON/OFFを表示します。 VFR機能のON/OFFを表示します。 USR SW F.RATE項目で設定したフレームレートが有効になっているかどうかを表示します。 ビューファインダー出力に対するモニターガンマ機能が有効になっているかを表示します。 音声チャンネル1に記録する入力信号が切り替えられたときに表示します。 音声チャンネル2に記録する入力信号が切り替えられたときに表示します。 USERボタンがRECスイッチとして機能しているとき、表示します。 USERボタンがRETスイッチとして機能しているとき、表示します。 PRE RECORDINGモードが切り替えられたときに表示します。 記録対象カードを切り替えるスイッチに設定されているとき、表示します。 USBの動作状態を切り替えたときに表示します。 ビューファインダー、およびLCD画面に表示するマーカーを切り替えたときに表示します。 TEXT MEMO機能のON/OFFを表示します。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
13. システム情報、 および警告	SYSTEM ERROR-** TURN POWER OFF CARD ERR * REC WARNING BACKUP BATT EMPTY FAN STOP WIRELESS-RF EOM BOS EOS CANNOT REC CANNOT PLAY COMM ERROR TEXT MEMO TEXT MEMO INVALID MARK ON/OFF SHOT MARK INVALID UPDATING USB DEVICE USB HOST THUMBNAIL OPEN PROXY REC P2&SD PROXY REC P2 NEAR END (SD) EOM (SD) PROXY CARD ERROR SD CARD WRITE ERR TC REGEN SLOT SEL SLOT SEL INVALID DIR NG CARD SLOT1/2/3/4/5 RUN DOWN CARD SLOT1/2/3/4/5 AUDIO NOT RECORDING	内部マイコンの通信や基準信号などの異常が発生したときに表示します。以後、記録・再生はできません。**にはエラーコードを表示します。詳しくは「エラーコード」(162 ページ)を参照してください。 記録/再生中やフォーマット中など、P2カードにアクセス中にP2カードを取り出し、それ以降の動作ができなくなった場合に表示します。 記録/再生中にP2カードにエラーが発生した場合に表示します。*には、エラーが発生したP2カードのスロット番号を表示します。 記録中に映像や音声に異常が発生したときに表示します。 バックアップ電池の交換時期です。 ファンがロックし、停止しているときに表示します。 ワイヤレスからのRF信号が低下しています。 P2カードの記録容量がないときに表示します。 再生位置が全クリップの先頭にあるとき表示します。 再生位置が全クリップの最後にあるとき表示します。 電源をONにした直後やP2カード挿入後など、P2カードに記録ができないときに表示します。詳しい情報はMODE CHECKのFUNCTION画面で確認できます。10.MODE CHECK専用表示エリアを参照してください。 クリップがP2カード上にない、P2カードが挿入されていないなどで、再生できないときに表示します。 マイコン間の通信が、一定時間以上不通になったとき表示します。 テキストメモを記録したときに表示します。 テキストメモを記録できなかったときに表示します。 ショットマークを付加/消去したときに表示します。ショットマークについては「ショットマーク機能」(49 ページ)を参照してください。 ショットマークが付加できないとき表示します。 再生のためのクリップ情報を更新中で、再生動作を受け付けられない状態のときに表示します。 USBデバイスモードに設定されているときに表示します。通信できていないときには点滅します。 USBホストモードに設定されているときに表示します。外部ハードディスクが正常に認識できていないときには点滅します。 サムネイル操作中に表示します。 プロキシをP2カードおよびSDメモリーカードに記録開始したときに表示します。(AJ-YAX800G装着時、<VF INDICATOR3>画面のPROXY REC項目をONにしたとき) プロキシをP2カードに記録開始したときに表示します。(AJ-YAX800G装着時、<VF INDICATOR3>画面のPROXY REC項目をONにしたとき) プロキシを記録中、SDメモリーカードの記録残量が残り1分未満になると表示します。(AJ-YAX800G装着時) プロキシをSDメモリーカードに記録中、SDメモリーカードの記録容量がなくなったときに表示します。(AJ-YAX800G装着時) ビデオエンコーダーカードの異常、またはストリームの異常が発生し、プロキシ記録を中止したときに表示します。ビデオエンコーダーカードの点検を行うか、プロキシ記録を行わないでください。(AJ-YAX800G装着時) プロキシを記録中、SDメモリーカードに異常が発生し、SDメモリーカードへの記録のみを中止したときに表示します。(AJ-YAX800G装着時) レンズのRETボタンを押して、タイムコードがP2カードに記録された最後のクリップのタイムコードにリジエネしたとき表示します。 SLOT SEL機能を割り当てたUSERスイッチを押し、P2カードの記録スロット切り替え処理を行っている間に点滅します。 SLOT SEL機能を割り当てたUSERスイッチを押し、P2カードの記録スロット切り替えができなくなる場合に表示します。 ディレクトリ配置が不正規のP2カードが挿入されたとき、または挿入された状態で記録したとき、記録開始時や終了時に表示します。 規定の書き換え回数を超えたP2カードが挿入されたとき、または挿入された状態で記録したとき、記録開始時や終了時に表示します。 オーディオレベルメーターが振れていても、P2カードに音声記録がされていない場合に表示します。
14. タイムコード表示	TCG 12:59:59:20 TCR 12:59:59:20 (V)UBG AB CD EF 00 (V)UBR 12 34 56 78 CTL —1:59:59:20	TCG (タイムコードジェネレーター値)を表示します。 TCR (タイムコードリーダー値)を表示します。 UBG VUBG (ユーザーズビットジェネレーター値)表示を表示します。 UBR VUBR (ユーザーズビットリーダー値)を表示します。 CTL カウンター値を表示します。
15. CAC	CAC	CACが正常に動作しているときに表示します。
16. エクステンダ	EX	レンズエクステンダが使用されているときに表示します。
17/39.色温度	*.*K	WHITE BALスイッチのA、B、PRSTに割り付けられた色温度を表示します。(AWB実行時のメモリー値の場合と、メニュー設定値の場合があります)
18/38.フィルター ポジション	1~4 A~D —	NDフィルターの位置を表示します。 CCフィルターの位置を表示します。 フィルターポジションが正規の位置に設定されていません。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
19. ダイナミックレンジ ストレッチャー モード	DRS	高輝度な部分の映像レベルを圧縮し、ダイナミックレンジを拡大する機能が 選択されたときに表示します。
20. WHITE BAL スイッチポジション	A B P	WHITE BALスイッチが「A」に設定されています。 WHITE BALスイッチが「B」に設定されています。 WHITE BALスイッチが「PRST」に設定されています。
21/42.GAMMA表示	HD SD FLK1 FLK2 FLK3 FREC VREC	本機で使用しているGAMMAを表示します。
22. ゲイン値	**dB	現在のGAIN値を表示します。
23. AUDIO入力系統と レベルメーター	----■-----+ F W R	選択したチャンネルとそのオーディオレベルを表示します。 AUDIO INスイッチがFRONTのときに表示します。 AUDIO INスイッチがW.L. (ワイヤレス) のときに表示します。 AUDIO INスイッチがREARのときに表示します。
24. スーパーブラック ON	B	スーパーブラックが ONの時に表示します。
25. アイリスオーバーラ イド表示	++ + (無表示) — ---	アイリスオーバーライドが働いている時、その補正段階を表示します。 十十 : 1絞り程度開く 十 : 0.5絞り程度開く 一一 : 1絞り程度閉じる 一 : 0.5絞り程度閉じる 無表示 : 基準状態
26. アイリス、F値	NC OPEN F1.7~F16 CLOSE	レンズケーブルが接続されていないときに表示します。 レンズの絞りが開放されているときに表示します。 レンズの絞り値を表示します。 レンズの絞りが閉じているときに表示します。 ◆NOTE: 絞り値の表示機能を持ったレンズを使用している場合に表示します。また、 アイリスオーバーライド可変中は点滅します。
27. ズーム表示	Z00~Z99	ズーム量を表示します。ただし、ズームポジションのリターンがないレンズ の場合、表示設定がONになっていても、この項目は表示しません。
28. INTERVAL REC/ PRE RECORDING 表示/SDメモリー カード残量	I iREC (点滅) iREC (点滅) **h**m/**s P-REC (点滅) SD **h **m END	INTERVAL RECモード時、動作スタート前/終了後に表示します。 INTERVAL REC実行中に表示します。 INTERVAL REC待機中、次の記録までの待機時間を表示します。 記録停止したあと、P2カードに完全に映像・音声記録が終わるまでの間、 表示します。また、USERスイッチにPRE RECが割り当てられた場合、 USERスイッチを押してPRE RECORDINGモードが切り替わると、「P-REC OFF」または設定時間「1s - 8s」を表示します。 ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) を装着し、SDメモリー カードにプロキシ記録を行っているときに、MODE CHECKボタンを押すと、 SDメモリーカードの記録残量を表示します。 残量がなくなるとENDと表示します。
29/43.VF-GAMMA	M	GAMMA MODE SEL項目で「FILM-REC」を選択しているときのみ有効です。 FILM-REC GAMMAで撮影した映像を、コントラストの高い画像に変換して ビューファインダーに出力します。GAMMA MODE SEL項目はPAINTページ の<GAMMA>画面から選択します。
30/44.MON-GAMMA	M	GAMMA MODE SEL項目で「FILM-REC」を選択しているときのみ有効です。 FILM-REC GAMMAで撮影した映像を、コントラストの高い画像に変換して MON OUT端子から出力します。GAMMA MODE SEL項目はPAINTページの <GAMMA>画面から選択します。
31. F-REC DYNAMIC LVL表示	200% 300% 400% 500% 600%	FILM-REC時にダイナミックレンジを表示します。 それ以外のときはニースロープを表示します。
32. F-REC BLACK STR LVL表示	00%~30%	FILM-REC時にブラックストレッチを表示します。 それ以外のときはニースロープを表示します。
33. MASTER GAMMA 表示	0.30~0.75	マスターガンマを表示します。
34. BLACK GAMMA 設定	-8~OFF~+8	画面の暗い箇所のガンマカーブ設定を表示します。
35. BLACK GAMMA RANGE	1 2 3	圧縮/伸張が行われるレベル (上限) を表示します。

表示項目	表示内容	表示したときの状態
36. スイッチロック設定	!SW LOCK	SIDE SW LOCK状態のとき、本体横のスイッチ（GAIN、OUTPUT、AWBスイッチ）を操作すると表示します。ただし、AJ-RC10Gを接続して操作している場合は表示されません。
37. 露出表示	-4 -3■■■ -3■ -3 -2■■■ -2■ -2 -1■■■ -1■ -1 ±0 +0■ +0■■■ +1 +1■ +1■■■ +2 +2■ +2■■■ +3 +3■ +3■■■ +4 +4■ +4■■■ +5	メニュー操作でGAMMA MODE SEL項目を“FILM-REC”に、STATUS MODE項目を“FILM-REC”に設定した後、Y GETを実行すると、センターマーカー付近の明るさを計測し、露出計として表示します。 出力信号が30%のとき±0（ノーマル）として表示し、それ以降は入射光が2倍になるごとに数値を+1 STOP、半分になると-1 STOPしていきます。■は1個当たり1/3 STOPを表します。 GAMMA MODE SEL項目はPAINTページの<GAMMA>画面から、STATUS MODE項目はVFページの<VF DISPLAY>画面から、それぞれ選択します。
45. P-10LOG	P	本機のHD SDI A・B出力信号がP-10LOGの場合に表示します。

P2カード残量/容量表示

本機の状態	記録状態	P2CARD REMAIN 項目*1	5.P2カード残量の表示*2	6.P2カード残量（MODE CHECK時）の表示*2
通常時	LOOP RECモード以外	TOTAL	P2カードスロットに挿入されたすべてのP2カードの合計残量を表示します。（単位は分） 例：30min	表示しません。
		ONE-CARD	記録対象になっているP2カードのP2カードスロット番号と記録残量を表示します。（単位は分） 例：1 8min	表示しません。
		OFF	表示しません。	表示しません。
	LOOP RECモード	TOTAL/ONE-CARD OFF	「LOOP」と表示します。 表示しません。	表示しません。 表示しません。
MODE CHECK中	LOOP RECモード以外	TOTAL/ONE-CARD/ OFF	P2カードスロットに挿入されたすべてのP2カードの合計残量/合計容量を表示します。（単位は分） 例：20/40	記録対象になっているP2カードのP2カードスロット番号と記録残量を表示します。（単位は分） 例：1 8min
	LOOP RECモード		「LOOP」と表示します。	標準的な記録時間を表示します。（単位は分） 例：7min

*1 P2CARD REMAIN項目はVFページの<VF INDICATOR3>画面から選択します。

*2 残量および合計残量が9999 min以上の場合は、9999minと表示します。

ビューファインダー画面の表示選択

	メニューで表示/ 非表示を選択	該当の状態に なった時 状態を表示	MODE CHECK で表示*	表示を消すこと ができる	再生時表示する
1. システムモード	○	—	●	○	—
2. 撮像と記録のコマ数	○	—	●	○	—
3. REC FORMAT	○	—	●	○	—
4. シャッタースピード/モード	○	○	●	○	—
5. P2カード残量	○	—	●	○	—
6. P2カード残量 (MODE CHECK)	—	—	●	○	—
7. 本機のREC表示	○	○	—	○	—
8. バッテリーの種類 (MODE CHECK)	—	—	●	○	—
9. バッテリー残量/電圧	○	—	●	○	—
10. MODE CHECK専用表示エリア	—	—	○	○	—
11. カメラ警告、通報表示エリア	—	○	○	○	—
12. USERボタンの割り当て情報	—	○	○	○	—
13. システム情報と警告	○	○	●	○	○
14. タイムコード表示	○	—	●	○	○
15. 収差補正	○	○	●	○	—
16. エクステンダ	○	○	●	○	—
17. 色温度	○	○	●	○	—
18. フィルターポジション	○	—	●	○	—
19. ダイナミックレンジストレッチャーモード	○	—	●	○	—
20. WHITE BAL スイッチポジション	○	—	●	○	—
21. GAMMA表示	○	—	●	○	—
22. ゲイン値	○	—	●	○	—
23. AUDIO入力系統とレベルメーター	○	—	4ch全入力情報	○	—
24. スーパーブラックON	○	○	●	○	—
25. アイリスオーバーライド表示	○	○	●	○	—
26. アイリス、F値	○	—	●	○	—
27. ズーム表示	○	—	●	○	—
28. INTERVAL REC/PRE RECORDING表示/ SDメモリーカード残量	—	○	●	—	—
29. VF-GAMMA	○	○	●	○	—
30. MON-GAMMA	○	○	●	○	—
31. F-REC DYNAMIC LVL表示	—	○	—	—	—
32. F-REC BLACK STR LVL表示	—	○	—	—	—
33. MASTER GAMMA表示	—	○	—	—	—
34. BLACK GAMMA設定	—	○	—	—	—
35. BLACK GAMMA RANGE	—	○	—	—	—
36. スイッチロック設定	—	○	—	—	—
37. 露出表示	—	○	—	—	—
38. フィルターポジション	—	○	—	—	—
39. 色温度	—	○	—	—	—
40. シャッタースピード	—	○	—	—	—
41. GAMMA表示	—	○	—	—	—
42. 撮像と記録のコマ数	—	○	—	—	—
43. VF-GAMMA	—	○	—	—	—
44. MON-GAMMA	—	○	—	—	—
45. P-10LOG	○	○	—	—	—

* ○: VFページの<MODE CHK IND>画面のSTATUS項目をOFFに設定していると、表示しません。

●: メニューの設定にかかわらず、表示します。

表示モードと設定変更 / 調整結果メッセージ

ビューファインダーに表示する、設定変更の内容や調整結果を知らせるメッセージは、DISP MODE 項目の設定によって、表示する項目を一部に絞るか、全くしないかなどの表示方法を選択できます。DISP MODE 項目は、VF ページの <VF DISPLAY> 画面から選択します。

操作方法は「メニューの基本操作」(167 ページ) を参照してください。

```

-> < VF DISPLAY >
STATUS MODE           :NORMAL
DISP CONDITION        :NORMAL
DISP MODE             :3
VF OUT                :Y
VF DTL                :0.5
VF DTL CORING         :0.0
VF H. DTL. FREQ.      :4
ZEBRA1 DETECT         :70%
ZEBRA2 DETECT         :85%
ZEBRA2                 :SPOT
LOW LIGHT LVL         :3.5%
RC MENU DISP.         :ON
MARKER/CHAR. LVL     :50%
SYNCHRO SCAN DISP    :deg
    
```

設定変更 / 調整結果メッセージと DISP MODE 項目の設定

メッセージを表示する状況	メッセージ	DISP MODE 項目の設定		
		1	2	3
CC フィルター / ND フィルターの選択を変更したとき	ND : n (n=1, 2, 3, 4)、CC : m (m=A, B, C, D)	×	×	○
ゲインの設定を変更したとき	GAIN : n dB (n= -3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30)	×	×	○
WHITE BAL スイッチの設定を変更したとき	WHITE : n (n=A, B, PRE)	×	×	○
OUTPUT/AUTO KNEE スイッチを「AUTO KNEE」または、「OFF」に設定したとき	AUTO KNEE : ON (または OFF)	×	○	○
シャッタースピード / モードの設定を変更したとき	1/180.0 deg (または 1/172.8 deg, 1/144.0 deg, 1/120.0 deg, 1/90.0 deg, 1/45.0 deg, 1/****) ▶1/****)、▶***)* deg、▶▶1/****)	×	○	○
ホワイトバランスを調整したとき (AWB)	例) AWB A OK 3.2 K	×	○	○
ブラックバランスを調整したとき (ABB)	例) ABB OK	×	○	○
エクステンダが選択されたとき	例) EXTENDER ON	×	×	○
USER ボタンが選択されたとき	例) UM : SLOT SEL	×	○	○
IRIS OVERRIDE 状態になったとき	例) ++ F 5.6	×	○	○

○ : 表示します。
× : 表示しません。

マーカー表示の設定

センターマーカー、セーフティゾーンマーカー、セーフティゾーンエリア、フレームマーカーの表示のON/OFFおよび種類を選択します。選択は、VFページから<VF MARKER>画面を開き、各項目で表示モードを選択します。操作方法は「メニューの基本操作」(167 ページ)を参照してください。

-> < VF MARKER >		MRK : A
TABLE	: A	
CENTER MARK	: 1	
SAFETY MARK	: 2	
SAFETY AREA	: 90%	
FRAME MARK	: OFF	
FRAME SIG	: 4:3	
FRAME LVL	: 15	

◆ NOTE:

右上のMRK:A表示が現在の表示状態を示します。TABLE Bを確認するときはMARKER SELECT ボタンを押してMRK:Bにすると、その設定条件が確認できます。

マーカー確認画面の表示 (MARKER SELECT ボタン機能)

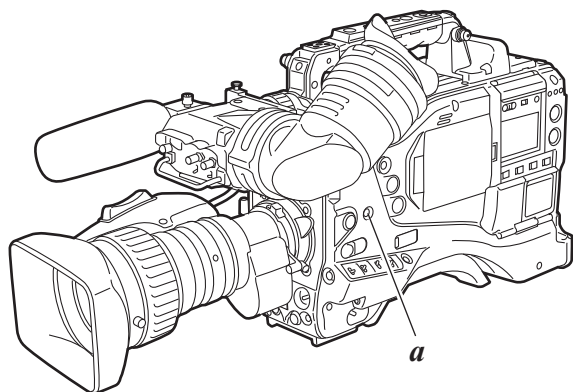
本機のマーカー状態が確認できる画面を、ビューファインダー上に表示できます。

本機のMARKER SELECT ボタンを押すごとに、

MRK: A→MRK: B→MRK: OFF

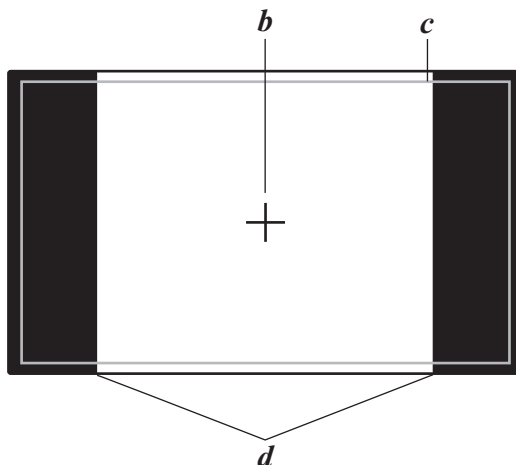
と、表示が切り替わります。

例えば、Aのマーカー情報としてFRAME SIG項目を14:9に設定し、Bのマーカー情報としてFRAME SIG項目を4:3に設定すると、必要に応じてこのボタン操作で14:9の画角と4:3の画角の確認等が簡単にできます。



a. MARKER SELECT ボタン

マーカーの種類



- b. センターマーカー
- c. セーフティゾーン
- d. FRAME SIG項目で設定されている画角を表示

リターンビデオ信号のビューファインダーでの確認

レンズのRET ボタンを押している間、GENLOCK IN 端子に入力されたリターンビデオ信号をビューファインダー上で見ることができます。

ただしSYSTEM MODE 項目で設定した信号フォーマットと、GENLOCK IN 端子への入力信号が一致していなければ見ることができません。

本機能を動作させるには、RET SW項目でCAM RETを選択します。RET SW項目は、CAM OPERATION ページの<SW MODE>画面から選択します。

◆ NOTE:

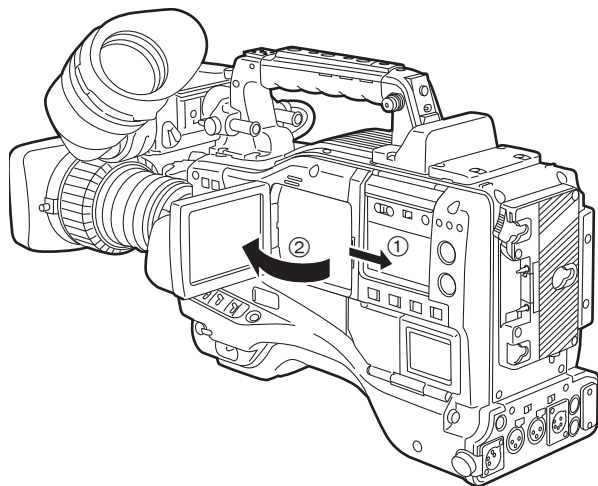
1080/23.98PsF、1080/24PsF および SD フォーマットの信号は見ることができません。

< SW MODE >	
→ RET SW	: R. REVIEW
S. BLK LVL	: -10
AUTO KNEE SW	: ON
SHD. ABB SW CTL	: OFF
COLOR BARS	: SMPTE
RC CHECK SW	: R. REVIEW
SIDE SW LOCK	: OFF

液晶モニターの調整と設定

液晶モニターを使う

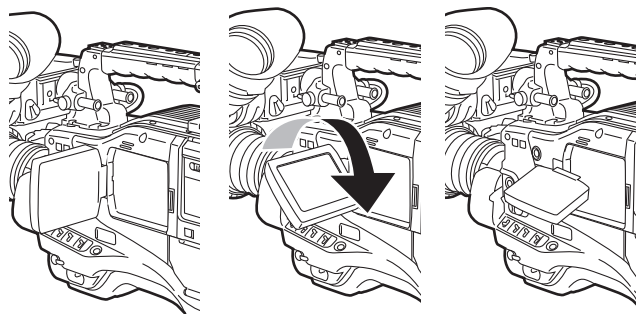
- 1 本機のPOWERスイッチをONにします。
- 2 OPENボタンを矢印①の方向にスライドして液晶モニターを矢印②の方向に開きます。



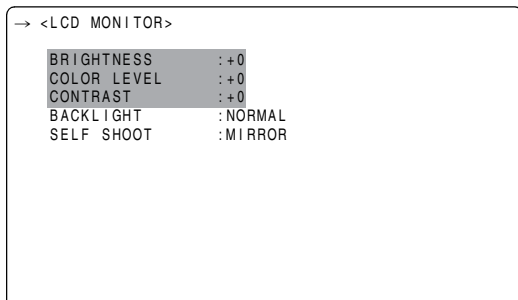
- 3 液晶モニターの画面が、一番見やすい位置にします。レンズ方向に180° 手前方向に90° まで回転します。

◆NOTE:

開いた状態の液晶モニターには無理な力が掛からないようにしてください。本機が故障するおそれがあります。

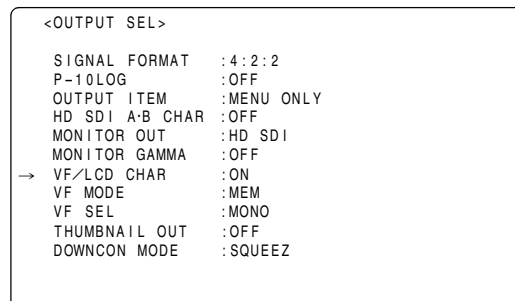


- 4 BRIGHTNESS項目で画面の明るさを、COLOR LEVEL項目で画面の色濃度を、CONTRAST項目で画面のコントラストを表示します。各項目はSYSTEM SETTINGページの<LCD MONITOR>画面から選択します。



- 5 メニューのVF/LCD CHAR項目で、液晶モニターにビューファインダーと同じキャラクター表示をするかどうかを設定します。

VF/LCD CHAR項目は、SYSTEM SETTINGページの<OUTPUT SEL>画面から選択します。



◆NOTE:

- 液晶モニターを閉じるときは、確実に閉じてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部に露がつくことがあります。そのような場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- カメラレコーダーが冷え切っている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

対面撮影について

液晶モニターをレンズ側に180°回転させて撮影を行うとき、SELF SHOOT項目で“MIRROR”を選択すると、液晶モニターの映像を左右反転して表示します。鏡を見ているイメージでの撮影が可能になります。

ただし、左右反転されるのは液晶モニターの表示のみです。記録は正常どおり行われます。

SELF SHOOT項目は、SYSTEM SETTINGページの<LCD MONITOR>画面から選択します。

◆NOTE:

- SELF SHOOT項目で“MIRROR”を選択した状態で液晶モニターをレンズ方向に180°回転させた場合、VF/LCD CHAR項目の設定にかかわらず、液晶モニターにはビューファインダーと同様の状態表示は行いません。
- GENLOCK IN端子からのリターン信号を液晶モニターに出力することはできません。
- MON OUTのOUTPUT SELスイッチを「CAM」にしている場合、液晶モニターに再生映像を出力することはできません。再生映像はビューファインダーでご確認ください。

映像出力信号の選択

本機は、映像出力用の端子として、HD SDI A・B端子とMON OUT端子を備えています。

HD SDI A・B 端子から出力する信号の設定

メニューの<OUTPUT SEL>画面でHD SDI A・B端子から出力する信号のキャラクターを切り替えます。キャラクターの内容はHD SDI A・B端子、MON OUT端子で共通です。HD SDI A・BスイッチでHD SDI A・B端子から出力する信号を切り替えます。ただし、記録中は切り替え動作を受け付けません。

MEM :

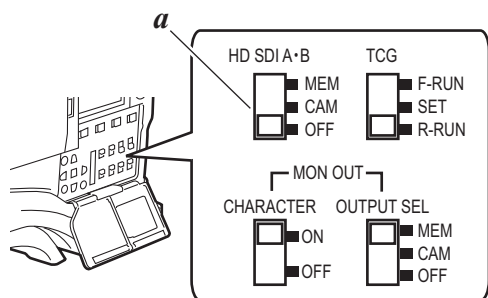
記録などEE時は、カメラ映像を出力し、再生時はP2カードの再生信号を出力します。

CAM :

常にカメラ映像を出力します。

OFF :

HD SDI A・B端子から信号を出力しません。



a. HD SDI A・Bスイッチ

項目	可変範囲	備考
OUTPUT ITEM	MENU ONLY TC STATUS	HD SDI A・B端子およびMON OUT端子の出力信号に、スーパーインポーズするキャラクター内容を設定します。 MENU ONLY: メニューの操作を行っているときだけ、メニュー画面をスーパーインポーズします。通常は、何も表示しません。 TC: タイムコードをスーパーインポーズします。 (メニューの操作を行っているときは、メニュー画面をスーパーインポーズします。) STATUS: ビューファインダー画面にスーパーインポーズしているキャラクターと同じものをスーパーインポーズします。 (メニューの操作を行っているときは、メニュー画面をスーパーインポーズします。)
HD SDI A・B CHAR	OFF A B BOTH	OFF: HD SDI A・B端子にキャラクターを重畳しません。 A: HD SDI A端子にキャラクターを重畳します。 B: HD SDI B端子にキャラクターを重畳します。 BOTH: HD SDI A端子とHD SDI B端子にキャラクターを重畳します。

MON OUT 端子から出力する信号の設定

MON OUT 端子からは HD SDI 信号、もしくはダウンコンバートされたアナログ信号が出力されます。
メニューの MONITOR OUT 項目 (SYSTEM SETTING ページの <OUTPUT SEL> 画面) で、MON OUT 端子から出力する映像信号を設定します。

項目	可変範囲	備考
MONITOR OUT	VBS HD SDI	MON OUT 端子から出力する映像信号を設定します。 VBS: アナログコンポジット信号を出力します。 HD SDI: HD SDI 信号を出力します。

OUTPUT SEL スイッチで MON OUT 端子から出力する信号を切り替えます。
ただし、記録中は切り替え動作を受け付けません。

MEM :

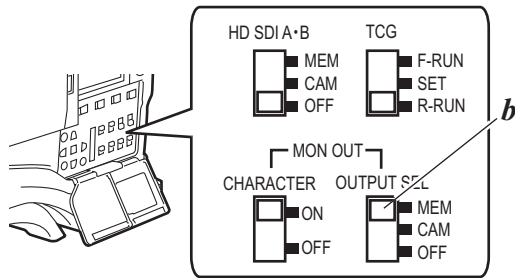
記録など EE 時は、カメラ映像を出力し、再生時は P2 カードの再生信号を出力します。

CAM :

常にカメラ映像を出力します。

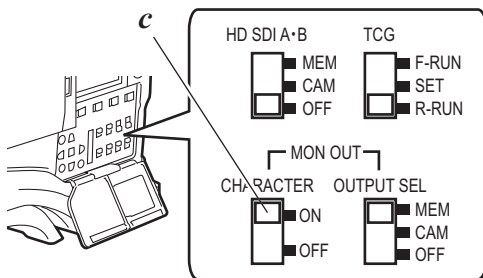
OFF :

MON OUT 端子から信号を出力しません。



b. MON OUT OUTPUT SEL スイッチ

メニューの OUTPUT ITEM 項目 (SYSTEM SETTING ページの <OUTPUT SEL> 画面) で、MON OUT 端子から出力する信号にスーパーインポーズするキャラクターを設定します。



c. MON OUT CHARACTER スイッチ

◆ NOTE:

MON OUT 信号を VBS に選択し、SYSTEM MODE 項目を "1080-24PsF" に設定したときは、MON OUT 信号は輝度信号映像になります。SYSTEM MODE 項目は、SYSTEM SETTING ページの <SYSTEM MODE> 画面から選択します。

データの取り扱い

設定データファイル構成

本機には、6個のファイルデータ領域があります。

FACTORYデータ：

工場出荷状態を記憶しています。
メニュー操作により書き換えることができません。

CINEMATOGRAPHデータ：

シネマトグラファー向けの設定を記憶しています。メニュー操作で書き換えることができません。

USERデータ：

メニュー操作により設定した値を記憶する領域です。工場出荷の時点では、FACTORYデータが記憶されています。

CURRENTデータ：

本機の動作状態を記憶しています。メニュー操作により、この領域の設定値を変更します。

SCENEファイル：

16個のシーンファイルを備えています。

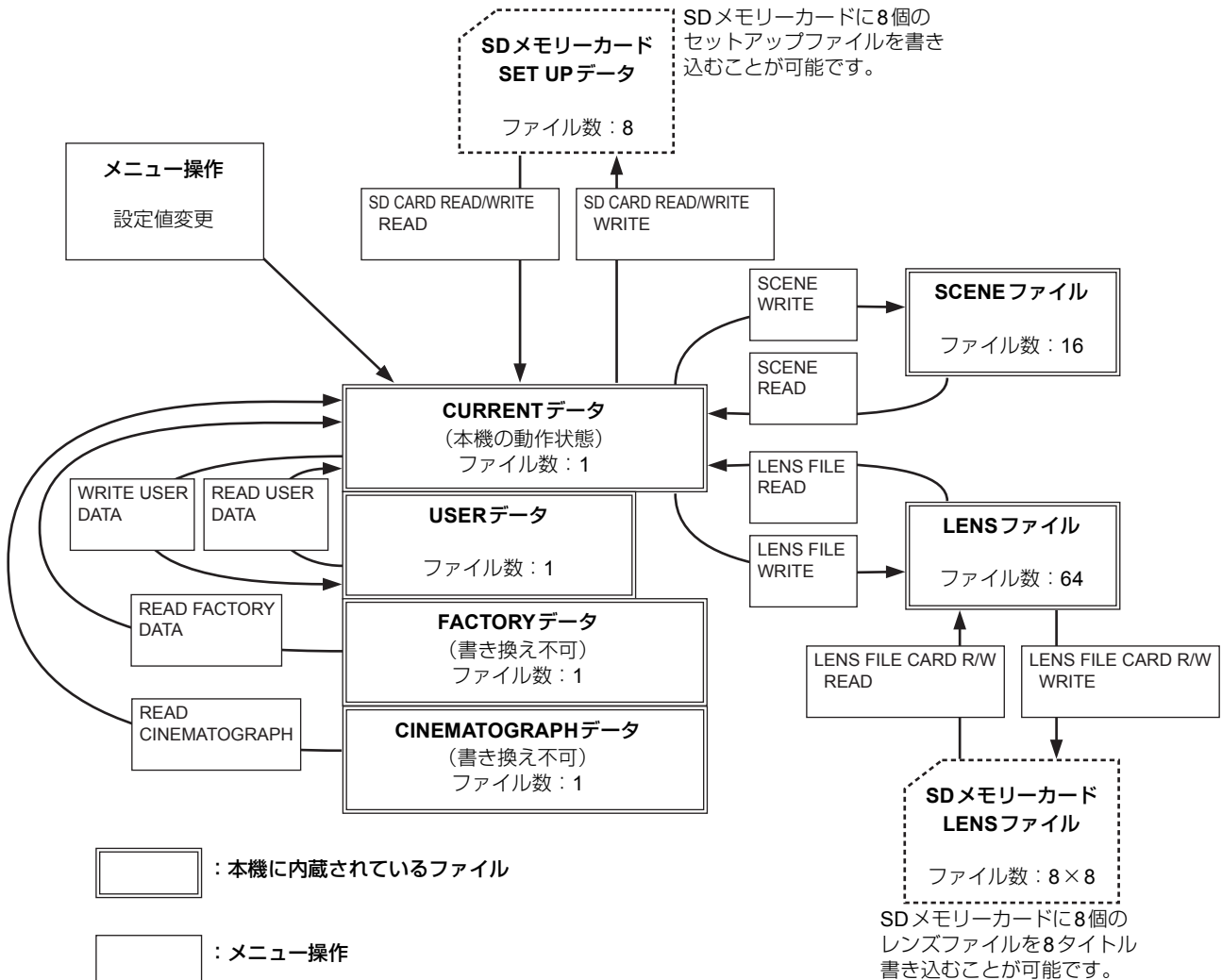
LENSファイル：

64個のレンズファイルを備えています。

各領域からの読み出し、または各領域への記憶が可能なメニュー項目は、「メニュー」(165 ページ) を参照してください。

◆ NOTE:

- 本項目でのメニュー操作については「メニューの基本操作」(167 ページ) を参照してください。
- 各設定データファイルの操作はPC MODE項目を“OFF”に設定してから行ってください。本機をUSB DEVICEモードで使用中に各設定データファイルの操作を行うと、エラーになる恐れがあります。PC MODE項目はSYSTEM SETTINGページ、<SYSTEM MODE>画面から操作することができます。
- SDメモリーカードに記憶させたデータを、パーソナルコンピュータなどで編集しないでください。



SDメモリーカードによるセットアップ

SDメモリーカード（別売品）をセットアップカードとして使用し、設定メニューの内容を8ファイルまで記憶させることができます。

このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現します。

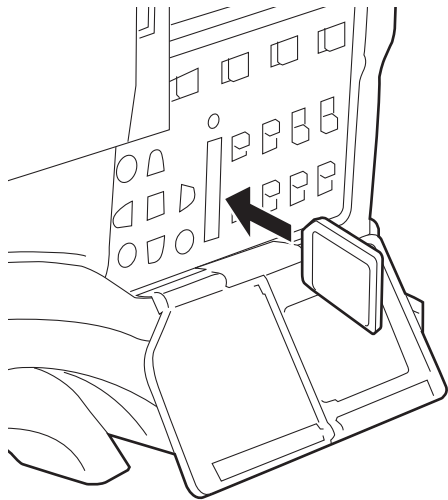
SDメモリーカードについては<SDメモリーカード使用上の注意>（24 ページ）を参照してください。

SDメモリーカードの取り扱い

SDメモリーカードは、電源を入れる前でも入れた後でも出し入れすることができます。

SDメモリーカードを入れるには

スイッチカバーの蓋を開け、SDメモリーカード（別売品）の切り欠き部を上にして、SDメモリーカード挿入口に差し込み、スイッチカバーのふたを閉めます。



SDメモリーカードを取り出すには

スイッチカバーのふたを開け、BUSYランプが点灯していないことを確認してからSDメモリーカードを更に本体側へ押し込みます。SDメモリーカードが挿入口から浮いてきますので、SDメモリーカードをつかみ引き抜き、スイッチカバーのふたを閉めます。

使用時、保管時は以下の点にご注意ください。

- 高温・多湿を避ける。
- 水滴を付けない。
- 帯電を避ける。

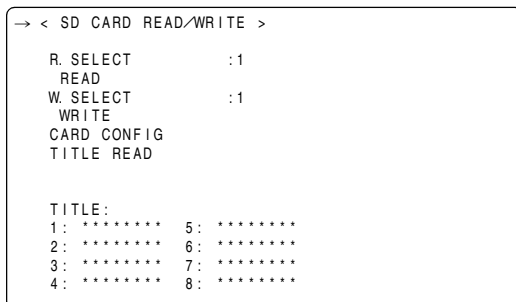
SDメモリーカードは、本機に挿入してふたを閉めた状態で保存してください。

◆NOTE:

SDメモリーカードの向きが正しいことを確認してからSDメモリーカードを入れてください。入れる際に抵抗があって入りにくいときは、SDメモリーカードが裏向き、または上下が逆になっている可能性があります。無理に押し込まず、向きを再度確認して正しく入れ直してください。

SDメモリーカードの操作

SDメモリーカードのフォーマットや、設定データのSDメモリーカードへの書き込み、または書き込まれたデータの読み出し操作は、メニュー操作でFILEページから<SD CARD READ/ WRITE>画面を開いて行います。



本機以外の機器でSD規格およびSDHC規格以外のフォーマットを行ったSDメモリーカードを挿入すると、画面右上に“FORMAT ERROR”と表示します。この場合は、以下の手順でフォーマットしてください。

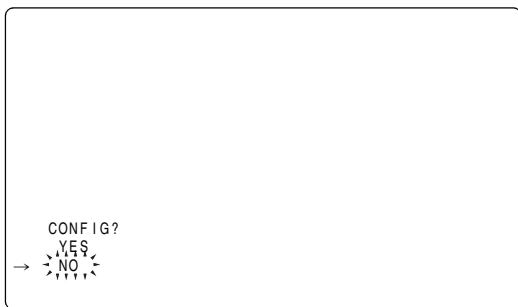
なお、本メニューページを開いたまま、SDメモリーカードを入れ替えても“FORMAT ERROR”表示は消えません。SDメモリーカードを入れ替えた場合は、TITLE READを実行してください。

SDメモリーカードをフォーマットするには

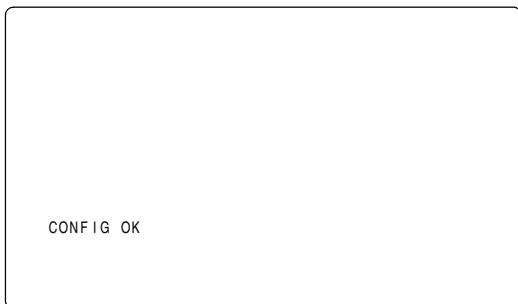
◆NOTE:

SDメモリーカードは、サムネール画面からもフォーマットが可能です。詳しくは「SDメモリーカードのフォーマット」(141 ページ)を参照してください。

- 1 メニュー操作を行い、<SD CARD READ/WRITE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をCARD CONFIGの項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。



- 4 SDメモリーカードのフォーマットを行う場合は、JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。SDメモリーカードのフォーマットが終わると、次のようなメッセージを表示します。



JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、フォーマットは実行されません。

エラーメッセージ	対策
CONFIG NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入してください。
CONFIG NG ERROR (フォーマットができません)	SDメモリーカードの不良が考えられます。カードを交換してください。
CONFIG NG WRITE PROTECT (ライトプロテクトされています)	SDメモリーカードを取り出してプロテクトを解除してください。
CONFIG NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度フォーマットを行ってください。

- 5 メニュー操作を終了するときは、MENUボタンを押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示を、ビューファインダー画面の上端と下端に表示します。

◆NOTE:

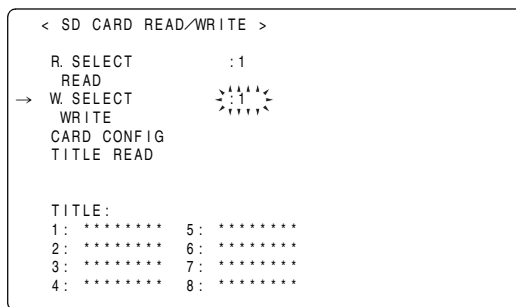
<SD CARD READ/WRITE>画面が開いている状態でSDメモリーカードを挿入、または取り出したときは、データのタイトルを更新できません。TITLE READの項目に矢印（カーソル）を移動し、JOGダイヤルボタンを押してください。データのタイトルを更新します。

設定したデータをSDメモリーカードに書き込むには

- 1 メニュー操作を行い、<SD CARD READ/WRITE>画面を開きます。

ファイルNo. を選択するには

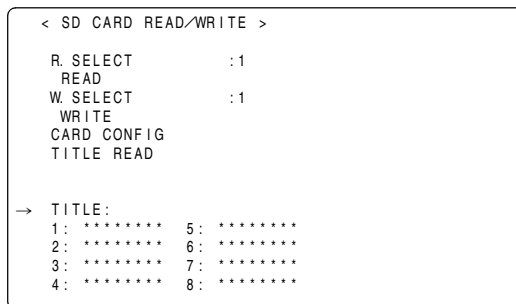
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をW. SELECT項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。



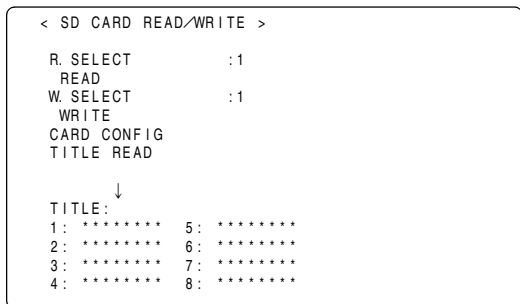
- 3 JOGダイヤルボタンを回して、1～8までの任意の番号を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

選択したファイルNO.にタイトルを付けるには

- 4 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をTITLEの項目に移動します。



5 JOGダイヤルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印（カーソル）が移動して入力モードになります。



6 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。

JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース：



アルファベット： A～Z



数字： 0～9



記号： '、>、<、/、-

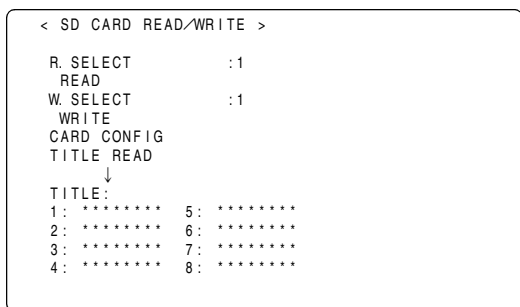
の順に切り替わります。

7 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。

8 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、6～7の操作を繰り返して、文字を設定します。（8文字以内）

選択したファイルNo.にデータを書き込むには

9 タイトルの入力が終わるとJOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。



10 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がTITLEの項目に戻ります。

11 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をWRITEの項目に移動します。

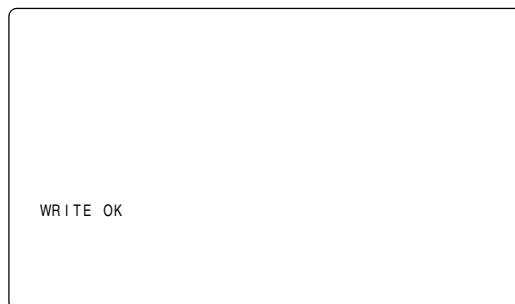
12 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。



JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを書き込むことができません。

エラーメッセージ	対策
WRITE NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入してください。
WRITE NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います)	本機以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードです。カードを交換してください。
WRITE NG ERROR (書き込みができません)	SDメモリーカードの不良が考えられます。カードを交換してください。
WRITE NG WRITE PROTECT (ライトプロテクトされています)	SDメモリーカードを取り出してプロテクトを解除してください。
WRITE NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度書き込みを行ってください。
WRITE NG CARD FULL (記録残量がありません)	SDメモリーカードに記録残量がなく、書き込みができません。不要なファイルを消去するか、新しいSDメモリーカードと交換してください。

13 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。データの書き込みが終了すると、次のようなメッセージを表示します。



- 14** メニュー操作を終了するとき、MENU ボタンを押します。
設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示を、ビューファインダー画面の上端と下端に表示します。

◆ NOTE:

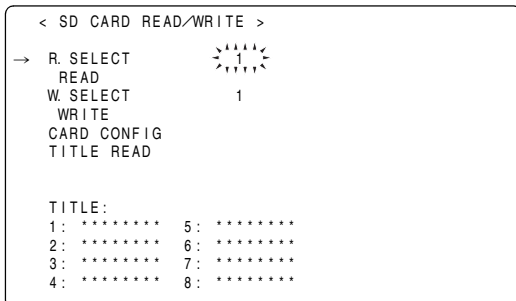
- <SD CARD R/W SELECT> 画面で SD メモリーカードに書き込むメニューの種類を選択することができます。
- 本機で新しく設定したセットアップファイルを、本機以外の他の機器で設定したセットアップファイルに上書きすることができます。上書きを行った場合、他の機器で設定したセットアップファイルは失われますのでご注意ください。
- それぞれの機器ごとで、SD メモリーカードを管理することをお勧めします。

SDメモリーカードに書き込まれているデータを読み出すには

- 1** メニュー操作を行い、<SD CARD READ/WRITE> 画面を開きます。

ファイルNo.を選択するには

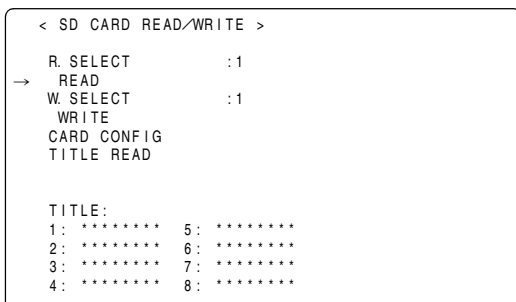
- 2** JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をR. SELECT項目に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。



- 3** JOGダイヤルボタンを回して、1～8までの任意の番号を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

選択したファイルNo.のデータを読み出すには

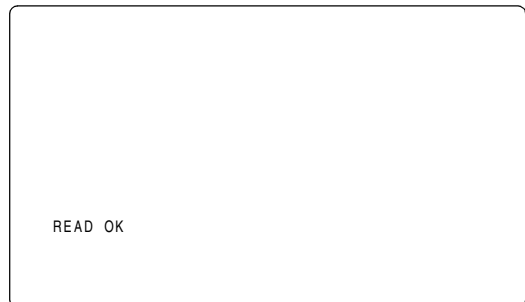
- 4** JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をREADの項目に移動します。



- 5** JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。



- 6** JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。データの読み出しが終了すると、次のようなメッセージを表示します。



JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを読み出すことができません。

エラーメッセージ	対策
READ NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入してください。
READ NG FORMAT ERROR (フォーマットが違います)	本機以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードです。カードを交換してください。
READ NG NO FILE (ファイルがありません)	ファイルデータを書き込んでください。
READ NG ERROR (読み出しができません)	本機以外で書き込まれたデータは読み出せません。
READ NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度読み出しを行ってください。

- 7** メニュー操作を終了するとき、MENU ボタンを押します。
設定メニューが消え、本機の状態表示に戻ります。

ユーザーデータの使い方

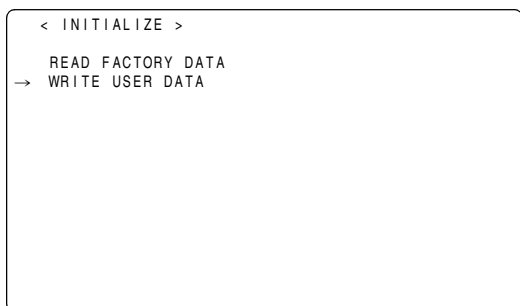
本機の内部メモリーのユーザーエリアに、設定データの内容の書き込みや書き込まれたデータの読み出しをすることができます。
このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現できます。

データの書き込み操作は、メニュー操作で FILE ページから <INITIALIZE> 画面を開いて行います。また、書き込まれたユーザーデータの読み出しは、メニュー操作で FILE ページから <SCENE> 画面を開いて行います。

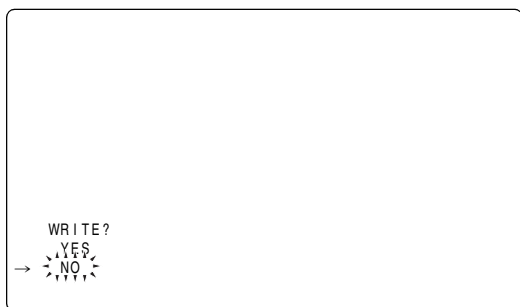
設定データをユーザーエリアに書き込むには

1 メニュー操作を行い、<INITIALIZE>画面を開きます。

2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を WRITE USER DATAの項目に移動します。



3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。



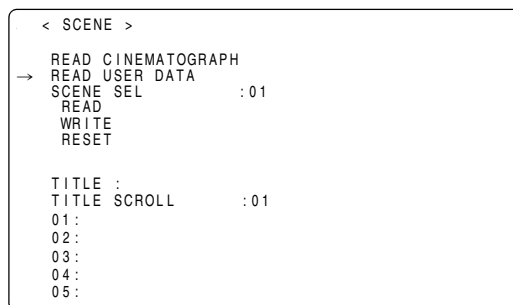
4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。設定したデータが本機の内部メモリーのユーザーエリアに書き込まれます。

5 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

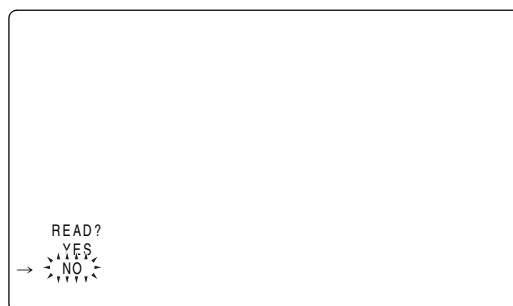
書き込まれたユーザーデータを読み出すには

1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。

2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を READ USER DATA項目に移動します。



3 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。



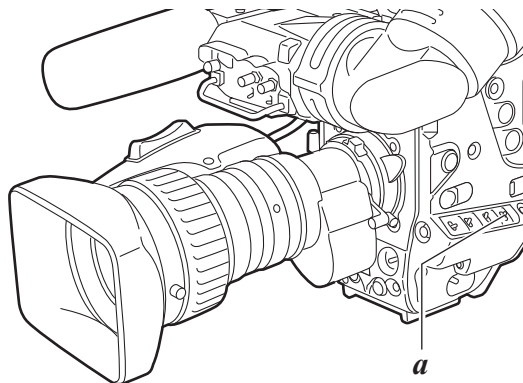
4 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。本機の内部メモリーのユーザーエリアに書き込まれたデータが読み出され、設定が完了します。

5 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

登録したユーザーデータを、メニュー操作をなしに読み出すことも可能です。

1 POWERスイッチをOFFにします。

2 WHITE BALスイッチを「PRST」の位置にします。



a. WHITE BALスイッチ

3 AUTO W/B BALスイッチを押し上げながら、POWERスイッチをONにします。USERメニューの各項目の設定が、一度に標準のUSER DATAに戻ります。

シーンファイルデータの使い方

本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに、設定データの内容の書き込み、または書き込まれたデータの読み出しをすることができます。なお、シーンファイルは、16種類登録可能です。このデータを使えば、適切なセットアップ状態を素早く再現できます。

操作は、メニュー操作で FILE ページから <SCENE> 画面を開いて行います。

シーンファイル用設定データを書き込むには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を SCENE SEL 項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して記録するシーンファイル（1～16）を選択します。

```
< SCENE >
READ CINEMATOGRAPH
READ USER DATA
→ SCENE SEL      :01
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE :
TITLE SCROLL :01
01:
02:
03:
04:
05:
```

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確定します。
- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を WRITE の項目に移動します。

```
< SCENE >
READ CINEMATOGRAPH
READ USER DATA
SCENE SEL      :01
  READ
→ WRITE
  RESET

TITLE :
TITLE SCROLL :01
01:
02:
03:
04:
05:
```

- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。

```
WRITE?
  YES
→ NO
```

7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。設定したデータが本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記録されます。

8 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

シーンファイル用設定データを読み出すには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を SCENE SELの項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して読み出すシーンファイル（1～16）を選択します。

```
< SCENE >
READ CINEMATOGRAPH
READ USER DATA
→ SCENE SEL      :01
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE :
TITLE SCROLL :01
01:
02:
03:
04:
05:
```

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確認します。
- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を READの項目に移動します。

```
< SCENE >
READ CINEMATOGRAPH
READ USER DATA
→ SCENE SEL      :01
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE :
TITLE SCROLL :01
01:
02:
03:
04:
05:
```

- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。

```
READ?
YES
→ NO
```

- 7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。本機の内部メモリのシーンファイルエリアに記録されたデータが読み出され、設定が完了します。
- 8 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

シーンファイル用設定データを工場出荷状態にするには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を SCENE SEL項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、シーンファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回してリセットするシーンファイル（1～16）を選択します。

```
< SCENE >
READ CINEMATOGRAPH
READ USER DATA
→ SCENE SEL      :01
  READ
  WRITE
  RESET

TITLE :
TITLE SCROLL :01
01:
02:
03:
04:
05:
```

- 4 JOGダイヤルボタンを押し、シーンファイルを確認します。
- 5 JOGダイヤルボタンを回し、矢印（カーソル）を「RESET」の項目に移動します。

```
< SCENE >
READ CINEMATOGRAPH
READ USER DATA
SCENE SEL      :01
→ READ
  WRITE
  RESET

TITLE :
TITLE SCROLL :01
01:
02:
03:
04:
05:
```

- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。

```
RESET?
YES
→ NO
```

- 7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。本機の内部メモリのシーンファイルエリアに記録されたデータがリセットされて工場出荷状態に戻ります。
- 8 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

シーンファイル用設定データにタイトルをつけるには

- 1 メニュー操作を行い、<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）TITLE の項目に移動します。

```

< SCENE >
READ CINEMATOGRAPH
READ USER DATA
SCENE SEL      : 01
  READ
  WRITE
  RESET
→ TITLE :
  TITLE SCROLL : 01
  01:
  02:
  03:
  04:
  05:

```

- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がタイトル入力エリアに移動して入力モードになります。

```

< SCENE >
READ CINEMATOGRAPH
READ USER DATA
SCENE SEL      : 01
  READ
  WRITE
  RESET
↓
TITLE : *****
TITLE SCROLL   : 01
  01:
  02:
  03:
  04:
  05:

```

- 4 設定したい文字が現れるまで、JOGダイヤルボタンを回します。

JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が

スペース：

↓

アルファベット： A～Z

↓

数字： 0～9

↓

記号： '、>、<、/、-

の順に切り替わります。

- 5 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。
- 6 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、4～5の操作を繰り返して、文字を設定します。（8文字以内）
- 7 タイトルの入力が終わるとJOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。
- 8 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がTITLEの項目に戻ります。
- 9 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をWRITEの項目に移動します。

- 10 JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。

```

WRITE?
  YES
→ > NO <
  TITLE:

```

- 11 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。タイトルが本機の内部メモリーのシーンファイルエリアに記録されます。

- 12 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

メニュー設定状態の工場標準設定値への復帰方法

本機のメニューの設定状態を工場出荷の標準設定値の状態に戻すことができます。

操作は、メニュー操作でFILEページから<INITIALIZE>画面を開きREAD FACTORY DATA項目を選択し、実行します。

すべてのメニューの設定値が、工場出荷時の設定に戻ります。

◆NOTE:

シーンファイルやレンズファイル、およびユーザーデータとして保存しているデータは、この操作を行っても削除されません。

```
< INITIALIZE >
→ READ FACTORY DATA
   WRITE USER DATA
```

レンズファイル

本機の内蔵メモリーには、64個のレンズファイルを記憶することができます。

SDメモリーカードには、8個のレンズファイルを1タイトルとして、8タイトル(計64個)のレンズファイルを書き込むことができます。

レンズファイルには、下記のデータが記録されます。

- タイトル名
- ホワイトシェーディング補正值
- フレア補正值
- RBゲインオフセット補正值

レンズファイルの作成方法

ホワイトシェーディングの調整

ホワイトシェーディングの調整は、「レンズのホワイトシェーディング調整」(118ページ)を参照してください。

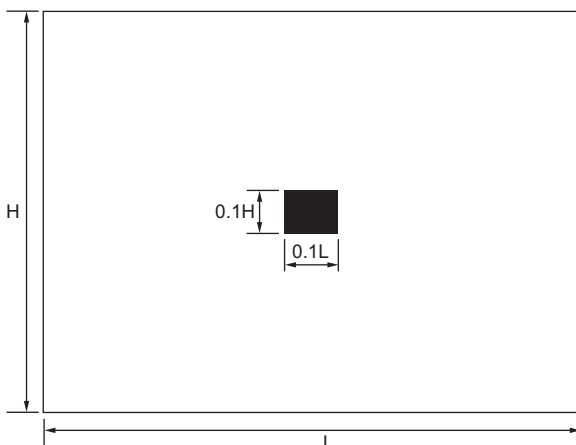
フレアの調整

メニュー操作でMAINTENANCEページから<LENS FILE ADJ>画面を開き、LENS R FLARE項目、LENS G FLARE項目、LENS B FLARE項目でフレアの調整を行います。

```
→ < LENS FILE ADJ >
RB GAIN CTRL RESET:ON
LENS R GAIN OFFSET:+000
LENS B GAIN OFFSET:+000

LENS R FLARE      :000
LENS G FLARE      :000
LENS B FLARE      :000
```

フレア調整用チャートの例



RBゲインオフセット

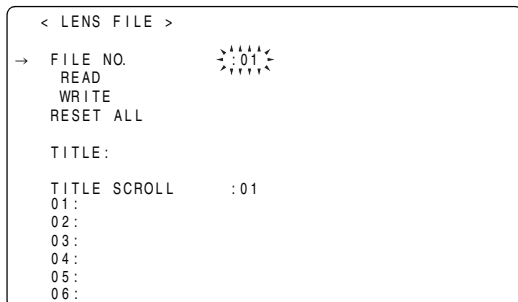
レンズを交換したときに生じる、ホワイトバランスの変化を補正します。

- 1 基準にするレンズを本機に装着します。
- 2 適切な照明(2000 lx、3200 Kが望ましい)でグレースケールチャートを撮影します。
- 3 WHITE BALスイッチを「A」の位置にします。
- 4 グレースケールチャート中央の白ウインドウが、80%程度になるようにレンズ絞りを調整します。
- 5 AUTO W/B BALスイッチを「AWB」側に押して、ホワイトバランスの自動調整を行います。
- 6 ウェーブフォームモニター(WFM)でRGBの信号レベルを測定します。
- 7 レンズファイルを作成するレンズに交換します。
- 8 Gchの信号レベルを、6で得た信号レベルと同じになるようにレンズの絞りを微調整します。
- 9 メニュー操作でMAINTENANCEページから<LENS FILE ADJ>画面を開き、RB GAIN CTRL RESET項目をONに設定します。
- 10 LENS B GAIN OFFSET項目でRchの信号レベルがGchと同じになるように調整します。
- 11 同様に、LENS B GAIN OFFSET項目でBchの信号レベルがGchと同じになるように調整します。

レンズファイルを内蔵メモリーに書き込む

ファイルNo. を選択する

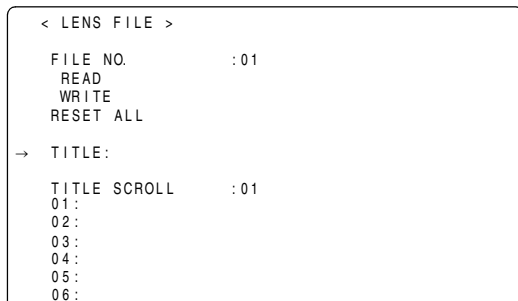
- 1 メニュー操作で、FILEページから<LENS FILE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をFILE NO.項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、ファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して記録するファイル（1～64）を選択します。



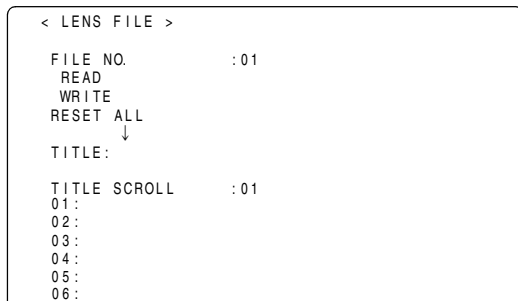
- 4 JOGダイヤルボタンを押して、ファイル番号を確定します。

選択したファイルにタイトルを付ける

- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をTITLEの項目に移動します。



- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印（カーソル）が移動して入力モードになります。

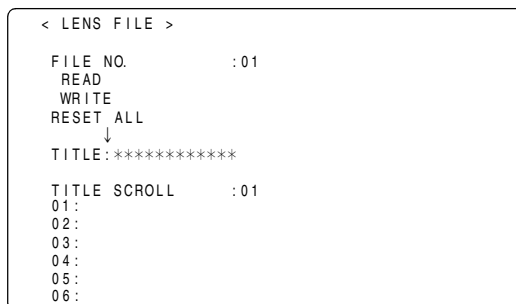


- 7 再度JOGダイヤルボタンを押し、設定したい文字が現れるまでJOGダイヤルボタンを回します。JOGダイヤルボタンを回すと、文字表示が
スペース： □
↓
アルファベット： A～Z
↓
数字： 0～9
↓
記号： '、>、<、/、一、..、x
の順に切り替わります。

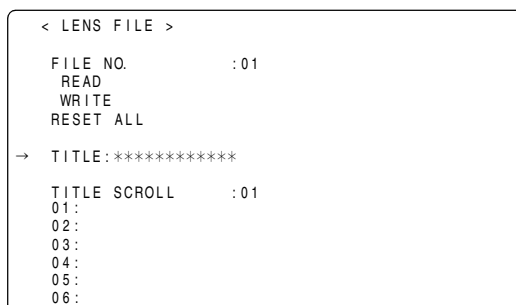
- 8 JOGダイヤルボタンを押して、文字を確定します。

- 9 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を次の位置（右）に移動し、7・8の操作を繰り返して、文字を設定します。（12文字以内）

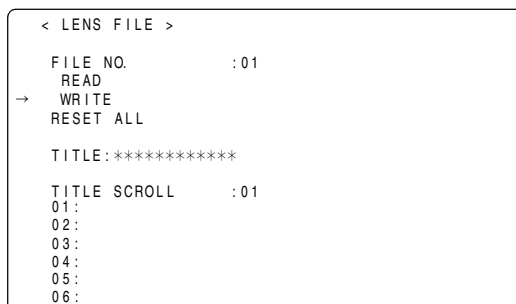
- 10 タイトルの入力が終わるとJOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を「:」の位置に移動します。



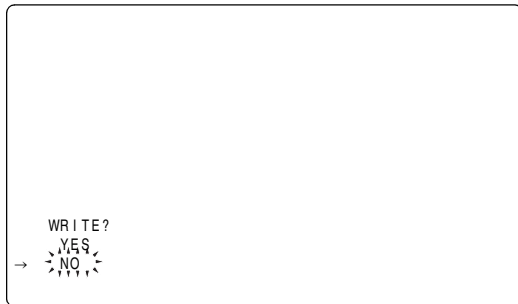
- 11 JOGダイヤルボタンを押すと、矢印（カーソル）がTITLEの項目に戻ります。



- 12 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をWRITEの位置に移動します。



- 13** JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。



- 14** JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。現在のホワイトシェーディング補正值、フレア補正值、RBゲインオフセット補正值が、本機の内蔵メモリに記憶されます。

◆ **NOTE:**

WRITE を実行しないで他のメニュー画面に移動したり、メニューを終了したりしたときは、内蔵メモリには記憶されません。

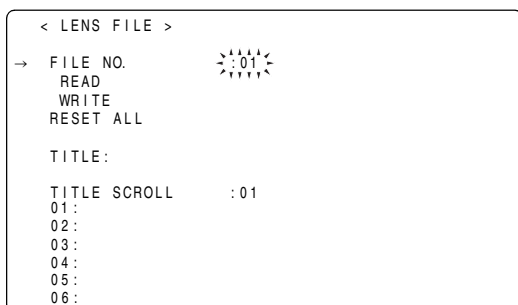
- 15** MEMU ボタンを押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示を、ビューファインダー画面の上端と下端に表示します。

レンズファイルを内蔵メモリーから読み出す

- 1** メニュー操作で、FILE ページから <LENS FILE> 画面を開きます。

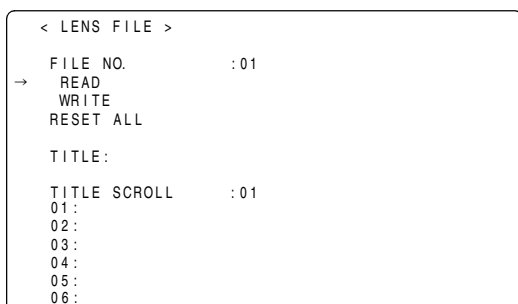
- 2** JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を FILE NO. 項目に移動します。

- 3** JOGダイヤルボタンを押すと、ファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して読み出すファイル（1～64）を選択します。



- 4** JOGダイヤルボタンを押して、ファイル番号を確定します。

- 5** JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）を READ の項目に移動します。



- 6** JOGダイヤルボタンを押すと、次のようなメッセージを表示します。



- 7** JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を YES に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。記憶されているホワイトシェーディング補正值、フレア補正值、RBゲインオフセット補正值が読み出されます。

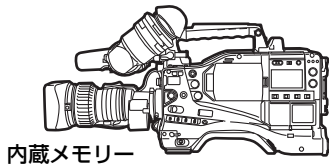
- 8** MEMU ボタンを押します。設定メニューが消え、本機の現在の状態を示す表示を、ビューファインダー画面の上端と下端に表示します。

レンズファイルのSDメモリーカードへの書き込みと読み出し

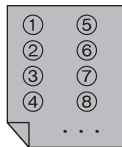
本機の内蔵メモリーに記憶された8個のレンズファイルの内容を、1タイトルのカードファイルとしてSDメモリーカードに書き込むことができます。SDメモリーカードには、8タイトル書き込むことができます。

また、SDメモリーカードに書き込まれたレンズファイルは、書き込んだ1タイトル（8個のレンズファイル）を内蔵メモリーに読み出すことができます。

内蔵メモリーに記憶されたレンズファイルとSDメモリーカードに書き込まれたレンズファイルの関係は次のようになっています。



64個のレンズファイル

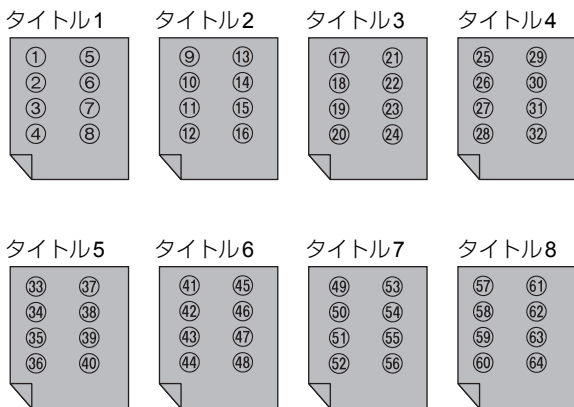


内蔵メモリーのレンズファイルは、64個まで記憶することができます。



8個のレンズファイルの内容を、1タイトルのカードファイルとしてSDメモリーカードに書き込むことや読み出すことができます。

カードファイル

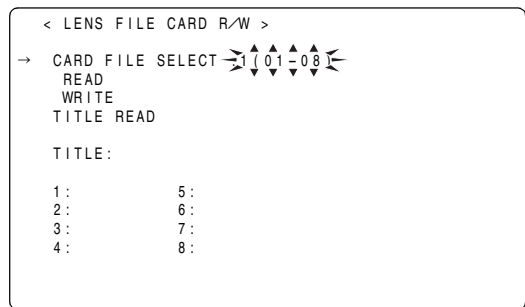


8個のレンズファイル×8 = 64個のレンズファイルを書き込むことが可能です。

SDメモリーカードにレンズファイルを書き込むには

カードファイルNo. を選択する

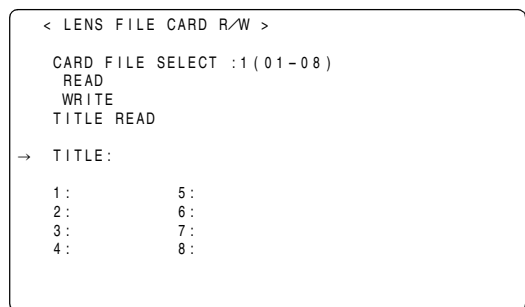
- 1 メニュー操作で、FILEページから<LENS FILE CARD R/W>画面を開きます。右上にFORMAT ERRORと表示した場合、本機でSDメモリーカードのフォーマットを行ってください。SDメモリーカードのフォーマットは<SD CARD READ/WRITE>画面のCARD CONFIG項目で行うことができます。詳しくは「SDメモリーカードの操作」(92ページ)を参照してください。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)をCARD FILE SELECT項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、カードファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して書き込むファイル(1~8)を選択します。



- 4 JOGダイヤルボタンを押して、ファイル番号を確定します。

選択したカードファイルにタイトルを付ける

- 5 JOGダイヤルボタンを回して、矢印(カーソル)をTITLEの項目に移動します。

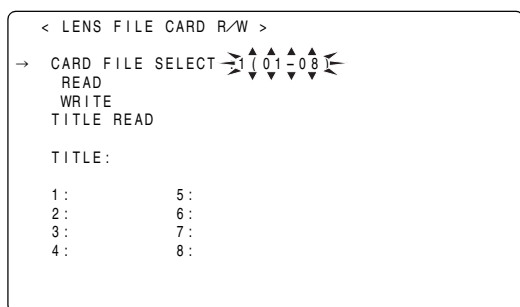


- 6 JOGダイヤルボタンを押すと、タイトル入力エリアに矢印(カーソル)が移動して入力モードになります。

以降、101ページのステップ7から102ページのステップ15までの操作を行ってください。

SDメモリーカードからレンズファイルを読み出すには

- 1 メニュー操作で、FILEページから<LENS FILE CARD R/W>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンを回して、矢印（カーソル）をCARD FILE SELECT項目に移動します。
- 3 JOGダイヤルボタンを押すと、カードファイル番号が点滅しますので、JOGダイヤルボタンを回して読み出すファイル（1～8）を選択します。



- 4 JOGダイヤルボタンを押して、ファイル番号を確定します。

以降、102 ページのステップ5からステップ8までの操作を行ってください。

◆NOTE:

SDメモリーカード上のカードファイルのタイトルは<LENS FILE CARD R/W>画面に表示しますが、中に含まれるレンズファイルのタイトルは、<LENS FILE CARD R/W>画面に表示しません。

その都度、ファイルを読み出して、<LENS FILE>画面で確認してください。

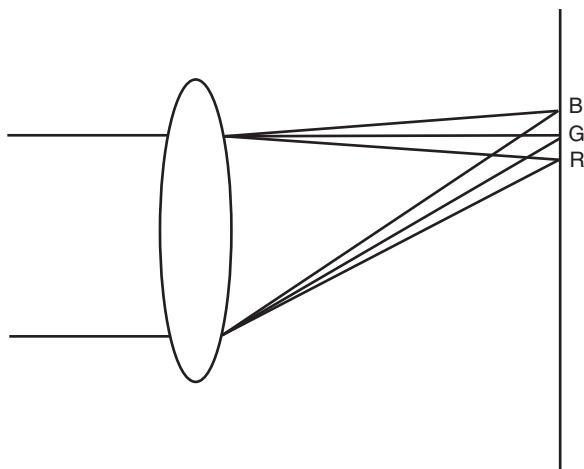
このとき、内蔵メモリーのレンズファイルが読み出したレンズファイルに書き換えられてしまいますので、一旦、内蔵メモリーのレンズファイルをSDメモリーカードに書き込んで、バックアップしてからSDメモリーカードのレンズファイルを読み出してください。

色収差補正機能 (CAC)

CACは、レンズ自体で補正しきれないわずかな色収差が主な原因で起るレジストレーションエラーをカメラレコーダー本体で自動的に補正し、画像の色にじみを最小限に抑える機能です。

レンズの色収差とは

ここで言う色収差とは倍率色収差です。倍率色収差は、レンズの屈折率が赤 (R)・緑 (G)・青 (B) によって異なるために発生します。レンズ自体で色収差の補正を行なっていますが、特に周辺では色収差が残留します。また、この色収差はズームレンズであればズーム倍率・絞り・焦点距離が複雑に関係して発生します。画像としてはレジストレーションエラーとなります。



色収差補正機能

色収差を補正するには、ズーム倍率・絞り・焦点距離に対するレンズの色収差特性をあらかじめカメラレコーダー本体に記憶させ、その収差特性に適合するレンズを接続し、レンズのズーム倍率・絞り・焦点距離に合致した補正を行ないます。

本機は工場出荷時に下記 4 種類のレンズの CAC データを記憶しています。

本機での表示	対応レンズ品番
HA16×6.3BERM-M58	HA16×6.3BERM-M58
HA22×7.8BERM-M58	HA22×7.8BERM-M58
HJ17e×7.6B IASE	HJ17E×7.6B IASE
HJ22e×7.6B IASE	HJ22E×7.6B IASE

◆ NOTE:

本機の発売以降の対応レンズの追加、変更などに関しては、下記のウェブサイトのサポートサイトを参照してください。

<http://panasonic.biz/sav/>

CACの動作

左記 4 種類のレンズの場合

- 1 レンズを本機に装着し、レンズコネクタを本機に接続します。
- 2 MAINTENANCE ページの <CAC ADJ> 画面を開きます。
- 3 CAC CONTROL 項目を ON にします。
本機に記憶されているレンズ品番と接続されたレンズ品番が合致すれば、本機に記憶されている CAC データを自動で読み出します。

```
< CAC ADJ >
CAC CONTROL      :ON
CAC FILE DELETE  :
→ CAC FILE NO.  :01
TITLE SCROLL     :01
01:HA22X7.8BERM-M58
02:HA16X6.3BERM-M58
03:HJ17eX7.6B IASE
04:HJ22eX7.6B IASE
05:NO FILE
06:NO FILE
07:NO FILE
08:NO FILE
```

CAC動作状態の確認

- 1 MENU が VF 画面に表示されていない状態で MODE CHECK ボタンを押す。
ビューファインダー画面の左上に CAC の文字が表示されれば CAC は動作中です。
CAC の文字が表示されない場合は CAC 動作をしていません。
- 2 VF ページの <VF INDICATOR2> 画面を開き、CAC 項目を ON にすればビューファインダー画面の左上に CAC が表示します。

```
→ < VF INDICATOR2 >
CAC          :ON
GAMMA MODE  :ON
DRS         :ON
P-10LOG     :ON
VF GAMMA    :ON
MONITOR GAMMA :ON
```


CAC FILEをSDメモリーカードから読み込む

- 1 弊社サポートページでダウンロードしたCAC FILEを書き込んだSDメモリーカードを本機に挿入します。ダウンロードについては下記URLを参照してください。

<http://panasonic.biz/sav/>

- 2 メニュー操作でFILEページから<CAC FILE CARD READ>画面を開きます。
- 3 JOGダイヤルボタンでTITLE READを選択し、JOGダイヤルボタンを押します。TITLE部分にレンズ品番が表示されます。

```
< CAC FILE CARD READ >
CARD FILE SELECT :01
  READ
  DELETE
-> TITLE READ
TITLE SCROLL      :01
01:HA22X7. 8BERM-M58
02:HA16X6. 3BERM-M58
03:HJ17eX7. 6B IASE
04:HJ22eX7. 6B IASE
05:NO FILE
06:NO FILE
07:NO FILE
08:NO FILE
```

- 4 JOGダイヤルボタンでCARD FILE SELECTを選択し、JOGダイヤルボタンを押します。
- 5 読み込むTITLE NOを選択し、JOGダイヤルボタンを押します。
- 6 JOGダイヤルボタンでREADを選択し、JOGダイヤルボタンを押します。下記のような画面が表示されます。

```
FILE READ?
YES
-> NO(CANCEL)
MEM STORE NO.    :EMPTY
TITLE SCROLL     :01
01:HA22X7. 8BERM-M58
02:HA16X6. 3BERM-M58
03:HJ17eX7. 6B IASE
04:HJ22eX7. 6B IASE
05:NO FILE
06:NO FILE
07:NO FILE
08:NO FILE
```

- 7 JOGダイヤルボタンでYESを選択し、JOGダイヤルボタンを押します。上記4で選択したレンズのCAC FILEが本機のメモリーに記憶されます。また、このときMEM STORE NO.: EMPTY/1/2...の設定でEMPTYを選択すれば、本機のCAC FILE番号の空き部分に記憶します。1を選択すれば、CAC FILE番号の1番に上書きします。

JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを読み出すことができます。

エラーメッセージ	対策
READ NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入してください。
READ NG NO FILE (ファイルがありません)	データのあるファイルを選択して、再度読み出しを行ってください。
READ NG ERROR (読み出しができません)	SDメモリーカードを挿入しなおし、再度読み出しを行ってください。
READ NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度読み出しを行ってください。
READ NG FILE DATA INVALID (ファイルデータが異常です)	書き込まれたファイルデータに異常があります。正しいファイルデータを使用してください。
READ NG FILE MEMORY FULL (メモリーが一杯です)	CACデータが一杯で書き込めません。不要なCACデータを削除してから再び行ってください。

- 8 複数のCAC FILEを本機に記憶させるには、上記3~7を繰り返します。
- 9 メニュー操作を終了するときには、MENUボタンを押します。設定メニューが消え、本機の状態表示に戻ります。

◆NOTE:

- 本機には32個のCAC FILEを記憶させることができます。CAC FILEが満杯になった場合には、いずれかのCAC FILEを消去してください。
- SDメモリーカードを挿入している間、SDメモリーカードのBUSYランプが点滅していますが、異常ではありません。

CAC FILEを本機から消去する

- 1 メニュー操作でMAINTENANCEページから<CAC ADJ>画面を開きます。
下記のような画面が表示されます。

```

< CAC ADJ >
→ CAC CONTROL      :ON
CAC FILE DELETE
CAC FILE NO. 01

TITLE SCROLL      :01
01:HA22X7. 8BERM-M58
02:HA16X6. 3BERM-M58
03:HJ17eX7. 6B IASE
04:HJ22eX7. 6B IASE
05:NO FILE
06:NO FILE
07:NO FILE
08:NO FILE

```

- 2 CAC CONTROLで、“OFF”を選択します。
- 3 CAC FILE NOで、消去したいレンズ品番をJOGダイヤルボタンで選択します。
- 4 JOGダイヤルボタンを押し、選択を確定します。
- 5 JOGダイヤルボタンで“CAC FILE DELETE”を選択し、JOGダイヤルボタンを押しします。
- 6 下記のような画面が表示されますので、JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を“YES”に移動し、JOGダイヤルボタンを押しします。

```

DELETE?
  YES
→ NO ←
  ↑ ↓
  ↑ ↓

```

CAC FILEをSDメモリーカードから消去する

- 1 メニュー操作でFILEページから<CAC FILE CARD READ>画面を開きます。
下記のような画面が表示されます。

```

< CAC FILE CARD READ >
→ CARD FILE SELECT :01
READ
DELETE
TITLE READ      :01

TITLE SCROLL    :01
01:HA22X7. 8BERM-M58
02:HA16X6. 3BERM-M58
03:HJ17eX7. 6B IASE
04:HJ22eX7. 6B IASE
05:NO FILE
06:NO FILE
07:NO FILE
08:NO FILE

```

- 2 JOGダイヤルボタンで“TITLE READ”を選択し、JOGダイヤルボタンを押しします。
TITLE部分にレンズ品番が表示されます。
- 3 JOGダイヤルボタンで“CARD FILE SELECT”を選択し、JOGダイヤルボタンを押しします。
- 4 消去するCAC FILEの“TITLE NO”を選択し、JOGダイヤルボタンを押しします。
- 5 JOGダイヤルボタンで“DELETE”を選択し、JOGダイヤルボタンを押しします。
下記のような画面が表示されます。

```

DELETE?
  YES
→ NO ←
  ↑ ↓
  ↑ ↓

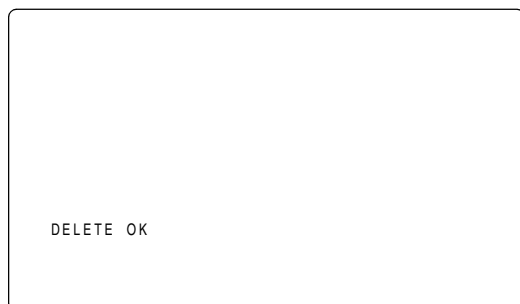
```

- 6 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を“YES”に移動し、JOGダイヤルボタンを押しします。

JOGダイヤルボタンを押したときに、下記のメッセージが表示されると、データを削除することができません。

エラーメッセージ	対策
DELETE NG NO CARD (SDメモリーカードが挿入されていません)	SDメモリーカードを挿入します。
DELETE NG ERROR (削除ができません)	SDメモリーカードの不良が考えられます。カードを交換します。
DELETE NG WRITE PROTECT (ライトプロテクトされています)	SDメモリーカードを取り出してプロテクトを解除してください。
DELETE NG CANNOT ACCESS (アクセスできません)	再生中などのため、SDメモリーカードにアクセスできません。それぞれの作業が終了してから、再度削除を行ってください。
DELETE NG NO FILE (ファイルがありません)	収差ファイルがあるFILE NO.を選択して、削除を実行してください。

7 JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）をYESに移動し、JOGダイヤルボタンを押します。データの書き込みが終了すると、次のようなメッセージが表示されます。



CAC FILEが正常に動作しないとき

CACが正常に動作しない時、またはCACファイルが正常に読み込めなかった時は、ビューファインダーに下記のエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	意味	処置
FILE MEMORY FULL	SDメモリーカードから本機のメモリーにCAC FILEをEMPTYモードで読み込む際、内蔵メモリーがFULLの状態である。	EMPTYモード以外でCAC FILEの読み込みを行なってください。
CAC FILE DATA NOT FOUND	CAC補正：ONの時、接続されたレンズに該当するCAC FILEがないとき。電源投入時に表示します。	使用するレンズに該当するCAC FILEを本機に読み込んでください。
CAC LENS DATA INVALID	レンズからの応答データに対応できないとき、またはCAC FILEで定義している情報以外の応答があったとき。	CAC補正対応レンズではありません。CAC補正は行えませんがご使用に問題はありません。
LENS INITIALIZE NOT COMPLETED	レンズの位置検知（フォーカス・ズーム）がエンコーダタイプで初期化が完了していないとき。	フォーカス・ズームリングを回し動作範囲の中点を通過させてください。

◆ NOTE:

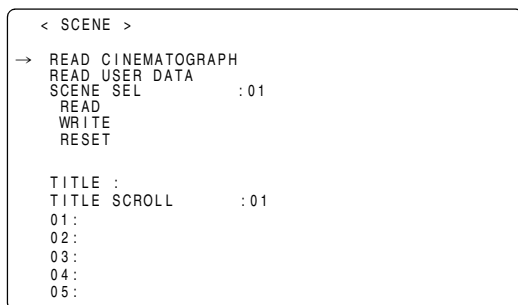
- レンズ光学系のアクセサリ（コンバータレンズ・アタッチメント）を取り付け時は、レンズの光学特性が変化するため、CAC機能が正しく動作しない場合があります。その場合はCAC：OFFでご使用ください。
- キヤノンレンズでフォーカスサーボ使用時、自動初期化モード時は初期化終了後に記録するようにしてください。フォーカスリングが動いている状態が記録されることがあります。
- CACが動作せず、かつエラーメッセージが表示されない場合は、レンズのソフトウェアバージョンが古い恐れがあります。ご使用のレンズのメーカーにお問い合わせください。

シネマトグラファー設定

本機はフィルム制作に使用する項目に限定したメニュー項目を、まとめてシーンファイルに登録しています。

シネマトグラファー設定を行う

- 1 メニュー操作でFILEページから<SCENE>画面を開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンでREAD CINEMATOGRAPH項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。



- 3 下記のような画面が表示されますので、JOGダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を“YES”に移動し、JOGダイヤルボタンを押します。本機内部メモリのシネマトグラファーエリアに記憶されたデータが読み出され、設定が完了します。



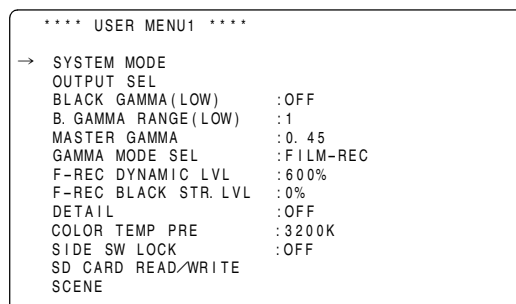
- 4 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

◆ NOTE:

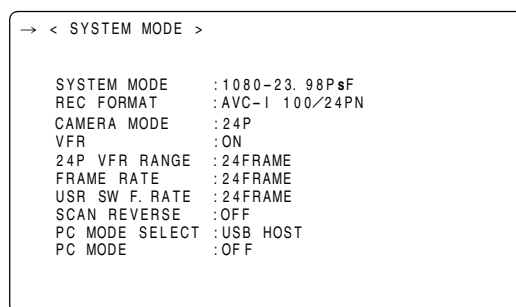
- シネマトグラファー設定を読み出した後は
GAINスイッチ：LOW
OUTPUT/AUTO KNEEスイッチ：CAM
WHITE BALスイッチ：PRST
に設定してご使用になることをおすすめします。
- シネマトグラファー設定の読み出しに合わせて、AWBメモリーは3200Kに、ビューファインダーのマーカはAに設定されます。

シネマトグラファー設定の確認と変更を行う

- 1 MENUボタンを押し、USER MENUを開きます。
- 2 JOGダイヤルボタンで内容を確認したい項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。



- 3 選択した項目の設定内容が表示されます。



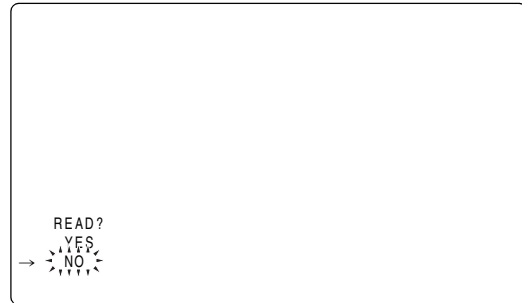
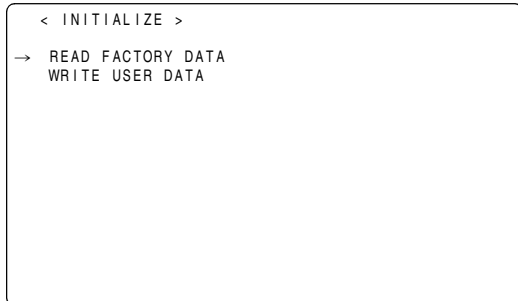
- 4 設定内容を変更したい場合は、変更したい項目に矢印（カーソル）を移動し、JOGダイヤルボタンを押して変更したい項目を確定します。
- 5 JOGダイヤルボタンを使って設定値を変更します。
- 6 JOGダイヤルボタンを押して変更内容を確定します。
- 7 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

◆ NOTE:

シネマトグラファー設定後も、MENUボタンを3秒以上押すことでMAIN MENUを、LIGHTボタンを押すことでOPTION MENUを表示し、操作することができます。

シネマトグラファー設定を工場出荷状態に戻す

- 1 MENU ボタンを3秒以上押しMAIN MENUを表示させ、FILE ページから<INITIALIZE>画面を開きます。
- 2 JOG ダイヤルボタンでREAD FACTORY DATA 項目を選択し、JOG ダイヤルボタンを押します。
- 3 下記のような画面が表示されますので、JOG ダイヤルボタンを回して矢印（カーソル）を“YES”に移動し、JOG ダイヤルボタンを押します。本機内部メモリーの工場出荷設定領域に記憶されたデータが読み出され、設定が完了します。



- 4 メニュー操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

シネマトグラファー設定と通常設定の違い

シネマトグラファー設定と通常の工場出荷設定との違いを以下に示します。

メニュー設定

ページ	メニュー画面	項目	工場出荷設定	シネマトグラファー設定
SYSTEM SETTING	SYSTEM MODE	SYSTEM MODE	1080-59.94i	1080-23.98PsF
		VFR	OFF	ON
	OUTPUT SEL	SIGNAL FORMAT	4:2:2	4:4:4
		P-10LOG	OFF	ON
		OUTPUT ITEM	MENU ONLY	STATUS
		DOWNCON MODE	SQUEEZE	LT-BOX
	HD SDI A・B OUT MARKER	CENTER MARK	1	2
		FRAME MARK	OFF	ON
		FRAME SIG	4:3	VISTA
	MONI OUT MARKER	CENTER MARK	1	2
FRAME MARK		OFF	ON	
FRAME SIG		4:3	VISTA	
PAINT	LOW SETTING	■MATRIX TABLE	A	OFF
	MID SETTING	■MATRIX TABLE	A	OFF
	HIGH SETTING	■MATRIX TABLE	A	OFF
	■CAMERA SETTING	DETAIL	ON	OFF
VF	VF DISPLAY	STATUS MODE	NORMAL	FILM-REC
		LOW LIGHT LVL	35%	OFF
	VF MARKER	SAFETY MARK (A)	1	2
		FRAME MARK (A)	OFF	ON
		FRAME SIG (A)	4:3	VISTA
		SAFETY MARK (B)	1	2
		FRAME MARK (B)	OFF	ON
		FRAME SIG (B)	4:3	VISTA
	VF INDICATOR1	EXTENDER	ON	OFF
		GAIN	ON	OFF
		ZOOM LVL	ON	OFF
		SYSTEM MODE	OFF	ON
	VF INDICATOR3	BATTERY	ON	OFF
		AUDIO LVL	ON	OFF
CAM OPERATION	SHUTTER SPEED	SYNCHRO SCAN2	ON	OFF
	SHUTTER SELECT	POSITION4 SEL	120.0deg	90.0deg
		POSITION5 SEL	90.0deg	45.0deg
		POSITION6 SEL	45.0deg	1/60
	USER SW	MARKER SEL (USER3 SW)	VF GAM	REC SW
			VF MARK	VF GAM

USER MENU

ページ	工場出荷設定	シネマトグラファー設定
USER MENU1	SYSTEM MODE	SYSTEM MODE
	OUTPUT SEL	OUTPUT SEL
	MASTER PED	BLACK GAMMA (LOW)
	BLACK GAMMA (LOW)	B.GAMMA RANGE (LOW)
	MASTER GAMMA	MASTER GAMMA
	F-REC DYNAMIC LVL	GAMMA MODE SEL
	F-REC BLACK STR LVL	F-REC DYNAMIC LVL
	DETAIL	F-REC BLACK STR LVL
	USER MAIN SW	DETAIL
	USER1 SW	SIDE SW LOCK
	USER2 SW	COLOR TEMP PRE
	MARKER SEL	SD CARD READ/WRITE
	TEXT MEMO SW	SCENE
	SIDE SW LOCK	
USER MENU2	SD CARD READ/WRITE	ページ表示なし
	SCENE	
USER MENU (SYS)	REC FUNCTION	REC FUNCTION
	BRIGHTNESS (LCD)	BRIGHTNESS (LCD)
	COLOR LEVEL (LCD)	COLOR LEVEL (LCD)
	CONTRAST (LCD)	CONTRAST (LCD)
	BACKLIGHT (LCD)	BACKLIGHT (LCD)
	BATTERY SELECT	BATTERY SELECT
	FRONT VR CH1	FRONT VR CH1
	FRONT VR CH2	FRONT VR CH2
	FIRST REC TC	FIRST REC TC
	HOURS METER	HOURS METER

RGB 4:4:4出力とP-10LOG設定

本機はフィルム製作のワークフローである Digital-Intermediate に適した信号出力することができます。

RGB 4:4:4出力とP-10LOGの設定

シネマトグラファースettingsを行うことによりHD SDI A端子からLink A信号が、HD SDI B端子からLink B信号が出力され、それらの信号をRGB 4:4:4出力のP-10LOG設定にすることができます。シネマトグラファースettingsについては109ページ以降を参照してください。シネマトグラファースettingsを使わずに上記の設定にするには以下を参照してください。

1 メニュー操作でPAINTページから<GAMMA>画面を開きます。

2 JOGダイヤルボタンでGAMMA MODE SEL項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

-> < GAMMA >	
MASTER GAMMA	: 0.45
R GAMMA	: +00
G GAMMA	: +00
GAMMA MODE SEL	: FILM-REC
F-REC DYNAMIC LVL	: 600%
F-REC BLACK STR LVL	: 00%
V-REC KNEE SLOPE	: 500%
V-REC KNEE POINT	: 30%

3 JOGダイヤルボタンを回して“FILM-REC”を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

4 メニュー操作でSYSTEM SETTINGページから<OUTPUT SEL>画面を開きます。

5 JOGダイヤルボタンでSIGNAL FORMAT項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

<OUTPUT SEL>	
SIGNAL FORMAT	: 4:4:4
P-10LOG	: ON
OUTPUT ITEM	: MENU ONLY
HD SDI A-B CHAR	: OFF
MONITOR OUT	: HD SDI
MONITOR GAMMA	: OFF
VF/LCD CHAR	: ON
VF MODE	: MEM
VF SEL	: MONO
THUMBNAİL OUT	: OFF
DOWNCON MODE	: SQUEEZ

6 JOGダイヤルボタンを回して“4:4:4”を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

7 JOGダイヤルボタンでP-10LOG項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

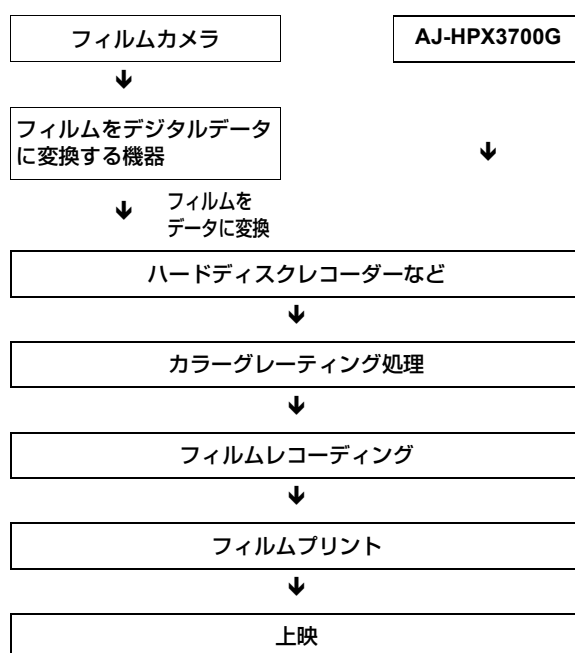
8 JOGダイヤルボタンを回して“ON”を選択し、JOGダイヤルボタンを押します。

9 メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押します。

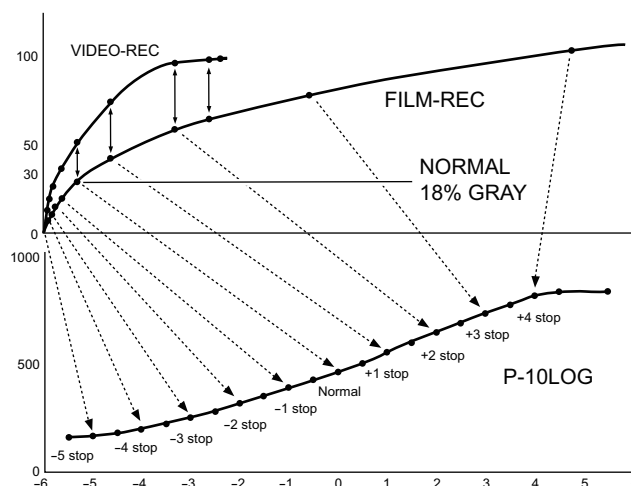
◆ NOTE:

- 信号をRGB 4:4:4出力のP-10LOG設定にしても、P2カードへの記録およびMON OUT信号はYPbPr 4:2:2になります。
- P-10LOG項目で“ON”を選択している場合、P-10LOGに合わせて2D-CMSも動作します。

デジタルシネマ撮影の一例



FILM-RECガンマからP-10LOGへの変更図



本機の電源には、バッテリーパックまたは外部DC電源が使用できます。

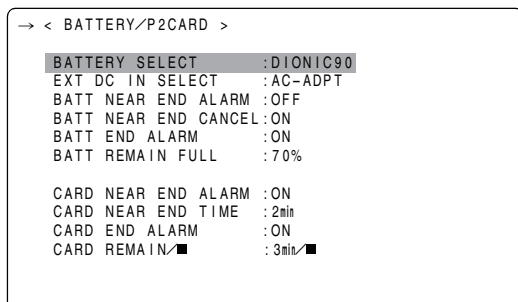
バッテリーパックを使用するには

バッテリーパックは、以下のバッテリーが使用できます。

- ・アントンパワー製
- ・IDX製
- ・PACO製
- ・ソニー製

バッテリーの種類はビューファインダーまたはモニター上のメニュー画面で確認・変更が可能です。

- 本機側面のMODE CHECKボタンを押すと、ビューファインダー画面右上に、現在設定されているバッテリーの種類を表示します。
- メニュー操作でMAIN OPERATIONページから<BATTERY/P2CARD>画面を開き、BATTERY SELECT項目で確認・変更ができます。



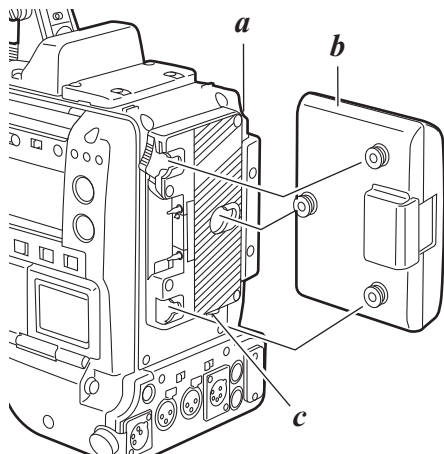
◆ NOTE:

- 他のバッテリーについても、設定メニューを変更することにより対応が可能ですが、本機とのシステム保証はしておりません。
- バッテリーパックをご使用になる前に、バッテリーチャージャーを使って充電してください。(充電方法の詳細については、それぞれの取扱説明書をお読みください)

バッテリーの取り付け および設定

アントンパワー製バッテリーパックをご使用の場合

1 アントンパワーバッテリーパックを取り付けます。

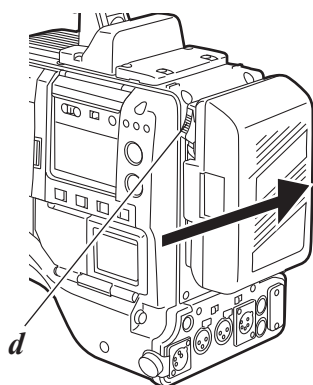


- a. 照明用電源出力端子
- b. アントンパワーバッテリーパック
- c. 照明コントロールスイッチ

<ご参考>

アントンパワーバッテリーホルダーには、照明用の電源出力端子と照明コントロールスイッチがついていますので、手軽にライトを取り付けることができます。照明システムの詳細については、アントンパワー社にお問い合わせください。

2 矢印の方向に差し込んでから、スライドさせてください。



- d. 取り外しレバー

<ご参考> バッテリーパックを取り外すには

バッテリーホルダーの取り外しレバーを完全に下まで倒したまま、バッテリーパックを取り付け時とは逆の方向にスライドさせてください。

3 バッテリーの種類を設定します。
BATTERY SELECT項目でバッテリーの種類を選択します。
BATTERY SELECT項目はMAIN OPERATIONページの<BATTERY/P2CARD>画面から選択します。
詳しくは「BATTERY SETTING1」(193ページ)を参照してください。

使用できるアントンパワー製バッテリー

- ・ PROPAC14
- ・ TRIMPAC14
- ・ HYTRON50
- ・ HYTRON140
- ・ DIONIC90
- ・ DIONIC160

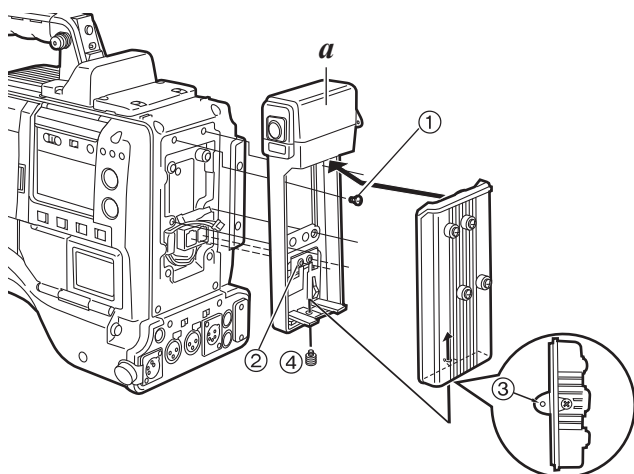
NP-1タイプバッテリーパックをご使用の場合

バッテリーホルダーを交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 1 バッテリーホルダーを、取り外します。
- 2 本機にNP-1タイプバッテリーケースを取り付けます。
 - ① 取り付け用ネジを締めます。
 - ② 電源接触用ネジを締めます。
 - ③ 取り外したフタの上部を、矢印の方向に差し込みます。
 - ④ フタ下部（金属部分）の穴と、ケース部の穴を合わせてネジで取り付けます。

◆NOTE:

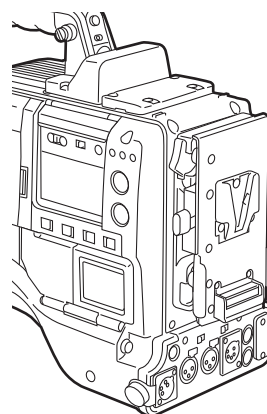
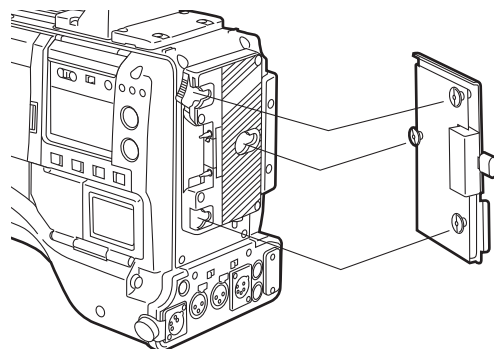
バッテリーホルダーを取り付ける時は、接続コードがカミ込まないように注意して取り付けてください。



a. バッテリーケース (NP-1タイプ用)

Vマウント式バッテリーパックをご使用の場合

V-マウントアダプタープレート（別売品）を取り付けます。
下図のように差し込んでからスライドさせてください。



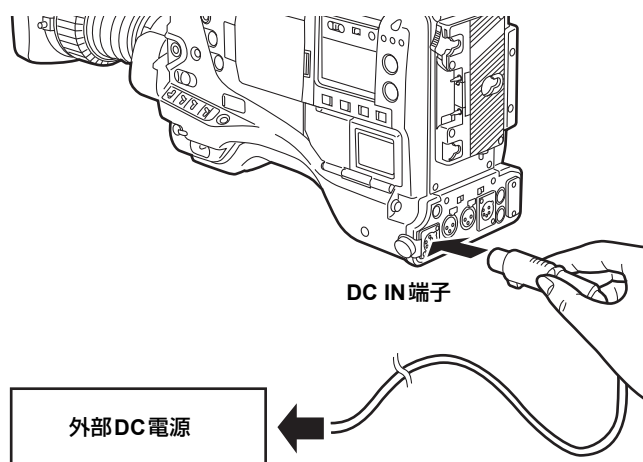
- 3 バッテリーの種類を設定します。
BATTERY SELECT項目でバッテリーの種類を選択します。
BATTERY SELECT項目はMAIN OPERATIONページの<BATTERY/P2CARD>画面から選択できます。
BATTERY SELECT項目にないバッテリーをご使用の場合、TYPE A、またはTYPE Bを選択して、特性に合わせて各項目を設定してください。
詳しくは「BATTERY SETTING2」（194 ページ）を参照してください。

◆NOTE:

V-マウントアダプタープレートに関するお問い合わせは、お買い上げの販売店までお願いします。

外部 DC 電源の使用

- 1 本機のDC IN端子と外部DC電源を接続します。

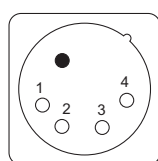


- 2 外部DC電源の電源スイッチをONにします。
(外部DC電源に電源スイッチがある場合)

- 3 本機のPOWERスイッチをONにします。

本機の電源投入時には、突入電流が発生します。電源投入時に電源供給能力が不足すると、故障の原因になります。本機および本機の電源投入と連動して電源投入される接続機器（ビューファインダーなど）の、総消費電力の2倍以上を確保できる外部DC電源のご使用をおすすめします。また、DCコードはご使用になる外部DC電源が推奨しているものをお選びください。

外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。



ピン No.	信号
1	GND
2, 3	—
4	+12V

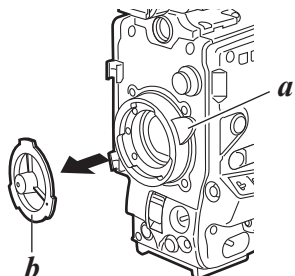
◆NOTE:

- バッテリーパックと外部DC電源の両方を接続した場合、外部DC電源からの電源供給が優先されます。外部DC電源の使用中は、バッテリーの着脱も可能です。
- 外部DC電源を使用するときは、必ず外部DC電源の電源スイッチをONにした後、本機のPOWERスイッチをONにしてください。逆の操作を行った場合、外部DC電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。

レンズの取り付けおよびフランジバック調整とホワイトシェーディング調整

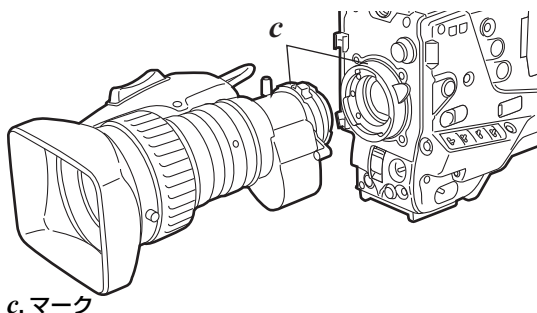
レンズの取り付け

- 1 レンズ固定レバーを上げ、マウントキャップを外します。



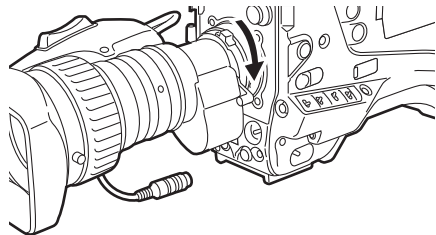
a. レンズ固定レバー
b. マウントキャップ

- 2 レンズマウント上部中央の凹部にレンズのセンターマークを合わせ、レンズを取り付けます。

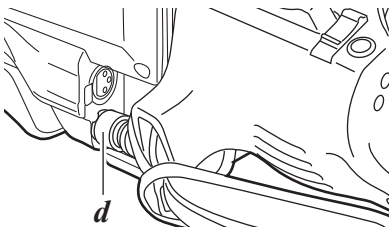


c. マーク

- 3 レンズ固定レバーを下げて、レンズを固定します。



- 4 ケーブルをケーブルクランプに押し込み、LENS端子に接続します。



d. LENS端子

- 5 レンズのフランジバックの調整を行います。

◆NOTE:

- レンズの取り扱いについては、レンズの取扱説明書をお読みください。
- レンズを取り外しているときは、機器保護のためにマウントキャップを取り付けてください。

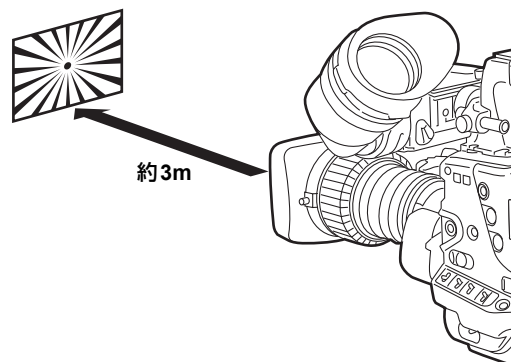
レンズのフランジバック調整

ズーム操作の際に望遠・広角の両方で焦点が正確に合わない場合は、フランジバック（レンズの取り付け面から結像面までの距離）の調整をします。一度調整すると、レンズの交換をしない限り再調整の必要はありません。

◆NOTE:

調整方法やレンズの各部位置については、レンズの取扱説明書も参照してください。

- 1 カメラにレンズを取り付けます。レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 レンズの絞りを手動にし、絞りを開放にします。



- 3 フランジバック調整用チャートから3mぐらい離れた距離で、適正な映像出力レベルが得られるように照明を設定します。映像レベルが高すぎるときは、フィルターやシャッターを使用してください。

- 4 F.f（フランジフォーカス）リングの固定ネジをゆるめます。

◆NOTE:

レンズによって、F.b（フランジバック）リングと表示している場合もあります。

- 5 手動または、電動でズームリングを望遠の位置にします。
- 6 フランジバック調整用チャートを写し、距離リングを回して焦点を合わせます。
- 7 ズームリングを広角の位置にし、F.fリングを回して焦点を合わせます。このとき、距離リングは動かさないように注意します。
- 8 望遠と広角の両方の位置で焦点が合うようになるまで、5～7の操作を繰り返します。
- 9 F.fリングの固定ネジを、しっかりと閉めます。

レンズのホワイトシェーディング調整

映像信号のR、G、Bそれぞれの波形を見ながら、ノコギリ歯状波形とパラボラ波形を組み合わせ、よりフラットな波形にして補正する方法

◆NOTE:

ホワイトシェーディング調整を行っても、レンズ絞りが開放（open）付近で上下方向の色つきが発生することがありますが、この現象はレンズや光学系の特性で、故障ではありません。

- 1 カメラにレンズを取り付けます。
レンズケーブルも忘れずに取り付けてください。
- 2 電子シャッターを「OFF」にし、ゲインを「L（0dB）」にします。
- 3 レンズにエクステンダーがついている場合は、エクステンダー機能を外してください。
- 4 メニュー操作でVFページから<VF DISPLAY>画面を開き、ZEBRA1 DETECT項目、ZEBRA2 DETECT項目、ZEBRA2項目が下図の通りであるか確認し、違っている場合は変更してから、メニュー画面を閉じます。

-> < VF DISPLAY >	
STATUS MODE	: NORMAL
DISP CONDITION	: NORMAL
DISP MODE	: 3
VF OUT	: Y
VF DTL	: 05
VF DTL CORING	: 00
VF H. DTL FREQ.	: 4
ZEBRA1 DETECT	: 70%
ZEBRA2 DETECT	: 85%
ZEBRA2	: SPOT
LOW LIGHT LVL	: 35%
RC MENU DISP.	: ON
MARKER/CHAR LVL	: 50%
SYNCHRO SCAN DISP	: deg

- 5 ビューファインダーのZEBRAスイッチを「ON」にします。
- 6 色ムラの無い白い紙を撮影します。

◆NOTE:

蛍光灯や水銀灯などの照明では、フリッカー（ちらつき現象）が発生しやすいので、太陽光やハロゲンランプなどの、フリッカーが発生しにくい光源を用いてください。

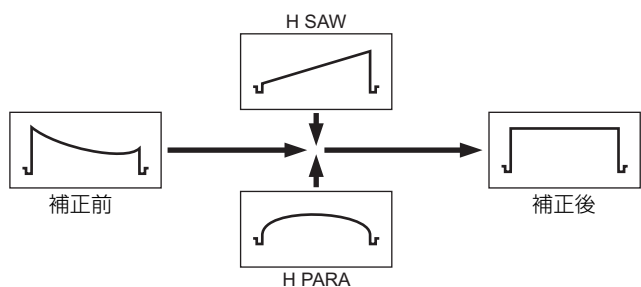
- 7 レンズ絞りをマニュアルにして、画面全体にZEBRAがかかるように、レンズ絞りを調整します。
レンズ絞りが、F4～F10の間になっていることを確認してください。

◆NOTE:

- 照明にムラがあると、画面の一部にZEBRAがかからなくなりますので、照明の位置などを調整してください。
- レンズ絞りが、F4～F10の間になっていない場合も、照明の位置などを調整してください。
- 電子シャッターは、必ず「OFF」のままにしておいてください。

- 8 ① WHITE BAL切り替えスイッチを「A」または「B」にして、AUTO W/B BALスイッチでオートホワイトバランス（AWB）を行います。
② AUTO W/B BALスイッチでオートブラックバランス（ABB）を行います。
③ 再度AUTO W/B BALスイッチでオートホワイトバランス（AWB）を行います。
- 9 再度7の操作を行います。
- 10 メニュー操作でMAINTENANCEページから<WHITE SHADING>画面を開き、R H SAW項目～B V PARA項目を調整して、よりフラットな波形にして補正を行います。

< WHITE SHADING >	
CORRECT	: ON
→ R H SAW	: +000
R H PARA	: +000
R V SAW	: +000
R V PARA	: +000
G H SAW	: +000
G H PARA	: +000
G V SAW	: +000
G V PARA	: +000
B H SAW	: +000
B H PARA	: +000
B V SAW	: +000
B V PARA	: +000



11 レンズにエクステンダーがついている場合は、エクステンダー機能を入れて、再度 **7**~**9**の操作を行います。レンズエクステンダーがある場合、ない場合の2パターンの補正值が1つのレンズファイルデータとして本機に記憶されます。レシオコンバーターを入れた場合は、エクステンダーがない場合のデータを使用します。

ホワイトシェーディングの補正を行うときは、水平方向および垂直方向のR、G、B波形をウェーブフォームモニターで観察しながら調整することをお勧めします。

以上でホワイトシェーディング調整が完了します。

調整値は、不揮発性メモリーに保存されますので、本機の電源を切っても、再度ホワイトシェーディング調整を行う必要はありません。

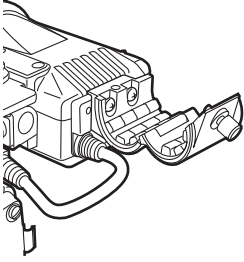
音声入力の準備

本機に入力する音声機器の接続の準備をします。

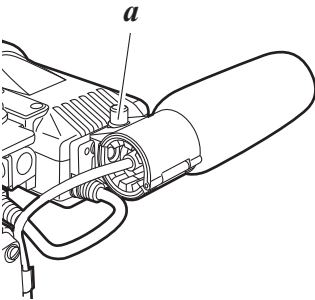
フロントマイクを使用する場合

ステレオマイクキットAJ-MC900G（別売品）を取りつけることができます。

- 1 マイクホルダーを開きます。

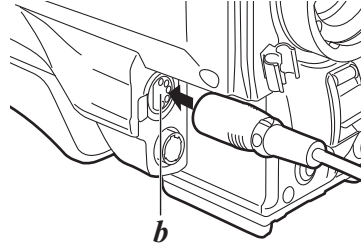


- 2 マイクを取りつけ、固定ネジを締めます。マイクのUP表示を上にして取り付けてください。



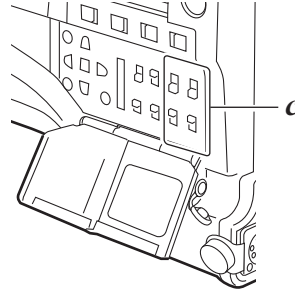
a. 固定ネジ

- 3 マイクの接続ケーブルをカメラのMIC IN端子に接続します。



b. MIC IN端子

- 4 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO INスイッチを「FRONT」に切り替えます。

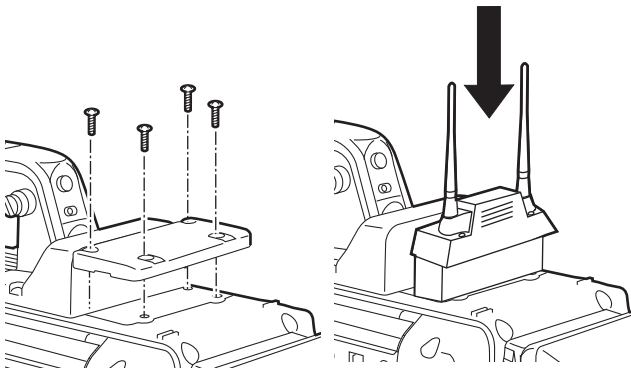


c. AUDIO INスイッチ

ワイヤレスレシーバーを使用する場合

Unislotワイヤレスレシーバーを使用する場合

- 1 ふたを取り外してワイヤレスレシーバーを挿入し、ビス止めします。

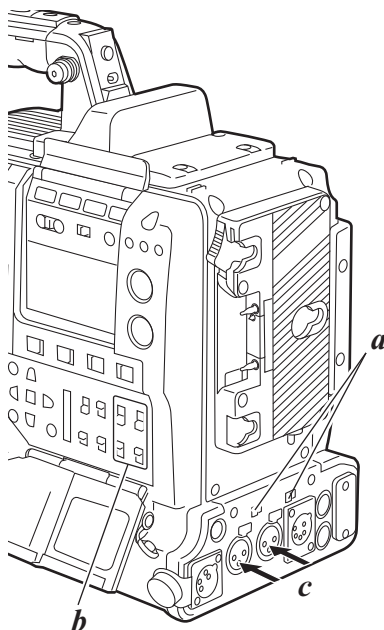


- 2 記録する音声チャンネルに応じて、AUDIO INスイッチを「W.L.」に切り替えます。

- 3 2チャンネル方式のワイヤレスレシーバーを使用する場合は、WIRELESS TYPE項目で「DUAL」を選択してください。WIRELESS TYPE項目はMAIN OPERATIONページの<MIC/AUDIO2>画面から選択します。

オーディオ機器を使用する場合

- 1 オーディオ機器とカメラのAUDIO IN端子をXLRケーブルで接続します。
- 2 XLRケーブルを接続したチャンネルのAUDIO INスイッチを「REAR」に切り替えます。
- 3 後面のLINE/MIC/+48V切り替えスイッチを「LINE」に切り替えます。

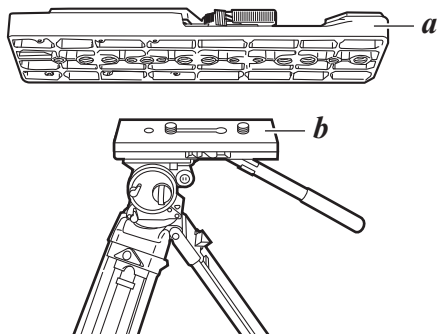


a. LINE/MIC/+48V切り替えスイッチ
b. AUDIO INスイッチ
c. AUDIO IN端子

三脚への取り付け

本機を三脚へ取り付ける場合は、付属の三脚アダプターを使います。

- 1 三脚アダプターを、三脚に取り付けます。

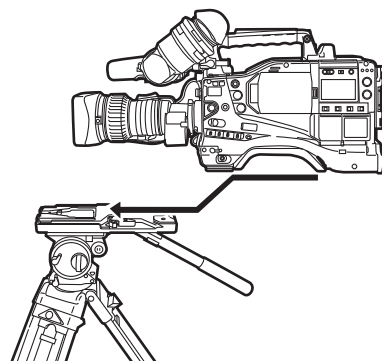


a. 三脚アダプター
b. 雲台

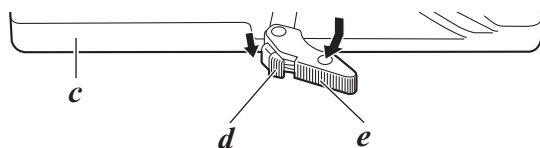
◆ NOTE:

本機と三脚アダプターの重心を考慮して、アダプターの穴を選んでください。
また、選んだ穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。

- 2 本機を三脚アダプターに取り付けます。
溝に沿って、カチッと音がするまで本機を前方へ滑らせます。



三脚アダプターから取り外す



c. 三脚アダプター
d. 赤いレバー
e. 黒いレバー

赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かし、本機を後方に滑らして外します。

◆ NOTE:

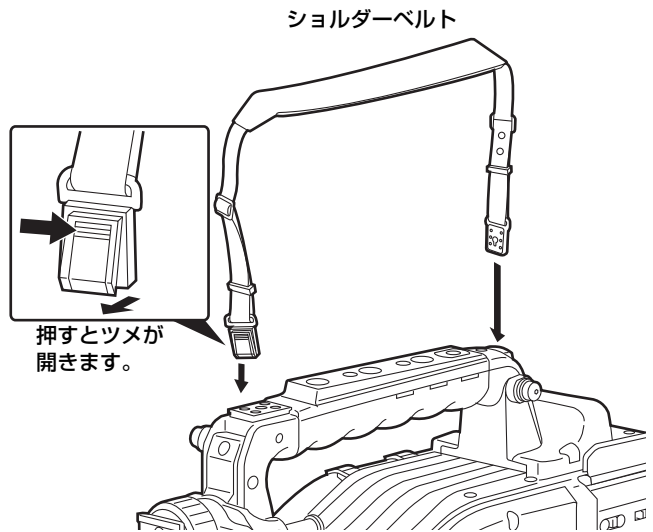
本機を取り外した後、三脚アダプターのピンが元に戻らないときは、再度赤いレバーを押しながら、黒いレバーを矢印の方向へ動かして、ピンを元の位置に戻します。
ピンが中央に残ったままでは、本機の取付ができませんのでご注意ください。

ショルダーベルトの取り付け

ショルダーベルトを外す場合は、取り付け部のツメを開いてから外します。

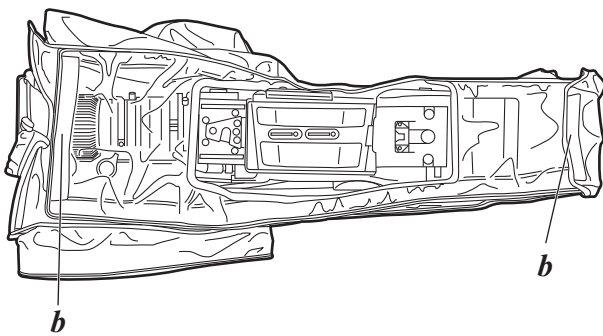
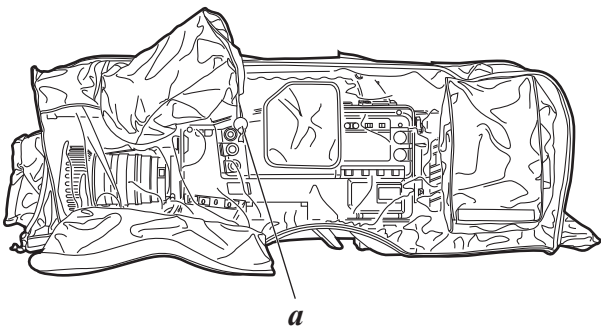
◆NOTE:

ショルダーベルトがしっかりと取り付けられていることを、確認してください。



レインカバーの取り付け

レインカバー SHAN-RC700の使用例



- a. ひもを締めます
- b. 面ファスナーで止めます

リモートコントロールユニット (AJ-RC10G) の接続

リモートコントロールユニットAJ-RC10G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。

AJ-RC10Gを本機のREMOTE端子に接続して、本機およびAJ-RC10GのPOWERスイッチをONにすると、本機は自動的にリモートコントロールモードに入ります。

AJ-RC10Gを取り外すか、AJ-RC10Gの電源をOFFにするとリモートコントロールモードは解除されます。

リモートコントロールモードのときの スイッチ機能

リモートコントロールモードのときは、本機の下記スイッチやボタンが機能しなくなります。

- SHUTTERスイッチ
- MENUボタン
- JOGダイヤルボタン
- GAINスイッチ
- OUTPUT/AUTO KNEEスイッチ
- WHITE BALスイッチ
- USER MAINボタン
- USER 1ボタン
- USER 2ボタン

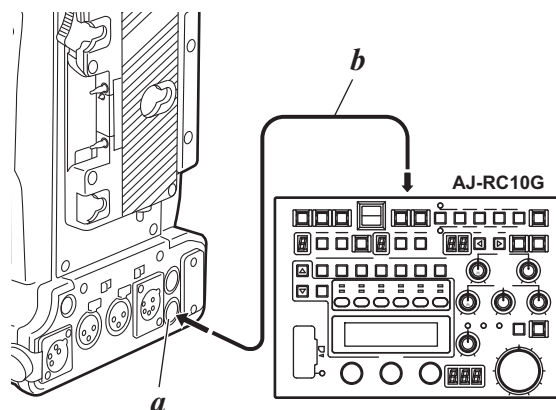
リモートコントロールモードのときの記録・再生 操作

リモートコントロール接続時は、本機とAJ-RC10Gのどちらでも記録/再生の操作が可能です。

◆ NOTE:

- AJ-RC10Gを接続して調整した状態は、本機に記憶されません。調整した状態を本機に記憶させない場合は、AJ-RC10GのFUNCTION MENUを開き、RC DATA SAVE項目を「OFF」にします。
- 専用ケーブルを接続するときや外すときは、本機とAJ-RC10GのPOWERスイッチを必ず「OFF」にしてください。
- AJ-RC10GのソフトウェアバージョンはVer1.11-00-000以上のものでご使用ください。また、AJ-RC10Gのソフトウェアバージョンアップについては下記ウェブサイトよりP2サポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>



a. REMOTE端子
b. 専用ケーブル

本機に接続時のリモートコントロールユニット について

本機とAJ-RC10Gを接続した場合、以下の機能が、AJ-RC10Gに付属の取扱説明書の記述と異なります。

A.KNEE ONボタン

本機のメニュー AUTO KNEE SW 項目で“DRS”を選択すると、このボタンでDRSのON/OFFを切り替えることができます。DRSがONのときボタンが点灯し、OFFのときボタンは消灯します。

AUTO KNEE SW 項目はCAM OPERATION ページの<SW MODE>画面から選択します。

CHARA ONボタン

本機のMON OUT端子に出力される映像信号に、キャラクターを重畳するかどうかを選択します。AJ-RC10Gの接続時は本機のMON OUT CHARACTERスイッチは機能しません。

シーンファイル

他の機種で作成したシーンファイルを読み込むことはできません。読み出しを行おうとすると、AJ-RC10Gの液晶画面に「NG」と表示されます。

メニュー項目

GAMMAメニュー

- GAMMA-MODE-SEL の可変範囲が以下になります。
HD、SD、F-LIKE1、F-LIKE2、F-LIKE3、FILM-REC、VIDEO-REC
- 4階層目にDYMC-LVL、BSR-LVLが追加されます。
可変範囲は以下の通りです。
DYMC-LVL：200%～600%
BSR-LVL：00%～30%
ただし数値を変更できるのはGAMMA-MODE-SELでFILM-RECを選択しているときだけです。
- 5階層目にV-KNSLP、V-KNPNTが追加されます。
可変範囲は以下の通りです。
V-KNSLP：150%～500%
V-KNPNT：30%～107%
ただし数値を変更できるのはGAMMA-MODE-SELでVIDEO-RECを選択しているときだけです。

WHITEメニュー

- COLR-TEMP-PRE、TEMP-A、TEMP-B の可変範囲が2300K↓～9900K↑になります。

KNEEメニュー

- 5階層目にCHROMA LEVELが追加されます。
可変範囲はOFF/-99%～+40%です。
- 6階層目にHI-COLOR LVLが追加されます。
可変範囲は1～32です。

SHUTTERメニュー

- MODEでS.S2が選択できます。
可変範囲は1/1.0～1/250.0です。
本機の設定により、SPEDで選択できる数値が変わります。
- MODEでFIXを選択しているとき、SPEDの可変範囲が以下になります。
1/50、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、HALF、180.0d、172.8d、144.0d、120.0d、90.0d、45.0d
本機のSYSTEM MODE項目の設定により、SPEDで選択できる数値が変わります。

- 2階層目にSYNCRO SCAN DISPが追加されます。
MODEでS.Sを選択しているとき、SPEDで表示される数値の単位をSEC/DEGのいずれかから選択します。また、この単位の変更は本機にも反映されます。
- MODEでS.Sを選択しているとき、SPEDの可変範囲は以下の通りです。
SEC選択時：1/1.0～1/7200（本機の設定により、選択できる数値が変わります）
DEG選択時：3.0d～350.0d

SKIN DTLメニュー

- OUTPUTの可変範囲が以下になります。
MONI、SDI A、SDI B
- SDTLで選択したテーブルの色にゼブラがつきます。
- 3階層目のSCORGがSKIN DTL EFFECTに変わります。可変範囲は0～31です。

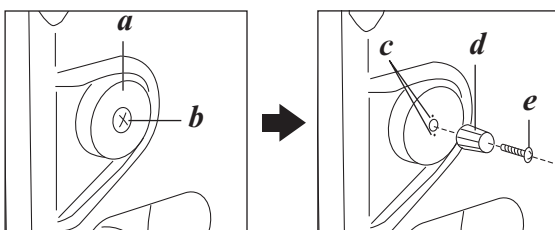
FUNCメニュー

- 4階層目のSELECTの可変範囲が以下になります。
INH、I.OVR、S.BLK、B.GAMMA、Y GET、DRS、ASSIST、C.TEMP、FRATE、VFR、VF GAM、AUDIO CH1、AUDIO CH2、REC SW、RET SW、PRE REC、SLOT SEL、PC MODE
ただしAJ-RC10GのUSERボタンにC.TEMPを割り付けても、動作しません。
- 5階層目のBLK-GAMMAの可変範囲が-8～8になります。
- 5階層目のBLK-GAMMAの隣にRANGEが追加されます。可変範囲は1～3です。
- 6階層目にFRAME-RATEが追加されます。
可変範囲は1～60です。ただし本機の設定により、可変範囲は変わります。また、本機がVFR記録を行っていない場合は、数値の変更はできませんが映像には効果がありません。

FRONT AUDIO LEVELノブの取り付け

FRONT AUDIO LEVELつまみを頻繁に使用する場合、付属のノブを取り付けて、つまみをより操作しやすくすることができます。

FRONT AUDIO LEVELつまみ中央のネジを外し、本機に付属のノブを、同じく付属品のネジで止めます。このとき、つまみ側のマークと、ノブ側のマークを合わせてください。



- a. FRONT AUDIO LEVELつまみ
- b. ネジ
- c. マーク
- d. ノブ (付属品)
- e. ネジ (付属品)

DC OUT端子と外部RECスタート/ストップスイッチの接続

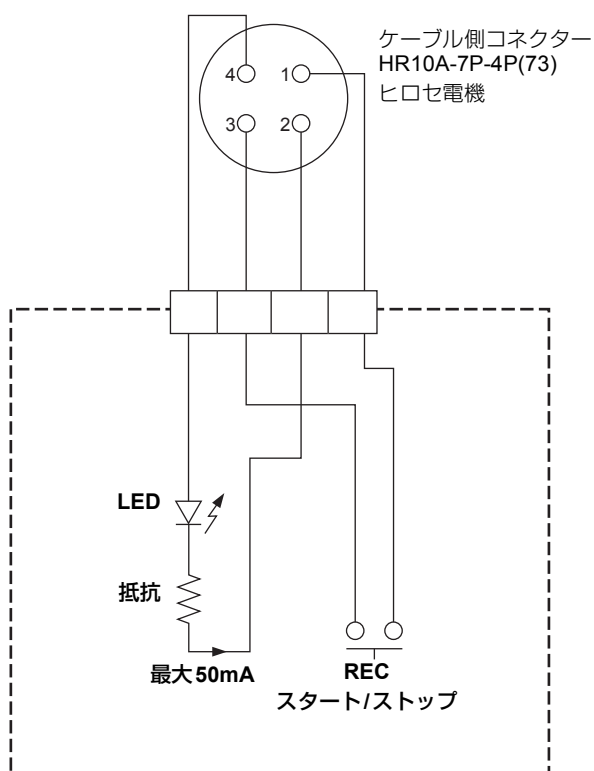
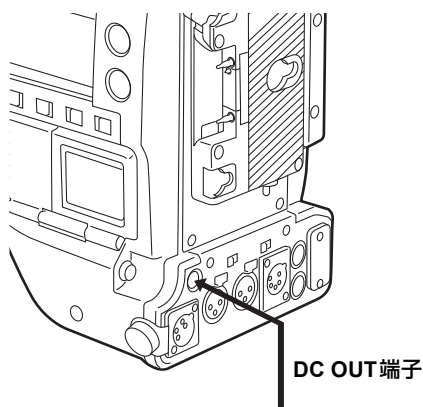
本機のDC OUT端子からは、1.5Aの電流を取り出すことが可能です。

この端子に外部スイッチを接続すると、RECスタート/ストップの制御が可能になります。

また、LEDを接続すると、タリールンプとして使用することが可能になりますので、クレーン上にカメラを配置しての撮影時などに便利です。

◆ NOTE:

DC OUT、REMOTE、VF、LENSの各端子から取り出す電流の合計が、2.5Aを超えないようにしてください。



1 : GND

2 : TALLY OUT

本機側は、オープンコレクタ出力

TALLY ON : Lowインピーダンス

TALLY OFF : Highインピーダンス

3 : RECスタート/ストップスイッチ

本機のREC STARTボタンやレンズのVTRボタンと並列に接続されます。

4 : +12 V

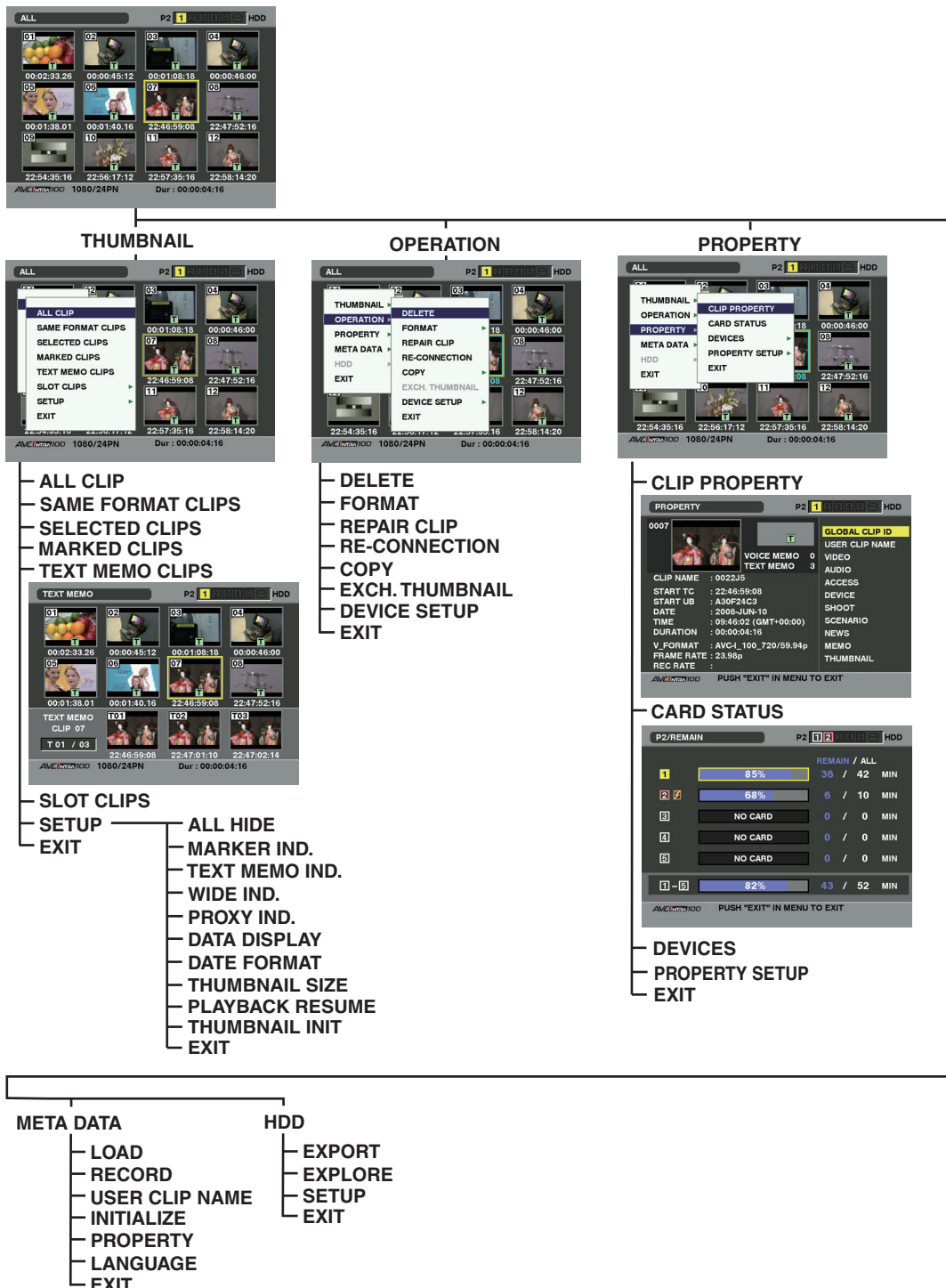
クリップのサムネール操作

クリップとは、一回の撮影によって生成される画像、音声、およびテキストメモ・メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。
本機は、液晶モニターに表示されるクリップのサムネールを確認しながら、カーソル・SETボタンを使って以下の操作を行うことができます。

- クリップの再生、削除、コピー、および修復
- クリップのサムネールにテキストメモ、ショットマークを付加、および消去する
- テキストメモを使用してクリップを部分コピーする
- サムネール画像を変更する
- P2カード、SDメモリーカードのフォーマット
- クリップメタデータのSDメモリーカードからのアップロードおよび編集

サムネール操作の概要

サムネール画面は以下のような構成になっています。



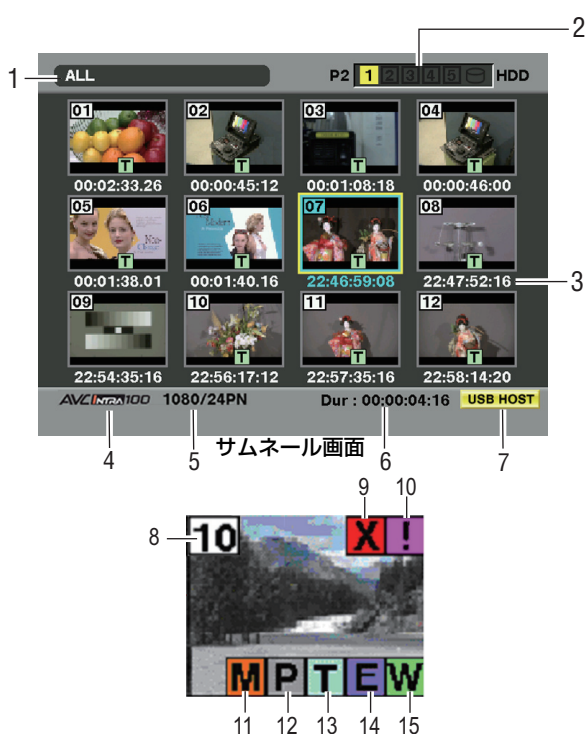
サムネール画面

THUMBNAIL ボタンを押すと、液晶画面にサムネール画面を表示します。もう一度 THUMBNAIL ボタンを押すと、通常の表示に戻ります。なお、通常の表示からサムネール画面表示に変わったときは、すべてのクリップをサムネール画面に表示します。

また、サムネール画面からサムネールメニューボタンを押すと、サムネールのメニュー操作が可能になります。

◆ NOTE:

TCG スイッチを「SET」にして、タイムコードやユーザーズビットを設定しているとき、またはカメラのメニューを操作しているときはサムネール操作はできません。



1. 表示状態

画面に表示するサムネールの種類や、その他の情報画面の種類を表示します。

ALL: すべてのクリップを表示しています。

SAME FORMAT:

システムフォーマットと同じフォーマットのクリップを表示しています。ビューファインダーのSTATUS画面に表示されるシステムモードとREC FORMATを参照してください。詳しくは「ビューファインダー画面の状態表示の構成」(78 ページ)を参照してください。

SELECT: SET ボタンで選択したクリップを表示しています。


MARKER: ショットマークが付加されたクリップを表示しています。

TEXT MEMO:

テキストメモデータがあるクリップを表示しています。

SLOT n: 特定のP2カード内のクリップを表示しています。(n: スロット番号の1~5が入ります)

UPDATING..:

画面更新などの処理中に表示しています。また更新中は回転するアイコンを表示します。

詳しくは「サムネール表示の切り替え」(130 ページ)を参照してください。

2. スロット番号・HDD状態

ポインターが合わされているクリップが、どのP2カードに記録されているかを表示します。クリップが記録されたP2カードのスロット番号を、黄色く表示します。クリップが複数のP2カードにまたがって記録されている場合は、そのクリップが記録されたP2カードのスロット番号のすべてを表示します。また、P2カードが挿入されているスロット番号を白く表示します。

以下のようなP2カードが挿入された場合、スロット番号を桃色の枠で表示します。

● RUN DOWN CARD

(書き換え回数が規定回数を超えたP2カード)

● DIR ENTRY NG CARD

(ディレクトリ配置が不正なP2カード)

USB HDDの表示は以下のようになります。

● USB ホストモード以外: 「灰色」

● USB ホストモードで非接続の場合: 「灰色」

● USB ホストモードでHDD認識し使用可能の場合: 「白色」

● USB ホストモードでHDD認識しサムネール表示している場合: 「黄色」

● USB ホストモードでHDD認識しコピー操作が不可能の場合: 「赤色」

3. 時間表示

設定により、クリップの記録開始時点のタイムコード/クリップの記録開始時点のユーザーズビット/撮影時刻/撮影日/撮影日時/USER CLIP NAMEのいずれかを表示します。

4. 記録モード

ポインターの位置のクリップの記録モードを表示します。

5. システムモード

ポインターの位置のクリップのフォーマットを表示します。

6. デュレーション

ポインターの位置のクリップのデュレーションを表示します。

7. USBホストモードインジケータ

USBホストモードに切り替わっている場合に表示します。

8. クリップ番号

P2 カードに正しく認識されているすべてのクリップに、本機が設定した番号です。番号は、撮影日時が早い順に割り振られます。

記録フォーマットが異なるクリップなど、再生できないクリップは赤色で表示されます。

9. **X** 不良クリップインジケータ・

? 不明クリップインジケータ

記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示します。

黄色い不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復が可能な場合があります。詳しくは「クリップの修復」(135 ページ)を参照してください。

赤い不良クリップインジケータが表示されたクリップは、修復できませんので削除してください。削除できない場合は、P2カードをフォーマットしてください。

P2 規格のフォーマットなどが異なるクリップのときは **?**が表示されます。

10. **■** 不完全クリップインジケータ

複数の P2 カードにまたがって記録されているにもかかわらず、その内のいずれかの P2 カードが P2 カードスロットに挿入されていない場合、表示します。

11. **M** ショットマークインジケータ

サムネールにショットマークが付加されたクリップに表示します。ショットマークについて、詳しくは「ショットマーク」(132 ページ)を参照してください。

12. **P** プロキシ付きクリップインジケータ

プロキシが付加記録されているクリップに表示します。

13. **T** テキストメモインジケータ

テキストメモデータがあるクリップに表示します。

14. **E** エディットコピークリップインジケータ

AJ-HPM110 など、エディットコピー対応機種でエディットコピーを行ったクリップに表示します。エディットコピーについて、詳しくはエディットコピー対応機種取扱説明書を参照してください。

15. **W** ワイドインジケータ

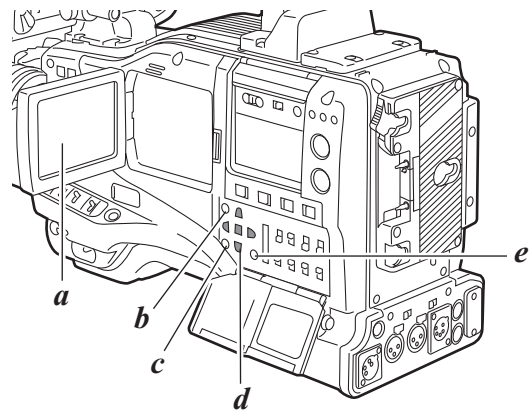
16:9の画角で記録されたクリップに表示します。ただしHDのフォーマットのクリップでは表示しません。

サムネールの選択

サムネール画面では、複数のサムネールを任意に選択できません。

- 1 ポインター（黄色い枠）をカーソルボタンで動かして、選択したいクリップに合わせ、SET ボタンを押します。選択されたクリップのサムネールには青色の枠を表示します。再度SET ボタンを押すと、選択は解除されません。
- 2 さらに選択したいクリップがある場合は、1の操作を繰り返してください。

選択したクリップのみをサムネール画面に表示し、再生することが可能です。詳しくは「サムネール表示の切り替え」（130 ページ）を参照してください。



- a. 液晶モニター
- b. THUMBNAIL ボタン
- c. EXIT ボタン
- d. ▲▼◀▶カーソルボタン
□ SET ボタン
- e. サムネールメニューボタン

クリップの再生

- 1 THUMBNAIL ボタンを押します。液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、再生したいクリップに合わせます。
- 3 PLAY/PAUSE ボタンを押すと、ポインターが合わされたクリップが、液晶モニター上で再生されます。カーソルが合わされたクリップの再生が終わると、それ以降のクリップが撮影時刻順に再生され、最後のクリップの再生が終わった時点でサムネール画面に戻ります。

◆NOTE:

- クリップを再生する際は、クリップを選択する（サムネールに青色の枠を表示した状態にする）必要はありません。
- クリップ番号が赤色に表示されたクリップは、再生できません。

- 4 クリップの再生中に、REW ボタンを押すと4倍速逆再生、FF ボタンを押すと4倍速再生を行います。通常の再生に戻すにはPLAY/PAUSE ボタンを押します。
- 5 クリップの再生中に、PLAY/PAUSE ボタンを押すと再生を一時停止します。再生の一時停止中、REW ボタンを押すと、そのクリップの先頭で再生を一時停止した状態になります。さらにREW ボタンを押すと、一つ前のクリップの先頭で再生を一時停止した状態になります。再生の一時停止中、FF ボタンを押すと一つ後のクリップの先頭で、再生を一時停止した状態になります。

- 6 クリップの再生中にSTOP ボタンを押すと、再生を停止してサムネール画面に戻ります。

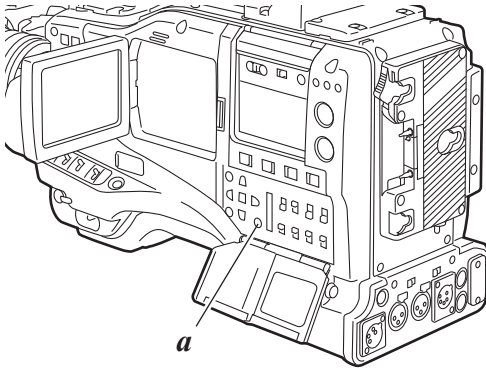
◆NOTE:

- 再生を停止時、ポインターは再生開始時の位置にかかわらず、再生していたクリップの位置に移動します。
- 再度PLAY/PAUSE ボタンを押すと、ポインターが合わされたクリップの先頭から再生を開始します。直前の停止位置から続けて再生したい場合は、「サムネールの表示設定」（142 ページ）のPLAYBACK RESUME 設定をON にしてください。
- THUMBNAIL ボタンを押してサムネール画面を閉じてからPLAY/PAUSE ボタンを押すと、それまで表示していたポインター位置のクリップではなく、先頭の（全クリップ中、記録日時が最も早い）クリップから再生されます。

サムネール表示の切り替え

サムネール画面に表示するクリップを、特定の条件に当てはまるクリップのみに切り替えることができます。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 サムネールメニューボタンを押します。サムネールメニューが開きます。



a. サムネールメニューボタン

- 3 サムネールメニューより THUMBNAIL を選択します。
それぞれの項目を選択して、サムネール表示を切り替えることができます。



ALL CLIP:

すべてのクリップを表示します。

SAME FORMAT CLIPS:

同じシステムフォーマットのクリップを表示します。

SELECTED CLIPS:

任意に選択したクリップを表示します。

MARKED CLIPS:

ショットマークが付加されたクリップを表示します。

TEXT MEMO CLIPS:

テキストメモデータがあるクリップを表示します。

SLOT CLIPS:

特定のスロットに挿入されたP2カードに記録されたクリップを表示します。

この項目を選択すると、さらにサブメニューとしてSLOT1からSLOT5を表示しますので、表示したいスロットを選択します。

SETUP:

この項目については「サムネールの表示設定」(142ページ)を参照してください。

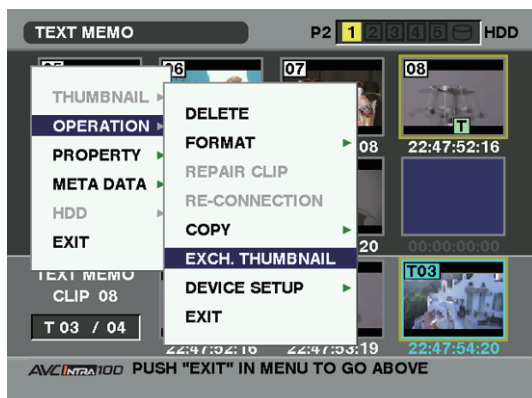
EXIT:

サブメニューを閉じます。

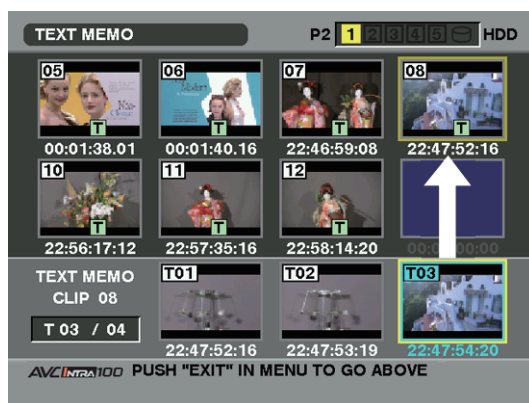
サムネイルの変更

サムネイルの映像を、あらかじめ記録中や再生中にテキストメモをつけたポイントの映像に置き換えることができます。

- 1 変更したい映像にテキストメモを付加します。テキストメモを付加する方法については「テキストメモ機能」(48 ページ) をご覧ください。
- 2 サムネイルメニュー THUMBNAIL→TEXT MEMO CLIPS を選択し、テキストメモの付いたクリップのサムネイル表示にします。
- 3 サムネイルを変更したいクリップにポインターを合わせてSET ボタンを押し、ポインターを下段のテキストメモ表示に移動させます。
- 4 置き換えたいサムネイルをテキストメモの中から選び、ポインターを合わせてサムネイルメニューの OPERATION→EXCH. THUMBNAIL を選択します。



- 5 SET ボタンを押します。YES/NO 確認画面が表示されますので、カーソルボタンとSET ボタンでYES を選択します。
メニューが閉じて、クリップのサムネイルが置き換わります。



◆ NOTE:

サムネイルメニュー PROPERTY→CLIP PROPERTY でクリッププロパティを表示させ、THUMBNAIL 項目でサムネイルの位置(クリップ先頭からのフレーム数)を確認することができます。通常のサムネイルはクリップの先頭ですので、0が表示されます。

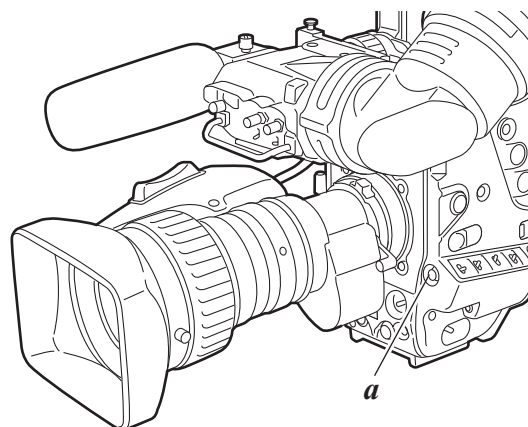
ショットマーク

本機は、他のクリップと区別するために、クリップのサムネールにショットマークを付加することができます。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、ショットマークを付加したいクリップに合わせます。
- 3 ショットマークボタンを押します。
- 4 ポインターが合わされたクリップのサムネールに、ショットマークが付加されます。
ショットマークを削除するには、もう一度ポインターを合わせてショットマークボタンを押します。

◆NOTE:

- ショットマークは記録中にも付加することができます。詳しくは「ショットマーク機能」(49 ページ) を参照してください。
- 複数の P2 カードにまたがるクリップに、ショットマークを付加/削除する場合、そのクリップが記録されたすべての P2 カードを挿入した状態で行ってください。



a. ショットマークボタン

テキストメモ

記録/再生中にテキストメモを付加することができます。またテキストメモを使うことにより、クリップ途中からの再生やクリップの分割コピーが可能になります。

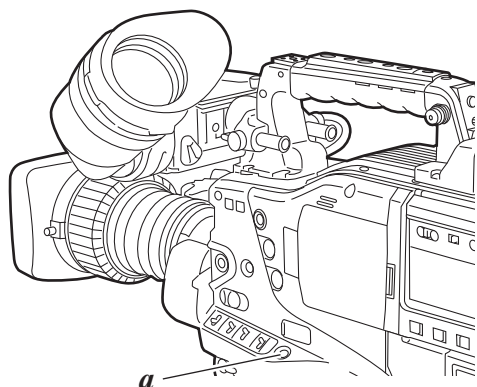
テキストメモを付加する

テキストメモを付加するには、以下の二つの方法があります。

- 記録/再生中にテキストメモボタンを押します。
ボタンを押したときの位置にテキストメモを付加します。
- サムネール画面を表示中にテキストボタンを押すと、クリップの先頭にテキストメモを付加します。

◆NOTE:

テキストメモは1つのクリップにつき、ボイスメモと合わせて100個まで記録できます。ただし、本機ではボイスメモを記録・再生できません。



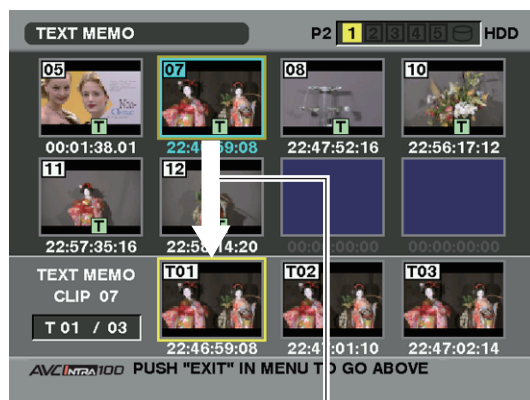
a. テキストメモボタン

テキストメモ位置からの再生

- 1 THUMBNAIL ボタンを押します。
液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。
- 2 サムネイルメニューボタンを押し、サムネイルメニューより THUMBNAIL → TEXT MEMO CLIPS を選択します。
液晶モニター上段には、テキストメモが付加されたクリップのサムネイルを表示します。液晶モニター下段には、ポインターで選択されているクリップのテキストメモに関する情報を表示します。



- 3 ポインターを、再生したいテキストメモのあるクリップに合わせ、SET ボタンを押します。
ポインターが液晶モニター下段に移ります。



- 4 ポインターが下段にある状態のまま、カーソルボタンの左右 (<D>) で、ポインターを再生したいテキストメモ番号に合わせ、PLAY/PAUSE ボタンを押します。
- 5 ポインターが合わされたテキストメモのタイムコード位置から再生します。
再生中に STOP ボタンを押して止めたり、クリップの終端で再生が終了すると、サムネイル画面に戻り、再生を開始したテキストメモのサムネイルにポインターは戻ります。
- 6 サムネイルメニューボタンを押し、EXIT を選択するか、EXIT ボタンを押すと、ポインターがサムネイル画面の上段に戻ります。

◆ NOTE:

再生できないAVC-Intra フォーマットのクリップの場合、テキストメモサムネイルは表示されず、灰色になる場合があります。

テキストメモの削除

- 1 「テキストメモ位置からの再生」(133 ページ) の 1~3 の操作を行い、クリップ内のテキストメモを選択します。
- 2 削除したいテキストメモにポインターを合わせ、SET ボタンを押します。
- 3 サムネイルメニューボタンを押し、メニューより OPERATION → DELETE と選択します。
本当に削除するか、YES/NO で確認してきますので、カーソルボタンと SET ボタンで YES を選択します。
テキストメモが消去されます。

テキストメモによるクリップ分割コピー

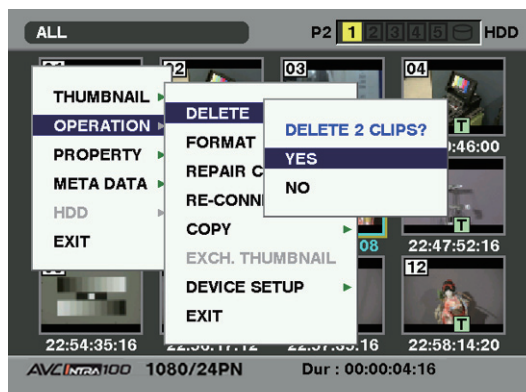
- 1 「テキストメモ位置からの再生」(133 ページ) の1~3 の操作を行い、クリップ内のテキストメモを選択します。
- 2 コピーしたいテキストメモにポインターを合わせ、SET ボタンを押します。テキストメモは複数選択できます。
- 3 サムネイルメニューボタンを押し、OPERATION → COPY と選択します。
- 4 カーソルボタンとSET ボタンでコピー先のスロットを選択し、YES を選択するとコピーを実行します。選択したテキストメモと、その次にあるテキストメモの区間をコピーします。選択したテキストメモの後にテキストメモがない場合は、クリップの終端までをコピーします。複数選択している場合は、それぞれ選択している区間のコピーを行います。
- 5 コピー中は、コピーの進捗状況とキャンセルの表示を行います。コピーを途中で中断する場合は、SET ボタンを押します。YES/NO の確認画面が表示されますので、カーソルボタンとSET ボタンでYES を選択します。

◆NOTE:

テキストメモによるクリップ分割コピーは、記録方式による単位フレーム数の関係から、コピー区間が自動的に補正されてコピーされる場合があります。また、コピー区間が単位フレーム数に満たない場合はコピーができません。記録方式と単位フレーム数については 45 ページの表を参照してください。

クリップの削除

- 1 THUMBNAIL ボタンを押します。液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、削除したいクリップに合わせます。SET ボタンを押して、クリップを選択します。
- 3 サムネイルメニューボタンを押し、サムネイルメニューからOPERATION → DELETE と選択します。
- 4 下の画面が表示されますので、カーソルボタンとSET ボタンでYES を選択します。
- 5 クリップが削除されます。このとき選択された(青色の枠で囲まれた)クリップはすべて削除されます。



◆NOTE:

SET ボタンを押すと、途中で削除を中止できます。

クリップの修復

記録中、急に電源が切れる、またはアクセス中のP2カードを取り出したなどの原因で発生した、不具合のあるクリップを修復します。

◆NOTE:

修復が可能なのは、黄色い不良クリップインジケータがついたクリップのみです。赤い不良クリップインジケータがついたクリップは削除してください。削除できない場合はP2カードをフォーマットしてください。ただし修復中に、不良クリップインジケータが黄色から赤色になり、修復ができない場合があります。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、修復したいクリップ(不具合のあるクリップには不良クリップマークが表示されています)に合わせます。
SET ボタンを押して、クリップを選択します。
- 3 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからOPERATION→REPAIR CLIPと選択します。
- 4 本当に修復を行うか聞いてきますので、カーソルボタンとSET ボタンでYESを選択します。

不完全クリップの連結

複数のP2カードにまたがって記録されているクリップ(連結したクリップ)がカードごとに別々にコピーされるなどで、それぞれが不完全クリップになることがあります。このとき連結機能を使って、1つのクリップ(元の連結したクリップ)にすることができます。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 カーソルボタンとSET ボタンで、連結する不完全クリップを選択します。
通常、不完全クリップ(■表示のついたクリップ)のサムネールは並んで表示されています。

- 3 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからOPERATION→RE-CONNECTIONと選択します。
- 4 本当に連結を行うか聞いてきますので、カーソルボタンとSET ボタンでYESを選択します。

◆NOTE:

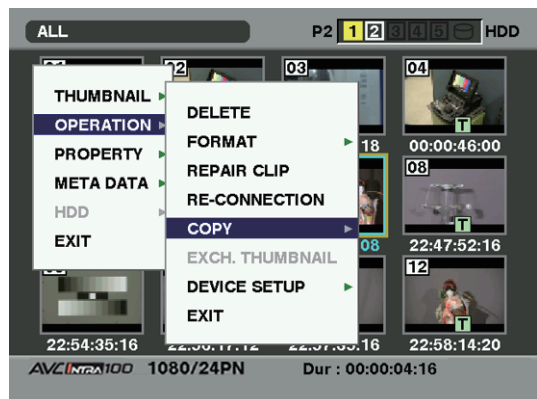
一部のクリップだけ連結しても、元の連結したクリップを構成するすべてのクリップがそろわない場合は、■表示がついたままになります。

クリップのコピー

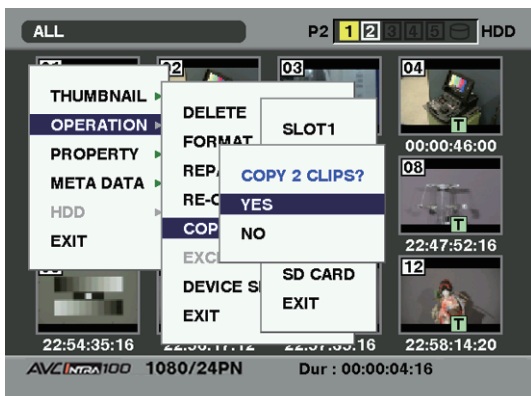
クリップを選択し、任意のスロットのP2カードやSDメモリーカードにコピーすることができます。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 ポインターをカーソルボタンで動かして、コピーしたいクリップに合わせ、SET ボタンを押してクリップを選択します。

- 3 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからOPERATION→COPYと選択します。
コピー先としてスロット1~5、またはSDメモリーカードを選択します。



- 4 本当にコピーを行うか聞いてきますので、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択します。



◆NOTE:

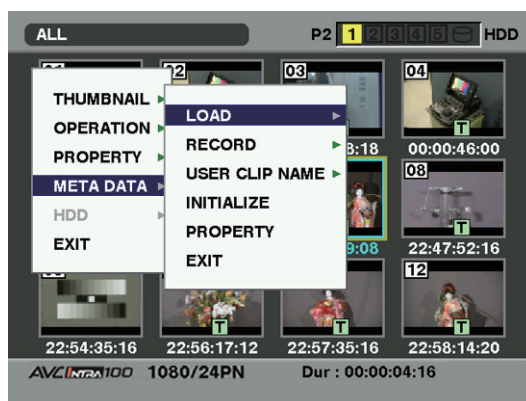
- P2 カードの故障の原因になりますので、コピー中に電源をOFFにしたり、カードを抜き差しをしたりしないでください。誤って上記のような動作を行った場合、不良クリップができますので、削除してから、再度コピーを行ってください。
 - P2 カードへのコピーは、クリップの情報がすべてコピーされますが、SDメモリーカード*へのコピーは映像・音声情報はコピーされず、サムネイル、クリップメタデータ、アイコン、ボイスメモ、テキストメモ、プロキシ、リアルタイムメタデータのためのコピーとなります。
 - コピー先の記録容量が不足している場合、“LACK OF REC CAPACITY!”と表示され、コピーは行われません。コピーするクリップに不良クリップが含まれている場合は“CANNOT ACCESS!”と表示され、コピーは行われません。また選択したクリップの中に、コピー先のP2カードと同一のカードに記録されたものが含まれる場合もコピーは行われません。
 - 途中でコピーを中止する場合は、SETボタンを押してください。コピー先でコピー中だったクリップは削除されません。
 - コピー先に同一のクリップが存在するときは“OVER WRITE?”と表示されます。重ね書きを行う場合はYESを、行わない場合はNOを選択してください。
- * 使用する SD メモリーカードについては <SD メモリーカード使用上の注意> (24 ページ) を参照してください。

クリップメタデータの設定

撮影者名やレポーター名、撮影場所、テキストメモなどの情報をSDメモリーカードから読み込んで、クリップメタデータとして記録することができます。

クリップメタデータの読み込み (メタデータアップロード)

- 1 クリップメタデータを記述したファイル（メタデータアップロードファイル）が入ったSDメモリーカードを本機に挿入します。
 - 2 THUMBNAIL ボタンを押します。
液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。
- ◆NOTE:
サムネイル画面を表示している状態で、MODE CHECK ボタンを押しながらサムネイルメニューボタンを押すと手順4へ移ります。
- 3 サムネイルメニューボタンを押し、サムネイルメニューからMETA DATA → LOADと選択し、SET ボタンを押します。



- 4 SDメモリーカードにあるメタデータアップロードファイルのファイル名を表示します*。カーソルボタンで読み込むファイルを選択してYESを選択すると、読み込みが開始されます。
読み込んだメタデータは電源をOFFにしても保持されます。
読み込んだデータの確認は「読み込んだメタデータの確認および修正」(137 ページ) を参照してください。

* カーソルボタン (▷) を押すと、カーソル位置のファイル名を 100 文字までフル表示します。カーソルボタン (◀) を押すと元に戻ります。

クリップメタデータ項目

クリップメタデータには下記の項目があります。下線の入った項目は、SDメモリーカード内のメタデータアップロードファイルを読み込むことで設定できます。その他の項目は、撮影時に自動的に設定されます。メタデータアップロードファイルは、パーソナルコンピューター上でP2ビューアー最新アップデート版を使用することで、SDメモリーカードに書き込むことができます。P2ビューアー最新アップデート版は下記のURLからパーソナルコンピューターにインストールしてください。

<http://panasonic.biz/sav/>

また、使用するSDメモリーカードについては<SDメモリーカード使用上の注意> (24 ページ) を参照してください。

◆ NOTE:

P2ビューアー以外で編集したファイルは、「UNKNOWN DATA!」と表示され、読み込めない場合があります。

GLOBAL CLIP ID:

クリップの撮影状態を示すグローバルクリップIDを表示します。

USER CLIP NAME:

ユーザーが設定したクリップの名称を表示します。*1

VIDEO: [FRAME RATE (フレームレート)] (クリップのフレームレート)、[PULL DOWN (プルダウン)] (プルダウン方式)、[ASPECT RATIO (アスペクト比)] (アスペクト比) を表示します。

AUDIO: [SAMPLING RATE (サンプリングレート)] (記録音声のサンプリング周波数)、[BITS PER SAMPLE (ビットレート)] (記録音声の量子化ビット数) を表示します。

ACCESS: [CREATOR (作成者)] (クリップの収録者名)、[CREATION DATE (作成日)] (クリップの収録日)、[LAST UPDATE DATE (最終更新日)] (クリップの最終更新日)、[LAST UPDATE PERSON (最終更新者)] (クリップの最終更新者) を表示します。

DEVICE: [MANUFACTURER (機材メーカー名)] (収録した機材のメーカー名)、[SERIAL NO. (シリアル番号)] (収録した機材のシリアルナンバー)、[MODEL NAME (モデル名)] (収録した機材のモデル名) を表示します。

SHOOT: [SHOOTER (撮影者)] (撮影者名)、[START DATE (撮影開始日)] (撮影開始日)、[END DATE (撮影終了日)] (撮影終了日)、[LOCATION (撮影地情報)] ALTITUDE (高度) / LONGITUDE (経度) / LATITUDE (緯度) / SOURCE / PLACE NAME (撮影地) (撮影地の高度/経度/緯度/それらを得た情報源/場所の名前) を表示します。

SCENARIO:

[PROGRAM NAME (プログラム名)] (番組名)、[SCENE NO (シーン番号)] (シーンナンバー)、[TAKE NO (テイク番号)] (テイクナンバー) を表示します。

NEWS: [REPORTER (リポーター)] (リポーター名)、[PURPOSE (取材目的)] (取材目的)、[OBJECT (取材対象)] (取材対象) を表示します。

MEMO*2: [NO.] (テキストメモの番号)、[OFFSET (記録位置)] (テキストメモが付加されるクリップ先頭からのフレーム位置)、[PERSON (メモ入力者)] (クリップに付加されたテキストメモの記録者)、[TEXT (テキスト情報)] (テキストメモの内容) を表示します。

THUMBNAIL:

サムネールの元となる画像のフレーム位置 (フレームオフセット) や、サイズ (高さ、幅) を表示します。

*1 USER CLIP NAME の記録方法を選択することが可能です。詳しくは「USER CLIP NAME の記録方法の選択」(138 ページ) を参照してください。

*2 MEMO を入力するときは TEXT (テキスト情報) を必ず入力してください。PERSON (メモ入力者)、OFFSET (記録位置) のみの記録はできません。

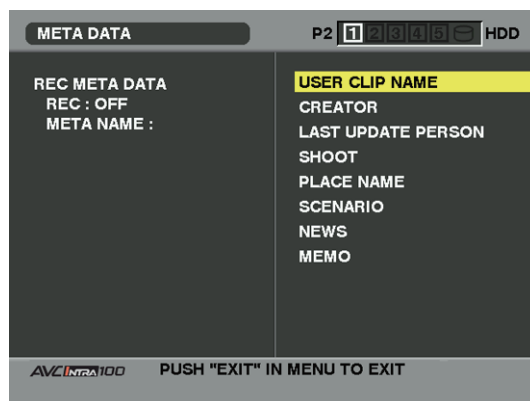
◆ NOTE:

本機では、印刷可能なASCII文字のみ表示が可能です。

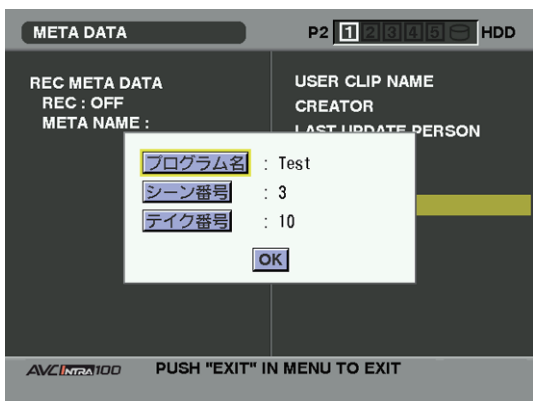
読み込んだメタデータの確認および修正

SDメモリーカードから読み込んだメタデータの内容を確認できます。

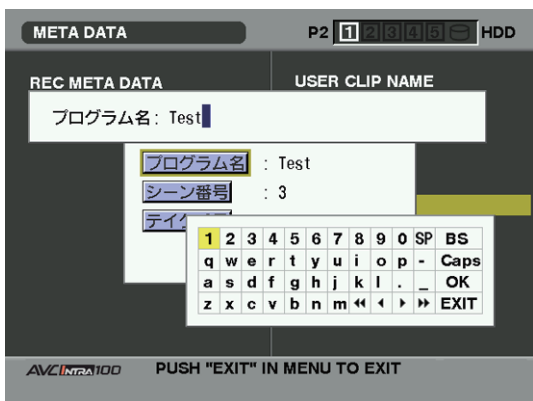
- 1 THUMBNAIL ボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューから META DATA → PROPERTY と選択します。
下記のような画面が表示されます。



3 カーソルボタンでポインターを動かし、確認したい項目にあわせてSETボタンを押すと、読み込んだメタデータの各設定内容を確認できます。



4 またメタデータの各設定内容を確認中に、カーソルボタンでポインターを動かし、設定内容を変更したい項目に合わせてSETボタンを押します。ソフトウェア画面が表示され、設定内容を変更することができます。



読み込んだメタデータの記録する/しないを設定

サムネールメニューから META DATA → RECORD 項目で ON/OFF を設定します。工場出荷時は OFF に設定されています。

USER CLIP NAME の記録方法の選択

サムネールメニューから META DATA → USER CLIP NAME 項目で、USER CLIP NAME の記録方法を、TYPE1 と TYPE2 の二通りから選択することができます。

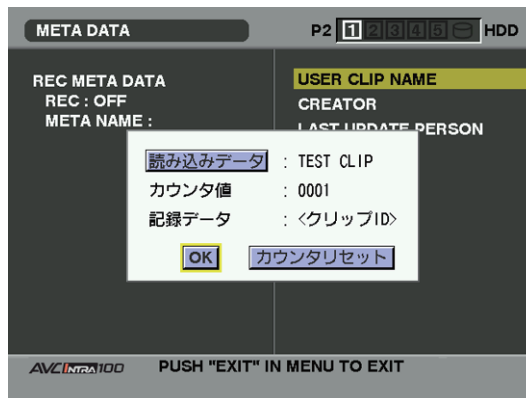
● TYPE1 (工場出荷時)

	記録される USER CLIP NAME
クリップメタデータを 読み込んでいる場合	アップロードされたデータ
クリップメタデータを 読み込んでいない、または 読み込んだクリップメタデータ を記録しない設定の場合	GLOBAL CLIP ID と同じ (UMID データ)

● TYPE2

	記録される USER CLIP NAME
クリップメタデータを 読み込んでいる場合	アップロードされたデータ + COUNT 値*
クリップメタデータを 読み込んでいない、または 読み込んだクリップメタデータ を記録しない設定の場合	CLIP NAME と同じ

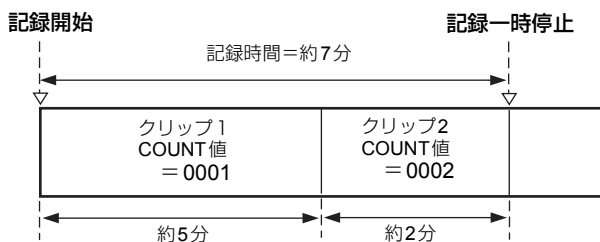
* COUNT 値は、4桁の数字で表示されます。COUNT 値は、クリップメタデータが読み込まれ、かつ記録方法を TYPE2 に設定した状態のとき、撮影を行って新しいクリップを生成するごとに、1ずつ増えます。また COUNT 値は、以下の方法でリセットできます。サムネールメニューから META DATA → PROPERTY と選択し、さらに USER CLIP NAME 項目を選択すると、下記の画面が表示されます。「カウンタリセット (COUNT RESET)」にカーソルを合わせ、SET ボタンを押すと、COUNT 値が1にリセットされます。



◆ NOTE:

本機で 8 GB 以上の P2 カードを使用し、1回の連続記録時間が一定時間 (DVCPRO HD、および AVC-Intra100 時 : 約 5 分 / AVC-Intra50 時 : 約 10 分) を超える場合、また 1 回の記録が複数の P2 カードにまたがって行われた場合、自動的に別のクリップとして記録されます。このとき、COUNT 値はそれぞれのクリップにつけられます。

P2カード1枚での記録 (DVCPRO HD) の例



P2カード2枚にまたがって記録する例



なお、P2機器で上記例のようなクリップのサムネール表示、およびプロパティ表示を行った場合、クリップ1のサムネールおよびCOUNT値を表示します。

読み込んだメタデータのクリア

サムネールメニューからMETA DATA → INITIALIZE と選択し、SET ボタンを押します。確認画面が表示されますのでYESを選択します。

メタデータの表示言語設定

メタデータを表示する時の表示言語を設定することができます。サムネールメニューからMETA DATA → LANGUAGE と選択し、表示言語を選択してからSET ボタンを押します。言語は

ENGLISH: 英語
JAPANESE: 日本語

から選択します。

◆ NOTE:

- 日本語や中国語を英語で表示した場合や、英語の非表示文字などがある場合は正しく表示されず、「*」で表示します。
- 本機で入力できる文字は英数字のみです。日本語、中国語は入力できません。

プロキシ機能の設定 (オプション)

ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) をオプションスロット、またはスロット5に装着すると、プロキシ記録に関する設定を行うことができます。

本機の電源がONの状態ビデオエンコーダーカードを挿入しても認識されません。本機の電源をOFFにしてから、ビデオエンコーダーカードを装着してください。

設定は、サムネールメニューから OPERATION → DEVICE SETUP → PROXY と選択し、行います。

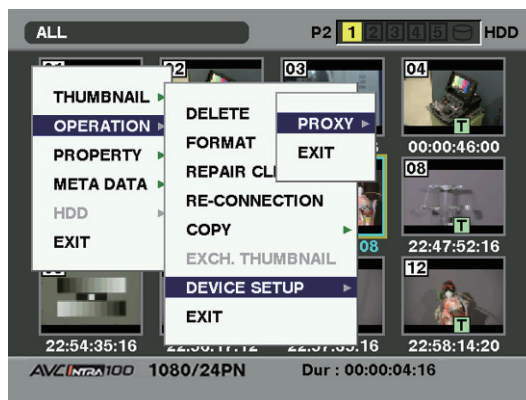
ビデオエンコーダーカードの取り付け方法と設定内容は、ビデオエンコーダーカードの取扱説明書を参照してください。

◆ NOTE:

- 24PN (Native) 記録モードでプロキシ機能を使用するには、ビデオエンコーダーカードファームウェアの FPGA バージョンを "B102" 以上に更新する必要があります。ビデオエンコーダーファームウェアの FPGA バージョンを確認する方法については、「ビデオエンコーダーカードの状態表示 (オプション)」(146 ページ) を参照してください。また、アップデートの方法については下記ウェブサイトより P2 サポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

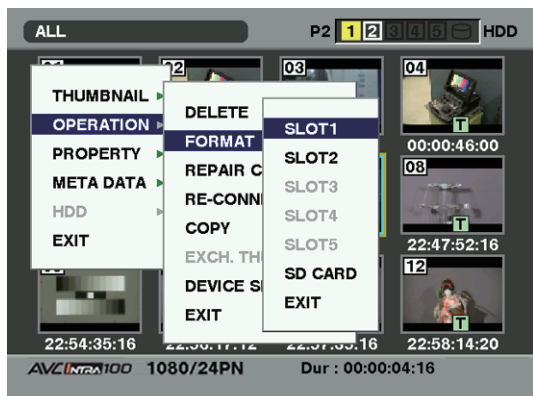
- ビューファインダーに「PROXY CARD ERROR」と表示された場合はビデオエンコーダーカードの点検を行うか、プロキシ記録を行わない設定にしてください。



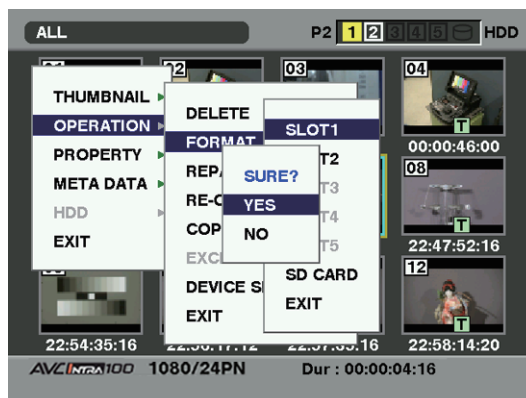
P2カードのフォーマット

- 1 THUMBNAIL ボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

- 2 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューから OPERATION → FORMAT と選択します。
下記のような画面が表示されますので、フォーマットしたい P2 カードが挿入されたスロット番号を選び、SET ボタンを押します。
フォーマットしない場合は EXIT を選択してください。



- 3 下の画面が表示されますので、カーソルボタンと SET ボタンで YES を選択します。

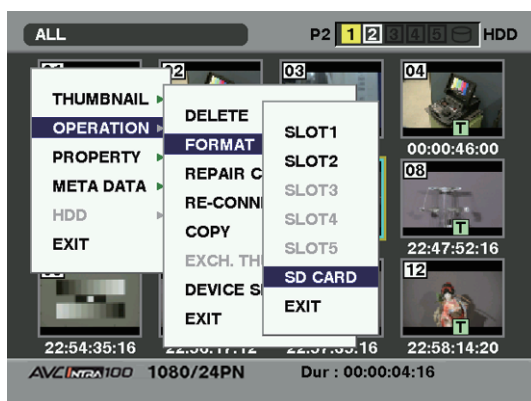


- 4 選択した P2 カードがフォーマットされます。

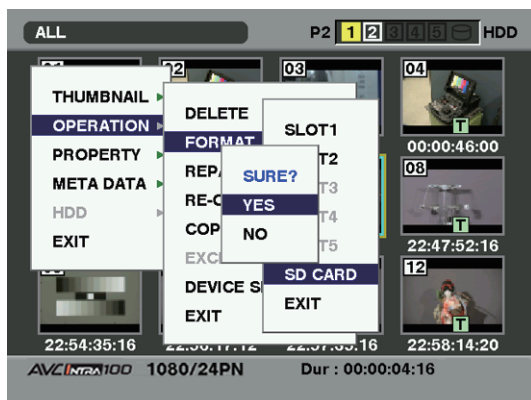
SDメモリーカードのフォーマット

サムネイル画面から、SDメモリーカードをフォーマットすることもできます。本機にSDメモリーカードを挿入した状態で、以下の作業を行ってください。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押します。
液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。
- 2 サムネイルメニューボタンを押し、サムネイルメニューからOPERATION→FORMATと選択します。
下記のような画面が表示されますので、“SD CARD”を選び、SET ボタンを押します。
フォーマットしない場合は“EXIT”を選択してください。



- 3 下の画面が表示されますので、カーソルボタンとSET ボタンでYESを選択します。



- 4 SDメモリーカードがフォーマットされます。

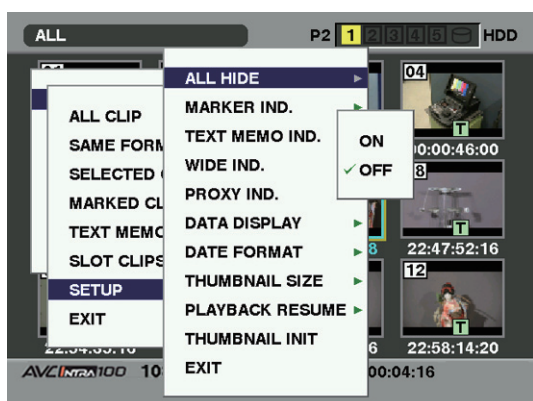
◆NOTE:

SDメモリーカードは、メニュー画面からフォーマットすることもできます。詳しくは「SDメモリーカードの操作」(92ページ)を参照してください。

サムネールの表示設定

用途に合わせ、サムネールの表示方法をカスタマイズすることができます。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押します。
液晶モニターにサムネール画面が表示されます。
- 2 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューからTHUMBNAIL→SETUPと選択します。
下記のような画面が表示されます



ALL HIDE :

ON : すべてのインジケータを非表示にします。

OFF : 以下のメニューにしたがって表示/非表示が設定されます。工場出荷時はこちらに設定されています。

MARKER IND. :

ショットマークインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

TEXT MEMO IND. :

テキストメモインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

WIDE IND. :

ワイドインジケータの表示/非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

PROXY IND. :

プロキシインジケータの表示・非表示 (ON/OFF) を切り替えます。工場出荷時は表示に設定されています。

DATA DISPLAY:

クリップの時間表示の部分、タイムコード (TC) / ユーザーズビット (UB) / 撮影時刻 (TIME) / 撮影日 (DATE) / 撮影日および時刻 (DATE/TIME) / ユーザークリップ名 (USER CLIP NAME) のいずれかから選択できます。工場出荷時はタイムコードに設定されています。

DATE FORMAT:

記録日時の表示順を、年月日 (Y-M-D) / 月日年 (M-D-Y) / 日月年 (D-M-Y) のいずれかから選択できます。工場出荷時は年月日に設定されています。この設定は、クリップのプロパティで表示される記録日、およびDATA DISPLAYでDATEを選択したときに表示される記録日時に反映します。

THUMBNAIL SIZE:

1画面に表示されるサムネールを、LARGE (サムネールを3×2で表示) /NORMAL (サムネールを4×3で表示) のいずれかから選択できます。工場出荷時はNORMALに設定されています。

PLAYBACK RESUME:

サムネール画面からの再生をSTOPボタンで停止させた後、再度再生を開始したときの再生位置を選択します。

ON : 停止位置から再生します。

OFF : ポインターが合わされたクリップの先頭から再生します。

なお、停止後にポインターを移動させると、この項目の設定にかかわらず、ポインターが合わされたクリップの先頭から再生します。また、すべての再生できるクリップの最後の位置で再び再生を行おうとすると、画面が一瞬フラッシュして、再生できるクリップがないことを知らせます。

THUMBNAIL INIT:

上記サムネールの表示設定を、工場出荷状態にします。カーソルをこの項目にあわせ、SETボタンを押します。確認画面が表示されますのでYESを選択します。

EXIT:

1つ前のメニューに戻ります。

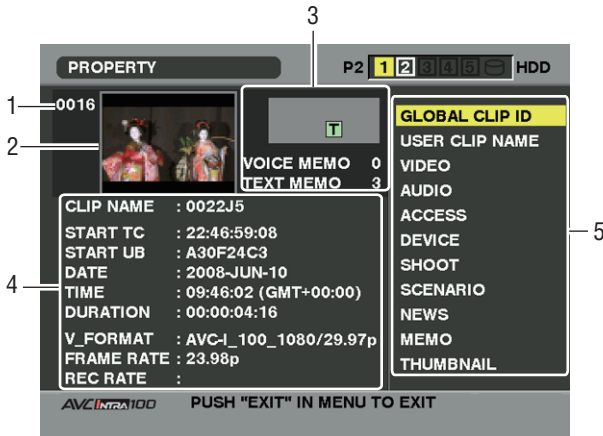
プロパティ

クリップのプロパティ、P2カードの状態を表示します。

またクリップのプロパティを表示中に、記録されたクリップメタデータを編集し、書き換えることができます。

クリップのプロパティ

サムネイルメニューから PROPERTY → CLIP PROPERTY を選択します。下記のような画面が表示されます



1. クリップ番号

2. サムネイル

3. クリップ情報

クリップに付加された各種インジケータ、付加されているテキストメモやボイスメモの数を表示します。また、クリップが記録された P2 カードに、ライトプロテクトがかかけられているとき、**T** マークが表示されません。

◆ NOTE:

本機ではボイスメモの記録/再生はおこなえません。

4. クリップ情報

クリップに関するさまざまな情報を表示します。

CLIP NAME:

クリップ名を表示します。

START TC:

記録開始時のタイムコードの値を表示します。

START UB:

記録開始時のユーザズビットの値を表示します。

DATE:

記録した日付を表示します。

TIME:

記録開始時の時刻を表示します。

DURATION:

クリップの長さを表示します。

V_FORMAT:

クリップの記録フォーマットを表示します。

FRAME RATE:

再生フレームレートを表示します。

REC RATE:

記録フレームレートを表示します。(VFR機能を使ってNative記録したクリップにのみ表示します)

5. クリップメタデータ

クリップに関する、より詳しいデータを表示します。ポインタをカーソルボタンで動かし、SET ボタンを押して詳しい内容を確認できます。表示されるメタデータについて、詳しくは「クリップメタデータの設定」(136 ページ)を参照してください。

記録されたクリップメタデータの修正

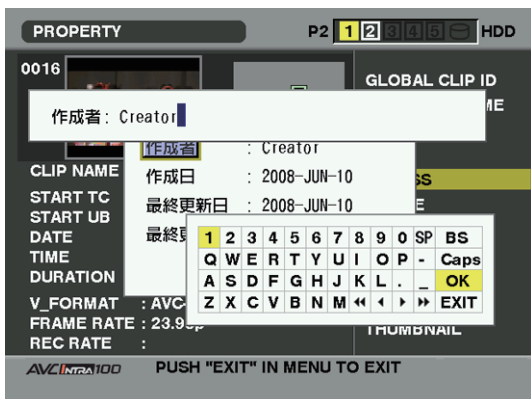
1 クリップのプロパティ画面で、修正したいクリップメタデータの詳細画面を表示させます。

2 修正したい項目にカーソルボタンでカーソルを合わせます。

変更可能なメタデータ項目は、下図の「CREATOR (作成者)」などのように表示しています。



- 3 SET ボタンを押します。
メタデータ修正の入力画面（ソフトキーボード）が表示されます。
キーボードから文字を入力し、メタデータを修正します。



キーボードの操作については、「読み込んだメタデータの確認および修正」（137 ページ）と同様です。

- 4 キーボードの「OK」ボタンを押すと、修正されたメタデータがクリップに書き込まれ、メタデータの詳細画面に戻ります。

◆ NOTE:

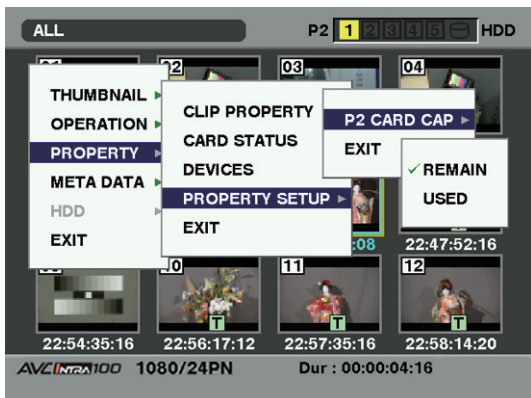
- SHOOTのLOCATION（撮影地情報）の各項目を削除する場合、単独では削除できません。ALTITUDE（高度）項目を空白に設定することで、他の LONGITUDE（緯度）/ LATITUDE（経度）項目も一括して削除されます。
- [] 不完全クリップインジケータが付いたクリップは、メタデータを修正できません。複数枚の P2 カードにまたがったクリップは、全ての P2 カードが挿入された状態でメタデータの修正を行ってください。
- MEMO 項目は 100 文字以上付加されている場合、修正できません。

P2 カードの状態表示

P2 カードの状態表示設定

サムネイルメニューから PROPERTY → CARD STATUS と選択することで表示する P2 カードの状態表示を、P2 カードの記録残量で表示するか使用容量で表示するか選択できます。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押します。
液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。
- 2 サムネイルメニューより PROPERTY → PROPERTY SETUP → P2 CARD CAP と選択します。
下記のような画面が表示されますので、P2 CARD CAP 項目より、P2 カードの状態表示の設定を選択します。



REMAIN:

P2 カードの状態表示を、P2 カードの記録残量で表示します。（工場出荷時はこちらに設定されています）

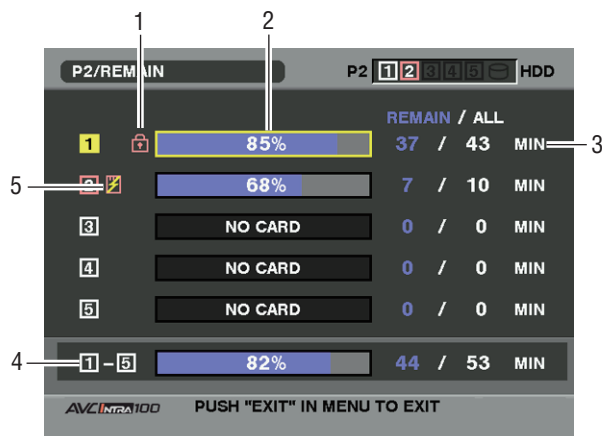
USED:

P2 カードの状態表示を、P2 カードの使用容量で表示します。

P2カードの状態表示設定内容

サムネールメニューからPROPERTY→CARD STATUSと選択します。下記のような画面が表示されます。

REMAINを選択した場合:



1. 書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークを表示します。

2. P2カード状態 (記録残量)

P2カードの記録残量を、メーターとパーセントで表示します。記録残量が減るとともに、メーターが左に減っていきます。

またカードの状態によって、以下のような表示になります。

FORMAT ERROR!:

フォーマットされていないP2カードが挿入されています。

NOT SUPPORTED!:

本機に対応していないカードが挿入されています。

NO CARD!:

P2カードが挿入されていません。

また、カーソルボタンでデータを見たいP2カードにカーソルを合わせてSETボタンを押すと、P2カード詳細情報が表示され、シリアル番号やユーザーIDなどの固有情報を確認できます。

3. P2カード残量/総容量

P2カードの記録残量/総容量を表示します。単位は分です。分以下は切り捨て表示のため、P2カードごとの記録残量の合計と総容量が一致しないことがあります。Native記録でVFR動作時は、フレームレートによって変化します。

4. スロット記録残量合計

5つのスロットの記録残量を総合計した数値を表示します。ただし、ライトプロテクトがかかっているP2カードの空き容量は、空き容量の合計に含まれません。

5. 警告カードマーク

P2カードが以下である場合にマークを表示します。

RUN DOWN CARD:

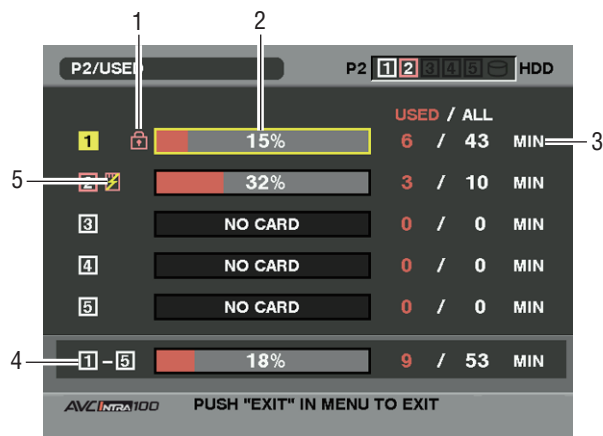
P2カードの規定の書き換え回数を超えています。

DIR ENTRY NG CARD:

P2カードのディレクトリの配置が不正規になっています。

警告内容は「2.P2カード状態 (記録残量)」のP2カード詳細情報表示で確認できます。

USEDを選択した場合:



1. 書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークを表示します。

2. P2カード状態 (使用容量)

P2カードの使用容量を、メーターとパーセントで表示します。使用容量が増えるとともに、メーターが右に増えていきます。

またカードの状態によって、以下のような表示になります。

FORMAT ERROR!:

フォーマットされていないP2カードが挿入されています。

NOT SUPPORTED!:

本機に対応していないカードが挿入されています。

NO CARD!:

P2カードが挿入されていません。

また、カーソルボタンでデータを見たいP2カードにカーソルを合わせてSETボタンを押すと、P2カード詳細情報が表示され、シリアル番号やユーザーIDなどの固有情報を確認できます。

3. P2カード使用容量/総容量

P2カードの使用容量/総容量を表示します。単位は分です。分以下は切り捨て表示のため、P2カードごとの使用容量の合計と総容量が一致しないことがあります。また、ライトプロテクトがかかっているP2カードの使用容量は、100%使用したものとして表示します。Native記録でVFR動作時は、フレームレートによって変化します。

4. スロット使用容量合計

5つのスロットの使用容量を総合計した数値を表示します。

5. 警告カードマーク

P2カードが以下である場合にマークを表示します。

RUN DOWN CARD:

P2カードの規定の書き換え回数を超えています。

DIR ENTRY NG CARD:

P2カードのディレクトリの配置が不正規になっています。

警告内容は「2.P2カード状態 (使用容量)」のP2カード詳細情報表示で確認できます。

SD メモリーカードの状態表示

SD メモリーカードのフォーマットの状態や、空き容量などを確認できます。

サムネイルメニューから PROPERTY → DEVICES → SD CARD を選択します。

SD規格準拠のフォーマットの場合

SD STANDARD: SUPPORTED

と表示されます。

SD規格に準拠していないフォーマットの場合

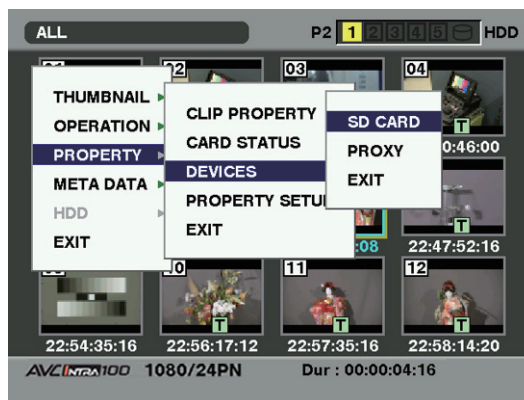
SD STANDARD: NOT SUPPORTED

と表示されます。この場合、正常な読み出し／書き込みができません。本機でフォーマットを行ってください。SDメモリーカードのフォーマットについては、「SDメモリーカードのフォーマット」(141 ページ) を参照してください。

◆ NOTE:

表示されるSDメモリーカードの残量 (PROXY REM) はプロキシの記録残量の目安になりますが、実際の空き容量とは異なる場合があります。特に Class 表記のある SD または SDHC カードの場合、短い記録を繰り返すと、記録可能な時間は空き容量に比べ大きく減少することがあります。また残量が999minを超えた場合、999minと表示します。

なお、残量はSDメモリーカードにプロキシ記録を行う設定になっているときのみ表示します。設定方法は、ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) の取扱説明書を参照してください。



ビデオエンコーダーカードの状態表示 (オプション)

ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G・別売品) を装着して、サムネイルメニューから PROPERTY → DEVICES → PROXY を選択します。

ビデオエンコーダーカードの挿入されているスロットとバージョン情報を表示します。

外部機器との接続

USB2.0端子での接続機能

USB デバイスモードでのパーソナルコンピュータとの接続について

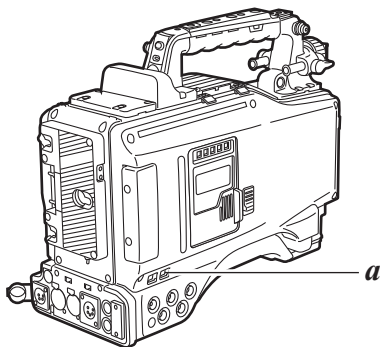
外部パーソナルコンピュータなどとUSB2.0で接続することにより、本機に挿入されたP2カードをマストレージとして扱うことができます。

パーソナルコンピュータとの接続手順

1 USB2.0端子にUSBケーブルを接続します。

◆NOTE:

- 本機にUSB2.0ケーブルは同梱されていません。市販のUSB2.0対応ケーブル（シールド付き）をご用意ください。
- USBケーブルの長さは5メートルまで対応していますが、なるべく3メートル以内のケーブルを使用することをお勧めします。



a. USB2.0端子 (DEVICE)

2 メニュー操作でSYSTEM SETTINGページの<SYSTEM MODE>画面を開き、PC MODE SELECT項目を“USB DEV.”に設定し、次にPC MODE項目を“ON”に設定します。

```
→ < SYSTEM MODE >

SYSTEM MODE      :1080-59.94i
REC FORMAT       :AVC-I 100/24PN
CAMERA MODE      :60i
VFR              :ON
24P VFR RANGE    :24FRAME
FRAME RATE       :24FRAME
USR SW F. RATE   :24FRAME
SCAN REVERSE     :OFF
PC MODE SELECT   :USB HOST
PC MODE          :OFF
```

◆NOTE:

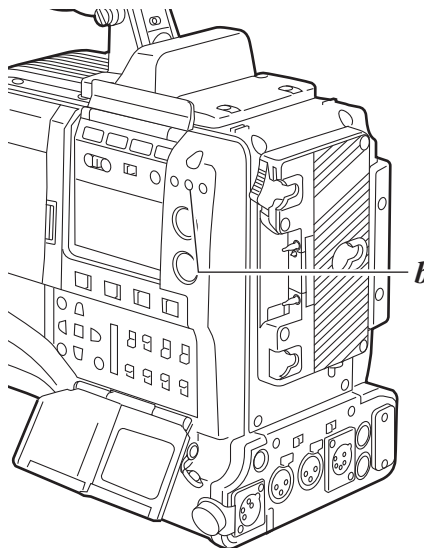
USER MAIN SW/USER1 SW/USER2 SW/MARKER SEL/TEXT MEMO SW項目で、PC MODE項目をそれぞれのUSERボタンに割り付けることができます。各項目は、CAM OPERATIONページの<USER SW>画面から選択できます。

USB接続を初めて行うときには、本機付属のCD-ROMからP2ソフトウェアをパーソナルコンピュータにインストールしてください。詳しくはインストールマニュアルを参照してください。

◆NOTE:

- パーソナルコンピュータにはUSB専用ドライバーがインストールされている必要があります。
- 本機は、USB2.0にのみ対応しています。USB2.0対応のパーソナルコンピュータを使用してください。
- パーソナルコンピュータとUSB接続する場合は本機1台のみにしてください。
- USBを接続してご使用の際には、P2カードを抜かないでください。
- USB接続中はP2カードアクセスLEDは、アクセス中以外は消灯します。
- USBデバイスで動作中は、記録・再生動作やクリップのサムネール操作はできません。

USB接続状態中は、サイドパネルのUSB LEDが点灯します。また、ビューファインダー内のシステム情報/警告エリアに「USB DEVICE」と表示します。なお、正常に接続できていない場合はこれらの表示は両方とも点滅になります。



b. USB LED

```
USB DEVICE

F:1 ---- ■ ----+
F:2 ---- ■ ----+

1 A 1 8dB F1.4 Z99
```

3 USBモードを終了するには以下の2通りの方法があります。

- 本機のPOWERスイッチをOFFにします。
- メニュー操作でPC MODE項目を“OFF”に設定します。

USB ホストモード

USB2.0対応のハードディスクドライブ（HDD）1台と接続して、カードデータの保存や、保存したクリップのサムネール閲覧、P2カードへの書き戻しを行うことができます。

USB ホストモードへの切り替え方

- 1 メニュー操作でSYSTEM SETTINGページ、<SYSTEM MODE>画面のPC MODE SELECT項目をUSB HOSTに設定し、次にPC MODE項目をONにすると、USB HOSTモードになります。
 - USB HOSTモード中はビューファインダーに「USB HOST」と表示し、サイドパネルのUSB LEDが点灯します。ハードディスクドライブが正常に接続されていない場合、USB LEDは点滅表示となります。
 - なおUSERボタンにPC MODE ON/OFF機能を割り付けている場合、USERボタンを押すことでUSB HOSTモードと通常モードの切替が可能です。USERボタンの割り付けは「USERボタンへの機能割り付け」（60ページ）を参照してください。

- 2 THUMBNAILボタンを押し、サムネール画面に移行します。右下に「USB HOST」表示が出ていることを確認してください。
ハードディスクドライブが接続されている場合には右上のHDDマークが点灯します。ただし赤く点灯している場合はコピー不可能なハードディスクドライブを示します。ハードディスクドライブの種類を確認してください。
HDDマークについては「サムネール画面」（127ページ）を参照してください。



USB HOST表示

◆NOTE:

USB HOSTモードでは、P2カードの再生はできませんが、カメラ映像や外部入力記録はできません。またハードディスクに書き込まれたクリップは、P2カードに書き戻さなければ再生できません。P2カードへの書き戻しについては「P2カードへの書き戻し方」（151ページ）を参照してください。
USB HOSTモードから通常モードに戻るには、サムネール画面を閉じた状態で、PC MODE項目をOFFにするか、PC MODE ON/OFF機能を割り付けたUSERボタンを押します。

USB ホストモードの使い方

使用できるハードディスクドライブ

- USB2.0で接続できるハードディスクドライブ
- P2 STORE (AJ-PCS060G・別売品)

◆NOTE:

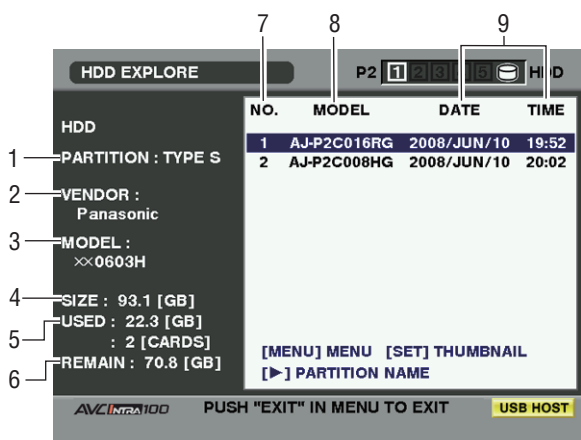
- USBバスパワー（5V,0.5A）にも対応していますが、ハードディスクドライブによっては起動できないものもあります。その場合はハードディスクドライブへ別途電力を供給してください。
- 電源が入っていないハードディスクドライブであっても、ハブなどを介した複数台の接続は行わないでください。またハードディスクドライブ以外の機器でも、ハブなどを介してハードディスクドライブと一緒に接続しないでください。
- 2TB以上のハードディスクドライブには対応していません。

ハードディスクドライブ情報の表示

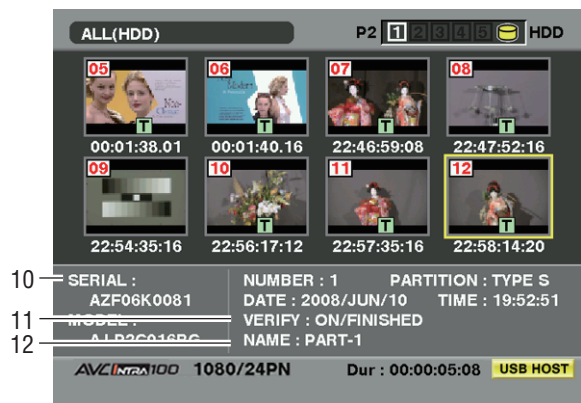
USB 接続したハードディスクドライブの情報を、以下の方法で見ることができます。

- 1 USB HOSTモードへ切り替えます。
詳しくは「USBホストモードへの切り替え方」(148ページ)を参照してください。
- 2 ハードディスクドライブをUSB接続します。
- 3 THUMBNAIL ボタンを押し、サムネイル画面を表示します。
- 4 サムネイルメニューボタンを押し、サムネイルメニューよりHDD→EXPLOREを選択します。
画面がハードディスクドライブの情報表示画面に切り替わります。

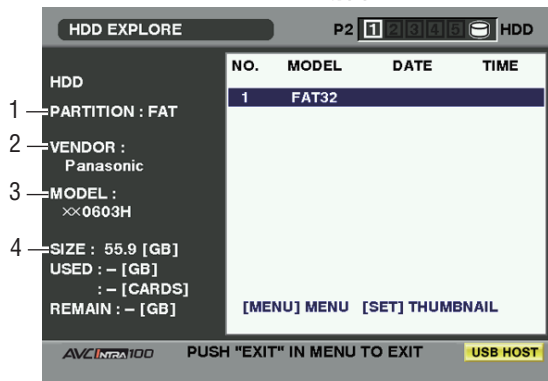
TYPE SまたはP2STOREの場合



EXIT ボタン ↑ ↓ さらに SET ボタンを押す



FATの場合



1. PARTITION

ハードディスクドライブの種類を表示します。ハードディスクドライブのタイプによって、操作できる機能が異なります。

HDDタイプ	特徴	操作できる機能
TYPE S	カード単位で高速に書き込み/書き戻しするための特殊形式です。本機でFORMATを行うと、この形式になります。	サムネイル表示、カード単位での書き込み/書き戻し、クリップ単位での書き戻し、フォーマット
P2STORE	P2 STORE (AJ-PCS060G) のことです。書き込みはできません。	サムネイル表示、カード単位での書き戻し、クリップ単位での書き戻し
FAT	パーソナルコンピュータなどで先頭の基本パーティションがFAT16、またはFAT32になっており、そのパーティションのルートに「CONTENTS」ディレクトリが必要なHDDです。	サムネイル表示、クリップ単位での読み込み、フォーマット ※ フォーマット後は、「TYPE S」のHDDとして扱えます。
OTHER	上記以外のHDDです。 ※ ルートに「CONTENTS」ディレクトリがない場合やNTFSなどのFAT16、FAT32以外のファイルシステムの場合です。	フォーマット ※ フォーマット後は、「TYPE S」のHDDとして扱えます。

2. VENDOR

ハードディスクドライブのベンダー名を表示します。

3. MODEL

ハードディスクドライブのモデル名を表示します。

4. SIZE

ハードディスクドライブの総容量を表示します。

5. USED

ハードディスクドライブの使用量を容量(単位: GB)と使用P2カード領域(単位: 枚数)で表示します。

6. REMAIN

ハードディスクドライブの残量を容量(単位: GB)で表示します。

7. パーティション番号

ハードディスクドライブ内のパーティション(P2カード一枚分の単位)番号を表示します。

◆ NOTE:

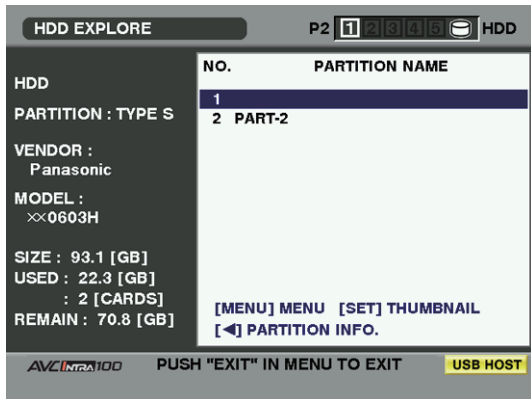
画面の表示は10個までです。パーティションが11個以上ある場合、カーソルボタン(▽)で下にスクロールして表示してください。

8. MODEL

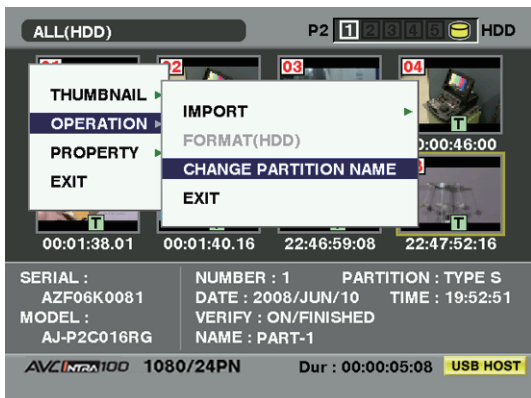
パーティション内のデータがもともと記録されていた P2カードのモデル名を表示します。

◆ NOTE:

カーソルボタン (▷) を押すと、PARTITION NAME に切り替えることができます。◀ ボタンで元のモデル名表示に戻ります。



PARTITION NAME はハードディスクドライブのサムネール表示中に OPERATION メニューの CHANGE PARTITION NAME を選択し、ソフトキーボードから入力することができます。(最大20文字)



9. DATE/TIME

パーティション内のデータが記録された日時を表示します。

10. SERIAL

パーティション内のデータがもともと記録されていた P2カードのシリアル番号を表示します。

11. VERIFY

パーティション内のデータを記録したときのベリファイの設定とベリファイ結果を表示します。

ON/FINISHED :

ベリファイを実施し、ベリファイ結果が一致しています。

ON/FAILED :

ベリファイを実施していますが、ベリファイ結果が一致していません。

OFF :

ベリファイを実施していません。

--- :

ベリファイの情報がありません。

◆ NOTE:

- FAT タイプのハードディスクドライブであっても、1001 個目以降のクリップは表示できません。
- FAT でフォーマットされたハードディスクドライブの場合、最初の 1 パーティションのみ、情報を表示します。
- P2 STORE (AJ-PCS060G) に無効なパーティションがあるときは、パーティション情報をグレーで表示します。

12. NAME

PARTITION NAME を表示します。

ハードディスクドライブのフォーマット

- 1 USB HOSTモードへ切り替えます。
詳しくは「USBホストモードへの切り替え方」(148 ページ)を参照してください。
- 2 ハードディスクドライブをUSB接続します。
- 3 THUMBNAIL ボタンを押し、サムネール画面を表示します。
- 4 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューよりHDD→EXPLOREを選択します。
画面がハードディスクドライブの情報表示画面に切り替わります。
- 5 メニューからOPERATION→FORMAT(HDD)を選択し、カーソルボタンとSETボタンでYESを選択すると、再度確認メッセージが出ますので、そこでYESを選択します。
- 6 ハードディスクドライブのフォーマットが行われます。フォーマット後は、「TYPE S」のハードディスクドライブとして扱えます。

◆ NOTE:

ハードディスクドライブのフォーマットを行うとハードディスクドライブの内容はすべて消去されます。なお、一部分のパーティションだけを選択して消去することはできません。

ハードディスクドライブへの書き込み

- 1 USB HOSTモードへ切り替えます。
詳しくは「USBホストモードへの切り替え方」(148ページ)を参照してください。
 - 2 ハードディスクドライブをUSB接続します。
ハードディスクドライブを本機でフォーマットしていない場合は、「ハードディスクドライブのフォーマット」に従って、ハードディスクドライブをフォーマットしてください。
 - 3 P2カードを挿入します。
 - 4 THUMBNAIL ボタンを押し、サムネイル画面を表示します。
 - 5 サムネイルメニューボタンを押し、サムネイルメニューよりHDD→EXPORTを選択して、ハードディスクドライブへ書き込みたいデータが記録されたP2カードのスロットを指定します。
 - 6 YESを選択すると書き込みが開始します。
書き込み中は進捗バーを表示します。書き込みを中断したい場合は、SETボタンを押し、CANCELの確認に対してYESを選択すると処理を中断します。
- ◆NOTE:
- 書き込み時のベリファイをやめる場合は、サムネイルメニューよりHDD→SETUPでVERIFYをOFFに設定します。書き込み完了までの時間が早くなりますがデータの書き込み確認は行いません。
 - ALL SLOTを選択すると、本機に挿入されている全てのP2カードを一括してハードディスクドライブに書き込みます。
- 7 書き込みが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示します。

◆NOTE:

- ハードディスクドライブタイプがTYPE Sである場合、カード単位で書き込みを行うことができます。最大23枚のP2カードをハードディスクドライブへ保存することができます。
また、ハードディスクドライブに記録されたP2カードのデータは、パーソナルコンピューターなどでは、それぞれ別のドライブとして認識されます。
- 不良クリップを含むP2カードをハードディスクドライブに書き込むときは、コピーする前に不良クリップを修復することをお勧めします。
- ベリファイ中に処理を中断しても、そのP2カードからハードディスクドライブへの書き込みは終了しています。

P2カードへの書き戻し方

ハードディスクドライブからクリップを選択して書き戻しが行えます。

- 1 USB HOSTモードへ切り替えます。
詳しくは「USBホストモードへの切り替え方」(148ページ)を参照してください。
- 2 ハードディスクドライブをUSB接続します。
- 3 書き戻すP2カードをスロットへ挿入します。
- 4 サムネイルメニューボタンを押し、サムネイルメニューよりHDD→EXPLOREを選択して、読み出すデータが入ったパーティションに移動し、SETボタンで選択します。
- 5 ハードディスクドライブからP2カードへ書き込むクリップをサムネイルから選択します。
- 6 サムネイルメニューボタンを押し、サムネイルメニューよりOPERATION→IMPORT→SELECTED CLIPSと選択し、書き戻すP2カードのスロットを選択します。
- 7 YESを選択すると、P2カードへの書き戻しを開始します。
- 8 書き戻しが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示します。

◆NOTE:

- クリップを選択して書き込む場合はベリファイは実施しません。
- 異なる品番のP2カードへパーティション単位でのインポートはできません。クリップ単位でインポートを実施してください。

ハードディスクドライブタイプがTYPE SかP2STOREである場合、同一品番のP2カードへカード単位で書き戻しを行うこともできます。
書き戻し先のP2カードはあらかじめフォーマットしておいてください。

- 1 USB HOSTモードへ切り替えます。
詳しくは「USBホストモードへの切り替え方」(148ページ)を参照してください。
- 2 ハードディスクドライブをUSB接続します。
- 3 書き戻すP2カードをスロットへ挿入します。
- 4 サムネイルメニューボタンを押し、サムネイルメニューよりHDD→EXPLOREを選択して、読み出すデータが入ったパーティションに移動し、SETボタンで選択します。
- 5 サムネイルメニューよりOPERATION→IMPORT→ALLと選択し、書き込みを行う空のP2カードが挿入されたスロットを選択します。

6 YESを選択するとカードへの書き込みを開始します。

<参考>

書き戻し時のベリファイをやめる場合は、サムネールメニューよりHDD→SETUPでVERIFYをOFFに設定します。書き戻し完了までの時間が早くなりますがデータの書き戻し確認は行いません。

7 書き戻しが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示します。

◆NOTE:

クリップを、そのクリップが元々記録されていたP2カードではない別のP2カードに書き戻したとき、書き戻したクリップが不完全クリップになることがあります。この場合はクリップの連結を行ってください。詳しくは「不完全クリップの連結」(135 ページ)を参照してください。

ハードディスクドライブ使用時のご注意

- ハードディスクドライブ (P2 STORE (AJ-PCS060G) 含む) は以下の条件でご使用ください。
 - ◆ハードディスクドライブの動作補償範囲内 (温度など) で使用する。
 - ◆ハードディスクドライブを振動する場所や不安定な場所に置かない。
- ハードディスクドライブによっては正しく動作しないことがあります。
- USB変換ケーブルで接続されたSATA (シリアルATA) やPATA (パラレルATA) インターフェースのハードディスクドライブは認識できない場合があります。
- コピーには十分な容量のハードディスクドライブをご使用ください。
- フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、対象のP2カードを取り出したり、本機やハードディスクドライブの電源を切ったりしないでください。本機およびハードディスクドライブの電源の再起動が必要になります。
- ハードディスクドライブは非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。
- ハードディスクドライブの故障あるいは何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機からのコピーで使用したハードディスクドライブを他のパソコンなどで中身を置き換えた場合、以後の本機での動作、およびハードディスクドライブのデータは保証できません。
- 下記URLで配布しているドライブマウントコンバーターを使用すると、ハードディスクドライブを接続したとき、指定したフォルダーへマウントすることができます。また、すでに割り当てられているネットワークとドライブが重なってパーティションが表示されない場合も、ドライブマウントコンバーターを使用して指定したフォルダーにマウントすることにより、パーティションが表示されるようになります。

<http://panasonic.biz/sav/>

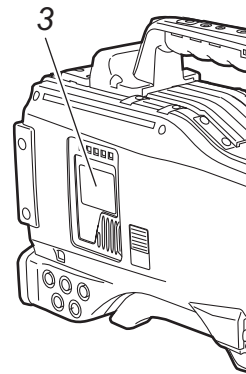
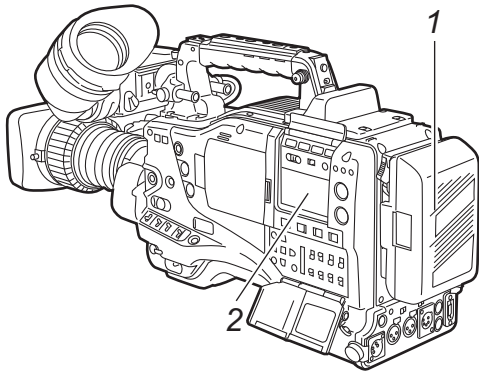
保守・点検

撮影前の点検

撮影に出発する前に次の点検を行い、システムが正常に動作することを確認してください。カラービデオモニターを使って画像のチェックをすることをおすすめします。

点検の準備

- 1 充電済みのバッテリーパックを取り付けます。
- 2 POWERスイッチをONにし、BATT表示が5個以上点灯していることを確認します。
 - BATT表示が5個以上点灯していないときは、十分に充電したバッテリーと交換します。
- 3 P2カードをカードスロットに挿入し、スライドとびらを閉めます。P2カードを挿入したカードスロットのP2カードアクセスLEDが、オレンジ色に点灯したか確認します。複数のカードスロットにP2カードを挿入した場合、最初に挿入したP2カードのP2カードアクセスLEDのみがオレンジ色に点灯し、それ以降に挿入したP2カードのP2カードアクセスLEDは、緑色に点灯します。P2カードを挿入したP2カードスロットのP2カードアクセスLEDが緑色に点滅したままか、あるいは消灯している場合、そのP2カードに記録を行うことはできません。



カメラ部の点検

- 1 ズームを電動ズームモードにして、電動ズームの確認をします。画像が望遠、広角と変わることを確認します。
 - 2 ズームを手動ズームモードにし、手動ズームの確認をします。手動ズームレバーを回し、画像が望遠、広角と変わることを確認します。
 - 3 絞りを自動調整モードにし、明るさの違う被写体にレンズを向け、自動絞り調整が働くことを確認します。
 - 4 絞りを手動調整モードにし、絞りリングを回し、手動絞りの調整を確認します。
 - 5 瞬間絞り自動調整ボタンを押しながら、明るさの違う被写体にレンズを向け、瞬間絞り自動調整機能の確認をします。
- ◆NOTE:
瞬間絞り自動調整機能がないレンズもあります。
- 6 絞りを自動調整モードに戻し、GAINスイッチの設定をL、M、Hと切り替えて次の点を確認します。
 - 設定の切り替えに応じて、同じ明るさの被写体に対し絞りが調整されます。
 - 設定の切り替えに応じて、ビューファインダー画面のゲイン値表示が切り替わります。
 - 7 エクステンダ付きのレンズを装着しているときは、エクステンダを使用位置にし、正常に働くことを確認します。

メモリー記録部の点検

「1. P2カード記録の点検」から「4. イヤホン、スピーカーの点検」までは連続して行ってください。

1. P2カード記録の点検

- 1 ビューファインダー内の表示で、P2カードの記録残量が充分か確認します。P2カードの記録残量については「P2カード残量/容量表示」(84 ページ)を参照してください。
- 2 TCGスイッチを「R-RUN」にします。
- 3 DISPLAYスイッチを「TC」にします。
- 4 本機のREC START ボタンを押し、次の項目を確認します。
 - P2 アクセス LED がオレンジ色に点滅する。
 - ビューファインダー内の REC ランプが点灯する。
 - ビューファインダー内に SYSTEM 警告が表示されない。
- 5 本機のREC START ボタンをもう一度押します。P2アクセスLEDがオレンジ色の点灯になり、ビューファインダー内のRECランプが消えることを確認します。
- 6 LIGHT ボタンを押し、表示窓の表示が明るくなることを確認します。
- 7 PLAY/PAUSE ボタンを押し、今撮影したクリップが最初から再生されるか確認します。記録・再生が正常に動作することを確認します。
- 8 P2カードを複数、P2カードスロットに挿入している場合は、SLOT SEL機能を割り当てたUSERボタンを押し、記録対象のP2カードを切り替えます。4~5、7の動作を行い、記録・再生が正常に動作することを確認します。

2. 音声レベル自動調整機能の点検

- 1 AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチを「AUTO」にします。
- 2 AUDIO IN CH1/CH2スイッチを「FRONT」にします。
- 3 MIC IN端子に接続したマイクを適当な音源に向け、CH 1/CH 2両方のレベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認します。

3. 音声レベル手動調整機能の点検

- 1 AUDIO IN CH1/CH2スイッチを「FRONT」にします。
- 2 AUDIO SELECT CH1/CH2スイッチを「MAN」にします。
- 3 AUDIO LEVEL CH1/CH2つまみを回します。右に回すと、レベル表示が増えることを確認します。

4. イヤホン、スピーカーの点検

- 1 MONITORつまみを回し、スピーカーの音量が変わることを確認します。
- 2 イヤホンをPHONES端子に接続します。スピーカーからの音が消え、イヤホンからマイクの音が聞こえることを確認します。
- 3 MONITORつまみを回し、イヤホンの音量が変わることを確認します。

5. 外部マイクを使う場合の点検

- 1 外部マイクをAUDIO IN CH1、CH2コネクタに接続します。
- 2 AUDIO IN CH1/CH2スイッチを「REAR」にします。
- 3 後面のLINE/MIC/+48V切り替えスイッチを、外部マイクの電源供給方式に応じて「MIC」あるいは「+48V」に切り替えます。

MIC : 内部電源供給方式のマイク
+48V : 外部電源供給方式のマイク
- 4 マイクを音源に向け、表示窓の音声レベルメーターやビューファインダー内の音声レベル表示が、音の大きさに合わせて変わることを確認します。1本のマイクを各チャンネルに接続して、チャンネルごとに点検することもできます。

6. 時計、タイムコード、ユーザーズビットに関する点検

- 1 必要に応じてユーザーズビットを設定します。
設定のしかたについては「ユーザーズビットの設定」(66 ページ)をお読みください。
- 2 タイムコードを設定します。
設定のしかたについては「タイムコードの設定」(69 ページ)をお読みください。
- 3 TCGスイッチを「R-RUN」にします。
- 4 REC START ボタンを押します。
記録が開始するとともに、カウンター表示部の数値が変わることを確認します。
- 5 再度、REC START ボタンを押します。
記録が停止し、カウンター表示部の数値が変わらなくなることを確認します。

- 6 TCGスイッチを「F-RUN」にします。
カウンター表示部の数値が、記録に関係なく変わることを確認します。
- 7 DISPLAYスイッチを「UB」にします。
HOLD ボタンを押すごとに VTCG → DATE → TIME → 無表示 (タイムゾーン) → TCG の値を表示するか、またその数値が正確かを確認します。
DATE、TIME、タイムゾーンが正確でない場合は、「内蔵時計の日付/時刻の設定」(68 ページ)を参照して、正しく設定してください。

◆NOTE:

DATE、TIME、タイムゾーンの設定による日時データは、クリップに記録され、サムネール操作時の再生順などに影響しますのでご注意ください。

メンテナンス

ビューファインダー内のクリーニング

- 汚れを取るとき、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- レンズを拭くときは、市販のレンズクリーナーを使用してください。
- ミラーは絶対拭かないでください。ゴミなどが付着しているときは、市販のエアーブローで取り除いてください。

CCD カメラ特有の現象について

スミア

高輝度の被写体を撮影した場合に発生することがあります。この現象は、電子シャッタースピードが速くなるほど目立ちやすくなります。

白キズ

VFR 機能が動作時、低いフレームレートに設定すると、映像に微小なキズが見えることがあります。白キズは使用時の周囲の温度が高いほど、目立ちやすくなります。

バックアップ電池の交換

バックアップ電池は、すでに取り付けた状態で出荷しています。

電池が消耗すると、POWER スイッチを ON にしたとき、ビューファインダー画面に「BACK UP BATT EMPTY」の表示を5秒間表示します。

電池が消耗すると、内蔵された時計が動作しなくなります。また、TCGのタイムコード値が「00:00:00:00」になり、タイムコード値のバックアップができなくなりますので、バックアップ電池の交換が必要です。

販売店にご相談のうえ、新しい電池 (CR2032) と交換してください。

なお、バックアップ電池は液晶モニターがある側 (正面から見て右側) のパネルを外した裏側にあります。

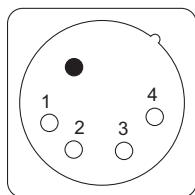
◆NOTE:

電池交換の際は、必ず販売店にご相談ください。

コネクタ信号の内容

DC IN	
1	GND
2	NC
3	NC
4	+12V

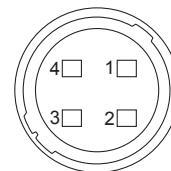
パナソニック品番 K1AA104H0038
メーカー品番 HA16RX-4P (SW1)
(ヒロセ電機)



DC OUT	
1	GND
2	R TALLY (オープンコレクタ)
3	REC START SW
4	+12V OUT (最大 1.5 A)

パナソニック品番 K1AY104J0001
メーカー品番 HR10A-7R-4SC(73)
(ヒロセ電機)

ケーブル側コネクタ
メーカー品番 HR10A-7P-4P(73)
(ヒロセ電機)

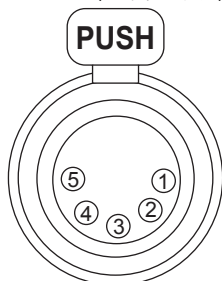


◆NOTE:

外部からの供給電源は、極性を正しくご使用ください。

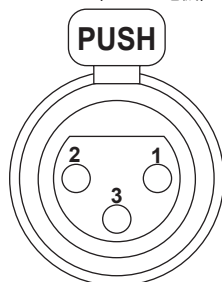
FRONT MIC IN	
1	GND
2	L CH IN (H)
3	L CH IN (C)
4	R CH IN (H)
5	R CH IN (C)

パナソニック品番 K1AB105B0002
メーカー品番 NC5FBH
(ノイトレック)



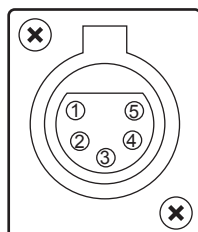
AUDIO IN	
1	GND
2	AUDIO IN(H)
3	AUDIO IN(C)

パナソニック品番 K1AB103A0011
メーカー品番 HA16PRM-3SG
(ヒロセ電機)



AUDIO OUT	
1	GND
2	L CH OUT (H)
3	L CH OUT (C)
4	R CH OUT (H)
5	R CH OUT (C)

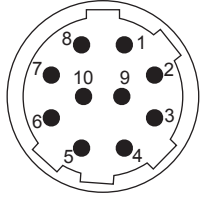
パナソニック品番 K1AA105H0016
メーカー品番 HA16RD-5P(76)
(ヒロセ電機)



REMOTE		
1	CAM DATA (H)	カメラからリモートコントロールへのデータ (H)
2	CAM DATA (C)	カメラからリモートコントロールへのデータ (C)
3	CAM CONT (H)	リモートコントロールからカメラへの制御信号 (H)
4	CAM CONT (C)	リモートコントロールからカメラへの制御信号 (C)
5	RC-ON	リモートコントロールの認識信号 Low : ON
6	RC VIDEO OUT	リモートコントロールへの映像信号出力
7	RC VIDEO GND	リモートコントロールへの映像信号のGND
8	NC	未使用
9	UNREG 12V	DC +12 V電源 (AJ-RC10G : 最大0.75A)
10	GND	GND

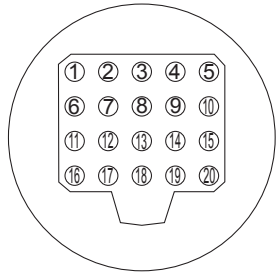
パナソニック品番 K1AY110JA001
メーカー品番 HR10A-10R-10SC(71)
(ヒロセ電機)

ケーブル側コネクタ
メーカー品番 HR10A-10P-10P(73)
(ヒロセ電機)



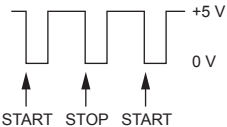
VF		
1	UNREG-12V	DC +12 V電源 (AJ-HVF21G : 約0.35A)
2	UNREG-12V	DC +12 V電源
3	A9.0V	DC +9 V電源 (未使用)
4	VF-PB-GND	ビューファインダー P _B 信号のGND
5	VF-PR-GND	ビューファインダー P _R 信号のGND
6	VF-Y	ビューファインダー Y 信号出力
7	VF-Y-GND	ビューファインダー Y 信号のGND
8	VF-CLK	シリアルデータクロックパルス信号
9	VF-WR	シリアル-パラレル変換データ読み込み用パルス信号
10	VF-DATA	シリアル-パラレル変換用シリアルデータ信号
11	UNREG-GND	GND
12	ZEBRA-SW	ゼブラ信号のON/OFF
13	PEAKING	ピーキングの制御 (未使用)
14	SPARE	予備 (未使用)
15	VF-PR	ビューファインダー P _R 信号出力
16	VF-PB	ビューファインダー P _B 信号出力
17	MARKER-SW	マーカーのON/OFF (未使用)
18	FRONT-VR	FRONT AUDIO LEVEL 調整 (未使用)
19	VR-GND	FRONT AUDIO LEVEL のGND (未使用)
20	UNREG-GND	GND

パナソニック品番 K1AB120H0001
メーカー品番 HR12-14RA-20SC
(ヒロセ電機)

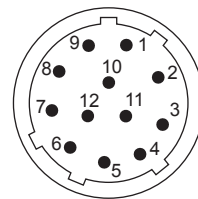


保守・点検

◆ **NOTE:**
DC OUT、REMOTE、VF、LENSの各端子から取り出す電流の合計が、2.5 Aを超えないようにしてください。

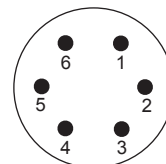
LENS		
1	RET-SW	リターンビデオのON/OFF RETURN ON: GND RETURN OFF: OPEN
2	REC-START/STOP	記録スタートとストップの制御 
3	GND	GND
4	IRIS-AUTO	強制アイリスサーボのON/OFF SERVO ON: +5 V ± 0.5 V SERVO OFF: OPEN
5	IRIS-CONT	レンズアイリスの制御出力 F2.8: -6.2 V、F16: +3.4 V、CLOSE: +2.5 V
6	UNREG-12V	レンズ用+12V電源 (最大1.5A)
7	IRIS-POSI	アイリスポジション信号 +3.4 V (F16) ~ +6.2 V (F2.8)
8	IRIS-G-MAX	IRIS REMOTE/LOCAL (AUTO) 信号 REMOTE: +5 V ± 0.5 V LOCAL (AUTO): GND
9	EXT-POSI	内蔵エクステンダーのON/OFF EXTENDER ON: GND EXTENDER OFF: OPEN
10	ZOOM-POSI	ズームポジション信号
11	FOCUS-POSI	フォーカスポジション信号
12	SPARE	予備 (未使用)

パナソニック品番 K1AY112JA001
メーカー品番 HR10A-10R-12SC(71)
(ヒロセ電機)



GPS		
1	GPS TXA	GPSユニットからカメラへの伝送データ
2	GPS RXA	カメラからGPSユニットへの伝送データ
3	GPS VBAT	GPSユニット用のバックアップ電源供給端子 (DC +3.3 V)
4	REC START SW	REC スタート/ストップの制御信号
5	GPS VCC	GPSユニット用の電源供給端子 (DC +3.3 V)
6	GPS GND	GND

パナソニック品番 K1AY106J0001
メーカー品番 HR10A-7R-6SC(73)
(ヒロセ電機)

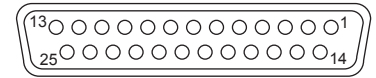


Unislotインターフェース		
1	CH-1 SHIELD	GND
2	CH-1 HOT	ワイヤレスレシーバーからの音声入力：CH1 HOT
3	CH-1 COLD	ワイヤレスレシーバーからの音声入力：CH1 COLD
4	GND	GND
5	+12V UNREG	ワイヤレスレシーバーへの電源
6	RX ON	ワイヤレスレシーバーへの電源リモート出力
7	RF WARN	ワイヤレスレシーバーからのRFワーニング入力
8	RM5	未使用
9	RM4	未使用
10	SPARE 1	未使用
11	SPARE 2	未使用
12	EXT CLK	未使用
13	CLK SHIELD	未使用
14	CH-2 SHIELD	GND
15	CH-2 HOT	ワイヤレスレシーバーからの音声入力：CH2 HOT
16	CH-2 COLD	ワイヤレスレシーバーからの音声入力：CH2 COLD
17	+5.6V	ワイヤレスレシーバーへの電源
18	VIDEO OUT	未使用
19	VIDEO RET	未使用
20	VIDEO EN	未使用
21	RM 1 (RM CLK)	未使用
22	RM 2 (RM DATA)	未使用
23	RM 3 (RM WR)	未使用
24	RM +5V	未使用
25	RM GND	未使用

パナソニック品番 K1GB25A00010

メーカー品番 HDBB-25S(05)

(ヒロセ電機)



警告システム

警告内容一覧

電源を入れた直後や操作中に異常が検出されると、WARNING ランプ、ビューファインダー内のランプ、およびアラームが異常発生を知らせます。

◆NOTE:

各項目はWARNING ランプ、タリーランプ、アラームの優先順となっていて、同時に複数のエラーが起こった場合、順位が上のものを表示します。ただし「WIRELESS-RF」はメニュー設定により、表示しない場合があります。

1. システムエラー

表示窓内の表示	エラーコードが点灯します。
WARNING ランプ	1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	SYSTEM ERROR表示とエラーコードが点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	基準信号や通信の異常です。
記録・再生の動作	停止します。
対 策	「エラーコード」(162 ページ)を確認し、販売店にご相談ください。

2. カード取り出し異常

表示窓内の表示	エラーコードE-30が点滅します。
WARNING ランプ	1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	“TURN POWER OFF”表示が点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	アクセス中のP2カードを取り出したため、本機の内部メモリーに異常が発生しています。
記録・再生の動作	動作できません。
対 策	本機の電源を切ってください。取り出したP2カードのクリップに異常がある場合は、修復を行ってください。

3. バッテリーエンド

表示窓内の表示	バッテリー残量を示すバー表示が7つとも点滅します。
WARNING ランプ	点灯します。
タリーランプ	1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	BATT LEDが点灯します。
アラーム	連続して鳴ります。
警告内容	バッテリーの消耗です。
記録・再生の動作	停止します。
対 策	バッテリーを交換します。

4. P2カードエンド

表示窓内の表示	MEDIA残量バーが7つとも点滅します。
WARNING ランプ	記録後に何らかの操作を行うまで点灯し続けます。
タリーランプ	記録後に何らかの操作を行うまで1秒間に4回点滅し続けます。
ビューファインダー	“END”表示が点滅します。ライトプロテクトされたP2カードが挿入されている場合は“WP”表示が点灯します。
アラーム	記録後に何らかの操作を行うまで連続して鳴り続けます。
警告内容	P2カードの記録容量がなくなりました。
記録・再生の動作	記録を停止します。
対 策	P2カード内のクリップを消去するか、新しいP2カードを挿入してください。

5. 映像シーケンス異常 (24P、30P、25P)

表示窓内の表示	タイムコード表示部に“E-40”と表示します。
WARNING ランプ	1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	“REC WARNING”表示が点灯します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	24P、30P、25Pの映像シーケンスに異常があります。
記録・再生の動作	記録・再生は可能ですが有効な映像が欠落したり、TC、UBのシーケンスがずれたりすることがあります。
対 策	一度電源をOFFにし、再びONにしてから記録/再生の確認を行ってください。エラーが消えない場合は販売店にご相談ください。

6. 記録異常

表示窓内の表示	タイムコード表示部に“00:00:00:11”と表示します。記録停止後も、次の操作を行うまで点滅し続けます。
WARNING ランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	“REC WARNING”表示が点灯します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	P2カード記録、または記録回路の設定の異常です。1枚のP2カードにクリップ総数の上限(1000個)を超えて記録しようとした場合などに表示します。
記録・再生の動作	記録を継続する場合と、停止する場合があります。
対 策	一度電源をOFFにし、再びONにしてから記録/再生の確認を行ってください。正常に記録できない場合はP2カードを交換してください。

7. ワイヤレス受信低下

表示窓内の表示	表示しません。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。(待機中、記録中)
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に4回点滅します。
ビューファインダー	記録を継続中は“WIRELESS-RF”表示が点灯します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に4回鳴ります。
警告内容	ワイヤレスオーディオの受信状態が悪いことを示します。
記録・再生の動作	動作を継続しますが、ワイヤレスマイク受信ができていません。
対 策	マイクの電源や、レシーバーの受信状態をチェックしてください。

8. バッテリーニアエンド

表示窓内の表示	バッテリー残量を示すバー表示のうち1つが点滅します。
WARNINGランプ	1秒間に1回点滅します。
タリーランプ	1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	BATT LEDが点滅します。
アラーム	1秒間に4回鳴ります。
警告内容	バッテリーの消耗間近です。
記録・再生の動作	動作を継続します。
対 策	必要に応じて、バッテリーを交換します。

9. P2カードニアエンド

表示窓内の表示	MEDIA残量バーのうち1つが点滅します。
WARNINGランプ	記録を継続中は1秒間に1回点滅します。
タリーランプ	記録を継続中は1秒間に1回点滅します。
ビューファインダー	P2カード残量表示が点滅します。
アラーム	記録を継続中は1秒間に1回鳴ります。
警告内容	すべてのP2カードの記録残量の合計が残り2分以下です。
記録・再生の動作	動作を継続します。
対 策	カードを交換します。カードスロットに空きがある場合は新しいカードを挿入してください。

10. P2カードエラー

表示窓内の表示	記録時に発生すると、タイムコード表示部に“00:0000:11”と表示します。記録停止後も、次の操作を行うまで点滅し続けます。再生時に発生した場合は、表示しません。
WARNINGランプ	記録時に発生すると、記録停止後、1秒間に4回、約3秒間点滅します。再生時に発生した場合は、点灯しません。
タリーランプ	記録時に発生すると、記録停止後、1秒間に4回、約3秒間点滅します。再生時に発生した場合は、点灯しません。
ビューファインダー	“CARD ERR *”表示が点滅します。*には、エラーが発生したP2カードのスロット番号を表示します。
アラーム	記録時に発生すると、記録停止後、1秒間に4回、約3秒間鳴ります。再生時に発生した場合は、鳴りません。
警告内容	記録または再生中に、P2カードのエラーが発生しました。
記録・再生の動作	停止します。
対 策	P2カードを交換してください。

11. FAN STOP

表示窓内の表示	表示しません。
WARNINGランプ	1秒間に4回点滅します。
タリーランプ	表示しません。
ビューファインダー	“FAN STOP”表示が点滅します。
アラーム	鳴りません。
警告内容	ファンに異常があり、停止しています。
記録・再生の動作	動作を継続しますが、ファンが停止した状態で動作を続けると本機内の温度が上昇しますので、記録/再生が正常に行われない場合があります。
対 策	速やかに使用をやめ、販売店にご相談ください。

12. PROXYカードエラー

表示窓内の表示	表示しません。
WARNINGランプ	1秒間に4回、約3秒間点滅します。
タリーランプ	1秒間に4回、約5秒間点滅します
ビューファインダー	“PROXY CARD ERROR”表示が点灯します。
アラーム	鳴りません。
警告内容	ビデオエンコーダーカードの異常、またはストリームの異常が発生し、プロキシ記録を中止しました。
記録・再生の動作	動作を継続します。
対 策	ビデオエンコーダーカードの点検を行うか、プロキシ記録を行わないでください。

エラーコード

何らかの原因で本機にエラーが発生したときには、表示窓のタイムコード表示部に下記のエラーコードを表示します。警告の種類を確認し、「警告内容一覧」（160 ページ）の内容にしたがって対処してください。

コードNo.	内容	警告の種類
E-11	ビデオ初期化異常	1. システムエラー
E-27	記録制御の異常	1. システムエラー
E-30	P2カードの取り出し異常	2. カード取り出し異常
E-34	LCDマイコンの異常	1. システムエラー
E-38	P2ストリームマイコンの異常	1. システムエラー
E-39	AVC-Intra コーデックの初期化異常	1. システムエラー
E-3F	カメラ部制御のマイコンの異常	1. システムエラー
E-40	映像シーケンスの異常（24P、30P、25Pのとき）、GENLOCK異常	5. 映像シーケンス異常（24P、30P、25P）
E-63	システムコントロールマイコンの異常	1. システムエラー
E-6F	基準信号の異常	1. システムエラー
00:00:00:11	P2カードへの記録異常	6. 記録異常、10. P2カードエラー

カード警告コード

コードNo.	内容	記録動作	表示窓内の表示
E-70	P2カードのディレクトリの配置が不正規になっています。（ビューファインダーには「DIR NG CARD（スロット番号）」と表示します）	動作は継続しますが、速やかにカードのバックアップを取り、フォーマット後にご使用ください。	表示窓のタイムコード表示部に警告コードを2秒に1回の点滅で表示します。
E-71	P2カードの規定の書き換え回数を超過しています。（ビューファインダーには「RUN DOWN CARD（スロット番号）」と表示します）	動作は継続しますが、正常に記録または再生されないことがあります。P2カードの交換をお勧めします。	

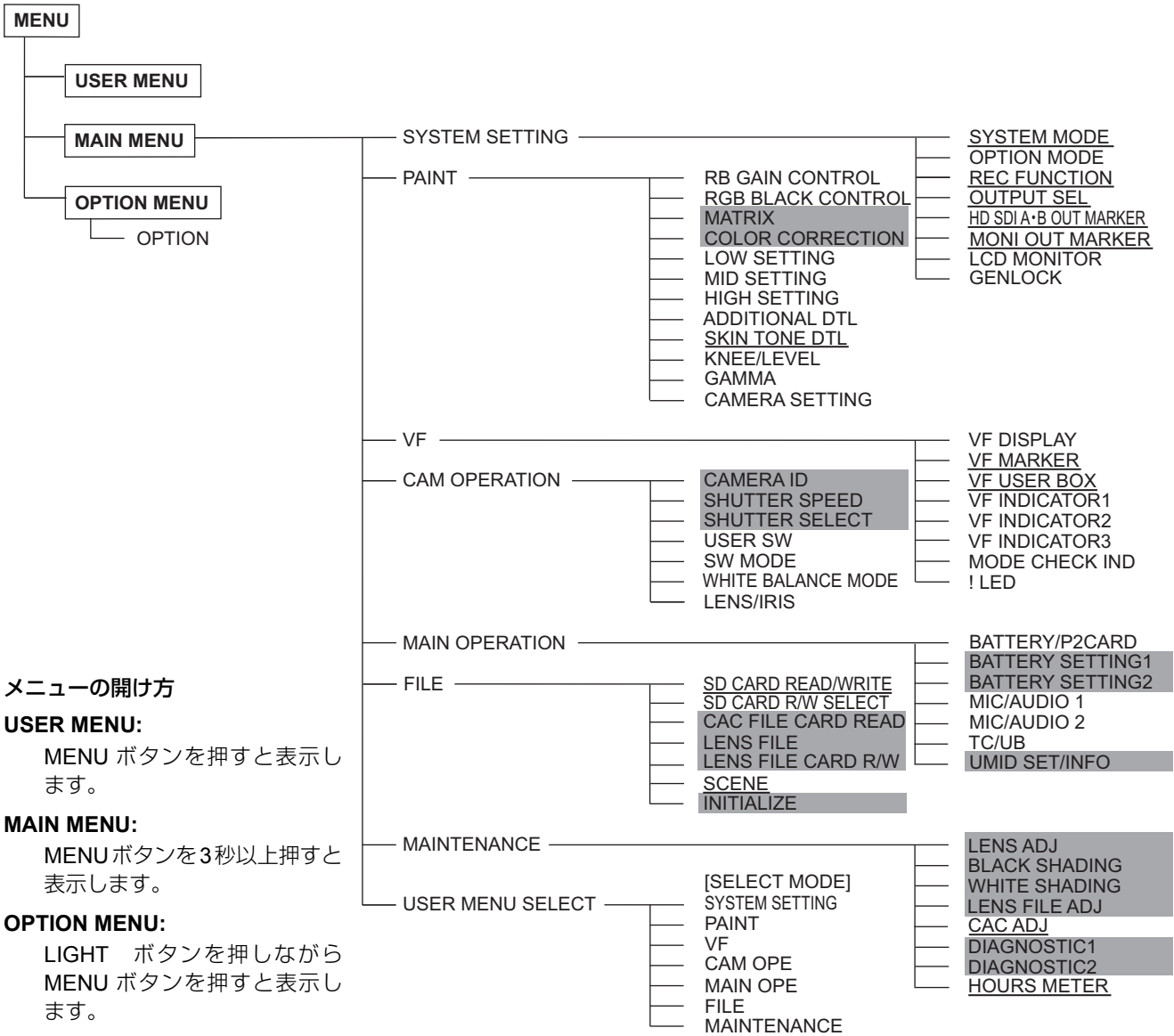
サムネール操作および USB ホストモードでの警告 / エラー表示

項目	メッセージ	内容	対応
サム ネール	CANNOT ACCESS!	コンテンツ不良などによりデータへアクセスできません。	メディア、クリップを正常な状態としてからご使用ください。
	WRITE PROTECTED!	P2、SDカードがライトプロテクトされています。	書き込み可能なメディアを挿入してください。
	CARD FULL!	P2、SDカードが一杯です。	空き領域のあるメディアを挿入してください。
	NO CARD!	P2、SDカードが入っていません。	対応メディアを挿入してください。
	NO FILE!	指定されたファイルが存在していません。	ファイルを確認してください。
	CANNOT COPY!	コピーができません。	コピーの条件を確認してください。
	CANNOT DELETE !	コンテンツバージョンが不整合のため削除できません。	機器とコンテンツのバージョンをあわせてください。
	UNKNOWN CONTENTS FORMAT!	コンテンツバージョンが不整合のときの警告です。	機器とコンテンツのバージョンをあわせてください。
	CANNOT FORMAT!	P2カードなどの問題でフォーマットができません。	P2カードを確認してください。
	CANNOT REPAIR!	修復できないコンテンツを選んでいるなどで修復ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	CANNOT RE-CONNECT!	複数枚のP2カードにまたがって記録したクリップではないコンテンツを選んでいたり、クリップの再結合ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	INVALID VALUE!	入力しようとしたデータ値が不正規です。	正常な範囲のデータを設定してください。
	UNKNOWN DATA!	メタデータの文字コードが不正規です。	メタデータの文字コードはUTF-8となっています。ビューアーなどで正しい文字を入力してください。
	CANNOT REPAIR IN SELECTION!	選択したクリップの一部が修復できませんでした。	
	NO SD CARD!	SDメモリーカードがありません。	SDメモリーカードを挿入してください。
	NO COPY TO SAME CARD!	コピー元とコピー先が同じカードのためコピーできません。	選択しているクリップが入っていないカードへコピーをしてください。
	SAME CLIP IS SELECTED!	既にコピーしたクリップと元のクリップを選択しているため、コピーできません。	選択したクリップを確認し、コピー元のクリップか、コピーされたクリップのいずれかを選択から外してからコピーを実行してください。
	USER CLIP NAME MODIFIED!	クリップ名にカウンター値を付加するときに文字削除が必要となりました。	カウンター付加の設定でユーザークリップ名とカウンターは合わせて100バイトまでしか保存できませんので、文字を自動的に削除します。
	TOO MANY CLIPS!	選択しているクリップが多すぎます。	選択しているクリップ数を減らしてください。
	LACK OF REC CAPACITY!	カードの記録容量が不足しています。	記録容量の十分あるカードを挿入してください。
CANNOT CHANGE!	AVC-Intra100またはAVC-Intra50で、サムネールが生成できず灰色になっているクリップは、テキストメモ位置でのサムネール変更はできません。	SYSTEM MODE項目をクリップに合わせて設定してください。	
MISSING CLIP!	複数枚のP2カードにまたがって記録されたクリップに、すべてのP2カードが挿入されていない状態でショットマークをつけようとしている。	またがって記録されたすべてのP2カードを挿入し、クリップの  不完全クリップインジケータを表示しなくなるのを確認してからショットマークをつけてください。	
ソフト キー ボード	CANNOT CHANGE!	テキストメモがない状態で「PERSON (メモ入力者)」項目を入力しようとしている。	「TEXT (テキスト情報)」項目を先に入力してください。
	CANNOT SET! INVALID VALUE!	入力された値が異常です。	入力値を変更してください。

項目	メッセージ	内容	対応
HDD (USB ホスト モード)	HDD CAPACITY FULL!	HDDの空き容量が足りません。	接続先のターゲットの残容量が足りないため、新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。
	TOO MANY PARTITIONS!	パーティションが多すぎます。	HDDの最大パーティション数は23ですので、新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。
	HDD DISCONNECTED!	HDDとの接続が切断されました。	USBを付け直してください。またその後正常に動作しないときは、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	CANNOT FORMAT!	初期化できません。	接続しているHDDを変更してください。
	TOO MANY TARGETS!	複数の機器が接続しています。	接続を解除後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	UNKNOWN DEVICE CONNECTED!	未対応のDVDドライブなどが接続されています。	接続を解除後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	CANNOT ACCESS TARGET!	接続先のターゲットのアクセス中にエラーが発生しました。	HDDの状態や接続を確認してください。
	CANNOT RECOGNIZE HDD!	接続先のターゲットが正しく認識できません。	HDDの電源を入れ直すか、接続するHDDを変更してください。
	CANNOT ACCESS CARD!	P2カードのアクセス中にエラーが発生しました。	P2カードを確認してください。
	MISMATCH COMPONENT!	コピー元とコピー先のP2カードの品番が不一致のため、コピーできません。	同一品番のP2カードを使用するか、クリップ単位でインポートしてください。
	P2 CARD IS UNFORMATTED!	P2カードが未フォーマットです。	フォーマットされたP2カードを使用してください。
	CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!	コピーするP2カードが空です。	空のカードはコピーする必要がないためコピーを行いません。
	VERIFICATION FAILED!	コピー後のコンペアが不一致でした。	再度コピーを行ってください。
	PLEASE FORMAT P2 CARD!	HDD→P2へのインポート時に、P2カードが記録済のためコピーできない警告です。	コピー先のP2カードが空でないため、コピーできません。P2機器でフォーマットした後に再度コピーを行ってください。

メニュー

メニュー構成



メニューの開け方

USER MENU:

MENU ボタンを押すと表示します。

MAIN MENU:

MENU ボタンを3秒以上押すと表示します。

OPTION MENU:

LIGHT ボタンを押しながら MENU ボタンを押すと表示します。

◆ NOTE:

- 灰色で囲まれた項目は、<USER MENU SELECT> で選択できません。
- 下線のついた項目は、<USER MENU SELECT> で項目全体（1ページ分）でのみ選択できます。各項目別で個別に選択できません。

メニュー一覧の見方

メニュー変更した内容が、それぞれのデータに記憶、またはデータから読み出しがされるかどうかを示します。一の場合は、記憶/読み出しできません。

- S** = シーンファイルデータとして記憶/読み出し可能です。
- C** = SD CARD READ/WRITE で記憶/読み出し可能です。
- U** = ユーザーデータとして記憶/読み出し可能です。「SCENE」（200 ページ）と「INITIALIZE」（200 ページ）を参照してください。
- F** = READ FACTORY DATA で読み出し可能です。「INITIALIZE」（200 ページ）を参照してください。
- R** = RC DATA SAVE で記憶のON/OFFが可能です。「リモートコントロールユニット（AJ-RC10G）の接続」（123 ページ）を参照してください。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SCAN REVERSE	OFF ON	フィルム用レンズやアナモフィックレンズを装着したとき、画像が反転するのを補正します。
S C U F R		

この項目の設定値の可変範囲や、選択できる設定項目を示します。

この項目で設定できる内容の説明です。

USER MENU: 出荷時にUSER MENUを設定しています。
また、ユーザー独自にメニュー操作で、
MAIN MENUページから<USER MENU
SELECT>画面を開き、各項目について使
用目的や設定頻度に応じた項目を選択して、
ユーザー固有のメニュー構成にすることが
できます。
詳しくは「USER MENUの選択」(168
ページ)を参照してください。
MENUボタンを押すと表示します。

MAIN MENU: 設定メニューの全項目を設定できます。
使用目的や、設定頻度などに応じてカテゴ
リー別に階層化した構成にしています。
MENUボタンを3秒以上押すと表示します。

SYSTEM SETTING :

本機の記録信号や、記録方式などを決める時
に使用する項目です。

PAINT : 波形モニターを使用してカメラの出力波形を
監視しながら、細かな画像調整をする場合の
項目です。通常ビデオエンジニアのサポート
が必要です。

このメニュー項目の設定は、外部のリモート
コントローラなどでも行えますが、本機を単
体で使用する場合に有効です。

VF : ビューファインダー画面上に表示する内容を
選択する場合の項目です。

CAM OPERATION :

本機を運用する時、被写体の条件などによっ
て設定を変更する項目です。

MAIN OPERATION :

オーディオやタイムコード、バッテリーや
P2カードの残量など、記録全般にかかわる
設定を行う項目です。

FILE : SDメモリーカードの読み書きや、レンズ
ファイルなどファイル関連操作を行う項目で
す。

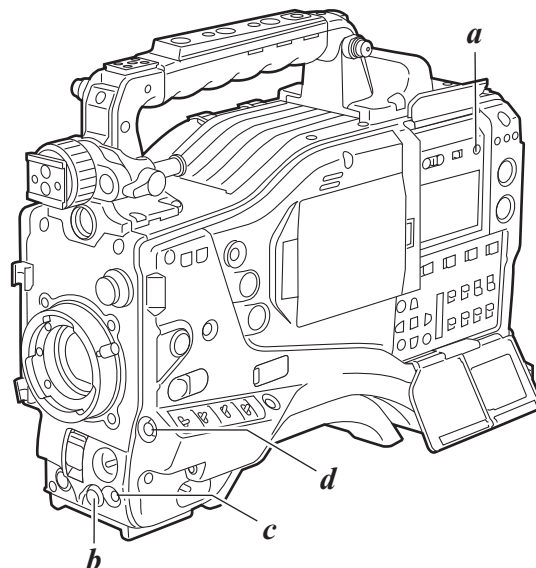
MAINTENANCE :

本機の保守点検を行う項目です。

USER MENU SELECT :

USER MENUを編集する時に使用する項目で
す。

OPTION MENU: 将来的な機能追加等を考慮したメニューを
準備しています。
LIGHTボタンを押しながらMENUボタンを
押すと表示します。



a. LIGHT ボタン
b. JOGダイヤルボタン
c. MENU ボタン
d. SHOT MARKER/MENU CANCEL ボタン

メニューの基本操作

メニュー設定の操作は、MENU ボタンと JOG ダイアルボタンで操作します。

メニューは、メインメニューとサブメニュー、および設定項目メニューに分かれています。

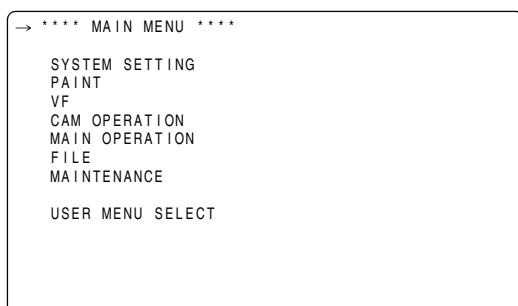
設定されたデータは、本機の内部メモリーに書き込まれ、保存されます。

ここでは、MAIN MENUでの操作について説明しますが、メニュー画面の呼び出し方以外の操作方法は、他のメニューも同じです。

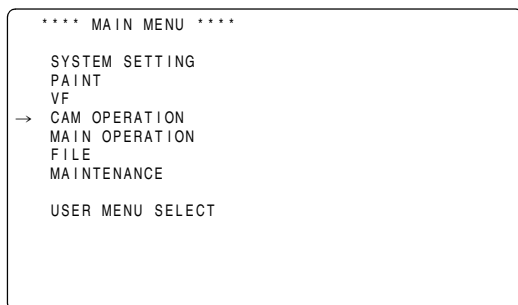
◆ NOTE:

サムネール操作中は、ビューファインダーに“THUMBNAIL OPEN”と表示され、メニュー操作はできません。

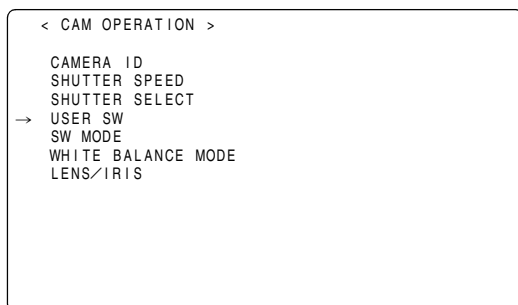
- 1 MENU ボタンを3秒間以上押します。
各カテゴリー別のメニュー画面が表示されます。



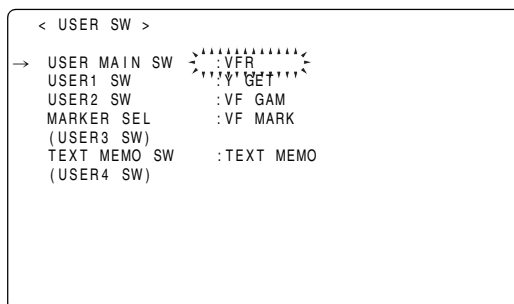
- 2 JOG ダイアルボタンを回して、設定したい項目にマーク (→) を移動し、JOG ダイアルボタンを押すとサブメニュー画面が表示されます。



- 3 JOG ダイアルボタンを回して、設定したい項目にマーク (→) を移動し、JOG ダイアルボタンを押すと設定項目メニュー画面が表示されます。



- 4 JOG ダイアルボタンを回して、設定したい項目にマーク (→) を移動し、JOG ダイアルボタンを押すと設定値内容が点滅します。



- 5 JOG ダイアルボタンを回して、設定値を変更します。

設定値を増加させるには
JOG ダイアルボタンをカメラ正面から見て時計方向に回します。

設定値を減少させるには
JOG ダイアルボタンをカメラ正面から見て反時計方向に回します。
回すたびに1段階切り替わります。早く回すと数値が速く変化し、ゆっくり回すと微調整ができます。

ON/OFFを切り替えるには
ONを選択するときは、JOG ダイアルボタンをカメラ正面から見て時計方向に回します。
OFFを選択するときは、JOG ダイアルボタンをカメラ正面から見て反時計方向に回します。

変更した設定値を元に戻すには
変更した値を元に戻すには、設定値が点滅状態のとき SHOT MARKER/MENU CANCEL ボタンを押すと、「PUSH CANCEL BACK TO PREV」と表示します。
ここで再度 SHOT MARKER/MENU CANCEL ボタンを押すと変更前の値に戻ります。

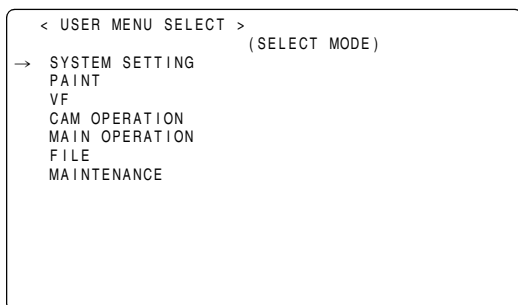
◆ NOTE:

- 以下のメニュー項目では SHOT MARKER/MENU CANCEL ボタンによるキャンセルができません。
 - ◆ USER MENU SELECT 画面の各ページ
 - ◆ FILE 画面の各ページ
 - ◆ CAMERA ID
 - ◆ WHITE BALANCE MODE ページの一部
 - ◆ BATTERY SETTING1・2
 - ◆ UMID SET/INFO
- 1080/23.98P および 1080/24P の時、液晶モニター上でメニュー表示がちらついて見えますが、故障ではありません。

- 6 JOGダイヤルボタンを押します。
設定値の点滅が停止し、設定値が確定します。
- 7 続けて同じページの設定項目を変更する場合には、手順4～6を繰り返します。
- 8 設定が終了すると、MENUボタンを押します。
メニュー設定モードが終了し、通常の操作モードに戻ります。

USER MENU の選択

メニュー操作で、MAIN MENUからUSER MENU SELECT ページを開き、さらに各設定項目メニュー画面を開き、USER MENUに必要な項目のみを選択します。
設定された項目のみがUSER MENUとして表示されます。
操作方法は、「メニューの基本操作」(167 ページ)を参照してください。



◆NOTE:

設定項目は「*」表示で有効になります。ただし設定可能な項目はカメラ関連が3ページ分、 $14 \times 3 = 42$ 項目と、メモリー記録部関連1ページ分14項目となります。ただし選択しているモードによって表示されないメニュー項目を選択している場合、設定可能な項目は少なくなります。

メニュー一覧

SYSTEM SETTING

可変範囲の____はプリセットモードです。

SYSTEM MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYSTEM MODE	1080-59.94i 1080-23.98PsF 1080-24PsF 1080-50i	システム周波数を切り替えます。 このメニューを切り替えたときは、 一度本機の電源をOFFにし、再度電 源をONにしてください。 ◆NOTE: ● USB DEVICEモード時は、この項 目は変更することができません。 ● AJ-RC10Gを接続して操作してい るときは、この項目は表示されま せん。
S C U F R		
REC FORMAT		記録コーデックモードおよび記録・ 撮影モードの設定を行います。 DVCPROHD: DVCPRO HD コーデックで記録 します。 AVC-I 100: AVC-Intra100 コーデックで記録 します。 AVC-I 50: AVC-Intra50 コーデックで記録し ます。
	DVCPROHD/60i AVC-I 100/60i AVC-I 100/30PN AVC-I 100/24PN AVC-I 50/60i AVC-I 50/30PN AVC-I 50/24PN	SYSTEM MODE項目で 1080-59.94i を選択した場合。 DVCPROHD/60iを選択すると、さら に CAMERA MODE 項目で撮影モー ドを細かく選択できます。
	AVC-I 100/24PN AVC-I 50/24PN	SYSTEM MODE項目で 1080- 23.98PsF または 1080-24PsF を選択 した場合。
	DVCPROHD/50i AVC-I 100/50i AVC-I 100/25PN AVC-I 50/50i AVC-I 50/25PN	SYSTEM MODE項目で 1080-50iを 選択した場合。 DVCPROHD/50iを選択すると、さら に CAMERA MODE 項目で撮影モー ドを細かく選択できます。
S C U F R		
CAMERA MODE	(1080-59.94i の DVCPROHD/60i) 60i 30P 24P 24PA (1080-50i の DVCPROHD/50i) 50i 25P (上記以外のモード) 24P 25P	DVCPRO HD で 1080-60i もしくは 1080-50i の場合、プルダウン方法 (従来どおりのカメラモード) を設定 します。
S C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
VFR	OFF ON	バリエラブルフレームレートを設定し ます。 OFF: 固定コマ数で動作します。 REC FORMAT項目で設定し たフレームレートで動作しま す。 ON: 可変コマ数で動作します。 FRAME RATE項目で設定し たフレームレートで動作しま す。 ◆NOTE: INTERVAL RECやLOOP RECを設 定すると、この項目はOFFを選択し た状態になります。
S C U F R		
24P VFR RANGE	24FRAME 30FRAME	VFR動作時の変更できるフレーム レートの上限を選択します。 この項目はSYSTEM MODE項目で "1080-23.98PsF"、"1080-24PsF" を選択している場合にのみ表示され ます。 ◆NOTE: この項目で "30FRAME" に設定し、 FRAME RATE項目で "24~ 30FRAME" に設定した場合、HD SDI出力信号のシーケンスが乱れま すが、故障ではありません。
	F	
FRAME RATE	(1080-59.94i, 1080-23.98PsF, 1080-24PsF) 1FRAME : 24FRAME : 30FRAME (1080-50i) 1FRAME : 25FRAME	VFR動作時の撮影コマ数を設定しま す。 他の項目でモードを変更して、この 項目での設定値がモードの最大フ レームレート数を超えた場合は、そ のモードでの最大値に変更されます。
S C U F R		
USR SW FRATE	(1080-59.94i, 1080-23.98PsF, 1080-24PsF) 1FRAME : 24FRAME : 30FRAME (1080-50i) 1FRAME : 25FRAME	USERボタンにFRATE機能を割り付 けたとき、USERボタンで開始する VFR動作時の撮影コマ数を設定しま す。 他の項目でモードを変更して、この 項目での設定値がモードの最大フ レームレート数を超えた場合は、そ のモードでの最大値に変更されます。
S C U F R		
SCAN REVERSE	OFF ON	フィルム用レンズやアナモフィック レンズを装着したとき、画像が反転 するのを補正します。
S C U F R		

OPTION MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
PC MODE SEL	USB HOST USB DEV.	PC MODE項目をONに設定し、外部機器をUSB接続したときの本機の動作モードを設定します。 USB HOST: 本機からUSB接続された機器にデータを転送可能です。 USB DEV.: USB接続された機器から本機にデータを転送可能です。 ◆ NOTE: PC MODE項目で“ON”が選択されているときは、この項目は変更できません。
	F	
PC MODE	ON OFF	本機を、パーソナルコンピュータや外部ハードディスクドライブとUSB2.0接続して使用できるモードを選択します。 ON: PC MODE SEL項目で選択したモードにします。 OFF: PC MODEを停止し、通常動作を行います。 ◆ NOTE: 一度電源をOFFにすると、次回電源ON時は必ず“OFF”に設定されます。
	F	

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ACCESS LED	OFF SLOT SIDE LCD SIDE BOTH	P2カードアクセスLEDを点灯するかどうか選択します。 OFF: スロット上部とサイドパネルの両方を消灯します。 SLOT SIDE: スロット上部のLEDのみ点灯し、サイドパネル側のLEDは消灯します。 LCD SIDE: サイドパネル側のLEDのみ点灯し、スロット上部のLEDは消灯します。 BOTH: スロット上部とサイドパネルの両方を点灯します。
	C U F	
P.OFF GPS DATA	HOLD CLEAR	電源OFF時、UMIDのGPS位置情報を保持しておいて、次に電源をONにしてから新たに測定できるまでの間、保持したデータを記録するかどうかを選択します。 HOLD: 保持して記録します。 CLEAR: 電源OFFと同時にクリアし、次の電源ONから測定までの間はゼロ(No-Info)を記録します。
	C U F	
SDI METADATA	ON OFF	HD SDIにメタデータ(UMID)を出力する/しないを設定します。
	C U F	
SAVE SW (AUD OUT)	ON OFF	SAVE ON/OFFスイッチを「ON」にしたとき、オーディオ出力を強制的に止めるかどうかを選択します。 ON: オーディオ出力を止めます。 OFF: オーディオ出力を止めません。
	C U F	
SAVE SW (LCD)	ON OFF	SAVE ON/OFFスイッチを「ON」にしたとき、液晶モニターを強制的に停止するかどうかを選択します。 ON: 液晶モニターを停止します。 OFF: 液晶モニターを停止しません。
	C U F	

REC FUNCTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
INTERVAL REC MODE	ON ONE SHOT OFF	INTERVAL REC機能を設定します。 ON: 本機の内蔵メモリーを使用して、間 欠記録を行います。 ONE SHOT: REC TIMEに設定された時間、1回 だけ記録し、停止します。 OFF: INTERVAL RECを行いません。 ◆ NOTE: LOOP REC MODE項目で「ON」が選 択されているときは、この項目は変更で きません。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
INTERVAL REC HOLD	ON OFF	一度電源をOFFにしたとき、 INTERVAL REC MODEの設定を保持す るかどうかを選択します。 ON: 保持します。 OFF: 保持しません。次に電源をONに したとき、必ずINTERVAL REC MODEはOFFになります。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
REC TIME*	00s01f : 59s29f	INTERVAL RECの記録時間(1カット) を設定します。 ◆ NOTE: 設定は1フレーム単位でできますが、記 録方式により、実動作での最短時間およ び設定時間の切り捨て単位フレーム数は 異なります。詳しくは「INTERVAL REC機能」(45ページ)を参照してく ださい。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
PAUSE TIME*	00h00m00s01f : 00h04m59s23f : 23h59m59s29f	INTERVAL RECの一時停止時間を設定 します。 ◆ NOTE: 設定は1フレーム単位でできますが、記 録方式により、実動作での最短時間およ び設定時間の切り捨て単位フレーム数は 異なります。詳しくは「INTERVAL REC機能」(45ページ)を参照してく ださい。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
TAKE TOTAL TIME	NONE : 5day	INTERVAL RECの撮影に要する時間の 設定をします。 NONE(手で停止するまで続ける)か ら5day(5日間)の中から選択します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
TOTAL REC TIME*	NONE 00m00s01f : 99m59s29f OVER100min	INTERVAL RECの総記録時間を表示し ます。ここでの設定変更はできません。 REC TIME、PAUSE TIME、TAKE TOTAL TIMEから計算した記録時間(必 要なP2カードの記録時間)を表示しま す。 ◆ NOTE: 実動作に基づいた値を表示します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
AUDIO REC	ON OFF	INTERVAL RECの音声記録の有無を選 択します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
START DELAY	0SEC : 10SEC	INTERVAL RECでRECスタートを押し てから、記録を開始するまでの時間を設 定します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
PRE REC MODE	ON OFF	PRE RECORDINGを行うかどうかを選 択します。 ON: PRE RECORDINGを行います。 OFF: PRE RECORDINGを行いませ ん。 ◆ NOTE: PRE RECORDINGを行う時間の設定 は、PRE REC TIME項目で行います。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	

* この可変範囲は59.94 Hzでの数値です。50 Hzではフレーム桁
は24fまでになります。また24PN (Native) モードではフレー
ム桁は23fまでになります。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
PRE REC TIME	1SEC : 8SEC	PRE RECORDINGの設定をします。 1-8SEC: REC STARTボタンを押してから、 さかのぼって記録できる時間の設定 をします。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
LOOP REC MODE	ON OFF	LOOP RECを行うかどうかを選択しま す。 PRE RECORDINGと併用することもで きます。 ON: LOOP RECを行います。 OFF: LOOP RECを行いません。 ◆ NOTE: ● この項目は、一度電源をOFFにする と、次回電源をONにしたときは必ず OFFに設定されます。 ● INTERVAL REC MODE項目で「ON」 または「ONE SHOT」が選択されて いるときは、この項目は変更できませ ん。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
REC START	ALL NORMAL	記録開始の受け付けを選択します。 ALL: 停止中、記録一時停止中、再 生中に記録開始を受け付けま す。 NORMAL: 停止中、記録一時停止中に記 録開始を受け付けます。 ◆ NOTE: INTERVAL REC MODEを「ON」また は「ONE SHOT」に設定しているとき は、本項目を「ALL」に設定してても 「NORMAL」の動作になります。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
P.ON REC SLOT SEL	HOLD SLOT1	電源をONにしたとき、記録対象になる スロットの順序を選択します。 HOLD: 前回、電源をOFFにしたときの 記録スロットから記録します。 SLOT1: 電源をONにするたびに、スロッ ト1から順に記録対象カードになり ます。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	

◆ NOTE:

REC TIME、PAUSE TIMEおよびTOTAL REC TIMEは、ド
ロップフレーム動作中はドロップフレーム換算に、ノンド
ロップフレーム時はノンドロップフレーム換算になります。
TAKE TOTAL TIMEは実時間です。したがって設定によっ
てはTOTAL REC TIMEに端数がつきます。

ドロップフレーム時の例

REC TIME	02s00f
PAUSE TIME	02s00f
TAKE TOTAL TIME	40min
TOTAL REC TIME	19m59s06f

OUTPUT SEL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SIGNAL FORMAT	4:2:2 4:4:4	HD SDI A・B端子から出力される信号方式を選択します。 4:2:2: YPrPb 4:2:2方式を選択します。 4:4:4: RGB 4:4:4方式を選択します。 HD SDI A端子からLINK A信号を、HD SDI B端子からLINK Bを出力します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
P-10LOG	ON OFF	ON: P-10LOG形式の信号が出力されます。 GAMMA MODE SEL 項目で“FILM-REC”を設定し、 SIGNAL FORMAT 項目で“4:4:4”を設定時に有効です。 OFF: GAMMA MODE SEL 項目で設定した信号形式で出力されます。 ◆ NOTE: この項目で“ON”を選択しているとき、2D-CMSも同時に動作します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
OUTPUT ITEM	MENU ONLY TC STATUS	HD SDI A・B端子、およびMON OUT端子の出力信号に重畳するキャラクターの内容を設定します。 MENU ONLY: メニューの時のみ表示します。通常は何も表示しません。 TC: タイムコードを表示します。 (メニューの時はメニューを表示)ただし1080/23.98PsF、1080/24PsFのときはフレーム桁が正しく表示されません。 STATUS: VFに重畳しているキャラクターと同じものを全て表示します。(メニューの時はメニューを表示)
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
HD SDI A・B CHAR	OFF A B BOTH	HD SDI A・B端子にキャラクターを重畳するかどうかを選択します。(キャラクターの内容はHD SDI A・B/MON OUTですべて同一です) OFF: 重畳しません。 A: HD SDI A端子にキャラクターを重畳します。 B: HD SDI B端子にキャラクターを重畳します。 BOTH: HD SDI A端子とHD SDI B端子にキャラクターを重畳します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
MONITOR OUT	VBS HD SDI	MON OUT端子の出力信号を選択します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
MONITOR GAMMA	ON OFF	GAMMA MODE SEL 項目でFILM-RECを選択している場合、MON OUT、RC OUT、LCD OUTの各信号に、テレビネ変換補正を行うかどうかを設定します。 ON: 補正します。 OFF: 補正しません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
VF/LCD CHAR	VF-OFF LCD-OFF ON	LCDモニターおよびビューファインダーの映像に、キャラクターを重畳するかを選択します。 ただし、MON OUT、VF OUT、LCD OUT信号のいずれかからはキャラクターは出力されません。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
VF MODE	MEM CAM	EVF画面に表示される画像を選択します。 MEM: 再生モードでは再生画になります。それ以外はカメラ画像を表示します。 CAM: 常にカメラ画像になります。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
VF SEL	MONO COLOR	ビューファインダー端子に出力されるビデオ信号を切り替えます。 MONO: ビューファインダー端子にY信号のみを出力します。 COLOR: ビューファインダー端子にY、Pb、Pr信号を出力します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
THUMBNAIL OUT	ON OFF	液晶モニターに表示するクリップのサムネールをMON OUT信号(VBS)とREMOTE端子にも出力するかを選択します。 ON: 出力します。 OFF: 出力しません。 ◆ NOTE: MON OUT OUTPUT SELスイッチが「CAM」の位置でも、この項目で“ON”を選択しているときは、サムネールが出力されます
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
DOWNCON MODE	SQUEEZE LT-BOX	ダウンコンバーター出力信号のモードを設定します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

HD SDI A・B OUT MARKER

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MARKER SW	OFF A B BOTH	マーカの切り替えを行います。 OFF: 表示しません。 A: HD SDI A端子からの映像信号に表示します。 B: HD SDI B端子からの映像信号に表示します。 BOTH: HD SDI A・B両方の端子からの映像信号に表示します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
CENTER MARK	OFF 1 2 3 4	センターマークの切り替えを行います。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
SAFETY MARK	OFF 1 2	セフティゾーンの種類を選択します。 OFF: 表示しません。 1: BOX  2: コーナー枠 
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
SAFETY AREA	80% 90% 100%	セフティマーカの大きさを設定します。 縦と横の比率は一定のまま、1%ずつの設定が可能です。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
FRAME MARK	ON OFF	フレームマーカのON/OFFの選択を行います。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
FRAME SIG	4:3 13:9 14:9 VISTA CNSCO	フレームマーカの設定を行います。 VISTAは16:8.65、CNSCOは16:6.81です。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
USER BOX	ON OFF	ユーザーボックスをHD SDI A・B端子からの信号に表示するかどうかの設定を行います。
— C U F R		
USER BOX WIDTH	1 :13 :100	ユーザーボックスの幅を設定します。
— C U F R		
USER BOX HEIGHT	1 :13 :100	ユーザーボックスの高さを設定します。
— C U F R		
USER BOX H POS	-50 :00 :+50	ユーザーボックスのセンターの水平位置を設定します。
— C U F R		
USER BOX V POS	-50 :00 :+50	ユーザーボックスのセンターの垂直位置を設定します。
— C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
USER BOX	ON OFF	ユーザーボックスをMON OUT端子からの信号に表示するかどうかの設定を行います。
— C U F R		
USER BOX WIDTH	1 :13 :100	ユーザーボックスの幅を設定します。
— C U F R		
USER BOX HEIGHT	1 :13 :100	ユーザーボックスの高さを設定します。
— C U F R		
USER BOX H POS	-50 :00 :+50	ユーザーボックスのセンターの水平位置を設定します。
— C U F R		
USER BOX V POS	-50 :00 :+50	ユーザーボックスのセンターの垂直位置を設定します。
— C U F R		

MONI OUT MARKER

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CENTER MARK	OFF 1 2 3 4	センターマークの切り替えを行います。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
— C U F R		
SAFETY MARK	OFF 1 2	セフティゾーンの枠の種類を選択します。 OFF: 表示しません。 1: BOX  2: コーナー枠 
— C U F R		
SAFETY AREA	80% :90% :100%	セフティーマーカーの大きさを設定します。 縦と横の比率は一定のまま、1%ずつの設定が可能です。
— C U F R		
FRAME MARK	ON OFF	フレームマーカーのON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
FRAME SIG	4:3 13:9 14:9 VISTA CNSCO	フレームマーカーの設定を行います。 VISTAは16:8.65、CNSCOは16:6.81です。
— C U F R		

LCD MONITOR

項目/ データ保存	可変範囲	備考
BRIGHTNESS	-7 :0 :+7	液晶モニターの輝度を調整します。
— C U F		
COLOR LEVEL	-7 :0 :+7	液晶モニターの色の濃度を調整します。
— C U F		
CONTRAST	-7 :0 :+7	液晶モニターのコントラストを調整します。
— C U F		
BACKLIGHT	NORMAL HIGH	バックライトの調整を行います。 NORMAL: 通常使用するモードです。 HIGH: NORMALより明るくなります。
— C U F		
SELF SHOOT	NORMAL MIRROR	液晶モニターの画像を左右反転するかどうかを選択します。 NORMAL: 左右反転しません。 MIRROR: 左右反転します。
— C U F		

GENLOCK

項目/ データ保存	可変範囲	備考
GENLOCK	INT EXT	カメラ信号の同期信号を切り替えます。 INT: GENLOCK IN端子に入力された基準信号に関係なく内部の基準信号に同期します。 EXT: GENLOCK IN端子に入力された基準信号に同期します。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
GL PHASE	HD SDI COMPOSIT	GENLOCK IN端子に入力された信号に、位相をロックさせる出力信号を選択します。ただし1080/23.98PsF、1080/24PsFのときは、COMPOSITを選択してもHD SDIの位相にロックされます。 HD SDI: HD SDI出力信号をゲンロック入力にロックさせます。 ダウンコンバーター出力信号は、映像のスタート位置が約90ライン遅れます。 COMPOSIT: ダウンコンバーター出力信号をゲンロック入力にロックさせます。 HD SDI出力信号は、映像のスタート位置が約90ライン進みます。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
H PHASE COARSE	-100 : +000 : +100	システムを組む際に水平同期の位相合わせの粗調整を行ないます。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
H PHASE FINE	-100 : +000 : +100	システムを組む際に水平同期の位相合わせの微調整を行ないます。
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		

PAINT

可変範囲の _____ はプリセットモードです。

RB GAIN CONTROL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R GAIN AWB PRE*	-200 : +000	WHITE BALスイッチがPRSTの位置のときのRchゲインを設定します。
S C U F R	+200	
B GAIN AWB PRE*	-200 : +000	WHITE BALスイッチがPRSTの位置のときのBchゲインを設定します。
S C U F R	+200	
R GAIN AWB A*	-200 : +000	WHITE BALスイッチがAの位置のときのRchゲインを設定します。
S C U F R	+200	
B GAIN AWB A*	-200 : +000	WHITE BALスイッチがAの位置のときのBchゲインを設定します。
S C U F R	+200	
R GAIN AWB B*	-200 : +000	WHITE BALスイッチがBの位置のときのRchゲインを設定します。
S C U F R	+200	
B GAIN AWB B*	-200 : +000	WHITE BALスイッチがBの位置のときのBchゲインを設定します。
S C U F R	+200	
AWB A GAIN OFFSET*	ON OFF	WHITE BALスイッチをAの位置にしてオートホワイトバランスを行ったときの、RchゲインとBchゲインの値を設定します。 ON: R GAIN AWB A項目とB GAIN AWB A項目で設定した値を保持したままにします。 OFF: RchゲインとBchゲインの値を「0」にします。
S C U F R		
AWB B GAIN OFFSET*	ON OFF	WHITE BALスイッチをBの位置にしてオートホワイトバランスを行ったときの、RchゲインとBchゲインの値を設定します。 ON: R GAIN AWB B項目とB GAIN AWB B項目で設定した値を保持したままにします。 OFF: RchゲインとBchゲインの値を「0」にします。
S C U F R		

RGB BLACK CONTROL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER PED*	-200 : +000	マスターペDESTALのレベルを設定します。
S C U F R	+200	
R PEDESTAL*	-100 : +000	RchのペDESTALレベルを設定します。
S C U F R	+100	
G PEDESTAL*	-100 : +000	GchのペDESTALレベルを設定します。
S C U F R	+100	
B PEDESTAL*	-100 : +000	BchのペDESTALレベルを設定します。
S C U F R	+100	
PEDESTAL OFFSET*	ON OFF	オートブラックバランスの調整を行ったときの、Rch、Gch、BchのペDESTALレベルを設定します。 ON: R PEDESTAL、G PEDESTAL、B PEDESTALの各項目で設定した値を保持したままにします。 OFF: Rch、Gch、BchのペDESTALレベルを「0」にします。
S C U F R		
R FLARE*	-100 : +000	Rchのフレアレベルを調整します。 <LENS FILE ADJ> 画面で調整されたフレア調整値に対して、この項目の調整値が加算されます。
S C U F R	+100	
G FLARE*	-100 : +000	Gchのフレアレベルを調整します。 <LENS FILE ADJ> 画面で調整されたフレア調整値に対して、この項目の調整値が加算されます。
S C U F R	+100	
B FLARE*	-100 : +000	Bchのフレアレベルを調整します。 <LENS FILE ADJ> 画面で調整されたフレア調整値に対して、この項目の調整値が加算されます。
S C U F R	+100	

* リモートコントロールユニットが接続されたときは、メニューでの設定ができなくなります。(設定値の表示は行います。)

MATRIX

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MATRIX TABLE	A B	リニアマトリックス用の色補正テーブル を選択します。
S C U F R		
MATRIX R-G	-63 +31	リニアマトリックスの調整を行います。 (赤 - 緑)
S C U F R	+63	
MATRIX R-B	-63 -04	リニアマトリックスの調整を行います。 (赤 - 青)
S C U F R	+63	
MATRIX G-R	-63 -01	リニアマトリックスの調整を行います。 (緑 - 赤)
S C U F R	+63	
MATRIX G-B	-63 +04	リニアマトリックスの調整を行います。 (緑 - 青)
S C U F R	+63	
MATRIX B-R	-63 +01	リニアマトリックスの調整を行います。 (青 - 赤)
S C U F R	+63	
MATRIX B-G	-63 -01	リニアマトリックスの調整を行います。 (青 - 緑)
S C U F R	+63	
■L MATRIX TABLE	OFF A B	GAINスイッチがLの位置のときの色補 正テーブルを選択します。
S C U F R		
■M MATRIX TABLE	OFF A B	GAINスイッチがMの位置のときの色補 正テーブルを選択します。
S C U F R		
■H MATRIX TABLE	OFF A B	GAINスイッチがHの位置のときの色補 正テーブルを選択します。
S C U F R		

◆ NOTE:

- 名前の先頭に ■ が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT> 画面の PAINT MENU SW(■) R/W 項目の設定対象です。
■ が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W 項目の設定対象になります。
詳しくは「SD CARD R/W SELECT」(198 ページ) を参照してください。
- MATRIX TABLE B の各リニアマトリックスデータのプリセットモードは、すべて +00 に設定されています。

COLOR CORRECTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R (SAT)	-63 +00	赤の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
R-Mg (SAT)	-63 +00	赤とマゼンタの間の色飽和度を補正しま す。
S C U F R	+63	
Mg (SAT)	-63 +00	マゼンタの色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
Mg-B (SAT)	-63 +00	マゼンタと青の間の色飽和度を補正しま す。
S C U F R	+63	
B (SAT)	-63 +00	青の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
B-Cy (SAT)	-63 +00	青とシアンの間の色飽和度を補正しま す。
S C U F R	+63	
Cy (SAT)	-63 +00	シアンの色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
Cy-G (SAT)	-63 +00	シアンと緑の間の色飽和度を補正しま す。
S C U F R	+63	
G (SAT)	-63 +00	緑の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
G-YI (SAT)	-63 +00	緑と黄の間の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
YI (SAT)	-63 +00	黄の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	
YI-R (SAT)	-63 +00	黄と赤の間の色飽和度を補正します。
S C U F R	+63	

LOW SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R (PHASE)	-63 :00 +63	赤の色相を補正します。
S C U F R	+63	
R-Mg (PHASE)	-63 :00 +63	赤とマゼンタの間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
Mg (PHASE)	-63 :00 +63	マゼンタの色相を補正します。
S C U F R	+63	
Mg-B (PHASE)	-63 :00 +63	マゼンタと青の間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
B (PHASE)	-63 :00 +63	青の色相を補正します。
S C U F R	+63	
B-Cy (PHASE)	-63 :00 +63	青とシアンの間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
Cy (PHASE)	-63 :00 +63	シアンの色相を補正します。
S C U F R	+63	
Cy-G (PHASE)	-63 :00 +63	シアンと緑の間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
G (PHASE)	-63 :00 +63	緑の色相を補正します。
S C U F R	+63	
G-YI (PHASE)	-63 :00 +63	緑と黄の間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
YI (PHASE)	-63 :00 +63	黄の色相を補正します。
S C U F R	+63	
YI-R (PHASE)	-63 :00 +63	黄と赤の間の色相を補正します。
S C U F R	+63	
■COLOR CORRECT	ON OFF	GAINスイッチで選択されているポジ ション (L、M、H) の12軸独立色補正 のON/OFFを切り替えます。
S C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MASTER GAIN	-3dB :0dB	マスターゲインを-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30 dBから選択します。
S C U F R	30 dB	
H.DTL LEVEL	00 :10 :63	水平ディテール補正レベルの設定を行いま す。
S C U F R	63	
V.DTL LEVEL	00 :15 :31	垂直ディテール補正レベルの設定を行いま す。
S C U F R	31	
DTL CORING	00 :04 :60	ディテールのノイズ除去レベルを設定しま す。
S C U F R	60	
H.DTL FREQ.	00 :18 :31	水平ディテール周波数の選択を行いま す。
S C U F R	31	
LEVEL DEPEND.	0 1 5	LEVEL DEPENDの設定を行います。 Yディテール強調時、暗部のディテール を圧縮します。 数値が大きいほど、明るい部分のディ テールも圧縮します。
S C U F R		
MASTER GAMMA	0.30 :0.45	マスターガンマの設定を行います。 (0.01ステップ)
S C U F R	0.75	
BLACK GAMMA	-8 :OFF	暗部のガンマカーブの設定を行います。 -8~-1: 暗部を圧縮します。 OFF: 標準状態 +1~+8: 暗部を伸張します。
S C U F R	+8	
B.GAMMA RANGE	1 2 3	圧縮 / 伸張を行う上限レベルの設定を行 います。 1: 20%程度 2: 30%程度 3: 40%程度
S C U F R		
■MATRIX TABLE	OFF A B	リニアマトリックス用の色補正テー ブルを選択します。
S C U F R	B	
■COLOR CORRECT	ON OFF	12軸独立色補正のON/OFFを切り替え ます。
S C U F R		

◆ NOTE:

- 名前の先頭に■が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象です。■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W項目の設定対象になります。詳しくは「SD CARD R/W SELECT」(198 ページ)を参照してください。

- マスターゲインを“-3dB”に設定して撮影を行うと、高輝度部の映像に着色現象が発生することがあります。OUTPUT/AUTO KNEEスイッチを「CAM/AUTO KNEE OFF」に切り替え、<KNEE/LEVEL>画面のMANUAL KNEE項目を“ON”に設定後、以下のメニュー項目を変更することで着色現象を軽減することができます。

- ◆ <GAMMA>画面のGAMMA MODE SEL項目で“HD”、“SD”、“FILMLIKE1”、“FILMLIKE2”、“FILMLIKE3”を選択している場合は、<KNEE/LEVEL>画面のKNEE MASTER SLOPE項目の値を小さくします。
- ◆ <GAMMA>画面のGAMMA MODE SEL項目で“FILM-REC”を選択している場合は、<GAMMA>画面のF-REC DYNAMIC LVL項目の値を小さくします。
- ◆ <GAMMA>画面のGAMMA MODE SEL項目で“VIDEO-REC”を選択している場合は、<GAMMA>画面のV-REC KNEE SLOPE項目の値を小さくします。

MID SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MASTER GAIN	-3dB : 3dB	マスターゲインを-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30 dBから選択します。
S C U F	30 dB	
H.DTL LEVEL	00 : 08	水平ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F	63	
V.DTL LEVEL	00 : 12	垂直ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F	31	
DTL CORING	00 : 12	ディテールのノイズ除去レベルを設定します。
S C U F	60	
H.DTL FREQ.	00 : 18	水平ディテール周波数の選択を行います。
S C U F	31	
LEVEL DEPEND.	0 1 : 5	LEVEL DEPENDの設定を行います。 Yディテール強調時、暗部のディテールを圧縮します。 数値が大きいくほど、明るい部分のディテールも圧縮します。
S C U F		
MASTER GAMMA	0.30 : 0.45	マスターガンマの設定を行います。 (0.01ステップ)
S C U F	0.75	
BLACK GAMMA	-8 : OFF : +8	暗部のガンマカーブの設定を行います。 -8~-1: 暗部を圧縮します。 OFF: 標準状態 +1~+8: 暗部を伸張します。
S C U F		
B.GAMMA RANGE	1 2 : 3	圧縮 / 伸張を行う上限レベルの設定を行います。 1: 20%程度 2: 30%程度 3: 40%程度
S C U F R		
■MATRIX TABLE	OFF A : B	リニアマトリックス用の色補正テーブルを選択します。
S C U F		
■COLOR CORRECT	ON OFF	12軸独立色補正のON/OFFを切り替えます。
S C U F		

HIGH SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■MASTER GAIN	-3dB : 6dB : 30 dB	マスターゲインを-3, 0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30 dBから選択します。
S C U F		
H.DTL LEVEL	00 : 06 : 63	水平ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F		
V.DTL LEVEL	00 : 10 : 31	垂直ディテール補正レベルの設定を行います。
S C U F		
DTL CORING	00 : 12 : 60	ディテールのノイズ除去レベルを設定します。
S C U F		
H.DTL FREQ.	00 : 18 : 31	水平ディテール周波数の選択を行います。
S C U F		
LEVEL DEPEND.	0 : 3 : 5	LEVEL DEPENDの設定を行います。 Yディテール強調時、暗部のディテールを圧縮します。 数値が大きいほど、明るい部分のディテールも圧縮します。
S C U F		
MASTER GAMMA	0.30 : 0.45 : 0.75	マスターガンマの設定を行います。 (0.01ステップ)
S C U F		
BLACK GAMMA	-8 : OFF : +8	暗部のガンマカーブの設定を行います。 -8~-1: 暗部を圧縮します。 OFF: 標準状態 +1~+8: 暗部を伸張します。
S C U F		
B.GAMMA RANGE	1 2 3	圧縮 / 伸張を行う上限レベルの設定を行います。 1: 20%程度 2: 30%程度 3: 40%程度
S C U F R		
■MATRIX TABLE	OFF A B	リニアマトリックス用の色補正テーブルを選択します。
S C U F		
■COLOR CORRECT	ON OFF	12軸独立色補正のON/OFFを切り替えます。
S C U F		

◆ NOTE:

名前の先頭に■が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象です。

■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W項目の設定対象になります。

詳しくは「SD CARD R/W SELECT」(198 ページ)を参照してください。

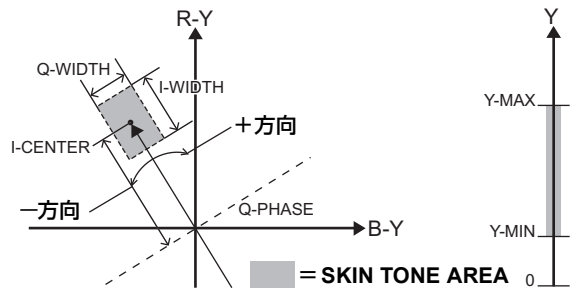
ADDITIONAL DTL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
KNEE APE LVL	OFF 1 : 5	高輝度部のディテールレベルを変えます。
S C U F R		
DTL GAIN(+)	-31 : +00 : +31	ディテールの+ (上) 方向のレベルを変えます。
S C U F R		
DTL GAIN(-)	-31 : +00 : +31	ディテールの- (下) 方向のレベルを変えます。
S C U F R		
DTL CLIP	00 : 63	ディテール信号をクリップするレベルを設定します。
S C U F R		
DTL SOURCE	(R+G)/2 (G+B)/2 2G+R+B /4 (3G+R)/4 R G	ディテールを作成するRGB信号成分の比率を設定します。
S C U F R		
MASTER DTL	-31 : +00 : +31	マスターディテールレベルを変えます。
S C U F R		

SKIN TONE DTL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
■SKIN TONE DTL	OFF A B AB	スキントーンディテールを効かせる肌色 テーブルを選択します。 肌色テーブルは、DETECT TABLE 項目 で作成します。 スキントーンディテールを効かせること で、人物の肌をより滑らかに撮影するこ とができます。
S C U F R		
■ZEBRA VF	ON OFF	ビューファインダー画面に表示されるス キントーンエリアに、ゼブラパターンを 表示する設定を行います。 この項目を「ON」にして<SKIN TONE DTL>画面を開いているときにゼブラパ ターンを表示します。 ゼブラパターンは、SKIN TONE DTL 項 目で選択されたエリアを表示します。
S C U F R		
■ZEBRA HD SDI A	ON OFF	HD SDI A 信号にスキントーンゼブラを 表示する設定を行います。 この項目を「ON」にして<SKIN TONE DTL>画面を開いているときにゼブラパ ターンを表示します。 ゼブラパターンは、SKIN TONE DTL 項 目で選択されたエリアを表示します。
S C U F R		
■ZEBRA HD SDI B	ON OFF	HD SDI B 信号にスキントーンゼブラを 表示する設定を行います。 この項目を「ON」にして<SKIN TONE DTL>画面を開いているときにゼブラパ ターンを表示します。 ゼブラパターンは、SKIN TONE DTL 項 目で選択されたエリアを表示します。
S C U F R		
■ZEBRA MONI	ON OFF	MON OUT 信号にスキントーンゼブラを 表示する設定を行います。 この項目を「ON」にして<SKIN TONE DTL>画面を開いているときにゼブラパ ターンを表示します。 ゼブラパターンは、SKIN TONE DTL 項 目で選択されたエリアを表示します。
S C U F R		
DETECT TABLE	A B	スキントーンテーブルを効かせる被写体 の肌色テーブルを選択します。
S C U F R		
SKIN TONE GET		DETECT TABLE 項目で選択された A ま たは、B の色情報をセンターマーカー付 近で取得します。 実行すると I CENTER ~ Q PHASE の データが自動で取得されます。 取得したデータは、DETECT TABLE 項 目で選択された A または、B のテーブ ルデータになります。 A と B の両方を同時に色情報を得るこ とはできません。
SKIN DTL EFFECT	0 16 31	スキントーンディテールの効果レベルを 設定します。
S C U F R		
Y MAX	000 190	スキントーンを効かせる輝度信号最大値 の設定を行います。
S C U F R		
Y MIN	000 010	スキントーンを効かせる輝度信号最小値 の設定を行います。
S C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
I CENTER	000 035	I 軸上の中心位置の設定 (スキントーン を効かせるエリアの設定) を行います。
S C U F R		
I WIDTH	000 055	I CENTER を中心とした I 軸上のスキ ントーンを効かせるエリア幅の設定を行 います。
S C U F R		
Q WIDTH	00 10	I CENTER を中心とした Q 軸上のスキ ントーンを効かせるエリア幅の設定を行 います。
S C U F R		
Q PHASE	-180 +000	Q 軸を基準としたスキントーンを効か せるエリアの位相の設定を行います。
S C U F R		



◆ NOTE:

名前の先頭に■が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>
画面の PAINT MENU SW(■) R/W 項目の設定対象です。
■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W 項目の
設定対象になります。
詳しくは「SD CARD R/W SELECT」(198 ページ) を参照
してください。

KNEE/LEVEL

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER PED	-200 +000	マスターペDESTAL の設定を行います。
S C U F R		
■MANUAL KNEE	ON OFF	AUTO KNEE スイッチが OFF 時のモー ド設定を行います。ON 時に KNEE MASTER POINT/SLOPE の設定値が有 効になります。
S C U F R		
KNEE MASTER POINT	70.0% 93.0%	二一ポイントの位置設定を 0.5% ステ ップで行います。
S C U F R		
KNEE MASTER SLOPE	00 85	二一の傾き設定を行います。
S C U F R		
■WHITE CLIP	ON OFF	ホワイトクリップ機能の ON/OFF を選 択します。ON 時に WHITE CLIP LVL の 設定値が有効になります。
S C U F R		

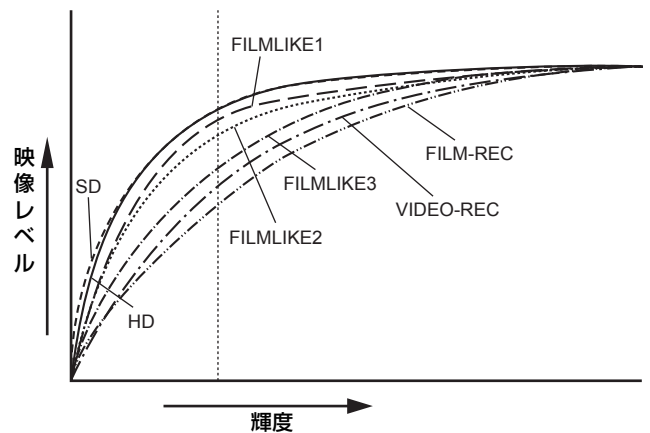
項目/ データ保存	可変範囲	備考
WHITE CLIP LVL	90% :109%	ホワイトクリップレベルの設定を行います。
S C U F R		
A.KNEE POINT	80% :93% :107%	オートニーポイントの位置設定を1%ステップで行います。 OUTPUT/AUTO KNEE 選択スイッチがCAM/AUTO KNEE ONの時に有効になります。
S C U F R		
A.KNEE LVL	100 :107 :109	オートニーレベルの設定を行います。
S C U F R		
A.KNEE RESPONSE	1 :4 :8	AUTO KNEE 応答速度の設定を行います。設定値が小さいほど応答速度が速くなります。
S C U F R		
CHROMA LEVEL	OFF :-99% :+00% :+40%	Pr信号とPb信号のクロマレベルを設定します。 OFFに設定したときは、映像信号のカラー成分を除去します。
S C U F R		
DRS EFFECT DEPTH	1 2 3	DRSの高輝度部の圧縮レベルを設定します。数値が大きいほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなります。
S C U F R		
■HI-COLOR SW	ON OFF	色のダイナミックレンジを拡大するモードのON/OFFの選択を行います。
S C U F R		
HI-COLOR LVL	1 :32	色のダイナミックレンジを拡大するモードのレベル選択を行います。
S C U F R		

◆ NOTE:

- 名前の先頭に■が付いた項目は、<SD CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象です。
■が付いていない項目は、PAINT MENU LEVEL R/W項目の設定対象になります。
詳しくは「SD CARD R/W SELECT」(198 ページ)を参照してください。
- <GAMMA>画面のGAMMA MODE SEL項目で“FILM-REC”、または“VIDEO-REC”を選択している場合、KNEE MASTER SLOPE項目、KNEE MASTER POINT項目の設定は無効になります。

GAMMA

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MASTER GAMMA	0.30 :0.45	マスターガンマの設定を0.01ステップで行います。
S C U F R		
R GAMMA	-15 :00 :+15	Rchのガンマ設定を行います。
S C U F R		
B GAMMA	-15 :00 :+15	Bchのガンマ設定を行います。
S C U F R		
GAMMA MODE SEL	HD SD FILMLIKE1 FILMLIKE2 FILMLIKE3 FILM-REC VIDEO-REC	ガンマモードの選択を行います。 HD: HD (High Definition) 用のビデオガンマ特性です。 SD: HDガンマよりも暗部のゲインがアップしています。 FILMLIKE1: HDガンマに比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。 FILMLIKE2: FILMLIKE1に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。 FILMLIKE3: FILMLIKE2に比べ、よりハイライト部の階調を再現できる特性になっています。 FILM-REC: フィルム用シネガンマ特性です。 VIDEO-REC: ビデオ用シネガンマ特性です。
S C U F R		



- GAMMA MODE SEL項目をFILMLIKE3で使用するとき、下記の設定をお勧めします。
MANUAL KNEE : ON
KNEE MASTER POINT : 85.0%
KNEE MASTER SLOPE : 50
- GAMMA MODE SEL項目をFILM-RECまたはVIDEO-RECに設定時、AUTO KNEEは動作しません。また、AJ-RC10G接続時もAUTO KNEEは動作しませんが、A.KNEE ONボタン操作により、AJ-RC10GのボタンのLEDは点灯します。

■CAMERA SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
F-REC DYNAMIC LVL	200% 300% 400% 500% 600%	GAMMA MODE SEL 項目でFILM-REC を選択しているとき、ダイナミックレン ジを設定します。 それ以外を選択しているときは、設定を 変更することはできません。
S C U F R		
F-REC BLACK STR LVL	00% 30%	GAMMA MODE SEL 項目でFILM-REC を選択しているとき、ブラックストレ ッチを設定します。 それ以外を選択しているときは、設定を 変更することはできません。
S C U F R		
V-REC KNEE SLOPE	150% 200% 250% 300% 350% 400% 450% 500%	GAMMA MODE SEL 項目でVIDEO- RECを選択しているとき、ニースロー プを設定します。 それ以外を選択しているときは、設定を 変更することはできません。
S C U F R		
V-REC KNEE POINT	30% 107%	GAMMA MODE SEL 項目でVIDEO- RECを選択しているとき、ニーポイン トを設定します。 それ以外を選択しているときは、設定を 変更することはできません。
S C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DETAIL	ON OFF	ディテール信号のON/OFFを切り替えま す。
S C U F R		
GAMMA	ON OFF	ガンマ補正のON/OFFの選択を行いま す。
S C U F R		
TEST SAW	ON OFF	テスト信号のON/OFFの選択を行いま す。
S C U F R		
FLARE	ON OFF	フレア補正のON/OFFの選択を行いま す。
S C U F R		
H-F COMPE.	ON OFF	アパチャー補正のON/OFFを切り替えま す。
S C U F R		

◆ NOTE:

CAMERA SETTING は、すべての項目が <SD CARD R/W SELECT>画面のPAINT MENU SW(■) R/W項目の設定対象になります。

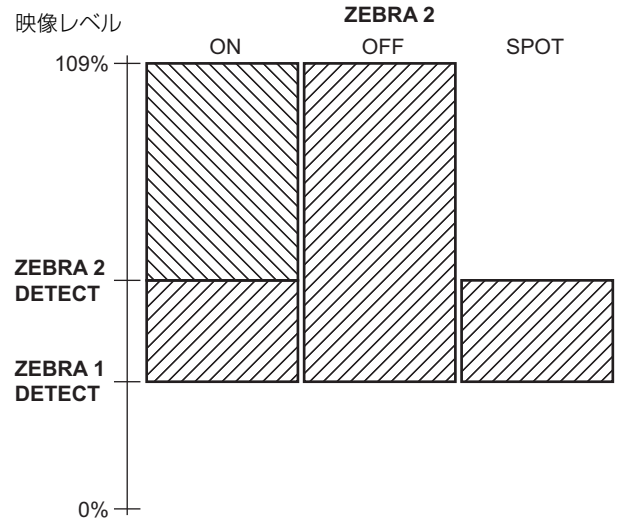
可変範囲の____はプリセットモードです。

VF DISPLAY



項目/ データ保存	可変範囲	備考
STATUS MODE	NORMAL FILM-REC	ビューファインダーに表示するSTATUSのモードを選択します。 NORMAL: 通常のステータス表示 FILM-REC: FILM REC用のステータス表示 ◆ NOTE: この項目でFILM-RECを選択するとDISP CONDITIONおよびDISP MODEでの選択は無効になります。 詳しくは「ビューファインダー画面の状態表示の構成」(78ページ)を参照してください。
— C U F R		
DISP CONDITION	NORMAL HOLD	NORMAL: ステータスを常時表示 HOLD: MODE CHECK SWを押した時のみ表示
— C U F R		
DISP MODE	1 2 3	DISP MODEの設定を行います。 カメラの警告/通報表示を切り替えます。 詳しくは「表示モードと設定変更/調整結果メッセージ」(86ページ)を参照してください。
— C U F R		
VF OUT	Y NAM R G B	ビューファインダー画面に表示する映像信号の選択を行います。 Y: 輝度信号 NAM: R,G,Bの中で一番レベルの大きい信号を出力します R: Rch信号 G: Gch信号 B: Bch信号
— C U F R		
VF DTL	00 05 10	ビューファインダー画面のディテールレベルを設定します。 ビューファインダー用信号のディテールをさらに強調します。0の場合は本線と同じディテールになります。
— C U F R		
VF DTL CORING	00 15	ビューファインダー用信号のディテールのノイズ除去レベルを設定します。
— C U F R		
VF H.DTL FREQ.	1 4 6	ビューファインダー用信号の水平ディテール周波数の選択を行います。
S C U F R		
ZEBRA1 DETECT	0% 70% 109%	ZEBRA1検出レベル(IRE値)の設定を行います。
— C U F R		
ZEBRA2 DETECT	0% 85% 109%	ZEBRA2検出レベル(IRE値)の設定を行います。
— C U F R		
ZEBRA2	ON SPOT OFF	ZEBRA2のON/OFF切り替え、およびSPOTの選択を行います。
— C U F R		
LOW LIGHT LVL	OFF 10% 15% 20% 25% 30% 35%	カメラの入力光量がどのくらい低い時に、"LOW LIGHT"を表示するかの設定を行います。
— C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
RC MENU DISP.	ON OFF	リモートコントロールユニット接続時、ビューファインダー画面にメニューを表示する設定を行います。
— C U F R		
MARKER/ CHAR LVL	50% 60% 70% 80% 90% 100%	VFのマーカとキャラクターの輝度設定を行います。
— C U F R		
SYNCHRO SCAN DISP.	sec deg	SYNCHRO SCANモードを表示する単位を設定します。 sec: 時間で表示します。 deg: シャッターの開口角度で表示します。
— C U F R		

ゼブラパターンの表示



VF MARKER

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TABLE	A B	VF MARKER設定テーブルの選択を行います。 以下の項目で選択した A/B の現在の値と設定を行います。
— C U F R		
CENTER MARK	OFF 1 2 3 4	センターマークの切り替えを行います。 OFF: 表示しません。 1: + (大) 2: 中空き (大) 3: + (小) 4: 中空き (小)
— C U F R		
SAFETY MARK	OFF 1 2	セーフティゾーンの枠の種類を選択します。 OFF: 表示しません。 1: BOX  2: コーナー枠 
— C U F R		
SAFETY AREA	80% 90% 100%	セーフティマーカの大きさを設定します。 縦と横の比率は一定のまま、1% ずつの設定が可能です。
— C U F R		
FRAME MARK	ON OFF	フレームマーカのON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
FRAME SIG	4:3 13:9 14:9 VISTA CNSCO	フレームマーカの設定を行います。 VISTAは16 : 8.65 (1.85 : 1)、CNSCOは16 : 6.81 (2.35 : 1)です。
— C U F R		
FRAME LVL	0 15	フレームマーカの外側のレベルの設定を行います。ただし液晶モニターは変化しません。 0: 信号OFFに相当 (ブランキング状態) 15: 中央部と同じ明るさになります。
— C U F R		

◆ NOTE:

DOWNCON MODE項目で“LT-BOX”を選択すると液晶モニターにセーフティゾーンマーカ、セーフティゾーンエリア、フレームマーカは表示しません。

VF USER BOX

項目/ データ保存	可変範囲	備考
USER BOX	ON OFF	ユーザーボックスをビューファインダーに表示するかどうかの設定を行います。
— C U F R		
USER BOX WIDTH	1 13 100	ユーザーボックスの幅を設定します。
— C U F R		
USER BOX HEIGHT	1 13 100	ユーザーボックスの高さを設定します。
— C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
USER BOX H POS	-50 +00 +50	ユーザーボックスのセンターの水平位置を設定します。
— C U F R		
USER BOX V POS	-50 +00 +50	ユーザーボックスのセンターの垂直位置を設定します。
— C U F R		

- ユーザーボックスは、ボックス型のカーソルとして任意の位置に表示させることができます。

◆ NOTE:

DOWNCON MODE項目で“LT-BOX”を選択すると液晶モニターにユーザーボックスは表示しません。

VF INDICATOR1

項目/ データ保存	可変範囲	備考
EXTENDER	ON OFF	エクステンダー表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
SHUTTER	ON OFF	シャッタースピード表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
FILTER	ON OFF	フィルター No. 表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
WHITE	ON OFF	AWB PRST/A・B表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
GAIN	ON OFF	現在の選択ゲイン表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
IRIS	OFF IRIS	OFF: 絞り値を表示しません。 IRIS: 絞り値を表示します。 ● 絞り値の表示とアイリスオーバーライドの表示は連動します。アイリスオーバーライドを変更したときは、3秒間強制的に表示します。
— C U F R		
CAMERA ID	BAR OFF	カメラIDを記録する設定を行います。 BAR: カラーバー信号を記録するときに、カメラIDを記録します。 OFF: 記録しません。
— C U F R		
ID POSITION	UPPER R UPPER L LOWER R LOWER L	カメラIDを表示する場所を設定します。 UPPER R: 右上 UPPER L: 左上 LOWER R: 右下 LOWER L: 左下
— C U F R		

VF INDICATOR3

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DATE/TIME	ON OFF	カメラIDを表示するとき、年月日、時分秒を同時に表示する選択を行います。
— C U F R		
ZOOM LVL	ON OFF	ズームポジション表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
COLOR TEMP	ON OFF	色温度表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
SYSTEM MODE	ON OFF	システムモードおよびRECモード表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
REC FORMAT	ON OFF	記録フォーマット表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
FRAME RATE	ON OFF	フレームレート表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		

VF INDICATOR2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CAC	ON OFF	色収差補正表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
GAMMA MODE	ON OFF	ガンマモードを表示するかどうかの選択を行います。
— C U F R		
DRS	ON OFF	ダイナミックレンジストレッチャー機能が動作しているかを表示する選択を行います。
— C U F R		
P-10LOG	ON OFF	P-10LOGが動作しているかを表示する選択を行います。
— C U F R		
VF GAMMA	ON OFF	ビューファインダーガンマが動作しているかを表示する選択を行います。
— C U F R		
MONITOR GAMMA	ON OFF	モニターガンマが動作しているかを表示する選択を行います。
— C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
P2CARD REMAIN	OFF ONE-CARD TOTAL	P2カードの記録残量をどう表示するか選択します。 OFF: 残量を表示しません。 ONE-CARD: 現在記録対象になっているP2カードの残量を表示します。 TOTAL: スロットに挿入された、すべてのP2カードの残量を合計して表示します。
— C U F R		
BATTERY	ON OFF	バッテリー電圧表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
AUDIO LVL	ON OFF	オーディオレベルメーター表示のON/OFFの選択を行います。
— C U F R		
TC ON COLOR BAR	ON OFF	カラーバー時に、タイムコードを表示するかどうかを選択します。
— C U F R		
TC	OFF TCG TCR TCG/TCR	表示するタイムコードの選択を行います。 OFF: タイムコードを表示しません。 TCG: 記録時にタイムコードジェネレーター値を表示します。 TCR: 再生時にタイムコードリーダー値を表示します。 TCG/TCR: 記録時はタイムコードジェネレーター値を表示し、再生時はタイムコードリーダー値を表示します。
— C U F R		
SYSTEM INFO	OFF ALWAYS NORMAL	システム情報と警告の表示方法を選択します。 OFF: “TURN POWER OFF” と “SYSTEM ERROR” 以外は表示しません。 ALWAYS: 警告情報を常に表示します。 NORMAL: 発生したときのみ、3秒間警告情報を表示します。
— C U F R		
SAVE LED	SAVE P2CARD	SAVEランプの動作を設定します。 SAVE: SAVE ON/OFFスイッチをONにし、「OPTION MODE」(170ページ)で割り当てられた出力システムが、セーブ状態になっているとき、点灯します。 P2CARD: P2カードの記録残量がわずかになると、警告メッセージに連動して点滅します。
— C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
REC STATUS	ON OFF	本機の記録中、ビューファインダーおよび液晶モニターに“REC”表示を行うかどうかを選択します。 ON: REC表示を行います。 OFF: REC表示を行いません。 ◆NOTE: この項目は、本機を単体で使用する場合に有効です。
—C U F R		
PROXY REC	ON OFF	ビデオエンコーダーカード (AJ-YAX800G 別売品) を装着して使用するとき、記録開始時にプロキシの記録情報を表示します。 ON: プロキシ記録をP2カードのみに行うか、P2カードとSDメモリーカードの両方に行うかを表示します。 OFF: プロキシ記録情報を表示しません。
—C U F R		

MODE CHECK IND

項目/ データ保存	可変範囲	備考
STATUS	ON OFF	MODE CHECK ボタンを押したとき、ステータス画面を表示する設定を行います。
—C U F R		
ILED	ON OFF	MODE CHECK ボタンを押したとき、ビューファインダーのランプが点灯している要因を表示する設定を行います。ランプが点灯している要因は、■で表示します。
—C U F R		
FUNCTION	ON OFF	MODE CHECK ボタンを押したとき、FUNCTION画面を表示する設定を行います。
—C U F R		
AUDIO	ON OFF	MODE CHECK ボタンを押したとき、AUDIO画面を表示する設定を行います。
—C U F R		
CAC	ON OFF	MODE CHECK ボタンを押したとき、CAC画面を表示する設定を行います。
—C U F R		
USER SW STATUS	ON OFF	MODE CHECK ボタンを押したとき、各ユーザースイッチに割り付けている機能と、スイッチ操作の一部がロックされた状態であることを表示するかどうかの選択を行います。
—C U F R		
P.ON IND	ON OFF	本機の電源を入れた直後にステータス画面を表示する設定を行います。 ◆NOTE: この項目でONを選択していても、STATUS項目がOFFになっていると電源を入れた直後にステータス画面は表示しません。
—C U F R		

ILED

項目/ データ保存	可変範囲	備考
GAIN(0dB)	ON OFF	GAINが0dB以外有的时候に、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
—C U F R		
SHUTTER	ON OFF	電子シャッターが機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
—C U F R		
WHITE PRESET	ON OFF	WHITE BALスイッチがPRSTの位置のときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
—C U F R		
EXTENDER	ON OFF	レンズエクステンダーが機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
—C U F R		
B.GAMMA	ON OFF	BLACK GAMMAが機能しているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
—C U F R		
MATRIX	ON OFF	リニアマトリックス用の色補正テーブルが選択されているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
—C U F R		
COLOR CORRECTION	ON OFF	12軸独立色補正が選択されているときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
—C U F R		
FILTER	ON OFF	フィルターが3200KとCLEARの組合せ以外のときに、ビューファインダーのランプが点灯する設定を行います。
—C U F R		

CAM OPERATION

可変範囲の____はプリセットモードです。

CAMERA ID

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ID1 — C U F —	***** ***	カラーバーに記録するCAMERA IDの設定1です。10文字まで設定できます。
ID2 — C U F —	***** ***	カラーバーに記録するCAMERA IDの設定2です。10文字まで設定できます。
ID3 — C U F —	***** ***	カラーバーに記録するCAMERA IDの設定3です。10文字まで設定できます。

◆ NOTE:

READ FACTORY DATAを選択すると、内容がクリアされません。

SHUTTER SPEED

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYNCHRO SCAN — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッタースピードとしてSYNCHRO SCANを割り付けます。
SYNCHRO SCAN2 — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッタースピードとしてSYNCHRO SCAN2を割り付けます。SYNCHRO SCAN2では、スピードの表示は秒のみになります。
POSITION1 — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッタースピードとして、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION1 SEL項目で設定したスピードを割り付けます。
POSITION2 — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッタースピードとして、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION2 SEL項目で設定したスピードを割り付けます。
POSITION3 — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッタースピードとして、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION3 SEL項目で設定したスピードを割り付けます。
POSITION4 — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッタースピードとして、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION4 SEL項目で設定したスピードを割り付けます。
POSITION5 — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッタースピードとして、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION5 SEL項目で設定したスピードを割り付けます。
POSITION6 — C U F —	ON OFF	SHUTTERスイッチで選択するシャッタースピードとして、<SHUTTER SELECT>画面のPOSITION6 SEL項目で設定したスピードを割り付けます。

SHUTTER SELECT

項目/ データ保存	可変範囲	備考
POSITION1 SEL		POSITION1のシャッタースピードを設定します。
59.94 Hz 時	1/60 1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	
50 Hz 時	1/50 1/60 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
POSITION2 SEL		POSITION2のシャッタースピードを設定します。
59.94 Hz 時	1/60 1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	
50 Hz 時	1/50 1/60 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
POSITION3 SEL		POSITION3のシャッタースピードを設定します。
59.94 Hz 時	1/60 1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	
50 Hz 時	1/50 1/60 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		
POSITION4 SEL		POSITION4のシャッタースピードを設定します。
59.94 Hz 時	1/60 1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	
50 Hz 時	1/50 1/60 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>		

USER SW

項目/ データ保存	可変範囲	備考
POSITION5 SEL		POSITION5のシャッタースピードを設定します。
59.94 Hz 時	1/60 1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	
50 Hz 時	1/50 1/60 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		
POSITION6 SEL		POSITION6のシャッタースピードを設定します。
59.94 Hz 時	1/60 1/100 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	
50 Hz 時	1/50 1/60 1/120 1/250 1/500 1/1000 1/2000 HALF 180.0deg 172.8deg 144.0deg 120.0deg 90.0deg 45.0deg	
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
USER MAIN SW	INH I.OVR S.BLK B.GAMMA Y GET DRS ASSIST C.TEMP VFR FRATE VF GAM AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW RET SW PRE REC SLOT SEL PC MODE	USER MAIN ボタンの割り付けを行います。各機能の説明は「USER ボタンへの機能割り付け」(60 ページ)を参照してください。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
USER1 SW	INH I.OVR S.BLK B.GAMMA Y GET DRS ASSIST C.TEMP VFR FRATE VF GAM AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW RET SW PRE REC SLOT SEL PC MODE	USER 1 ボタンの割り付けを行います。各機能の説明は「USER ボタンへの機能割り付け」(60 ページ)を参照してください。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		
USER2 SW	INH I.OVR S.BLK B.GAMMA Y GET DRS ASSIST C.TEMP VFR FRATE VF GAM AUDIO CH1 AUDIO CH2 REC SW RET SW PRE REC SLOT SEL PC MODE	USER 2 ボタンの割り付けを行います。各機能の説明は「USER ボタンへの機能割り付け」(60 ページ)を参照してください。
<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R		

◆ NOTE:

シャッタースピードを時間軸 (1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000) に設定することにより、フレームレートを変えても露出量が一定の変速を実現することができます。

フィルムカメラのRamping (撮影コマ数に合わせて、シャッター開角度を補正) と同等の機能を実現することができます。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MARKER SEL (USER3 SW)	INH Y GET ASSIST VF GAM VF MARK REC SW RET SW PRE REC SLOT SEL PC MODE	MARKER SELECT ボタンの割り付けを行います。各機能の説明は「USER ボタンへの機能割り付け」(60 ページ)を参照してください。
— C U F R		
TEXT MEMO SW (USER4 SW)	INH Y GET ASSIST VF GAM REC SW RET SW PRE REC SLOT SEL PC MODE TEXT MEMO	TEXT MEMO ボタンの割り付けを行います。各機能の説明は「USER ボタンへの機能割り付け」(60 ページ)を参照してください。
— C U F R		

SW MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
RET SW	R.REVIEW CAM RET	レンズのRET ボタンやRET SW機能を割り付けた本機のUSER ボタンを押したときの機能を設定します。 R.REVIEW: レックレビュー機能 撮影した最後の数秒間の記録を確認することができます。 CAM RET: リターンビデオ機能 本機のGENLOCK IN端子に供給されたリターンビデオ信号(アナログHD-Y信号)をビューファインダーで確認することができます。 ◆NOTE: ●本機の映像方式と異なる映像信号を入力した場合、リターンビデオ映像は正しく表示されません。 ●GENLOCK項目(SYSTEM SETTING ページのGENLOCK画面)をINTに設定しているときは、リターンビデオ映像が水平方向に小さく揺れて表示される場合があります。
— C U F R		
S.BLK LVL	OFF -10 -20 -30	スーパーブラックのレベルを設定します。
— C U F R		
AUTO KNEE SW	ON OFF DRS	AUTO KNEE 機能のON/OFFおよびDRS 機能を選択します。 OFFに設定するとAUTO KNEE スイッチONの位置にしても、AUTO KNEE が機能しません。 DRSに設定すると、AUTO KNEE スイッチをONの位置にしたときにDRS機能がONになります。
S C U F R		

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SHD.ABB SW CTL	ON OFF	AUTO W/B BALスイッチをABB側に8秒以上押し続けたとき、ブラックシェーディングを自動調整する設定を行います。
— C U F R		
COLOR BARS	SMPTE FULL BARS SPLIT	使用するカラーバーの選択を行います。 SMPTE: SMPTE規格のカラーバー FULL BARS: フルカラーバー SPLIT: SNG (Satellite News Gathering) 用 SPLITカラーバー
— C U F R		
RC CHECK SW	R.REVIEW PLAY	リモートコントロールユニットのREC チェックボタンを押したときの本機の動作を選択します。 R.REVIEW: レックレビュー動作 PLAY: 再生動作
— C U F R		
SIDE SW LOCK	OFF ON	本機の横側についているスイッチ(GAIN、OUTPUT、AWBスイッチ)の操作を無効にするかどうかの選択をします。 この項目の設定をOFFからONに切り替えた場合、切り替え時のスイッチの状態を保持し、ONに設定中はスイッチの操作は無効になります。 OFF: 無効にしません。 ON: 無効にします。
— C U F R		

WHITE BALANCE MODE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FILTER INH	ON OFF	各CCフィルターごとにホワイトバランスメモリー (Ach, Bch) のデータを持つか持たないかの選択を行います。 ON: CCフィルターに関係なく、AchとBchのメモリー (2メモリー) のデータを持ちます。 OFF: 各CCフィルターごとに、AchとBchのメモリー (8メモリー) のデータを持ちます。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
SHOCKLESS AWB	OFF FAST NORMAL SLOW1 SLOW2 SLOW3	WHITE BAL スイッチの位置を切り替えたとき、その位置のホワイトバランスの状態に移行するまでの時間を設定します。 OFF: 瞬時に移行します。 FAST: 約1秒 NORMAL: 約2秒 SLOW1: 約3秒 SLOW2: 約10秒 SLOW3: 約20秒
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
AWB AREA	25% 50% 90%	ホワイトバランスの自動調整を行う検出エリアを切り替えます。 25%: 画面中央付近 25% のエリアを検出します。 50%: 画面中央付近 50% のエリアを検出します。 90%: 画面の 90% のエリアを検出します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
TEMP PRE SEL SW	VAR 3.2K/5.6K	ホワイトバランスの自動調整を行う検出エリアを切り替えます。 VAR: 2300K ↓ から 9900K ↑ まで選択可能です。 3.2K/5.6K: 3200K か、5600K かの固定になります。
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
COLOR TEMP PRE	2300K ↓ : 3200K : 9900K ↑	WHITE BAL スイッチを PRST の位置にしたときの色温度を設定します。 ● CC フィルターの位置により、設定できる色温度の範囲が異なり、高い色温度で設定時に色温度を変化させても数値が変化しない場合があります。
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
AWB A TEMP	2300K ↓ : 3200K : 9900K ↑	WHITE BAL スイッチを A の位置にしたときの色温度を設定します。 A の位置でホワイトバランスの自動調整を行うとそのときの色温度が WHITE BAL スイッチ A の位置にメモリーされます。
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	
AWB B TEMP	2300K ↓ : 3200K : 9900K ↑	WHITE BAL スイッチを B の位置にしたときの色温度を設定します。 B の位置でホワイトバランスの自動調整を行うとそのときの色温度が WHITE BAL スイッチ B の位置にメモリーされます。
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/>	

LENS/IRIS

項目/ データ保存	可変範囲	備考
A.IRIS LEVEL	000 : 045 : 100	オートアイリスの目標値の設定を行います。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
A.IRIS PEAK/ AVE	000 : 030 : 100	オートアイリスの基準に対するピークの占める割合を決定します。 大きいほど、IRIS 検出ウィンドウ内のピークに対して反応し、小さいほど、IRIS 検出ウィンドウ内の平均値に対して反応します。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
A.IRIS WINDOW	NORM1 NORM2 CENTR	オートアイリス検出ウィンドウを選択します。 NORM1: 画面中央よりのウィンドウ NORM2: 画面下よりのウィンドウ CENTR: 画面中央のスポット状のウィンドウ
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
IRIS GAIN	CAM LENS	IRIS GAIN 調整側の選択を行います。 ◆ NOTE: FUJINON 製の DIGI POWER タイプ以前に発売されたエクステンダー付き (×2、×0.8 など) のレンズでは、エクステンダーを入れた状態のままレンズ側で IRIS 補正制御を動作させるため、CAM 側に設定すると本機の IRIS 制御が正常に動作しなくなります。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	
IRIS GAIN VALUE	01 : 10 : 20	IRIS GAIN 調整値の設定を行います。 IRIS GAIN が CAM を選択時、この設定は有効になります。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> R	

MAIN OPERATION

可変範囲の____はプリセットモードです。

BATTERY/P2CARD

項目/ データ保存	可変範囲	備考
BATTERY SELECT	PROPAC14 TRIMPAC14 HYTRON50 HYTRON140 DIONIC90 DIONIC160 NP-L7 ENDURA7 ENDURA10 ENDURA-D PAG L95 BP-L65/95 NiCd14 TYPE A TYPE B	使用するバッテリーを選択します。また、選択したバッテリーに合わせた残量検出が行われます。 可変範囲は「BATTERY SETTING1」(193 ページ)、および「BATTERY SETTING2」(194 ページ)の設定により、変化します。 なお、TYPE Aの初期値はDIONIC90に、TYPE Bの初期値はHYTRON140に合わせて設定されています。 ソニー製バッテリー BP-GL65またはBP-GL95を使用するときは「BP-L65/95」に設定してください。
EXT DC IN SELECT	AC_ADPT PROPAC14 TRIMPAC14 HYTRON50 HYTRON140 DIONIC90 DIONIC160 NP-L7 ENDURA7 ENDURA10 ENDURA-D PAG L95 BP-L65/95 NiCd14 TYPE A TYPE B	DC IN端子にバッテリーを接続する場合に、残量検出の種類を設定します。また、選択した種類に合わせた残量検出が行われます。 可変範囲は「BATTERY SETTING1」(193 ページ)、および「BATTERY SETTING2」(194 ページ)の設定により、変化します。 ビューファインダー画面には、アナログ電圧を表示します。 ソニー製バッテリー BP-GL65またはBP-GL95を使用するときは「BP-L65/95」に設定してください。
BATT NEAR END ALARM	ON OFF	バッテリーニアエンドで警告音を鳴らすかどうかを選択します。
BATT NEAR END CANCEL	ON OFF	ONに設定すると、バッテリーニアエンドでMODE CHECKボタンを押すことにより、出力されている警告音や警告表示をキャンセルすることができます。
BATT END ALARM	ON OFF	バッテリーエンドで警告音を出力するかどうかを設定します。
BATT REMAIN FULL	70% 100%	残量表示機能のあるバッテリー使用時に、表示窓のBATT (バッテリー) 残量表示バーの表示内容を設定します。 70%: 70%でFULL表示します。 100%: 100%でFULL表示します。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CARD NEAR END ALARM	ON OFF	P2カードニアエンドで、警告音を出力するかどうかを設定します。
CARD NEAR END TIME	2min 3min	P2カードニアエンド警告を出す残量時間を設定します。
CARD END ALARM	ON OFF	P2カードエンドで警告音を出力するかどうかを設定します。
CARD REMAIN/■	3min/■ 5min/■	表示窓のP2カード残量表示バーの1セグメント (■) の時間を設定します。 3min/■: 1セグメントが3分 5min/■: 1セグメントが5分

BATTERY SETTING1

項目/ データ保存	可変範囲	備考
PROPAC14	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 . 13.8	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F	15.0	
TRIMPAC14	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 . 13.6	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F	15.0	
HYTRON50	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 . 13.5	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F	15.0	
HYTRON140	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 . 13.5	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F	15.0	
DIONIC90	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 . 13.6	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F	15.0	

項目/ データ保存	可変範囲	備考
DIONIC160	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 . 13.2	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F	15.0	
NP-L7	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 . 13.2	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F	15.0	
ENDURA7	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 . 13.2	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F	15.0	
ENDURA10	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 . 13.2	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F	15.0	
ENDURA-D	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 . 13.2	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F	15.0	

BATTERY SETTING2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
PAG L95	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.5 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F		
BP-GL65/95	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可
	AUTO MANUAL	ニアエンド電圧を設定するかどうかを選択します。 AUTO: 自動的に設定します。 MANUAL: 手動で設定します。
	11.0 13.5 15.0	上記メニューで MANUAL 選択時、ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F		

項目/ データ保存	可変範囲	備考	
NiCd14	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可	
	NEAR END	11.0 13.8 15.0	ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
	END	11.0 13.4 15.0	エンド電圧を0.1Vステップで選択します。
C U F			
TYPE A	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可	
	FULL	12.0 15.1 17.0	FULL表示する電圧を0.1Vステップで選択します。
	NEAR END	11.0 13.6 15.0	ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
END	11.0 12.9 15.0	エンド電圧を0.1Vステップで選択します。	
C U F			
TYPE B	* .	BATTERY SELECTでの選択を可能にします。 *: 選択可能 .: 選択不可	
	FULL	12.0 15.5 17.0	FULL表示する電圧を0.1Vステップで選択します。
	NEAR END	11.0 13.5 15.0	ニアエンド電圧を0.1Vステップで選択します。
END	11.0 13.1 15.0	エンド電圧を0.1Vステップで選択します。	
C U F			

- 残量表示機能のあるバッテリーを本機に取り付けたときは、バッテリー残量を%で表示します。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FRONT VR CH1	OFF FRONT W.L. REAR ALL	オーディオCH1に選択された入力信号に対して、FRONT AUDIO LEVELつまみを有効にするかどうか選択します。 OFF: どの入力を選択されても無効です。ボリュームを回しても録音レベルは変化しません。 FRONT: FRONTが選択された時のみ有効です。 W.L.: WIRELESSが選択された時のみ有効です。 REAR: REARが選択された時のみ有効です。 ALL: どの入力を選択されても有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
FRONT VR CH2	OFF FRONT W.L. REAR ALL	オーディオCH2に選択された入力信号に対して、FRONT AUDIO LEVELつまみを有効にするかどうか選択します。 OFF: どの入力を選択されても無効です。ボリュームを回しても録音レベルは変化しません。 FRONT: FRONTが選択された時のみ有効です。 W.L.: WIRELESSが選択された時のみ有効です。 REAR: REARが選択された時のみ有効です。 ALL: どの入力を選択されても有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
MIC LOWCUT CH1	OFF FRONT W.L. REAR	入力チャンネル1に対するマイクロローカットフィルターを選択します。 OFF: どの入力に対しても、マイクロローカットフィルターは動きません。 FRONT: フロントマイクが選択されているときに働きます。 W.L.: ワイヤレスが選択された時のみ有効です。 REAR: リアマイクが選択された時のみ有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
MIC LOWCUT CH2	OFF FRONT W.L. REAR	入力チャンネル2に対するマイクロローカットフィルターを選択します。 OFF: どの入力に対しても、マイクロローカットフィルターは動きません。 FRONT: フロントマイクが選択されているときに働きます。 W.L.: ワイヤレスが選択された時のみ有効です。 REAR: リアマイクが選択された時のみ有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
MIC LOWCUT CH3	OFF FRONT W.L. REAR	入力チャンネル3に対するマイクロローカットフィルターを選択します。 OFF: どの入力に対しても、マイクロローカットフィルターは動きません。 FRONT: フロントマイクが選択されているときに働きます。 W.L.: ワイヤレスが選択された時のみ有効です。 REAR: リアマイクが選択された時のみ有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	

項目/ データ保存	可変範囲	備考
MIC LOWCUT CH4	OFF FRONT W.L. REAR	入力チャンネル4に対するマイクロローカットフィルターを選択します。 OFF: どの入力に対しても、マイクロローカットフィルターは動きません。 FRONT: フロントマイクが選択されているときに働きます。 W.L.: ワイヤレスが選択された時のみ有効です。 REAR: リアマイクが選択された時のみ有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
LIMITER CH1	ON OFF	リミッタを選択します。 AUDIO SELECT CH1スイッチが「MAN」に設定されているとき、有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
LIMITER CH2	ON OFF	リミッタを選択します。 AUDIO SELECT CH2スイッチが「MAN」に設定されているとき、有効です。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
AUTO LEVEL CH3	ON OFF	レベル設定方法を選択します。詳しくは「CH3/CH4の録音レベルについて」(63ページ)を参照してください。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
AUTO LEVEL CH4	ON OFF	レベル設定方法を選択します。詳しくは「CH3/CH4の録音レベルについて」(63ページ)を参照してください。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	
TEST TONE	OFF NORMAL ALWAYS CHSEL	テスト信号を選択します。 OFF: テストトーンは出力しません。 NORMAL: OUTPUT/AUTO KNEE選択スイッチをBARSに、AUDIO INスイッチのCH1をFRONTに切り替えたとき、CH1~4すべてにテストトーンを出力します。 ALWAYS: OUTPUT/AUTO KNEE選択スイッチをBARSに切り替えたとき、常にCH1~4すべてにテストトーンを出力します。 CHSEL: OUTPUT/AUTO KNEE選択スイッチをBARSに切り替えたとき、AUDIO INスイッチのCH1、またはCH2がFRONTに設定されているチャンネルにテストトーンを出力します。CH3、CH4には出力しません。
	<input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> F	

◆ NOTE:

マイクロローカットフィルターを適用したときの周波数特性は、200 Hz~10 kHzになります。

MIC/AUDIO2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FRONT MIC POWER — C U F —	ON OFF	フロントマイクのファントム電源の選択をします。
REAR MIC POWER — C U F —	ON OFF	リアマイクのファントム電源の選択をします。 OFFを選択すると、LINE/MIC/+48V切り替えスイッチを+48Vにしても、ファントム電源は出力されません。
MONITOR SELECT — C U F —	STEREO MIX	MONITOR SELECTスイッチがST（ステレオ）に設定されているときに、モニターに出力する信号形式を選択します。
FRONT MIC LEVEL — C U F —	-40dB -50dB	フロントマイクの入力レベルを選択します。
REAR MIC CH1 LVL — C U F —	-50dB -60dB	リアマイクの入力レベルを選択します。
REAR MIC CH2 LVL — C U F —	-50dB -60dB	リアマイクの入力レベルを選択します。
REAR LINE IN LVL — C U F —	0dB +4dB -3dB	リアライン入力レベルを選択します。
AUDIO OUT LVL — C U F —	0dB +4dB -3dB	オーディオ出力レベルを選択します。
HEADROOM — C U F —	18dB 20dB	ヘッドルーム（基準レベル）を設定します。
WIRELESS WARN — C U F —	ON OFF	ワイヤレスレシーバーの受信状態が悪い時、警告を出すかどうかを選択します。
WIRELESS TYPE — C U F —	SINGLE DUAL	ワイヤレスレシーバーのタイプを選択します。 SINGLE: 1チャンネル式のワイヤレスレシーバーを選択します。 DUAL: 2チャンネル式のワイヤレスレシーバーを選択します。

TC/UB

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TC MODE — C U F —	DF NDF	タイムコードモードを選択します。 DF: ドロップフレーム NDF: ノンドロップフレーム ◆ NOTE: 本機が50 Hzで動作時、および24P、24PAで動作時は、この項目に関係なく、常にノンドロップフレームで動作します。
UB MODE — C U F —	USER TIME DATE EXT TCG FRM RATE REGEN	ユーザースピットモードを選択します。 USER: LCD部で設定したUB値を選択します。 TIME: ローカル時刻を選択します。（時、分、秒） DATE: ローカル日時を選択します。（西暦下2桁、月、日、時） EXT: TC IN端子に入力されているユーザースピットを記録します。読みとれない場合はUSER値を保持します。 TCG: TCGの値がそのままUBに入ります。 FRM RATE: カメラの撮像情報（フレームレートなど）を選択します。詳しくは「ユーザースピットに記録されるフレームレート情報」（67ページ）を参照してください。 なお、Native記録されたクリップの再生では、VAUX領域のユーザースピットに記録されたフレームレート情報を出力します。 REGEN: カードに記録されている値を読み出し、その値を継続して記録します。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
VITC UB MODE	USER/EXT TIME DATE TCG FRM RATE REGEN	VAUX TC (VITC)のユーザーズビットモードを選択します。 USER/EXT: UB MODE項目が“EXT”で動作しているときはその値に従い、EXT以外の場合はUBで設定されたUSER値を記録します。 TIME: ローカル時刻を選択します。(時、分、秒) DATE: ローカル日時を選択します。(西暦下2桁、月、日、時) TCG: TCGの値がそのままUBに入ります。 FRM RATE: カメラの撮像情報(フレームレートなど)を選択します。詳しくは「ユーザーズビットに記録されるフレームレート情報」(67ページ)を参照してください。 REGEN: カードに記録されている値を読み出し、その値を継続して記録します。 ◆NOTE: 本機が24P、24PAおよびNativeモードで動作時はFRM RATE固定になります。
TCG SET HOLD	ON OFF	電源OFFする前にTCGを設定した場合、再度電源ONして記録した時、必ずその設定した値から記録する機能のON/OFFを切り替えます。
FIRST REC TC	PRESET REGEN	電源ON、P2カード挿入、記録対象のP2カード切り替え後の最初の記録で、タイムコードをP2カード上の値にリジエネさせるかどうかを選択します。 PRESET: 本機内部のタイムコードを使用します。 REGEN: 記録対象のP2カードに記録されたクリップのうち、日時が最も新しいクリップのタイムコードにリジエネします。 ◆NOTE: ● 日時の設定は正確に行ってください。設定方法は「内蔵時計の日付/時刻の設定」(68ページ)を参照してください。 ● 本機が24P、24PAで動作時は、ドロップフレームで記録されたカードの値には、リジエネできません。
P.OFF LCD DISPLAY	ON OFF	電源OFF状態で、液晶モニターのタイムコード設定やカウント表示を行うかどうかを選択します。 ON: 電源OFF中でもタイムコードの設定や表示をします。 OFF: 電源OFF中は液晶モニターをパワーダウンします。設定や表示はできません。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TC OUT	TCG TCG/TCR	タイムコード出力端子に出力されるタイムコードを選択します。 TCG: 常にタイムコードジェネレーター値を出力します。 TCG/TCR: 記録時はタイムコードジェネレーター値を出力し、再生時はタイムコードリーダー値を出力します。
TC DISP SEL	30F 24F	タイムコードのフレーム桁の表示形式を選択します。(1080/59.94i時のみ)詳しくは「タイムコードおよびユーザーズビットの記録」(65ページ)を参照してください。 30F: タイムコードのフレーム桁を30フレームで表示します。 24F: タイムコードのフレーム桁を24フレームに変換して表示します。
TC VIDEO SYNCHRO	0 1 2 3	映像信号の遅延に合わせてタイムコードを補正する設定を行います。 0: 補正しません。 1: 映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせます。 2: 映像のタイミングに合わせて、出力するタイムコードを進めます。 3: 映像のタイミングに合わせて、入力するタイムコードを遅らせ、出力するタイムコードを進めます。 詳しくは、「タイムコードを外部ロックさせる」(70ページ)を参照してください。
REC REVIEW REGEN	ON OFF	<SW MODE>画面のRET SW項目を“R.REVIEW”に設定して、レンズのRETボタンやRET SW機能を割り付けた本機のUSERボタンを押した後、次の記録を開始したときにP2カード上のタイムコードにリジエネするかどうかを選択します。 ON: リジエネします。 OFF: リジエネしません。

UMID SET/INFO

項目/ データ保存	可変範囲	備考
COUNTRY	NO-INFO	ユーザーの属する国家を入力します。入力されるまではNO-INFOと表示します。
ORGANIZATION	NO-INFO	ユーザーの属する組織名・会社名を入力します。入力されるまではNO-INFOと表示します。
USER	NO-INFO	ユーザー名を入力します。入力されるまではNO-INFOと表示します。
DEVICE NODE		製品のID番号を表示します。

◆NOTE:

UMID情報の設定は「UMID情報の設定」(75ページ)を参照してください。

FILE

可変範囲の____はプリセットモードです。

SD CARD READ/WRITE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
R.SELECT	1 : 8	読み出す (READ) ファイルの番号を選択します。
____F____		
READ		SDメモリーカードのデータを読み出します。

W.SELECT	1 : 8	書き込む (WRITE) ファイルの番号を選択します。
____F____		
WRITE		本機のメニューデータをSDメモリーカードへ書き込みます。

CARD CONFIG		SDメモリーカードをフォーマットします。

TITLE READ		SDメモリーカードのデータに付けられているタイトルを読み出します。

TITLE1-8	**** ****	8文字までのタイトル名が設定できます。

◆ NOTE:

USB DEVICE モードのときは、SD CARD READ/WRITE の各項目を実行しても、SDメモリーカードにアクセスしないため、エラーになります。PC MODE項目を“OFF”にしてから実行してください。

SD CARD R/W SELECT

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYSTEM MODE R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、<SYSTEM MODE>画面の各項目の設定を、取り扱うかどうかを選択します。
____F____		
ID READ/ WRITE	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、CAMERA IDを、取り扱うかどうかを選択します。
____F____		
USER MENU SELECT R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、USER MENU SELECTの設定を、取り扱うかどうかを選択します。
____F____		
SYSTEM MENU R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、<SYSTEM MODE>画面を除くSYSTEM SETTINGページの設定値とOPTION MENUページの設定値を、取り扱うかどうかを選択します。
____F____		
PAINT MENU LEVEL R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、PAINTページの調整値を、取り扱うかどうかを選択します。
____F____		
PAINT MENU SW(■) R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、PAINT MENUページの設定値を、取り扱うかどうかを選択を行います。
____F____		
VF MENU R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、VFページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。
____F____		
CAM OPE MENU R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、CAM OPERATIONページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。
____F____		
MAIN OPE MENU R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、MAIN OPERATIONページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。
____F____		
MAINTEN MENU R/W	ON OFF	SDメモリーカードの読み取り/書き込み時に、MAINTENANCEページの設定値を取り扱うかどうかを選択します。
____F____		

CAC FILE CARD READ

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CARD FILE SELECT	01 : 32	SDメモリーカードに記録された色収差補正データ操作 (READ/DELETE) を行う番号を選択します。
READ		SDメモリーカードからCAC FILEを読み込みます。選択すると下記のFILE READ画面に移動します。
DELETE		SDメモリーカード内のCAC FILEを削除します。
TITLE READ		SDメモリーカード内のCAC FILEの名前を読み出します。
TITLE SCROLL	01 : 25	SDメモリーカード内のCAC FILEをスクロール表示します。カーソルでこの項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押してからJOGダイヤルボタンを回すと、CAC FILEがスクロール表示されます。
01: - 32:		01～32のファイル名を27文字まで表示します。

FILE READ画面

項目/ データ保存	可変範囲	備考
TITLE		<CAC FILE CARD READ>画面のREAD項目で選択されたCAC FILEの名前が表示されます。
YES		SDメモリーカードから読み込んだCAC FILEを、本機の内部メモリーに記憶します。
NO (CANCEL)		SDメモリーカードから読み込んだCAC FILEを、本機の内部メモリーに記憶しません。
MEM STORE NO.	EMPTY 01 : 32	EMPTY: 本機の内部メモリーに書き込む際、番号順にサーチして記録されていない箇所に記憶します。 01~32: 選択した番号に記憶します。すでにCAC FILEが記録されている場合は上書きされます。
TITLE SCROLL	01 : 25	本機の内部メモリー内のCAC FILEをスクロール表示します。カーソルでこの項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押してからJOGダイヤルボタンを回すと、CAC FILEがスクロール表示されます。
01: - 32:		01～32のファイル名を27文字まで表示します。

LENS FILE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
FILE NO.	01 : 64	レンズファイルの番号を選択します。
READ		レンズファイルのデータを読み込みます。
WRITE		レンズファイルのデータを書き込みます。
RESET ALL		すべてのレンズファイルのデータをリセットします。
TITLE SCROLL	01 : 59	レンズファイルをスクロール表示します。
TITLE	***** *****	12文字までのタイトル名が設定できません。
01 - 64		01～64のファイル名を表示します。

LENS FILE CARD R/W

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CARD FILE SELECT	1(01-08) 2(09-16) 3(17-24) 4(25-32) 5(33-40) 6(41-48) 7(49-56) 8(57-64)	SDメモリーカードのレンズファイルの番号を選択します。
READ		SDメモリーカードのレンズファイルデータを読み出します。
WRITE		レンズファイルのデータをSDメモリーカードへ書き込みます。
TITLE READ		SDメモリーカードのレンズファイルのタイトルを読み出します。
TITLE1 - 8	***** *****	12文字までのタイトル名が設定できません。

◆ NOTE:

USB DEVICEモードのときは、LENS FILE CARD R/Wの各項目を実行しても、SDメモリーカードにアクセスしないため、エラーになります。PC MODE項目を“OFF”にしてから実行してください。

SCENE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
READ CINEMATOGRAPH		シネマトグラファー設定を読み込みます。
READ USER DATA		メモリーのユーザーエリアデータを読み込みます。
SCENE SEL	01 : 16	シーンファイルを選択します。
READ		シーンファイルを読み込みます。
WRITE		シーンファイルを書込みます。
RESET		シーンファイルの値を初期値に戻します。
TITLE SCROLL	01 : 12	シーンファイルをスクロール表示します。
TITLE		シーンファイルのタイトルを作成します。
01:- 16:		01～16のファイル名を表示します。

◆ NOTE:

USB DEVICE モードのときは、READ USER DATA 項目を実行しても、SD メモリーカードにアクセスしないため、エラーになります。PC MODE 項目を“OFF” にしてから実行してください。

INITIALIZE

項目/ データ保存	可変範囲	備考
READ FACTORY DATA		MENU (MAIN MENU、OPTION MENU) 値がすべて工場出荷状態になります。 ◆ NOTE: ただし以下のデータは工場出荷値に戻りません。 ● シーンファイル ● USER データ ● レンズファイル ● ブラックシェーディングデータ
WRITE USER DATA		ユーザー固有のメニューデータを本機の内部メモリーにセーブします。

◆ NOTE:

USB DEVICE モードのときは、READ FACTORY DATA 項目を実行してもエラーになります。PC MODE 項目を“OFF” にしてから実行してください。

MAINTENANCE

可変範囲の ____ はプリセットモードです。

LENS ADJ

項目/ データ保存	可変範囲	備考
F2.8 ADJ	ON OFF	ONになっている時のみアイリスをF2.8にします。(レンズ側でF2.8になるよう調整を行います)
F16 ADJ	ON OFF	ONになっている時のみアイリスをF16にします。(レンズ側でF16になるよう調整を行います)

BLACK SHADING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CORRECT	ON OFF	デジタルブラックシェーディング補正のON/OFFを切り替えます。
DETECTION (DIG)	—	デジタルブラックシェーディング補正を実行します。

WHITE SHADING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CORRECT	ON OFF	ホワイトシェーディング補正のON/OFFを切り替えます。
R H SAW R H PARA R V SAW R V PARA G H SAW G H PARA G V SAW G V PARA B H SAW B H PARA B V SAW B V PARA	-255 : +000 : +255	ホワイトシェーディングの補正を手動で行います。 RGB各チャンネルのノコギリ歯状波形とパラボラ波形を、水平方向と垂直方向に調整します。

LENS FILE ADJ

項目/ データ保存	可変範囲	備考
RB GAIN CTRL RESET	ON OFF	ON: <RB GAIN CONTROL> 画面で調整されたRchとBchのゲインをリセットします。また、<RGB BLACK CONTROL> 画面で調整されたRch、Gch、Bchのフレアレベルもリセットされます。 OFF: <RB GAIN CONTROL> 画面で調整されたRchとBchのゲインが有効になります。また、<RGB BLACK CONTROL> 画面で調整されたRch、Gch、Bchのフレアレベルも有効になります。
LENS R GAIN OFFSET	-200 : +000 : +200	使用するレンズのRch感度を補正します。
LENS B GAIN OFFSET	-200 : +000 : +200	使用するレンズのBch感度を補正します。
LENS R FLARE	000 : 100	Rchのフレアレベルを調整します。
LENS G FLARE	000 : 100	Gchのフレアレベルを調整します。
LENS B FLARE	000 : 100	Bchのフレアレベルを調整します。

- <LENS FILE ADJ> 画面で調整されたデータは、レンズファイルとしてSDメモリーカードに保存することが可能です。

CAC ADJ

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CAC CONTROL	ON OFF	ON: 色収差補正を行います。 OFF: 色収差補正を行いません。
U F R		
CAC FILE DELETE	—	本機内部のメモリーに記憶された、かつ CAC FILE NO. 項目で選択された色収差補正ファイルを削除します。
CAC FILE NO.	01 : 32	CAC MANUAL 補正時に色収差補正ファイルを選択します。また CAC FILE DELETE 項目で色収差補正ファイルを削除するときに、削除する色収差補正ファイルを選択します。
F		
TITLE SCROLL	01 : 25	色収差補正ファイルをスクロール表示します。カーソルでこの項目を選択し、JOGダイヤルボタンを押してからJOGダイヤルボタンを回すと、CAC FILEがスクロール表示されます。
F		
01:		01～32のファイル名を27文字まで表示します。
02:		01～32のファイル名を27文字まで表示します。
03:		01～32のファイル名を27文字まで表示します。
04:		01～32のファイル名を27文字まで表示します。
05:		01～32のファイル名を27文字まで表示します。
06:		01～32のファイル名を27文字まで表示します。
07:		01～32のファイル名を27文字まで表示します。
08:		01～32のファイル名を27文字まで表示します。

DIAGNOSTIC1

項目/ データ保存	可変範囲	備考
CAMSOF MAIN		カメラマイコンメインソフトウェアのバージョンを表示します。
CAM TABLE		カメラブロック設定テーブルのバージョンを表示します。
PULSE FPGA		CCD駆動用のプログラムバージョンを表示します。
UCIF FPGA		マイコンインターフェイスFPGAのプログラムバージョンを表示します。
FM FPGA		フレームメモリー制御FPGAのプログラムバージョンを表示します。
CHAR FPGA		HD信号入出力制御FPGAのプログラムバージョンを表示します。
DC FPGA		SD信号入出力制御FPGAのプログラムバージョンを表示します。

DIAGNOSTIC2

項目/ データ保存	可変範囲	備考
SYSCON SOFT		システム制御マイコンのソフトバージョンを表示します。
LCD SOFT		LCDマイコンのソフトバージョンを表示します。
P2CS OS		ストリーム制御のOSバージョンを表示します。
P2CS AP		ストリーム制御のアプリケーションのバージョンを表示します。
SH4CTRL FPGA		ストリーム制御FPGAのプログラムバージョンを表示します。
PRCCTRL FPGA		PRE RECORDING制御FPGAのプログラムバージョンを表示します。
SYSIF FPGA		シリアルインターフェイスFPGAのプログラムバージョンを表示します。
AVC-I SOFT		AVC-I基板の制御ソフトバージョンを表示します。
AVC-I FPGA		AVC-I基板のFPGAプログラムバージョンを表示します。

HOURS METER

項目/ データ保存	可変範囲	備考
OPERATION		本機の電源が入っていた時間の総合計を表示します。
P.ON TIMES		本機の電源を入れた回数の総合計を表示します。

OPTION MENU

可変範囲の____はプリセットモードです。

OPTION

項目/ データ保存	可変範囲	備考
ENG SECURITY	ON OFF	メニュー画面の開閉に制限をかけるかどうかの選択をします。 ON: MENU画面が開けなくなります。解除するには、販売店にご相談ください。 OFF: 開閉に制限はありません。
FRM RATE UB	FRM RATE MENU	映像方式を24Pや24PAに設定しているときに記録するユーザズピットを設定します。詳しくは「タイムコードおよびユーザズピットの記録」(65ページ)を参照してください。 FRM RATE: カメラの撮像情報(フレームレートなど)を記録します。 MENU: <TC/UB>画面のUB MODE項目とVITC UB MODE項目の設定に従います。ただし、Native記録時は常にカメラの撮像情報を記録します。
AUDIO OUT DELAY	DELAYED THROUGH	オーディオ出力やヘッドホン/スピーカーの音声出力を遅らせるか設定します。 DELAYED: 映像出力に合わせて、音声出力を遅らせます。 THROUGH: 音声入力をそのまま遅らせずに出力します。音源が近くにあり、音源と出力音が2重に聞こえるのを回避できません。
FAN MODE	OFF AUTO	ファンの動作モードを設定します。 OFF: ファンは常に回りません。 AUTO: 本機内部の温度が上昇すると、自動的にファンが回転します。 ◆NOTE: 一度電源をOFFにすると、次回電源ON時には、この項目は必ず“AUTO”に設定されます。ファンが停止した状態で動作を続けると、本機内の温度が上昇し、正常に記録・再生が行えないことがあります。通常は“AUTO”のまま使用してください。
RATE SET AT REC	ON OFF	VFR記録中のフレームレート変更を可能にする設定を行います。 ON: 変更が可能です。 OFF: 変更できません。 ◆NOTE: “ON”に設定すると、フレームレートの設定にかかわらずVFR記録中の音声はP2カードに記録されません。

AREA SETTING

項目/ データ保存	可変範囲	備考
AREA SELECT	NTSC NTSC (J) PAL	NTSC: 日本以外のNTSC地域を選択します。 NTSC (J): 日本を選択します。 PAL: PAL地域を選択します。
■AREA SET	—	AREA SELECT項目で選択された地域向けの設定に変更されます。詳しくは「ご使用地域への設定(フレーム周波数等の設定)」(15ページ)を参照してください。

本機搭載ファームウェアのアップデート

ファームウェアのアップデート方法には下記の2通りがあります。

1. 専用ツールP2 Status Loggerで確認し、アップデートする方法

PASS (P2 Asset Support System) に会員登録を頂いたお客様のみ、ご利用することができます。

PASSにログインして専用ツール (P2_Status_Logger) を使用すると、お使いの機器のバージョン情報の確認や、必要なファームウェアのページへリンクしてのダウンロードが可能になります。

P2_Status_Loggerのダウンロードおよび使い方については、PASSにログイン後のページを参照ください。

その他、会員登録をいただくといろいろな特典を受けることができます。詳細はPASS (P2 Asset Support System) のサイト (http://panasonic.biz/sav/pass_j/) をご確認ください。

2. ご使用機器本体でバージョンを確認しアップデートする方法

メニューのMAINTENANCE → DIAGNOSTIC1 および DIAGNOSTIC2 画面で本機のバージョンを確認の上、下記NOTEに記載されたサイトのファームウェアに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。

◆NOTE:

- アップデートはダウンロードしたファイルを、SDメモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については、下記サイトをご覧ください。
<http://panasonic.biz/sav/>
- 本機で使用するSDメモリーカードは、SDまたはSDHC規格に準拠したものをお使いください。
また、SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い などのご相談は、まず、 お買い上げの販売店 へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

*内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。
万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

本機は「P2 HD5年間無償修理特約」の対象商品です。お客様が本機を購入後1ヶ月以内にウェブサイトからユーザー登録を行うと、最大5年間の無償修理特約が提供されます。より詳しい情報については、下記のP2 Asset Support Systemウェブサイトをご覧ください。

日本語：http://panasonic.biz/sav/pass_j/

英語：http://panasonic.biz/sav/pass_e/

補修用性能部品

当社では、メモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

*補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認くださいの上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

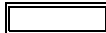
■ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AJ-HPX3700
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定 格

総合

電源：
DC 12 V (11.0 V～17.0 V)
消費電力：
42W (本体のみ)

 は安全項目です。

動作温度： 0℃～40℃
保存温度： -20℃～60℃
動作湿度： 10%～85%以下 (相対湿度)
連続動作時間： 約120分 (アントン・パワー
DIONIC90使用時)
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)：
137 mm×209 mm×318 mm
(ハンドル・オプションカバー含まず)
質量： 約4.9kg
(本体のみ、VF取り付け部を除く)

カメラ部

撮像素子： 2/3型 220万画素 IT型CCD×3
撮像方式： RGB 3CCD方式
総画素数： 2010 (H) × 1120 (V)
有効画素数： 1920 (H) × 1080 (V)
CCフィルター： A：3200 K
B：4300 K
C：5600 K
D：1/2ND
NDフィルター： 1：CLEAR
2：1/4ND
3：1/16ND
4：1/64ND
量子化： 14ビット
水平駆動周波数： 74.1758 MHz (59.94 Hz/23.98 Hz)
74.25 MHz (50 Hz/24 Hz)
サンプリング周波数：
74.1758 MHz (59.94 Hz/23.98 Hz)
74.25 MHz (50 Hz/24 Hz)
デジタル信号処理：74.1758 MHz (59.94 Hz/23.98 Hz)
74.25 MHz (50 Hz/24 Hz)
プログラマブルゲイン：
-3/0/3/6/9/12/15/18/21/24/27/30 dB
VFR機能： 1～30FRAME
(1080-59.94i/1080-23.98PsF/
1080-24PsF)
1～25FRAME (1080-50i)

シャッタースピード：
180.0 deg、172.8 deg、144.0 deg、
120.0 deg、90.0 deg、45.0 deg、
1/50 s (50 Hz)、1/60 s、
1/100 s (59.94 Hz)、1/120 s、
1/250 s、1/500 s、1/1000 s、
1/2000 s、HALF
シンクロスキャンシャッター：
1/61.7 s～1/7200 s
(1080/59.94i)
1/30.9 s～1/3600 s
(1080/29.97P)
1/24.7 s～1/2880 s
(1080/23.98P (PA)、1080/24P)
1/51.4 s～1/6000 s
(1080/50i)
1/25.7 s～1/3000 s
(1080/25P)
レンズマウント： 2/3型バヨネット式
色分解光学系： プリズム方式 (F1.4)
感度： F10 (2000 lx、3200K、89.9%反射、
1080/59.94i)
最低被写体照度： 0.042 lx (F1.4、+30 dB、
VFR 1フレーム時)
2.48 lx (F1.4、+30 dB 時)
映像S/N： 54 dB (標準)
水平解像度： 1000TV本以上 (中心)
レジストレーションエラー：
0.03%以下 (全域、レンズ歪みを除く)

記録総合

記録メディア： P2カード
映像記録フォーマット：
AVC-Intra 100/AVC-Intra 50/DVCPRO
HDより切り替え
記録ビデオ信号： 1080/59.94i、1080/50i、
1080/29.97P、1080/23.98P、
1080/24P、1080/25P
記録オーディオ信号：
48 kHz 16ビット 4ch

記録・再生時間： AVC-Intra 100/DVCPRO HD
8 GB×1 約8分、16 GB×1 約16分
32 GB×1 約32分
AVC-Intra 50
8 GB×1 約16分、16 GB×1 約32分
32 GB×1 約64分

◆NOTE:

上記の時間は、P2カードに1ショットを連続記録した場合のものです。記録するショット数によっては、記録できる時間は上記の時間より短くなる場合があります。

* P2カードについて、取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

デジタルビデオ

サンプリング周波数：
Y： 74.1758 MHz (59.94 Hz)
74.2500 MHz (50 Hz)
PB/PR： 37.0879 MHz (59.94 Hz)
37.1250 MHz (50 Hz)
量子化： AVC-Intra 100/AVC-Intra 50：
10ビット
DVCPRO HD：8ビット
ビデオ圧縮方式： AVC-Intra 100/AVC-Intra 50：
MPEG-4 AVC/H.264 Intra Profile
DVCPRO HD：
DV-Based Compression (SMPTE 370M)

オーディオ特性

周波数特性： 20 Hz～20 kHz ± 1.0 dB (基準レベルにて)
ダイナミックレンジ： 85 dB以上 (1 kHz、AWTDにて)
歪率： 0.1%以内 (1 kHz、基準レベルにて)
ヘッドルーム： 20 dB/18 dB (メニューで切り替え可)

入出力部

GEN LOCK IN：	BNC × 1、1.0 VP-P、75 Ω (リターンビデオ入力端子として使用可能)	MIC IN：	XLR × 1、5ピン ファントム +48V (メニュー選択でON/OFF可) -40 dBu (-50/-40 dBuのメニュー選択可)
MON OUT：	BNC × 1 (HD-SDI/VBSに切替可能)	WIRELESS IN：	25ピン、D-SUB、-40 dBu
HD-SDI：	0.8 VP-P、75 Ω (SMPTE292M/299M規格に準拠)	AUDIO OUT CH1/CH2：	XLR × 1、5ピン、+4 dBu (-3/0/+4 dBu、メニュー選択可)、 平衡ローインピーダンス
VBS：	1.0 VP-P、75 Ω	PHONES OUT：	ステレオミニジャック × 2
HD SDI A：	BNC × 1	DC IN：	XLR × 1、4ピン、DC 12 V (DC 11.0 V～17.0 V)
HD SDI：	0.8 VP-P、75 Ω (SMPTE292M/299M/ 372M/352M規格に準拠) HD SDI Bととも にDual Link対応可	DC OUT：	4ピン、DC 12 V (DC 11.0 V～17.0 V)、 最大出力電流1.5 A
HD SDI B：	BNC × 1	LENS：	12ピン
HD SDI：	0.8 VP-P、75 Ω (SMPTE292M/299M/ 372M/352M規格に準拠) HD SDI Aととも にDual Link対応可	EVF：	20ピン
TC IN：	BNC × 1、0.5 VP-P～8 VP-P、10 kΩ	REMOTE：	10ピン (AJ-RC10G用端子)
TC OUT：	BNC × 1、2.0 ± 0.5 VP-P、ローイン ピーダンス	GPS：	6ピン (AJ-GPS910G用端子)
AUDIO IN CH1/CH2：	XLR × 2、3ピン LINE/MIC/+48V切り替え方式 LINE： +4 dBu (-3/0/+4 dBu、 メニュー選択可) MIC： -60 dBu (-60/-50 dBu、 メニュー選択可) MIC +48V： ファントム +48V対応 -60 dBu (-60/-50 dBu、 メニュー選択可)	USB2.0 (HOST)：	Type-Aコネクタ、4ピン、USB Ver.2.0 準拠
		USB2.0 (DEVICE)：	Type-Bコネクタ、4ピン、USB Ver.2.0 準拠

付属品

ショルダーベルト
FRONT AUDIO LEVEL ノブ
ノブ用ネジ × 1
CD-ROM

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



Panasonic Corporation

Web Site: <http://panasonic.net>

パナソニック株式会社 プロフェッショナルAVビジネスユニット

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2008